SHARP

AQUOS

取扱説明書

液晶カラーテレビ

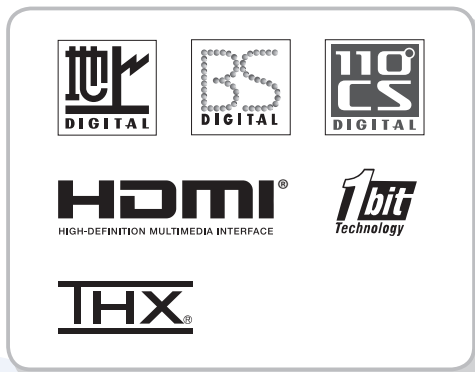
形　名

エル シー　エルエックス
LC-60LX3

エル シー　エルエックス
LC-52LX3

エル シー　エルエックス
LC-46LX3

エル シー　エルエックス
LC-40LX3

THX

テレビ台などは別売りです。

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全上のご注意」（12ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- 基本部のセットイラストは、LC-52LX3で記載しています。

オーナーズラウンジAQUOS.jp
AQUOSと暮らす喜びがもっと広がります。http://aquos.jp/にアクセスし会員登録してください。

付属品
（別売品については⇒ 239 ページ）

• 安全と性能維持のため、同梱の電源コードを必ずご使用ください。

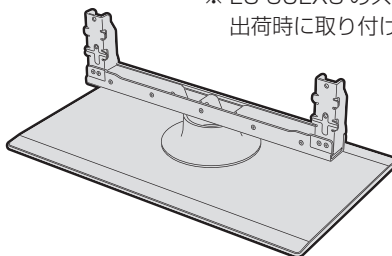
リモコン ×1

リモコン用乾電池※
（単４形乾電池）×2

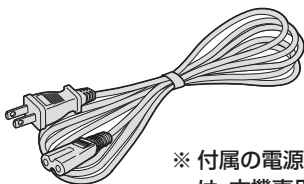
※ アルカリ乾電池を
　ご使用ください。

乾電池を入れて
使います。
⇒**24** ページ

スタンド※×1

※ LC-60LX3 のスタンドは、
　出荷時に取り付け済みです。

スタンド取付ネジ
（M5）×4

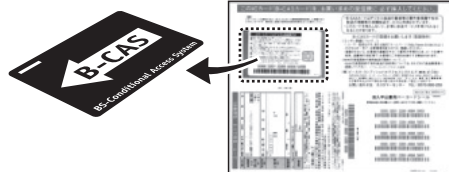
本機に取り付けます。
⇒**239** ページ

電源コード※
（約 2m）×1

※ 付属の電源コードは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。
※ イラストと異なる場合がありますが、支障ありません。

本機に電源を
供給します。
⇒**260** ページ

壁掛けアタッチメント×2　　スパナ×1
（LC-52LX3／LC-46LX3／LC-40LX3のみ）

壁に掛けて設置するときに
使います。⇒**340**～**341**ページ

B-CAS カード ×1　B-CASカードの台紙

• B-CAS カードは本体を覆っているシートに貼り付けられている **B-CAS パンフレットの袋の中の台紙**についています。
• 開封すると添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

デジタル放送を見るときに
使います。⇒**242**ページ

取扱説明書※（本書）×1
かんたん !! ガイド※ ×1
保証書 ×1

※ 当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
　This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

もくじ

- 本書に掲載している画面表示やイラストは説明用のものであり、実際の表示とは多少異なります。
- 本取扱説明書では、特に機種名を明示している場合を除いて LC-52LX3 を例にとって説明しています。LC-60LX3、LC-46LX3、LC-40LX3 は外形寸法などは異なりますが使いかたは同じです。
- 本機を廃棄または譲渡する場合には、個人情報の消去（初期化）をお願いします。（⇒ **318** ページ）

設置
別売品
デジタル放送
B-CASカード
アンテナ接続
初期設定
アンテナ設定
受信設定

テレビを見るための準備をする（テレビの設置・接続・受信設定）

⇒ 236 ページ

はじめに

次のページに続く

テレビを見る

次のページに続く

ファミリンク機能を使って録画・再生・視聴する

ビデオやDVDなどを見る・録画する／ゲーム・パソコンなどの映像を映す

USBハードディスクをつないで録る・見る

次のページに続く

インターネットで楽しむ

次のページに続く

テレビを見るための準備をする

困ったときのお役立ち情報

仕様・用語・索引

English Guide

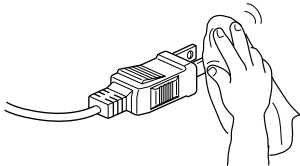
安全上のご注意

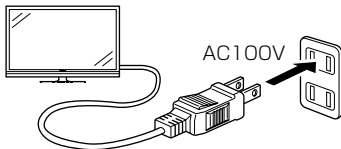
本機をお使いになる前に必ず読み、正しく安全にお使いください。

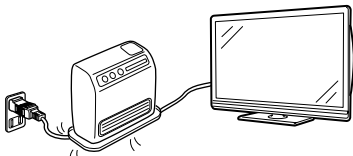
- この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。
- 内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

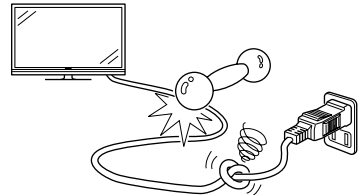
	警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。	図記号の意味		気をつける必要があることを表しています。
	注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。			してはいけないことを表しています。
					しなければならないことを表しています。

⚠警告

電源プラグの刃や刃の付近に、ホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない

- 火災・感電の原因となります。

電源コードに重いものを載せたり、本機の下敷きにしたりしない

- 火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

本機の裏ぶたを外したり、改造したりしない

- 内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。

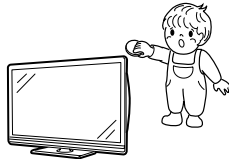
⚠警告

不安定な場所に置かない

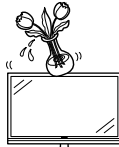
禁止

・落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

異物を入れない

禁止

・通風孔（裏ぶたのすき間）などからもの（可燃性・導電性のものを含む）を入れると、火災・感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

本機の上に花びん等、水の入った容器を置かない

水ぬれ禁止

・水がこぼれるなどして中に入ると、火災・感電の原因となります。

テレビに水が入るような使いかたをしたり、ぬらしたりしない

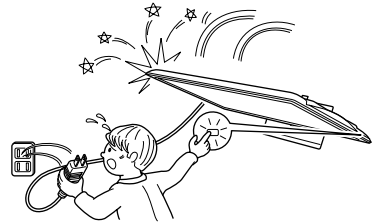
水ぬれ禁止

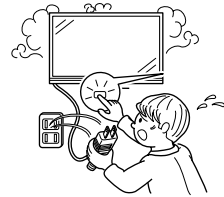
・火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

風呂やシャワー室では使用しない

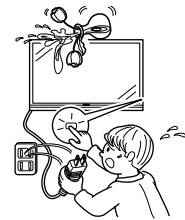
風呂、シャワー室での使用禁止

・火災・感電の原因となります。

落としたり、キャビネットを破損したときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

・そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

煙やにおい、音などの異常が発生したら、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

・異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。
・お客様自身による修理は絶対におやめください。

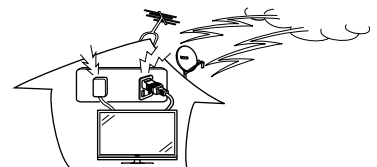
内部に水や異物が入ったときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

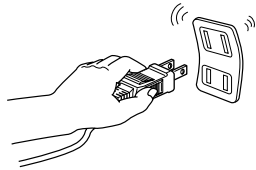
・そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

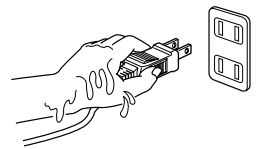
雷が鳴り出したら、アンテナ線やプラグに触れない

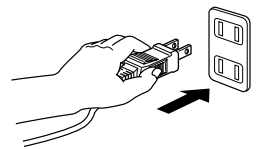
接触禁止

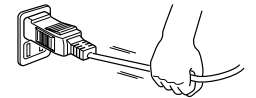
・感電の原因となります。

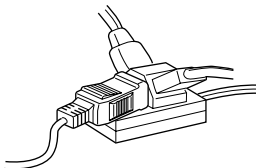
次のページに続く

⚠注意

電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

- 発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。

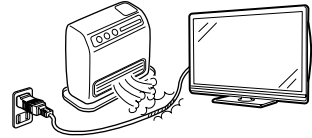
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- 感電の原因となることがあります。

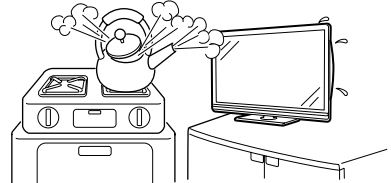
電源プラグは確実に差し込む

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

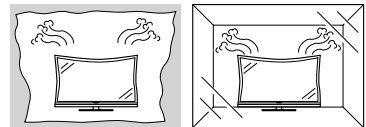
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

- 電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

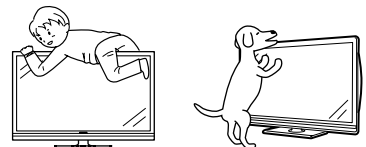
タコ足配線をしない

- 火災・感電の原因となることがあります。

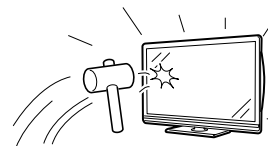
電源コードを熱器具に近づけない

禁止

- 電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない

- 調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない

- 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

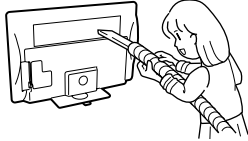
重いものを置いたり、上に乗ったりしない

- 倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

液晶画面に衝撃を与えない（物を当てたり、先の尖ったもので突いたりしない）

- 液晶画面のパネルが割れることがあります。

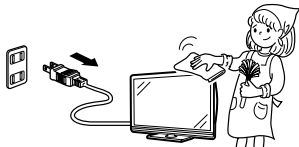
⚠注意

通風孔に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く

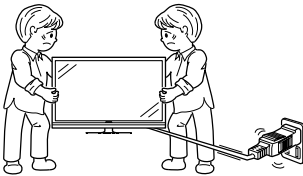
内部の掃除は販売店に依頼する

注意

- 内部や通風孔にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除費用については、販売店にご相談ください。

お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 感電や火災の原因となることがあります。

移動させるときは、接続されている線などをすべて外す

接続線をはずす

- 接続線を外さないで移動させると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

アンテナ工事は、技術経験が必要ですので販売店にご相談ください

離して配置

- 送配電線の近くに設置してしまうと、アンテナが倒れた際に感電の原因となることがあります。
- BS・110度CSデジタル放送受信アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取り付けてください。

スタンドの角度を調整するときは注意する

手を挟まれないよう注意

指のケガに注意

- 手や指がはさまれてけがの原因となることがあります。また無理に傾けると転倒して落下やけがの原因となることがあります。

スタンドは強化ガラスを使用していますので、次のことをお守りください

注意

- 組立てや、テレビへの取り付け時に落としたり、ガラスに強い力を加えないでください。
- ガラス部分にとがったものを落としたり、硬いものなどをぶつけたりすると割れることがありますので、ご注意ください。
- 強化ガラスは、傷が入った状態で長時間ご使用になりますと、自然に破損することがあります。ガラスに傷が入った場合は、そのまま使用しないでください。

健康のために、次のことをお守りください

- 連続して使用する場合は、1時間ごとに10分～15分の休憩を取り、目を休ませてください。
- 新聞が楽に読める程度の明るさの場所で使用してください。
- 日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。
- この製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、すぐに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診察を受けてください。
- ごくまれに、強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ている際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす方がおられます。このような経験のある方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。また本製品を使用しているときにこのような症状が起きたときは、すぐに使用を中止して医師の診察を受けてください。

免責事項

お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

次のページに続く

⚠注意

アルカリ電池についての安全上のご注意

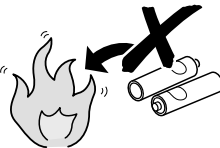
・ 液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

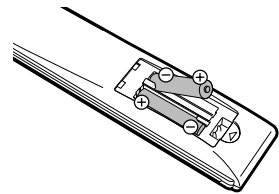
電池は幼児の手の届く所に置かない

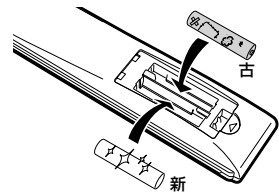
・ 電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。

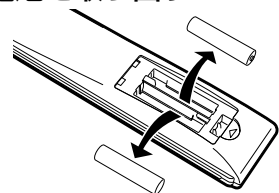
電池のアルカリ液がもれたときは素手でさわらない

・ 電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
・ 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師と相談してください。

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない

・ 電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
・ 電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。発熱事故の原因となることがあります。

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

・ 間違えると電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

・ 電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

・ 電池を入れたままにしておくと、過放電によりアルカリ液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

保存のしかた

・ ⊕、⊖の方向をそろえて、低温で乾燥した涼しい場所及び湿気の少ない風通しのよい場所に保存してください。

廃棄のしかた

・ ⊕と⊖をセロハンテープで絶縁して廃棄します。各自治体によって「ゴミの捨てかた」が違います。地域の条例に従ってください。

守っていただきたいこと

キャビネットのお手入れのしかた

- 汚れは柔らかい布（綿、ネル等）で軽く拭きとってください。化学雑巾（シートタイプのウエット・ドライのものも含め）を使うと、本体キャビネットの成分が変質したり、ひび割れなどの原因となる場合があります。
- 硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、キャビネットの表面に傷がつきます。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした柔らかい布（綿､ネル等）をよく絞って拭きとり、柔らかい乾いた布で仕上げてください。
- キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりすると変質したり、塗料がはげることがあります。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

液晶ディスプレイパネルのお手入れのしかた

AQUOSクリーニングクロス
推奨品
24×24cm：CA300WH1※
40×30cm：CA300WH2※

※ 販売店またはシャープホームページ内のシャープいい暮らしストア（ネット販売）でお求めください。

- お手入れの際は、必ず本体の電源スイッチを「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ディスプレイパネルの表面は、柔らかい布（綿､ネル等）で軽く乾拭きしてください。ディスプレイパネルの保護のため、ホコリのついた布や洗剤､化学雑巾（シートタイプのウエット・ドライのものも含め）などを使わないでください。パネルの表面がはく離することがあります。
- 硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、パネルの表面に傷がつきます。
- 汚れがひどい場合は､柔らかい布（綿､ネル等）を軽く水で湿らせて、そっと拭いてください。（強くこすったりすると、ディスプレイパネルの表面に傷が付きます。）
- ディスプレイパネルの表面にホコリがついた場合は、市販の除塵用ブラシ（静電気除去ブラシ）をお使いください。

静止画を長時間表示しないでください

- 残像の原因となることがあります。

次のページに続く

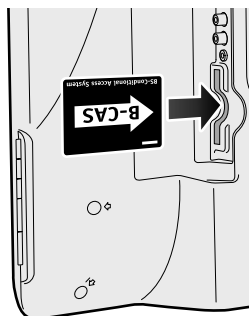
守っていただきたいこと

取扱い上のご注意

- 液晶画面を強く押したり、ボールペンのような先の尖ったもので押さないでください。また、落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。特に液晶画面のパネルが割れたり、傷がつく原因となります。
- 振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

B-CAS カードは必要なときだけ抜き差しする

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CAS カードの中には IC チップが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないでください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」にならないよう、上図のとおりに挿入してください。

使用が制限されている場所

- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

国外では使用できません

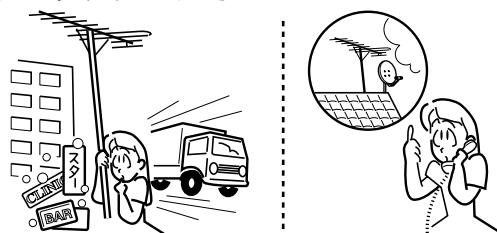
- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。(This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)

長期間ご使用にならないとき

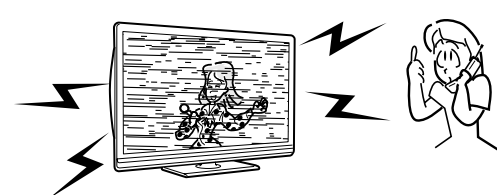
- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

電源プラグを抜く

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。

  万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。BS・110 度 CS デジタル放送用のアンテナ線には、必ず BS・110 度 CS デジタル用アンテナケーブル(市販品)を使用してください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話、ラジオ受信機、トランシーバー、防災無線機などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

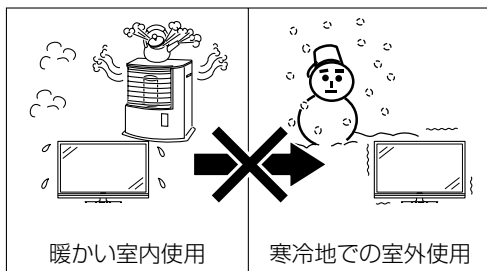
守っていただきたいこと

使用温度について

- 周囲温度は０～40℃の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

結露（つゆつき）について

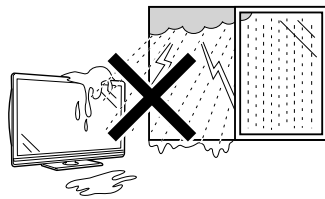
- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。

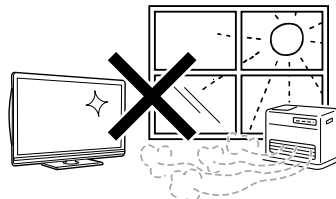
- 本機を冷え切った状態のまま室内に持ち運んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

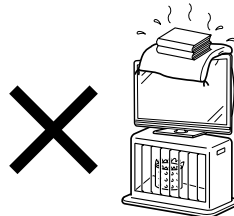
- 急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

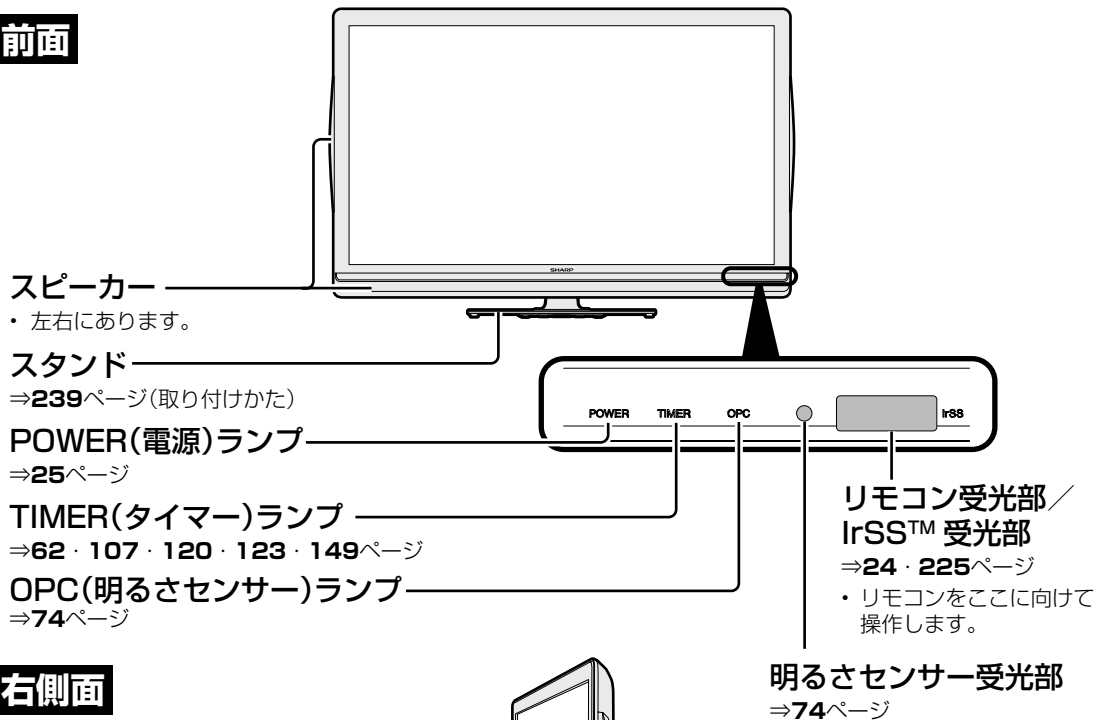
低温になる部屋（場所）でのご使用の場合

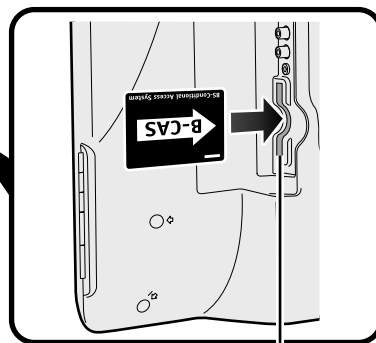
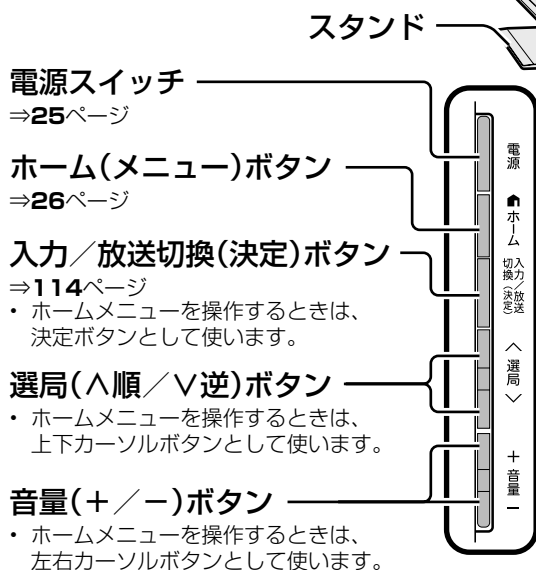
- ご使用になる部屋（場所）の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。（使用温度：0℃～ 40℃）

雨天・降雪中でのご使用の場合

- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。

直射日光・熱気は避けてください

- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えます。

設置について

- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 本機の上には物を置かないでください。

本体各部やリモコンボタンのなまえ

背面

LAN 端子（10BASE-T ／ 100BASE-TX）
⇒**171**・**197** ページ
- インターネットやアクトビラ、IPTV、デジタル放送の双方向通信で使用します。(LAN：ローカルエリアネットワークの略称)

HDMI 対応機器をつなぐ

入力 1・入力 2（HDMI）
⇒**112**・**248**・**249**・**251**・**252**・**256**・**258** ページ

入力 4（D5・映像・音声）
⇒**251**・**253**・**256** ページ

入力 6（S2 映像）
⇒**251**・**254**・**256** ページ

入力 6 ／モニター出力(録画出力)（映像・音声）
⇒**251**・**255**・**256**・**257** ページ
- 入力と出力を切り換えられる端子です。「入力 6 端子設定」で切り換えます。（⇒**118**・**126** ページ）
- 工場出荷時は入力端子としてはたらきます。

パソコンをつなぐ

コントロール端子（RS-232C）
⇒**259** ページ

デジタル音声出力(光)端子
⇒**249**・**257** ページ

パソコンをつなぐ

入力 7（アナログ RGB）
⇒**259** ページ

アンテナをつなぐ

アンテナ入力（BS・110 度 CS デジタル）
⇒**244** ～ **247** ページ

パソコン／オーディオ機器をつなぐ

入力 7 ／入力 2 音声入力端子
⇒**131**・**258**・**259** ページ

アンテナをつなぐ

アンテナ入力 地上デジタル 地上アナログ（VHF・UHF）
⇒**244** ～ **247** ページ

外付けハードディスクや USB 無線 LAN アダプターをつなぐ

USB 端子
⇒**135**・**174**・**231**・**316** ページ

外部機器を一時的につなぐのに、便利な端子です。

HDMI 対応機器をつなぐ

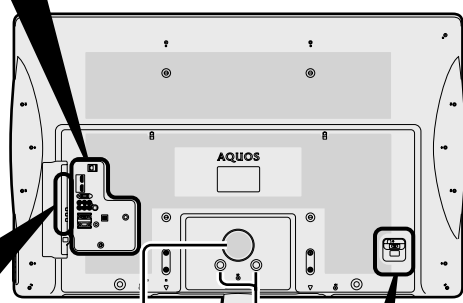
入力 3（HDMI）
⇒**112**・**248**・**249**・**251**・**252**・**256**・**258** ページ

入力 5（D5・映像・音声）
⇒**251**・**253**・**256** ページ

スピーカー

ダクト孔

ヘッドホン端子
- ステレオミニプラグ（φ3.5mm）の付いたヘッドホンをご用意ください。
- ヘッドホンをつないだときでも、スピーカーから音が出せます。（⇒**87** ページ）
- 2 画面表示中に、非操作画面の音声をヘッドホンで聞けます。（⇒**87** ページ）

▲ヘッドホンの音量表示

電源コードをつなぐ

電源入力（AC100V）端子
⇒**260** ページ

リモコンのボタン

ボタン	ボタン名	ページ
電源	電源	25
ファミリンク 録画 停止 早戻し 再生 早送り	ファミリンク操作	104・105・108・109・146・147・158・159・161
常連番組	常連番組	50 ～ 52
セーブモード	セーブモード	91
3桁入力 (CATV)	3 桁入力（CATV）	34
インターネット	インターネット	187・202・206・208・210
VOD操作	VOD 操作	207・211・221
画面表示	画面表示 ・ リモコン番号変更画面を表示	36・37 321
字幕 映像切換 音声切換	字幕 / 映像切換 / 音声切換 ・ 音声切換／字幕ボタンは、IPTV（ひかり TV）のテレビサービスにも使います。	53・54 203
AVポジション (画質切換)	AV ポジション	69
静止	静止	38
2画面 操作切換	2 画面 / 操作切換	56 ～ 57・58
1～12	チャンネル（数字） ・ チャンネルの選局 ・ IPTV（ひかり TV）の選局 ・ 文字や数字の入力、再生リスト、インターネットを見る画面の操作、本機の設定操作にも使います。	 32 202
地上D BS CS 地上A	放送切換 （地上デジタル／ BS デジタル／ 110度CSデジタル／地上アナログ） ・ 初めて CS チャンネルを操作するときの操作	32 268

◇**おしらせ**◇

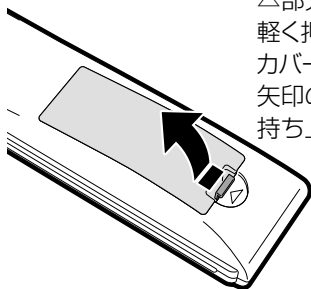
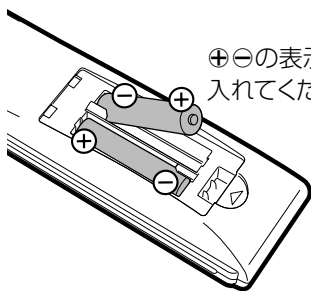
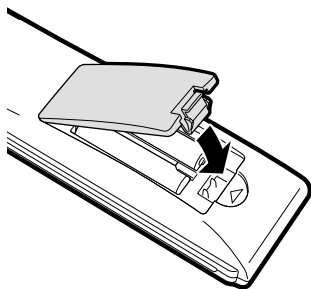
- リモコンを使うと他の機器が動作してしまうとき⇒ **320** ページ

ボタン	ボタン名	ページ
消音	消音	32・202
音量	音量	32・202
選局	選局	32・202
	・地上デジタル放送の、選局の順番の変更	41
	・CATV チャンネルのスキップ解除の操作（工場出荷時設定からの変更）	285
入力切換	入力切換 ・ゲーム機、パソコン、ホームネットワークなどの入力に切換える操作にも使います。	114
ホーム	ホーム（メニュー）	26・27
番組表	番組表	43
	・番組表から行う操作に使います。	106・120・148
ファミリンク	ファミリンク	102・112・144
決定	カーソル（上／下／左／右）／決定 ・文字入力、再生リスト、インターネットを見る画面の操作にも使います。	26・27
終了	終了 ・ホームメニュー、文字入力、インターネットを見る画面の操作などに使います。	
戻る	戻る ・ホームメニュー、文字入力、インターネットを見る画面の操作などに使います。	
オフタイマー	オフタイマー	88
テレビ/データ（ポータル）	メディア切換（テレビ／データ／ポータル）	32・35・203
データ連動	データ連動	35・203
ツール	ツール	30
青 赤 緑 黄	カラー（青／赤／緑／黄）	44・45
	・連動データ放送の操作	35
	・文字入力の操作	94
	・インターネットを見る画面の操作にも使います。	

リモコンの電池の入れかたと操作範囲について ⇒**次**ページ

次のページに続く

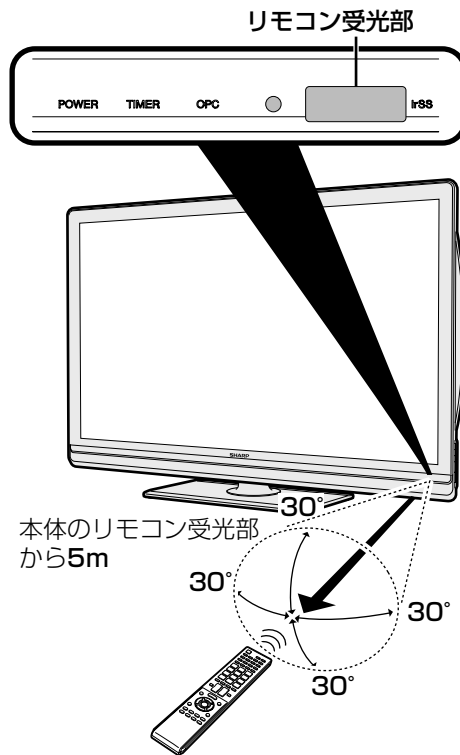
リモコンに乾電池を入れる

1 リモコン裏側の
電池カバーを開ける

2 付属の単4形乾電池
(アルカリ)を入れる

3 電池カバーを元どおりに
閉める

◇おしらせ◇

乾電池を交換するときは

- 乾電池は単 4 形のアルカリ乾電池をご使用ください。

リモコンで操作できる範囲

- リモコン送信の範囲と距離、本体のリモコン受信の範囲と距離を合わせて確実に 1 個のリモコンボタンを押してください。

◇おしらせ◇

リモコン使用上のご注意

- リモコンには衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり湿度の高いところに置かないでください。
- リモコン番号(⇒ **320** ページ)を設定する機能があるため、リモコンが付属している本機以外の AQUOS では正しく操作できない場合があります。
- リモコンを操作しても時々反応しなくなったときなどは、乾電池の寿命が考えられます。早めに新しい乾電池と交換してください。

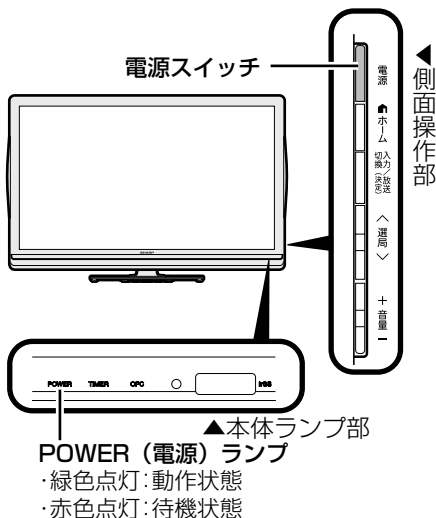
電源の入れかた

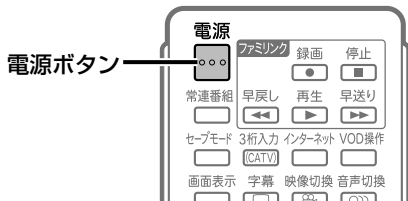
電源を入れる

- すべての接続を終えてから、電源を入れてください。

接続などの基本的な準備の流れ
- ⇒ **236** ページをご覧ください。

1 本体の側面操作部にある電源スイッチを押し、電源を入れる

- POWER（電源）ランプが緑色に点灯します。

2 リモコンの電源ボタンで電源を入／切する

電源
を押す

◇**おしらせ**◇
- 本機の電源を切る際、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。（本機内部の情報をメモリーに記憶するための時間です。）

消費電力について
- 電源コードを接続している場合は、本体の電源スイッチで電源を切っても微少な電力が消費されています。

クイック起動機能について（⇒ 38 ページ）
- リモコンで電源を入れたとき、起動時間を短縮してすぐに操作できる状態にする機能です。（この機能を使用すると待機時の消費電力が増えますので、あらかじめ同意の上でご使用ください。）

本機のデジタルチューナーを使って録画するときは本体の電源スイッチを押さないでください

- 本機のモニター出力（録画出力）からデジタル放送を出力してビデオデッキなどで録画する場合は、本体の電源スイッチで電源を切らないでリモコンの電源ボタンで電源を切る（待機状態にする）ようにしてください。
本体の電源スイッチで電源を切ると、録画・録画予約が実行されません。

予約をしたときや録画中に電源を切りたいときは、リモコンの電源ボタンで電源をお切りください。
本体の電源スイッチで電源を切ると、
- 予約が実行されません。
- 録画が停止します。

ホームメニューの使いかた

- 本機の設定や操作を行うとき、その入り口となる画面のことを「ホームメニュー」と呼びます。
- ここでは、ホームメニューの見かたや使いかたについて説明します。

ホームメニューの画面例

ホームメニュー項目

ガイド表示
- 選択した項目のガイダンスが表示されます。
- 選択した項目により表示内容が変わります。
- この位置、もしくは画面下に表示されます。

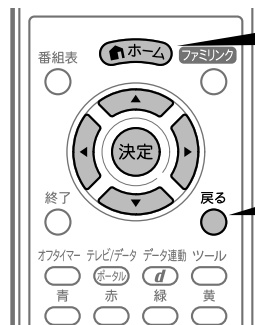
機能選択メニュー項目
（ホームメニュー項目により、表示されない場合もあります。）
- アイコンを選びます。
- 選んだ機能選択メニュー名が表示されます。

番組タイトルと番組情報
- 視聴中の番組タイトルが表示されます。
- 視聴中の番組情報が、テロップとして流れます。

視聴中の画面
- ホームメニューを呼び出すと、視聴中の画面は縮小表示されます。

機能別選択・設定項目
- 項目によって、表示や操作のしかたは異なります。それぞれのページをご覧ください。

- 本体のボタンでもホームメニューを操作できます。（⇒ **20** ページ）

ホームメニューの操作に使うリモコンのボタン

ホームメニューの基本的な操作のしかた

1 ホームメニューを表示する

ホーム を押す

2 ホームメニュー項目を選ぶ

で選び

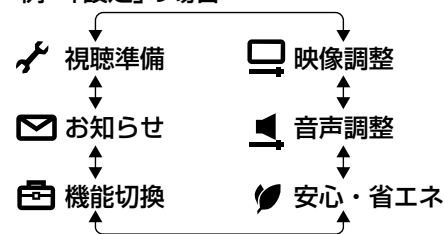
を押す

- ホームメニュー項目を選び直したいときは、戻るボタンを押します。

3 機能選択メニューがある場合は、項目を選ぶ

で選ぶ

4 機能別選択・設定項目を選ぶ

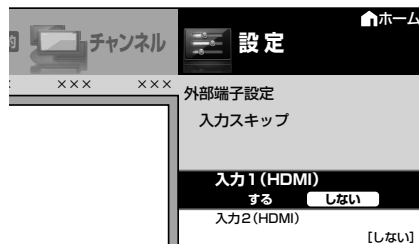
で選び 決定 を押す

- 表示される項目は、状況によって異なります。
- 各項目については、**28** ～ **31** ページをご覧ください。

▼「視聴準備」の機能別項目例

5 ガイド表示に従って、操作を進める

で選び 決定 を押す

- 選んだ項目により、さらに項目を選ぶ操作が続くこともあります。
- 項目により、操作のしかたが異なります。ガイド表示をご覧ください。

▼ガイド表示の例

で項目を選択 決定 で実行 戻る で前の画面に戻

▼設定画面の例

ホームメニューの項目一覧
⇒ **28** ～ **31** ページ

ホームメニューの項目一覧

チャンネル ⇒33

- ホームメニューから放送の種類→番組（またはチャンネル）の順に選んで視聴できます。

工場出荷時のデジタルチャンネル一覧

（2010年6月現在）

地上デジタル放送のチャンネル

数字ボタン（チャンネルボタン）	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK 総合・東京	011
2	NHK 教育・東京	021
3	―	―
4	日本テレビ	041
5	テレビ朝日	051
6	TBS	061
7	テレビ東京	071
8	フジテレビジョン	081
9	東京 MX テレビ	091
10	―	―
11	―	―
12	放送大学	121

BS デジタル放送のチャンネル

数字ボタン（チャンネルボタン）	テレビ		データ	
	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK BS1	101	―	―
2	NHK BS2	102	ウェザーニュース	910
3	NHK h	103	―	―
4	BS 日テレ	141	―	―
5	BS 朝日 1	151	―	―
6	BS-TBS	161	―	―
7	BS ジャパン	171	―	―
8	BS フジ・181	181	―	―
9	WOWOW	191	―	―
10	スターチャンネル	200	―	―
11	BS 11	211	―	―
12	TwellV	222	―	―

110度 CS デジタル放送のチャンネル

数字ボタン（チャンネルボタン）	テレビ
	チャンネル番号
1	100
2	001※
3	―
4	―
5	―
6	―
7	―
8	―
9	―
10	―
11	―
12	―

※ 2010年6月現在は、放送されていません。

◇**おしらせ**◇

- チャンネル一覧は変更されることがあります。

設定

- 本機をお使いになるためのさまざまな設定を行うことができます。

視聴準備

- 放送を視聴するための設定項目です。

映像調整

- お好みの映像に調整する項目です。

音声調整

・お好みの音声に調整する項目です。

オートボリューム	⇒**82**、**83**、**84**
高音	⇒**82**、**83**
低音	⇒**82**、**83**
バランス	⇒**82**、**83**
サラウンド	⇒**82**、**83**
音質補正	⇒**82**、**83**
リセット	⇒**82**、**83**
声の聞きやすさ	⇒**82**、**83**、**85**

安心・省エネ

・電力資源を有効に使用するための設定項目です。

照明オフ連動	⇒**90**
セーブモード設定	⇒**91**
オフタイマー	⇒**88**
おやすみタイマー	⇒**61**
おはようタイマー	⇒**62**
映像オフ	⇒**39**
無信号オフ	⇒**89**
無操作オフ	⇒**89**
ゲーム時間表示設定	⇒**125**
チャイルドロック	⇒**93**

機能切換

・本機のいろいろな機能の設定項目です。

視聴操作	⇒**34**、**36**、**38**、**65**、**129**
ファミリンク設定	⇒**99**、**100**、**101**、**111**、**136**～**140**、**143**、**155**
外部端子設定	
ヘッドホン	⇒**87**
入力6端子設定	⇒**118**、**126**
デジタル音声設定	⇒**127**
パソコン入力	⇒**130**
入力音声選択	⇒**131**
入力スキップ	⇒**115**
入力選択	⇒**115**
入力表示	⇒**116**
HDMIコンテンツタイプ連動	⇒**68**
デジタル固定	⇒**119**
IrSS自動切換	⇒**226**
番組表設定	
番組表取得	⇒**48**
表示方式	⇒**49**
表示順	⇒**49**
スキップ設定	⇒**275**
ジャンルアイコン設定	⇒**48**
ジャンルおすすめ設定	⇒**33**
視聴履歴リセット	⇒**33**、**51**
検索設定	⇒**47**
画面表示設定	
文字サイズ	⇒**59**
表示色	⇒**59**
選局効果	⇒**39**
字幕表示	⇒**55**
番組名表示	⇒**39**
映像反転	⇒**39**
画面位置	⇒**65**
オートワイド	⇒**66**～**67**

お知らせ

・本機が受信した情報を確認するための項目です。

受信機レポート	⇒**319**
放送局メッセージ	⇒**315**、**319**
ボード(CSデジタル)	⇒**241**、**319**
B-CASカード	⇒**319**
システム動作テスト	⇒**313**
ソフトウェアの更新	⇒**316**

次のページに続く

ツール

- 便利な機能をショートカットメニューにまとめました。

リンク操作

- 外部機器とファミリンク接続している場合に、本機から外部機器の操作を行うことができます。

リンク予約

- 外部機器とファミリンク接続している場合に、外部レコーダーの番組表を呼び出して録画予約を行うことができます。

レコーダーの番組表を表示	⇒**107**

番組表(予約)

- 放送の種類を選び、番組の検索や視聴／録画予約を行うことができます。

地上D 地上デジタル BS BSデジタル CS CSデジタル	
番組表	⇒**43**
日時検索	⇒**44**
ジャンル検索	⇒**45**
番組詳細検索	⇒**45、46**
予約リスト	⇒**152**
常連番組	⇒**52**
IPTV IPTV(テレビ)	
番組表	⇒**205**
日時検索	⇒**44**
ジャンル検索	⇒**45**
番組詳細検索	⇒**45、46**

番組を選ぶ（基本的な選びかた）

数字ボタンや選局ボタンで番組を選ぶ

- リモコンの基本的なボタンを使って選局してみましょう。

◇**おしらせ**◇
- デジタル放送はB-CASカードを挿入しないと視聴できません。

ビーキャス
B-CASカード
⇒**242**ページ

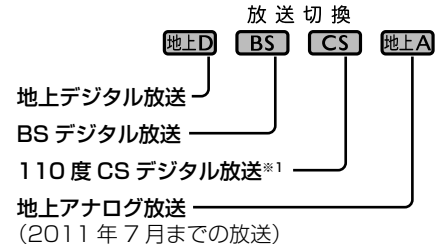
数字ボタン（チャンネルボタン）を使った選局と、放送切換ボタンについて
- チャンネルを切り換えたときに動きの効果がつくように設定できます。（⇒ **39** ページ）

電源を入れてから、操作を始めます。
本機のPOWER（電源）ランプが赤色点灯のときに押すと、電源が入ります。

1 見たい放送の種類を選ぶ

地上D / BS / CS / 地上A のいずれかを押す

放送切換
地上D　BS　CS　地上A

- **地上デジタル放送** — 地上D
- **BSデジタル放送** — BS
- **110度CSデジタル放送**※1 — CS
- **地上アナログ放送**（2011年7月までの放送） — 地上A

※1　110度CSデジタル放送を初めて選局するときは、⇒ **268** ページをご覧ください。

デジタル放送の場合

- テレビ/データ（ポータル）を押してメディアを選べます。

→ **テレビ** → **ラジオ**※2 → **データ** →

※2　2010年6月現在、BSデジタルのラジオ放送は行われておりません。ラジオ放送が再開された場合は、上記の順に切り換わります。

2 チャンネルを選ぶ

1 〜 12 または 選局 を押す

- 数字ボタン（チャンネルボタン）または選局ボタン（緑）を押します。

- 登録されているチャンネルの一覧を見る。（⇒ **40** ページ）

- 地上デジタル放送は、選局順が設定できます。（⇒ **41** ページ）
- チャンネルの切り換え時に動きの効果をつけることができます。（⇒ **39** ページ）

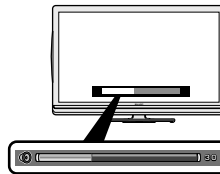
3 音量を調整する

音量 や 消音 を押す

- 音量ボタンや消音ボタンで調整します。
- 入力ごとに別々の音量に設定できます。

- 「＋」で音が大きく、「－」で音が小さくなります。

画面下部に音量レベルが表示されます。

消音

- 一時的に音を消せます。

ホームメニューから番組を選ぶ

・ホームメニューの番組一覧を表示して、番組名を確認しながら選局してみましょう。

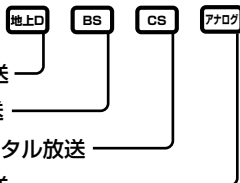
1 ホームメニューを表示して、「チャンネル」を選ぶ

ホームを押し　で選び　決定を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 見たい放送の種類を選ぶ

で選ぶ

地上デジタル放送
BS デジタル放送
110 度 CS デジタル放送
地上アナログ放送
（2011 年 7 月までの放送）

3 見たい番組を選ぶ

で選び　決定を押す

・選んだ番組に切り換わります。

・手順 **3** で、1 ～ 12 のボタンを押しても選べます。

・手順 **3** で決定せずに 青 を押すと、番組情報が表示されます。アナログ放送では、放送局番号とチャンネル番号のみ表示されます。

おすすめアイコンを表示する

・ホームメニューから「チャンネル」で見たい番組を探すとき、あなたがよく見ているジャンルの番組の番組情報画面におすすめアイコンを表示します。

・番組情報画面は、番組を　で選び、青 を押すと表示されます。

おすすめアイコン

・ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「番組表設定」－「ジャンルおすすめ設定」－「する」を選びます。

おすすめアイコンが 1 つも付いていない状態に戻すときは

・ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「番組表設定」－「視聴履歴リセット」－「する」を選びます。

3 桁入力で選ぶ（デジタル放送のみ）

- 3 桁チャンネル番号（デジタルチャンネル一覧⇒ **28** ページ）を入力しても選局できます。

1 地上D BS CS のいずれかを押す

デジタル放送の種類を選ぶ

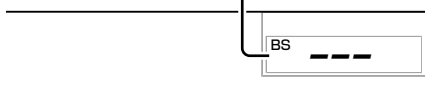
2 3桁入力（CATV）を押す

3桁入力欄を表示する

- 繰り返し押して放送の種類を切り換えることもできます。

３桁入力欄

BS ---

3 1 〜 10 で入力

3桁チャンネル番号を入力する

(例)BSデジタル放送の 161 チャンネル(BS-TBS)を入力する

BS 161

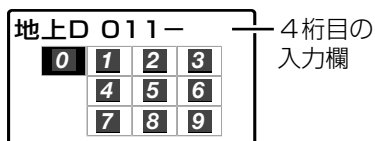
- 間違った番号を入力した場合は、3 桁入力ボタンを押してから入力をやり直します。
- 「0」を入力するときは 10 を押します。

◇**おしらせ**◇

ホームメニューから 3 桁入力欄を表示する

- 手順 **1** のあとに、「設定」－「（機能切換）」－「視聴操作」－「3 桁入力」を選びます。

地上デジタル放送の場合は

- 地上デジタル放送でチャンネル番号の重複する放送局がある場合は、4 桁目（枝番）の選択画面が表示されます。数字ボタン（チャンネルボタン）で枝番を入力します。

ケーブルテレビのチャンネルを選ぶ

- ケーブルテレビ（CATV）放送を視聴するには、CATV 会社との契約が必要です。
- CATV チャンネルは工場出荷時、チャンネルスキップ「する」に設定されています。（解除のしかた⇒ **285** ページ）
- 本機の CATV チャンネルは、C13 〜 C63 チャンネルの範囲で選局できます。

1 地上A を押す

地上アナログ放送を選ぶ

2 3桁入力（CATV）を押す

CATVを選ぶ

3 1 〜 12 で入力

チャンネル番号を入力する

(例）C23 を選ぶとき

- 2、3 の順に押します。

◇**おしらせ**◇

ホームメニューからケーブルテレビのチャンネルを選ぶ

- ホームメニューから「設定」－「（機能切換)」－「視聴操作」－「CATV」を選びます。

データ放送で天気予報や株価などの情報を見る

- データ放送には、テレビ放送に連動した「連動データ放送」と、データ放送専門の「独立データ放送」があります。

データ放送画面の基本操作

- データ放送は放送局側で制作したメニュー画面により操作が異なりますので、画面の表示に従って操作してください。
- 例えば、カーソルボタン（上・下・左・右）で画面の項目を選んで決定したり、カラーボタン（青・赤・緑・黄）で対応する項目を選んだりして操作します。

連動データ放送を表示する

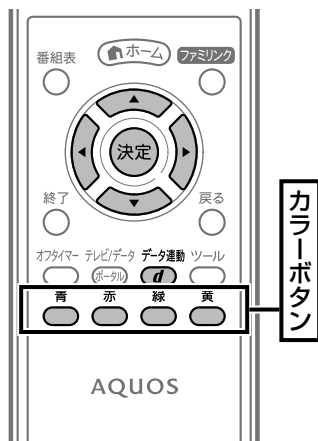
データ連動 d を押す

連動データ放送を含む番組の視聴中に、連動データ放送の画面を表示する

（例）

- テレビ放送に戻すときは、もう一度データ連動ボタンを押します。

◇おしらせ◇

- 電源を入れた直後やチャンネルを切り換えた直後は、データ連動ボタンを押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、約 20 秒待ってからもう一度データ連動ボタンを押してください。（表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。）

独立データ放送の番組から選ぶ

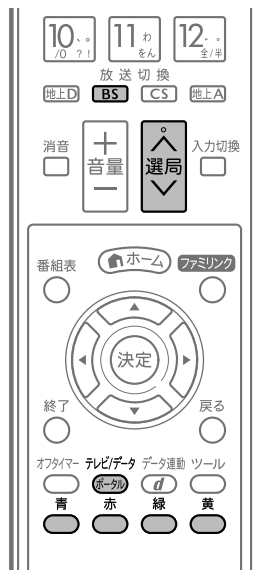
1 BS を押す

BSデジタル放送を選ぶ

2 テレビ/データ ポータル を押す

放送の種類をデータ放送に切り換える

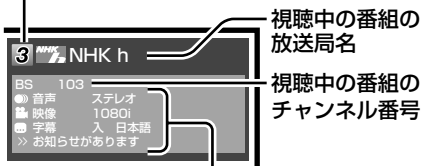
3 選局 を押す

天気予報や株価のチャンネルを選ぶ

放送の種類やチャンネルの確認のしかた

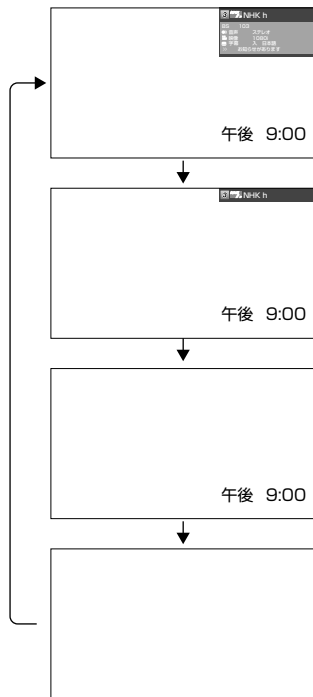
- 放送の種類やチャンネルはテレビ画面のチャンネルサインで確認できます。

1 画面表示 を押す

チャンネルサインを表示する

▼テレビ画面のチャンネルサイン

2 画面表示 を押す

チャンネルサインの表示を切り換える

- 次のように切り換わります。

- 上記は、「時刻表示」(⇒ **37** ページ)を「する」にしている場合です。

デジタル放送の番組の詳細を知りたいときは

- デジタル放送の番組視聴中に、番組情報が表示できます。

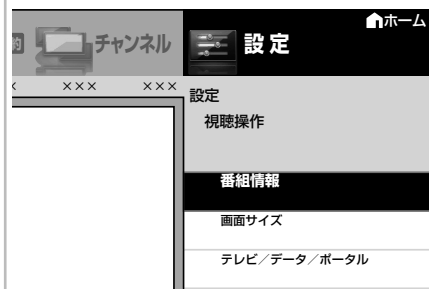
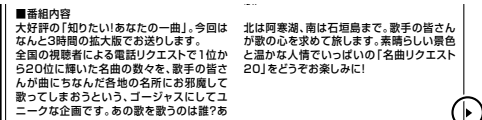
1 ホーム を押し で選び 決定 を押す

ホームメニューを表示して、「設定」−「(機能切換)」−「視聴操作」を選ぶ

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 で選び 決定 を押す

「番組情報」を選ぶ

番組情報の画面例

他にも情報がある場合に表示されます。

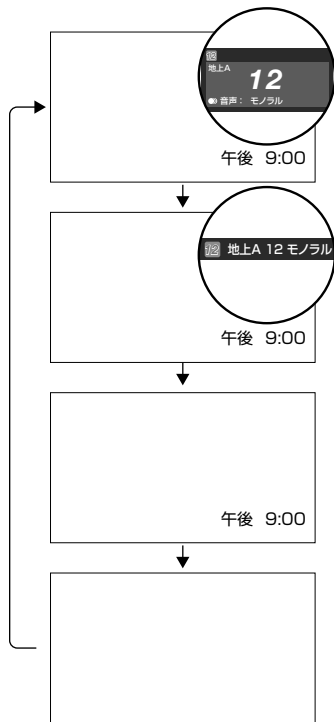
- 番組情報の右側に◀ ▶マークがある場合は、左右カーソルボタンで表示を切り換えられます。
- 終了ボタンを押すと、番組情報が消えます。

時刻を表示する／時刻表示のタイプを変える

時刻表示のしかたを選ぶ

- ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「各種設定」－「時計設定」－「時刻表示」で設定します。

項目	内容
する	• 画面表示ボタンを押すたびに、現在時刻を表示／非表示にします。
する（30分ごと）	• 毎時 00 分と 30 分に現在時刻を表示します。
しない	• 表示しません。

- 「する」に設定したときは、画面表示 を押すごとに、以下のように表示が変わります。

◇**おしらせ**◇

- デジタル放送が受信できないなど、時刻が自動設定されないときは、「時刻設定」を行ってください。（⇒ **60** ページ）

時刻表示のタイプを変える（時計タイプ）

- 時刻表示するときの、時計のタイプを変えられます。
- ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「各種設定」－「時計設定」－「時計タイプ」で設定します。

項目	内容
デジタル	• 画面にデジタルタイプの時計が表示されます。
アナログ	• 画面にアナログタイプの時計が表示されます。

時計タイプ「デジタル」の表示例

午後 9:00

時計タイプ「アナログ」の表示例

◇**おしらせ**◇

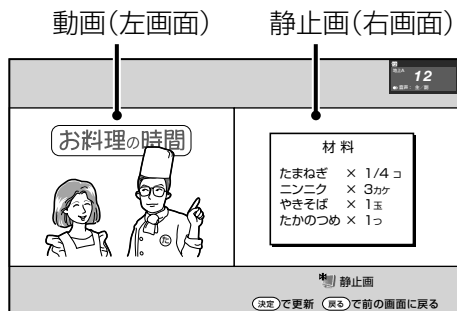
- 「時計タイプ」を「アナログ」に設定していても、ホームネットワークまたは USB で視聴しているときは、「デジタル」の時計が表示されます。
- ホームネットワークまたは USB で視聴しているときは、「時計タイプ」の設定ができません。

画面を静止させる

・いま見ている放送や映像を静止できます。料理番組のメモをとったりするときに便利です。

静止画の画面例

1 視聴中に映像を静止させる

静止を押す

・動画と静止画の2画面になります。

・静止画表示中に決定ボタンを押すと、そのときに表示されていた動画が新しい静止画として表示されます。

2 元に戻す

静止を押す

・視聴中のチャンネルの現在の映像に戻ります。

・戻るボタンまたは終了ボタンを押しても元に戻ります。

次の場合は、静止画が解除されます。

・選局や入力切換の操作をしたとき
・ホーム(メニュー)/ツール/ファミリンクボタンを押したとき
・映像を静止してから30分経過したとき

静止画表示中は、次のことができません。

・画面サイズの切り換え
・AVポジションの切り換え
・番組表、裏番組、番組情報の表示

◇**おしらせ**◇

・ホームメニューから「設定」－「(機能切換)」－「視聴操作」－「静止」を選んでも静止できます。

電源を入れてから画面が出るまでの時間を早くする

クイック起動設定とは

・クイック起動設定とは、電源を入れてから画面が出るまでの時間を早くするための設定です。

・ホームメニューから「設定」－「(視聴準備)」－「クイック起動設定」で設定します。

項目	内容
しない	・クイック起動しません。
する(常に有効)	・電源切時に、常に有効にします。「しない」ときより、待機時の消費電力が増えます。
する(2時間のみ有効)	・電源切後2時間のみクイック起動を有効にします。

◇**おしらせ**◇

・クイック起動設定を「する」に設定した場合は、待機時の消費電力が増えますので、あらかじめ同意の上でご使用ください。

番組名を表示する

- 選局したときに、番組名を表示するように設定することができます。
- ホームメニューから「設定」－「(機能切換)」－「画面表示設定」－「番組名表示」で設定します。

項目	内容
する	• 選局したときに、番組タイトルや放送時間が画面に表示されます。選局したチャンネルで次の番組が2分以内に始まる場合は、次の番組名と時間も表示されます。
しない	• 何も表示しません。

◇**おしらせ**◇

- 2画面でPinP表示（⇒**57**ページ）しているときは、子画面に次番組は表示されません。

映像を消して音声だけを聞く（映像オフ）

- ホームメニューから「設定」－「(安心·省エネ)」－「映像オフ」で設定します。

項目	内容
する	• 映像を消して、音声だけを楽しめます。
しない	• 映像と音声を楽しむ通常の状態にします。

◇**おしらせ**◇

- 映像オフを「する」にしているとき、オフタイマー残り時間などのメッセージが表示されると、映像が復帰します。
- 操作により映像が復帰したり、一度電源を切ったりすると、自動的に設定が「しない」になります。

映像を復帰させたいときは

- 選局ボタン（緑）を押すなど、「音量調整」、「消音」、「音声切換」以外の操作をしてください。

チャンネルの切り換え時に動きの効果をつける

- チャンネルを切り換えたときに動きの効果がつくよう設定できます。
- ホームメニューから「設定」－「(機能切換)」－「画面表示設定」－「選局効果」で設定します。

項目	内容
する	• 選局効果を設定します。
しない	• 選局効果を設定しません。

「する」に設定したときの画面の切り換わりかた

- 選局ボタンで選局したときは、画面の上または下から次のチャンネルに変わります。
- 放送切換ボタンで選局したときは、画面の左または右から次のチャンネルに変わります。
- チャンネルボタンや3桁入力（⇒**34**ページ）などその他の手順で選局したときは、画面の外周または中央から次のチャンネルに切り換わります。

映像の向きを変えるには（映像反転）

- 映像を反転して映せます。映像を鏡に映してご覧になるときなどに便利です。
- ホームメニューから「設定」－「(機能切換)」－「画面表示設定」－「映像反転」で設定します。
- 決定ボタンを押さなくても、選択しただけで画面が反転します。

項目	内容
しない	• 通常の表示にします。（工場出荷時の設定） ABC
左右反転	• 左右を反転します。 ƆBA

◇**おしらせ**◇

- ホームメニューも反転表示されます。
- 音声は左右反転しません。

数字ボタンで選局できるチャンネルを確認・変更する（デジタル放送のみ）

• 数字ボタン（チャンネルボタン）の登録内容が確認できます。また、現在の登録を変更することもできます。

登録チャンネルを確認する

1 地上D BS CS のいずれかを押す テレビ/データ ポータル を押す

登録を確認したいデジタル放送に切り換える

• 確認したいデジタル放送の種類（地上デジタル放送／BS デジタル放送／110 度 CS デジタル放送）やメディア（テレビ／データ）を選びます。

メディアを切り換える場合は

• テレビ/データ ポータル を押して、メディア（テレビ／データ／ポータル）を選びます。

2 ホーム を押し 決定 で選び 決定 を押す

ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「テレビ放送設定」を選ぶ

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 決定 で選び 決定 を押す

「チャンネル設定」を選ぶ

4 決定 で選び 決定 を押す

「デジタル登録」を選ぶ

5 決定 で選び 決定 を押す

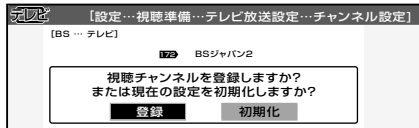
「する」を選ぶ

• チャンネルの一覧が表示されます。
• 終了する場合は、ホームボタンを押します。

チャンネルを登録する

1 登録したいチャンネルを選局する

2 左記の手順2〜手順5を行う

3 「登録」を選ぶ

で選び 決定 を押す

4 登録したい数字ボタン（チャンネルボタン）を押す

1 〜 12 のいずれかを押す

- 登録確認画面が表示されます。
- 終了する場合は、ホームボタンを押します。（押さなくても、しばらくすると画面表示は消えます。）

◇**おしらせ**◇
- 登録できるのは、各デジタル放送ネットワーク（地上、BS、CS）の各メディア（テレビ／データ）につき 12 局までです。
- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、手順 **3** で「初期化」を選び、決定ボタンを押したあと左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。
- 手順 **4** のデジタル登録画面を表示中に、各放送切換ボタンまたはテレビ／データ／ポータルボタンを押すと、放送の種類とテレビ／データが切り換わり、その放送のデジタル登録画面が表示されます。
- 放送のないメディア（テレビ／データ）には切り換わりません。

選局ボタンの選局順を変更する（地上デジタル放送のみ）

- 工場出荷時は、3 桁のチャンネル番号順に選局されます。この順番を番組表（⇒ **42** ページ）に表示されている順番に変更することもできます。

1 前ページの手順1で地上デジタル放送を選ぶ

2 前ページの手順2〜手順3を行う

3 「地上デジタル」を選ぶ

で選び 決定 を押す

4 「地上デジタル―選局順」を選ぶ

で選び 決定 を押す

5 「モード1」または「モード2」を選ぶ

で選び 決定 を押す

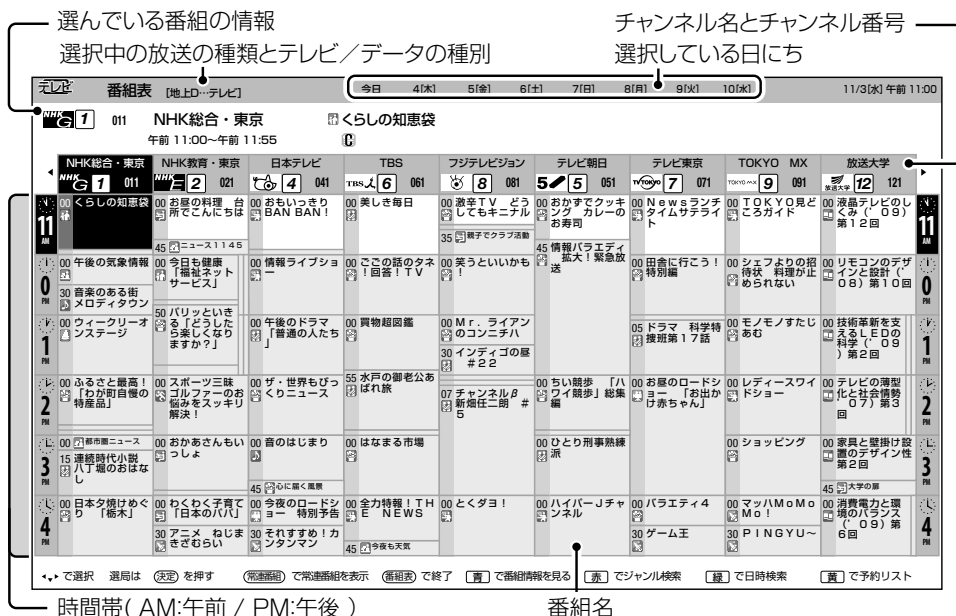
設定値	内容
モード 1	• 放送局推奨の番組表並び順で選局できます。
モード 2	• チャンネル番号（3 桁）の順番で選局できます

- 操作を終了する場合はホームボタンを押します。

番組表の使いかた

IPTV の番組表について
・⇒ **205** ページをご覧ください。

・テレビ画面にデジタル放送の番組表を表示して、その中から番組を選べます。（地上アナログ放送の番組表はありません。）

番組表の画面例

ジャンルを示すアイコン

アイコン	ジャンル
	おすすめ
	スポーツ
	ドラマ
	バラエティ
	アニメ／特撮
	劇場／公演
	福祉

アイコン	ジャンル
	ニュース／報道
	情報／ワイドショー
	音楽
	映画
	ドキュメンタリー／教養
	趣味／教育

番組情報を示すアイコン

アイコン	項目
	視聴予約している番組
	録画予約（VHSテープ予約）している番組
	録画予約（ファミリンク録画予約）している番組
	USB-HDD録画予約している番組
	有料放送
	デジタルコピーが禁止されている番組
	デジタルコピーが制限されている番組

表示される情報の期間

・テレビ放送……8 日分
・データ放送……最低 1 日分
・表示時間………3 時間または 6 時間（文字サイズの設定によって変わります。⇒ **59** ページ）

◇**おしらせ**◇

本書に記載の番組表の画面例について

・本書では、おもに地上デジタル放送の番組表の画面例で記載しています。
・本書に記載の番組表は、画面に情報を多く表示できるように設定したものを例にしています。「文字サイズ」（⇒ **59** ページ）を「標準」に、「表示方式」（⇒ **49** ページ）を「モード 1」に設定すると、画面に情報を多く表示できるようになります。

地上デジタル放送の番組表の取得について

・地上デジタル放送の番組表は、各チャンネルから取得する必要があります。一度、各チャンネルを選局すれば番組表を取得できます。
・「番組表取得」の設定で、電源待機中に番組表を自動で取得することもできます。（⇒ **48** ページ）

番組表で番組を選ぶ

- 番組表を表示して、選局してみましょう。

常連番組機能で、いつも見ている番組が手軽に見られます。（デジタル放送のみ）⇒ **50** ～ **52** ページ

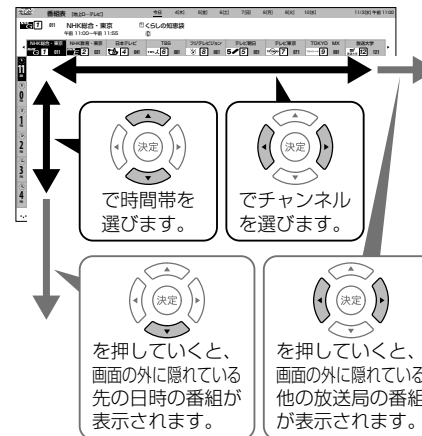
1 番組表を表示する

番組表 を押す

- 放送切換ボタンやテレビ／データ／ポータルボタンで、放送の種類（番組表の表示内容）を変更できます。
- ホームメニューから表示する場合は、「番組表（予約）」から放送の種類、「番組表」の順に選びます。

モード 1 の画面例
（放送局名の表示は変更になることがあります。）

- 番組表の表示方式を切り換えることができます。（⇒ **49** ページ）

2 見たい番組を選ぶ

で選ぶ

- 現在の時間帯より前の番組表は表示できません。

3 決定する

決定 を押す

- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- 放送予定の番組を選んだときは、予約選択画面になります。（予約については⇒ **106**、**120**、**148** ページをご覧ください。）

- 番組表を閉じるときは、番組表 を押して閉じます。

◇**おしらせ**◇

番組表の表示中に次の操作をしたときは、一時的に音声が停止します。

- カーソルボタンで別のチャンネルを選んだとき
- 放送切換ボタン（地上 D・BS・CS）で放送の種類を切り換えたとき
- 赤ボタンでジャンル検索画面を表示したとき
- 緑ボタンで日時検索画面を表示したとき
- 黄ボタンで予約リスト画面を表示したとき
- 常連番組の番組欄から通常の番組表に戻るとき

放送中の他の番組（裏番組）を調べることができます。

- 操作のしかたは、「ホームメニューから番組を選ぶ」（⇒ **33** ページ）をご覧ください。

番組内容の紹介（番組情報）を見る

1 番組表を表示する

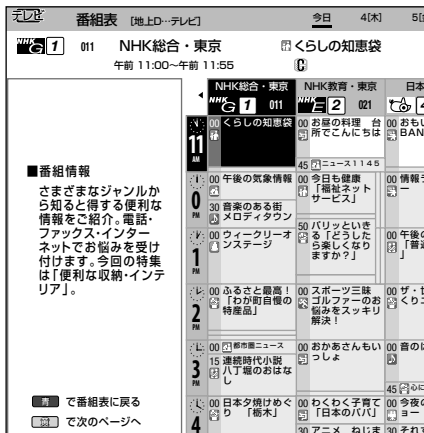
番組表 を押す

- 表示のしかた⇒ **43** ページ

2 内容を確認したい番組を選ぶ

で選ぶ

3 番組情報を見る

青 を押す

- 番組情報が表示されます。

- 番組情報案内に従って、カラーボタン、テレビ／データボタン、カーソルボタンを使い、希望する情報を選択します。

視聴中の番組の情報を見るには

- ホーム を押してホームメニューを表示させると、画面下部に視聴中の番組情報が表示されます。（番組表を表示する必要はありません。）

日時で番組を探す

1 番組表を表示する

番組表 を押す

- 表示のしかた⇒ **43** ページ

2 日時検索の画面を表示する

緑 を押す

- ホームメニューから日時検索することもできます。

3 時間帯を選ぶ

で選び

を押す

- 緑ボタンと黄ボタンで日にちを変更できます。

4 見たい番組を選ぶ

決定 で選び 決定 を押す

- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- 放送予定の番組を選んだときは、予約選択画面になります。（予約については⇒ **106**、**120**、**148** ページをご覧ください。）

ジャンルから番組を探す

1 番組表を表示する

番組表 ○ を押す

- 表示のしかた⇒ **43** ページ

2 ジャンル検索の画面を表示する

赤 ○ を押す

ジャンル検索の画面例

3 見たいジャンルと日にちを選ぶ

で選ぶ

- 上下カーソルボタンでジャンルを、左右カーソルボタンで日にちを選ぶと、検索された番組が表示されます。
- 「おすすめ」を選ぶと、過去の視聴履歴をもとにあなたへのおすすめ番組を検索します。

4 決定する

決定 を押す

- カーソルが番組に移動し、番組を選べるようになります。

5 番組を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 番組の情報が表示されます。
- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- 放送予定の番組を選んだときは、予約選択画面になります。
- 番組表 ○ で検索を終了します。

◇おしらせ◇

- ホームメニューからジャンル検索を行う場合は､「番組表（予約)」－「放送の種類」－「ジャンル検索」を選びます。

ジャンル検索と番組詳細検索の切換えについて

- ジャンル検索画面でカラーボタン（赤）を押すと、番組詳細検索画面に切り換わります。ジャンル検索画面に戻るときは、戻るボタンを押してください。
- ホームメニューから番組詳細検索を行う場合は､「番組表（予約)」－（放送の種類）－「番組詳細検索」を選びます。

検索条件を指定して番組を探す（特徴検索）

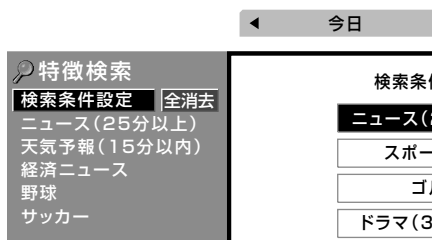
- 検索条件を選択し、その条件に当てはまる番組を検索できます。
- 工場出荷時は、検索条件が設定されていません。特徴検索を初めてお使いになるときは、まず検索条件設定をする必要があります。
- 検索条件設定で検索条件を変えられます。

検索条件を設定する

1 番組表を表示して、番組詳細検索の画面を表示する

番組表 ◯ を押し 赤 ◯ を２回押す

- ジャンル検索→番組詳細検索に、画面が切り換わります。

2 「検索条件設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 検索条件を選ぶ

で選び 決定 を押す

- ５つまで選べます。５つを超えた場合、古いものから削除されます。

検索条件を選んで変更するときは

- 手順 **2** で変更したい検索条件を選び、赤 ◯ を押します。次に、「変更する」を選んで決定します。

検索条件を選んで消去するときは

- 手順 **2** で消去したい検索条件を選び、赤 ◯ を押します。次に、「消去する」を選んで決定します。

検索条件をすべて消去するときは

- 手順 **2** で「全消去」を選び、決定します。次に、「する」を選んで決定します。

検索条件を指定して検索する

1 番組表を表示して、番組詳細検索の画面を表示する

番組表 ◯ を押し 赤 ◯ を２回押す

- ジャンル検索→番組詳細検索に、画面が切り換わります。

2 検索条件と日にちを選ぶ

で選ぶ

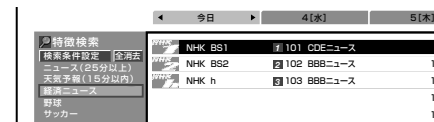
- 上下カーソルボタンで検索条件を、左右カーソルボタンで日にちを選ぶと、検索された番組が表示されます。

3 決定する

を押す

- カーソルが番組に移動し、番組を選べるようになります。

4 番組を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 番組の情報が表示されます。
- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- 放送予定の番組を選んだときは、予約選択画面になります。
- 番組表 ◯ で検索を終了します。

キーワードで番組を探す（キーワード検索）

- キーワードを入力し、キーワードを含む番組を検索できます。
- 工場出荷時は、キーワードが設定されていません。キーワード検索を初めてお使いになるときは、まずキーワード設定をする必要があります。
- キーワード設定でキーワードを変えられます。

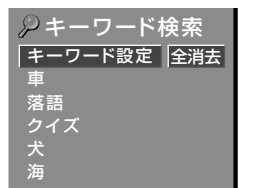
キーワードを設定する

1 番組表を表示して、番組詳細検索の画面を表示する

番組表 を押し 赤 を２回押す

- ジャンル検索→番組詳細検索に、画面が切り換わります。

2 「キーワード設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 キーワードを入力する

- ソフトウェアキーボード（⇒ **94** ページ）を使って、キーワードを入力します。
- 全角 20 文字まで入力できます。（半角文字は入力できません。）
- 5 つまで追加できます。5 つを超えた場合、古いものから削除されます。

キーワードを選んで変更するときは

- 手順 **2** で変更したいキーワードを選び、赤 を押します。次に、「変更する」を選んで決定します。

キーワードを選んで消去するときは

- 手順 **2** で消去したいキーワードを選び、赤 を押します。次に、「消去する」を選んで決定します。

キーワードをすべて消去するときは

- 手順 **2** で「全消去」を選び、決定します。次に、「する」を選んで決定します。

キーワードを指定して検索する

1 番組表を表示して、番組詳細検索の画面を表示する

番組表 を押し 赤 を２回押す

- ジャンル検索→番組詳細検索に、画面が切り換わります。

2 キーワードと日にちを選ぶ

で選ぶ

- 上下カーソルボタンでキーワードを、左右カーソルボタンで日にちを選ぶと、検索された番組が表示されます。

3 決定する

を押す

- カーソルが番組に移動し、番組を選べるようになります。

4 番組を選ぶ

- 番組の情報が表示されます。
- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- 放送予定の番組を選んだときは、予約選択画面になります。
- 番組表 で検索を終了します。

で選び 決定 を押す

キーワード検索で、ひらがなとカタカナの区別をしたくないときは

- ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「番組表設定」－「検索設定」－「しない」を選びます。

地上デジタル放送の番組表をスムーズに表示させる

- 地上デジタル放送の番組表を、電源待機中に自動取得できます。自動取得しておくと、番組表の表示がスムーズになります。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「番組表設定」を選ぶ

を押し

で選び

決定 を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「番組表取得」を選ぶ

番組表取得
表示方式
表示順
スキップ設定
ジャンルアイコン設定
ジャンルおすすめ設定
視聴履歴リセット
検索設定

地上デジタル放送の番組表を自動
取得しますか?
する　しな

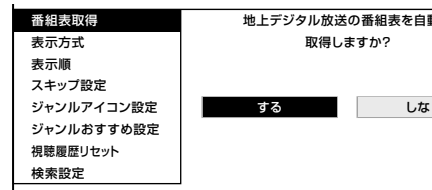
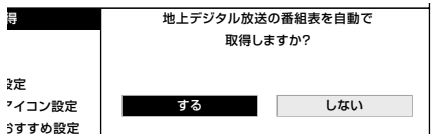
で選び

を押す

3 「する」を選ぶ

地上デジタル放送の番組表を自動で
取得しますか?
する　しない

で選び

決定 を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

番組表取得を「する」に設定した場合は

- リモコンで電源を切っても、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります（本機が放送局の番組情報を取得しているためです。）
- 本体の電源スイッチで電源を切った場合は、自動取得できません。

番組表のジャンルアイコンの色を変える

- 番組表のジャンルを示すアイコン（⇒ **42** ページ）の色をお好みにより選択できます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「番組表設定」を選ぶ

を押し

で選び

決定 を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「ジャンルアイコン設定」を選ぶ

番組表取得
表示方式
表示順
スキップ設定
ジャンルアイコン設定
ジャンルおすすめ設定
視聴履歴リセット

ジャンルアイコンの設定です。

で選び

決定 を押す

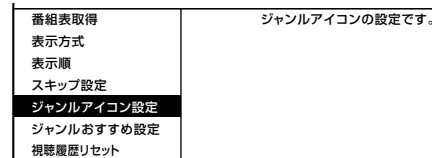
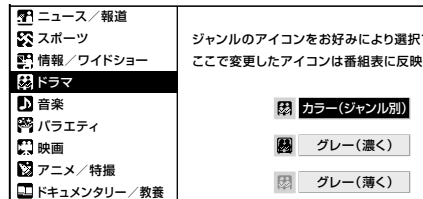
3 ジャンル名を選ぶ

ニュース／報道
スポーツ
情報／ワイドショー
ドラマ
音楽
バラエティ
映画
アニメ／特撮
ドキュメンタリー／教養

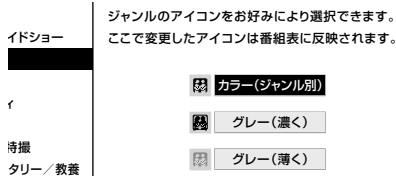
ジャンルのアイコンをお好みにより選択
ここで変更したアイコンは番組表に反映

カラー(ジャンル別)
グレー(濃く)
グレー(薄く)

で選び

決定 を押す

4 「カラー(ジャンル別)」「グレー(濃く)」「グレー(薄く)」のいずれかを選ぶ

で選び

決定 を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

番組表の並べかたや表示範囲を変える（表示方式）

- 番組表に一度に表示できる範囲の設定ができます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」–「(機能切換)」–「番組表設定」を選ぶ

ホーム を押し　で選び　決定 を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「表示方式」を選ぶ

で選び　決定 を押す

番組表取得
表示方式
表示順
スキップ設定
ジャンルアイコン設定
ジャンルおすすめ設定
視聴履歴リセット
検索設定

番組表に一度に表示できる範囲を選択

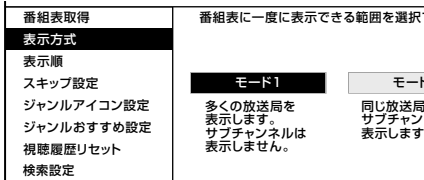
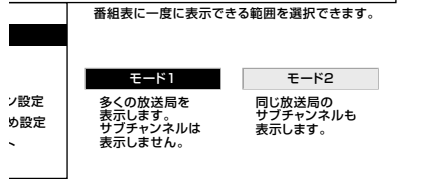
モード1
多くの放送局を表示します。サブチャンネルは表示しません。

モード2
同じ放送局のサブチャンネルも表示します

3 「モード１」または「モード２」を選ぶ

で選び　決定 を押す

番組表に一度に表示できる範囲を選択できます。

モード1
多くの放送局を表示します。サブチャンネルは表示しません。

モード2
同じ放送局のサブチャンネルも表示します。

項目	内容
モード１	• 多くのチャンネル※を同時表示します。（工場出荷時には「モード１」に設定されています。）
モード２	• 同じ放送局のサブチャンネルも表示します。

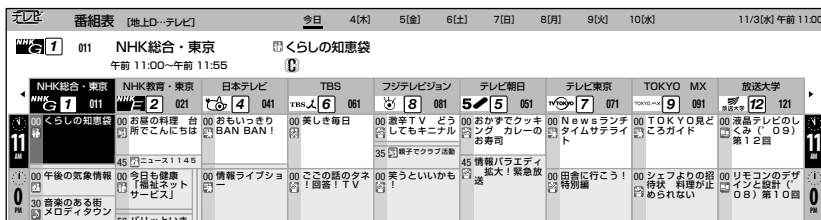
※文字サイズの設定が「標準」のときは、９チャンネル分を表示します。文字サイズの設定が「大きな文字」のときは、７チャンネル分を表示します。

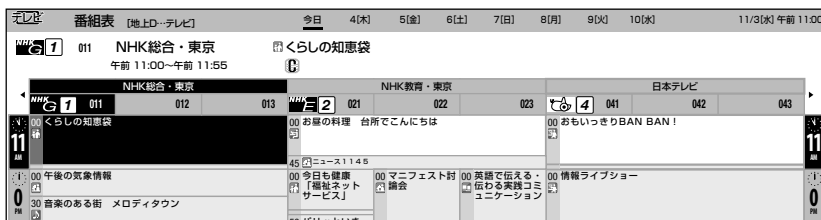
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

- 文字サイズ（⇒ **59** ページ）を「大きな文字」にしている場合は、「モード２」は選べません。
- 手順 **2** で「表示順」を選ぶと、番組表に表示されるチャンネルの順番を設定できます。
  モード１：放送局推奨の並び順になります。
  モード２：チャンネル番号順になります。

番組表「モード１」の画面例

- 多くのチャンネルを表示できます。

番組表「モード２」の画面例

- サブチャンネルを表示できます。

常連番組機能で番組を見る（デジタル放送のみ）

・常連番組機能は、いつも見ている番組（デジタル放送の番組）が手軽に見られる便利な機能です。本機を使い込むうちに、その曜日時刻にいつも見ている番組をすぐに選局できるようになります。

◆ 重　要 ◆

・常連番組機能は、デジタル放送に対応する機能です。
・本機をご購入いただいて初めてお使いになる場合など視聴履歴がないときは、常連番組機能が正しく動作しません。

◇おしらせ◇

・曜日と時間帯ごとによく見ていた番組（ジャンル）が常連番組の候補になります。
・常連番組は、その時間帯に放送されている番組の中から選ばれます。

常連番組ボタンで常連番組を選局する

- リモコンの常連番組ボタンを押して、常連番組を選局できます。

1 地上D BS CS のいずれかを押し 常連番組 を押す

常連番組を選局する

- その時刻の常連番組（デジタル放送）が視聴できます。

常連番組視聴中にチャンネルサインを表示すると、**常連番組アイコン**が表示されます。

◇**おしらせ**◇

- 常連番組の視聴中に番組表を表示すると、常連番組の番組欄を含んだ番組表が表示されます。
- 常連番組の視聴中に常連番組ボタン以外の選局操作をすると、通常の視聴に戻ります。
- 常連番組選局中は、デジタル固定ができません。

常連番組の番組情報を見たいときは

- 常連番組の視聴中にホームメニューから「設定」－「(機能切換)」－「視聴操作」－「番組情報」を選びます。

本機の電源を入れると常連番組が自動で選局されるように設定する

- ホームメニューから「設定」－「(視聴準備)」－「起動チャンネル設定」で設定します。

項目	内容
通常	• 電源を切った時のチャンネルを表示します。
常連番組	• 常連番組を表示します。

◇**おしらせ**◇

- 起動チャンネル設定を「常連番組」に設定している場合は、本機の電源を入れると、前回電源を切る直前に見ていたチャンネルが映り、その後に常連番組に切り換わります。
- 常連番組に切り換わる前に選局ボタンまたはホームボタンを押すと、常連番組への切り換えは解除されます。
- 起動チャンネル設定を「常連番組」に設定していても、おはようタイマー、視聴予約、録画予約、デジタル固定時は、常連番組に切り換わりません。
- 予約の準備中や実行中（⇒ **106** ～ **107**、**120** ～ **121**、**123**、**148** ～ **149** ページ）は、「起動チャンネル設定」の設定内容どおりに動作しない場合があります。
- 電源コードを抜いたときには、視聴履歴の情報が記録されないことがあります。
- より正しく動作させるためには、番組表取得（⇒ **48** ページ）を「する」に設定して、リモコンで電源を切ることをおすすめします。

常連番組の視聴履歴を消したいときは

- ホームメニューから「設定」－「(機能切換)」－「番組表設定」－「視聴履歴リセット」－「する」を選びます。

番組表で常連番組を選局する

- デジタル放送の番組表から、常連番組を選べます。

1 デジタル放送を選ぶ

地上D BS CS のいずれかを押す

- 常連番組機能は、デジタル放送のテレビ放送にだけ対応する機能です。

2 通常の番組表を表示する

番組表 を押す

3 常連番組の番組欄を表示する

常連番組 を押す

- 番組表の中に、一つのチャンネルのように常連番組が表示されます。

濃い灰色表示は、常連番組としての優先順位が低い番組のため、その放送時間内でも優先順位の高い番組が始まると切り換わります。

4 常連番組の番組欄から、常連番組を選ぶ

で選び

を押す

- 放送中の番組を選ぶと、視聴できます。
- 放送予定の番組を選ぶと、予約選択画面になります。（予約については⇒ **106**、**120**、**148** ページをご覧ください。）
- 通常の番組表に戻りたいときは、常連番組ボタン／青ボタン／戻るボタンのいずれかを押して戻ります。
- 番組表ボタンまたは終了ボタンを押すと、通常の視聴に戻ります。

◇おしらせ◇

- ホームメニューから「番組表（予約）」ー「地上デジタル」「BS デジタル」「CS デジタル」のいずれかを選び、「常連番組」を選んでも、常連番組の番組表を表示できます。

音声・映像・字幕を切り換える

地上アナログ放送で二重音声放送
(二ヶ国語、主音声＋副音声、ステレオ)
の音声を切り換える

- 二重音声放送やステレオ放送の番組をご覧のとき、音声を切り換えて楽しめます。

◇**おしらせ**◇

音声の見分けかた

- 二重音声放送やステレオ放送、モノラル放送は、テレビ画面のチャンネルサインの色で区別することができます。

▼テレビ画面のチャンネルサイン

二重音声放送のとき

ステレオ放送のとき

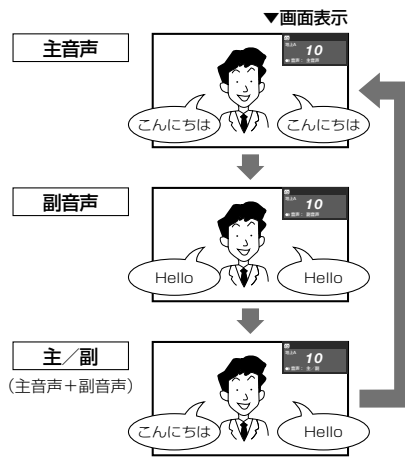
モノラル放送のとき

二重音声放送の音声を切り換える

- ニュースや洋画などの二ヶ国語放送で、吹き替えの日本語（主音声）と英語などの外国語（副音声）の２種類の音声が楽しめます。

音声切換 を押す

お好みの音声を選ぶ

- ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

音声をモノラルで聞きたいときは

- ステレオ放送のときは、自動的にステレオ音声になります。
- 音声切換ボタンを押すと、「モノラル」になります。ステレオ放送を受信してもモノラル音声になります。
  テレビ画面右上のチャンネルサインに「モノラル」と表示されます。
  ステレオ音声で聞くときは、再度音声切換ボタンを押してステレオ音声に切り換えてください。

◇**おしらせ**◇

- 雑音が多いときは、音声切換ボタンで「モノラル」にすると雑音が減って聞きやすくなることがあります。

デジタル放送で映像・音声・字幕を切り換える

- 複数の映像（最大４つ）または音声（最大８つ）がある番組をご覧のとき、映像および音声を切り換えて楽しめます。
- 字幕のある番組をご覧のとき、字幕を表示できます。複数の字幕がある番組の場合は、字幕を切り換えて楽しめます。

▼テレビ画面のチャンネルサイン

複数の映像を楽しむ

映像切換 を押す

映像を切り換える

- ボタンを押すたびに映像※が切り換わり、テレビ画面右上のチャンネルサインに映像表示が出ます。
  ※ 番組によって映像の数は異なります。

複数の音声を切り換える

音声切換 を押す

音声を切り換える

- ボタンを押すたびに音声が切り換わり、テレビ画面右上のチャンネルサインに音声表示が出ます。
- デジタル放送は「モノラル」への切り換えができません。

マルチ音声番組のとき

→ 音声１ → 音声２～８※ →（音声１に戻る）

※ 番組によって、音声の数は異なります。

二重音声番組のとき

→ 主 → 副 → 主／副 →（主に戻る）

◇**おしらせ**◇

- マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、「音声 1」が選択されます。
- 二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
- 二重音声やマルチ音声（ステレオ二重音声）のときの言語表記は、放送からの情報による表示であり、必ずしも表記どおりでないことがあります。

字幕を表示する／複数の字幕を切り換える

字幕 を押す

字幕を表示する（切り換える）

「字幕表示」を「リモコン切換」に設定している場合

- 字幕ボタンを押すたび次のように切り換わります。（字幕表示の入／切ができます。）

字幕が２種類あるとき

→ 字幕非表示 → 字幕１表示 → 字幕２表示 →（字幕非表示に戻る）

字幕が１種類のとき

→ 字幕非表示 → 字幕表示 →（字幕非表示に戻る）

「字幕表示」を「常時表示」「字幕下」「字幕上」「字幕下（自動切換）」「字幕上（自動切換）」のいずれかに設定している場合

- 字幕ボタンを押すたび次のように切り換わります。（字幕表示の入／切はできません。）

字幕が２種類あるとき

→ 字幕１表示 → 字幕２表示 →（字幕１表示に戻る）

字幕が１種類のとき

字幕表示のまま、変化なし

字幕表示の設定について

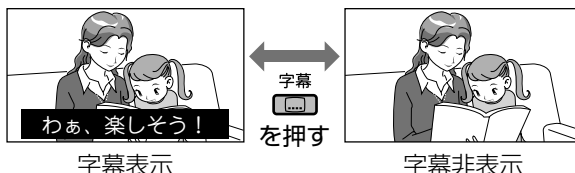
- ホームメニューから「設定」－「[icon]（機能切換）」－「画面表示設定」－「字幕表示」で、字幕の表示のしかたを設定します。
- 「リモコン切換」以外のいずれかに設定した場合は、字幕ボタンを押しても字幕表示の入／切を切り換えることができません。
- 「字幕下（自動切換）」または「字幕上（自動切換）」に設定している場合は、字幕放送でない番組に放送局から字幕情報が送られてくると、自動的に映像が縮小される場合があります。

リモコン切換（工場出荷時の設定）

字幕オンスクリーン

- 字幕放送では、字幕ボタンを押して、字幕表示の入／切を切り換えることができます。
- 字幕は映像に重なって表示されます。

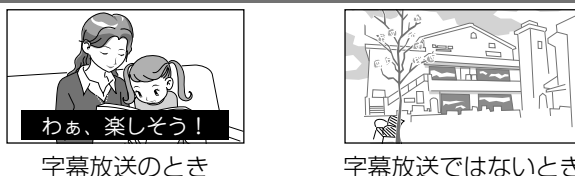
字幕表示

字幕非表示

常時表示

字幕オンスクリーン

- 字幕放送では、常に字幕が表示されます。
- 字幕は映像に重なって表示されます。

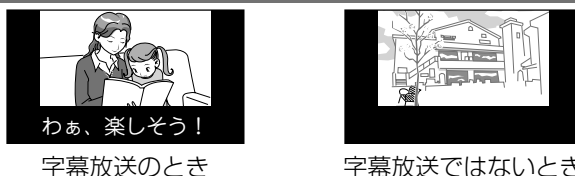
字幕放送のとき

字幕放送ではないとき

字幕下

字幕アウトスクリーン

- 映像が縮小されます。
- 字幕は映像の下側に表示されます。

字幕放送のとき

字幕放送ではないとき

字幕上

字幕アウトスクリーン

- 映像が縮小されます。
- 字幕は映像の上側に表示されます。

字幕放送のとき

字幕放送ではないとき

字幕下（自動切換）

字幕アウトスクリーン

- 字幕放送では、自動的に「字幕下」と同じ表示になります。

字幕放送のとき

字幕放送ではないとき

字幕上（自動切換）

字幕アウトスクリーン

- 字幕放送では、自動的に「字幕上」と同じ表示になります。

字幕放送のとき

字幕放送ではないとき

2つの画面を表示して見る

◇おしらせ◇

- 2 画面表示しているとき、次の操作はできません。
  - ホームメニューの表示
  - 番組表の表示
  - AV ポジションの切り換え
  - 画面の静止
- 2 画面機能を入／切すると、まれに映像が一瞬途切れた状態になることがあります。
- ハイビジョンの映像（1080i、720p、1080p）を 2 画面にしたときは 16：9 表示になります。
- 2 画面表示中に録画予約または視聴予約が開始されたときは、1 画面に戻ります。
- 右画面に「♪」マークがあるデジタル放送を視聴しているときに 2 画面を解除した場合は、再度 2 画面表示にすると、前回右画面で表示されていたチャンネルが両画面に表示されます。

2 画面で見る

- 本機は 2 つの異なる映像を同時に表示できます。

1 2画面メニューを表示する

2画面 を押す

2 表示のしかたを選ぶ

で選び 決定 を押す

- 2画面表示になります。
- 「サイズ切換」、「左右入換」は、2 画面表示のときに選べます。

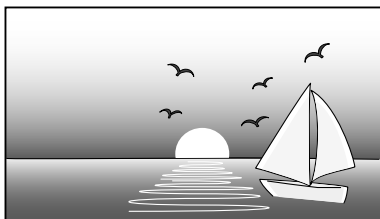
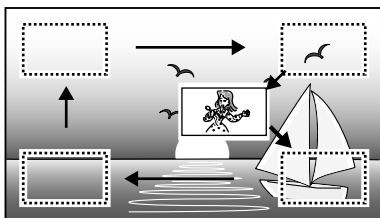
「2画面」を選んだときの表示例

- 2 画面のとき、「♪」マークのある操作画面は、チャンネルや入力の切り換え、音量調整ができます。
- 2 画面でヘッドホンを使用するときの音の出しかたを選べます。（⇒ **87** ページ）

2 画面表示の種類

❶ 1画面

❷ 2画面

❸ PinP

- ❷のときは、「左右入換」を選ぶと左右の画面が入れ換わります。
- ❸ PinP のときは、上下左右のカーソルで子画面の位置を移動できます。
  決定ボタンで、上図のように子画面が移動します。
- ❸のときは、「左右入換」を選ぶと大きく表示されている画面と小画面が入れ換わります。

◇**おしらせ**◇

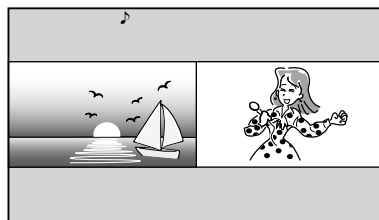
- 「左右入換」をしても、「♪」マークの付いた操作画面（⇒ **58** ページ）は変わりません。
- 複数の映像／音声のあるデジタル放送を大小 2 画面、PinP 表示しているときに左右の画面を入れかえると、映像／音声はそれぞれ映像 1 ／音声 1 に戻ります。（本体のスピーカーからは「♪」マークのついている側の音声が再生されます。）
- PinP のとき、子画面にデジタル放送の字幕放送を選局しても字幕は表示されません。
- 決定ボタンによる子画面の移動は、場合によっては、四隅のみの移動になります。

画面のサイズを変える

1 2画面またはPinP表示にする

2画面を押す

で選び

決定を押す

2 2画面メニュー中の「サイズ切換」を選択する

2画面を押す

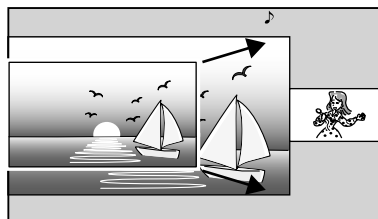
で選び

決定を押す

3 画面のサイズを変える

2 画面にしている場合

- 右カーソルボタンで、左側画面のサイズを大きくできます。戻すときは左カーソルを使います。

を押す

PinP にしている場合

- 左右カーソルボタンで画面のサイズが変化します。

を押す

決定を押す
終了を押す

- 操作を終了する場合は、決定ボタンを押します。
- 1 画面に戻すには、終了ボタンを押します。

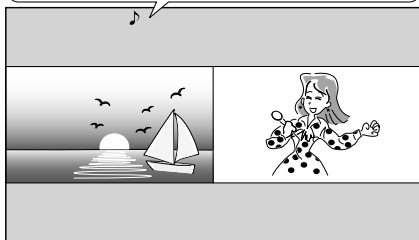
2 画面のうち操作する画面を選ぶ

1 2画面表示中に操作画面を切り換える

操作切換

- 操作切換ボタンを押すたびに、「♪」マークが左／右に移動して、操作画面が切り換わります。

2 画面の表示例

操作できる画面の上に、「♪」マークが表示されます。この画面の音声が聞けます。
「♪」マークが表示されているときに「d」マークが表示されている場合は、データ連動 d でデータ放送が表示されます。

2 「♪」マークのある操作画面の音量を調整するには

＋ 音量 －

- 音量ボタンを押して音量を調整します。
- ヘッドホン接続時、非操作側画面（「♪」マークのない側の画面）の音声を聞くことができます。（⇒**87**ページ）

選局するには

地上D BS CS

- 放送切換ボタンを押して放送を選びます。
- 操作画面の番組は、数字ボタン（チャンネルボタン）または選局（∧順／∨逆）ボタン（緑）で選局できます。
- 入力切換ボタンを押すたびに、操作画面の入力が切り換わります。

1画面に戻すには

終了

- 「♪」マークのある画面が 1 画面表示されます。
- 右画面は、最後に右画面で選局していたチャンネルまたは外部入力が保持されます。

2画面表示ができる組み合わせ

- 2 画面機能で表示できる画面は、画面の左右、放送や入力によって異なります。

（地上Ａ＝地上アナログ、地上Ｄ＝地上デジタル）

		右画面（小画面）※3			
		地上Ａ	地上Ｄ	BS/CS	外部入力
左画面（大画面）	地上A	×	○	○	×
	地上D	×	○※1	○※1	○
	BS／CS	×	○※1	○※1	○
	外部入力	×	○	○	×※2

※１　デジタル放送どうしの２画面のときは、データ放送画面は左画面のみ表示されます。データ放送を表示できる画面には「♪」マークの隣に「d」マークが表示されます。PinPのときのみデータ放送は表示できません。

※２　IrSS™、ホームネットワーク、インターネットサービスのうち、アクトビラ ビデオ／アクトビラ ビデオ・フルなど２画面表示ができないサービスがあります。

※３　テレビとインターネットを同時に表示することもできます。（⇒ **187** ページ）

◇**おしらせ**◇

- 録画予約実行中、デジタル固定中に２画面にすると、録画中の画面が右側に表示されます。右側の画面を他の放送や外部入力に切り換えることはできません。（右側の画面を操作画面にしているときに選局などの操作をすると、「予約を解除しますか？」という画面を表示します。）

録画予約実行中、デジタル固定中の画面例

- PinPのときは一部のボタンは操作できません。

◇**おしらせ**◇

- テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、２画面機能を利用して表示を行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

ホームメニューや番組表の設定を変える

ホームメニューや番組表などの文字を大きくする

- ホームメニューや番組表などに表示される文字を大きくすることができます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」−「(機能切換)」−「画面表示設定」を選ぶ

ホームを押し
で選び
決定を押す

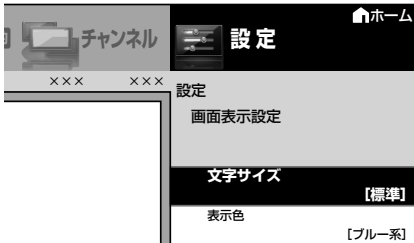
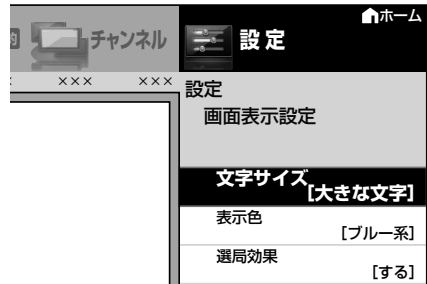
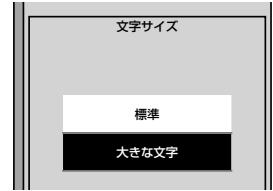
選びかたは、26 ～ 31 ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「文字サイズ」を選ぶ

で選び
決定を押す

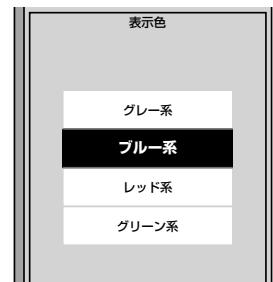
3 「大きな文字」を選ぶ

で選び
決定を押す

- ホームメニュー画面などの文字が大きな文字で表示されます。
- 元へ戻したい場合は、「標準」を選びます。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

- 「大きな文字」に設定すると、番組表の表示方式や表示されるチャンネル数が変わります。(⇒ 49 ページ)
  表示方式が「モード 1」の場合、番組表に表示されるチャンネルが 7 チャンネル分になります。
  表示方式が「モード 2」の場合、「モード 1」に変わります。

番組表やホームメニューなどの配色を変える（表示色）

- 番組表、裏番組一覧（ホームメニューの「チャンネル」)、番組情報、ホームメニュー画面、チャンネル表示画面、入力切換画面、画面サイズメニュー画面などの表示色を、「グレー系」「ブルー系」「レッド系」「グリーン系」の４種類から選べます。

- ホームメニューから「設定」−「（機能切換)」−「画面表示設定」−「表示色」で設定します。

おはようタイマー・おやすみタイマーで電源を入／切する

時計を合わせる

- 画面に現在の正しい時刻を表示したり、おはようタイマー・おやすみタイマー機能を使うには、本機の内蔵時計が正しく合っていることが必要です。
- デジタル放送が受信できないなど、内蔵時計の時刻が自動設定されない場合には、「時刻設定」で合わせてください。

自動時刻設定機能について

- デジタル放送を受信している場合やインターネットに接続している場合は、自動的に時刻が設定されます。
- デジタル放送が受信できないなど、自動設定されないときは、「時刻が設定されていません。」と表示されます。この場合は、右記の手動設定を行ってください。

手動で時刻を設定する

- ホームメニューから「設定」－「🔧（視聴準備）」－「各種設定」－「時計設定」－「時刻設定」で設定します。

(例) 2010 年 11 月 30 日　午前10 時 30 分に合わせる

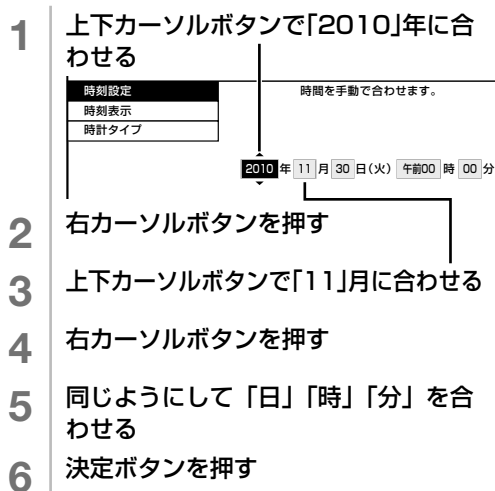
1 **上下カーソルボタンで「2010」年に合わせる**

2 **右カーソルボタンを押す**

3 **上下カーソルボタンで「11」月に合わせる**

4 **右カーソルボタンを押す**

5 **同じようにして「日」「時」「分」を合わせる**

6 **決定ボタンを押す**

◇おしらせ◇

- 時刻が自動設定されている場合、「時刻設定」は選べません。
- 設定できる時刻は 12 時間表示です。
- 設定できる日付は、2035 年 12 月 31 日まででです。
- 画面表示ボタンを押すと、現在時刻が確認できます。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり停電が起きた場合、時刻情報は消去されます。この場合は、時刻設定をやり直してください。

おやすみタイマーの設定項目

項目	内容	
おやすみタイマー	• タイマーの設定／解除を選択します。	
時刻（時）	• タイマーで電源を切りたい時刻（時）を設定します。	
時刻（分）	• タイマーで電源を切りたい時刻（分）を設定します。	
モード	**通常**	• 毎日同じ設定時刻に電源を切ります。
	サンセット	• 設定時刻の 10 分前から徐々に画面を暗くし、音量を下げて※、設定時刻に電源を切ります。
表示設定	**アイコン＋文字**	• 画面にアイコンと残り時間を表示します。
	文字のみ	• 画面に残り時間を表示します。

※ 何らかの操作をすると、画面の明るさ・音量は元に戻りますが、設定時刻に電源は切れます。

時間を指定して電源を切る（おやすみタイマー）

• 指定した時刻に、自動的に電源が切れるように設定できます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」–「(安心・省エネ)」–「おやすみタイマー」を選ぶ

ホーム を押し　決定 で選び　決定 を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

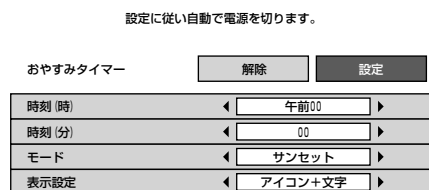
▼ ホームメニューの画面例

ホーム
チャンネル　設定
×××　×××
安心･省エネ
照明オフ連動　[解除]
セーフモード設定　[モード1]
オフタイマー　[切]
おやすみタイマー　[解除]

2 「おやすみタイマー」で「設定」を選ぶ

で選ぶ

設定に従い自動で電源を切ります。

おやすみタイマー	解除	設定
時刻（時）	午前00	
時刻（分）	00	
モード	サンセット	
表示設定	アイコン+文字	

サンセット：徐々に暗く、音量を小さくし、設定した時間に電源を切ります。

• 「解除」を選ぶと、おやすみタイマー機能が働かなくなります。

3 それぞれの項目を設定する

決定 で選ぶ

①上下カーソルボタンで項目を選ぶ

• それぞれの項目については、「おやすみタイマーの設定項目」（⇒**前**ページ）をご覧ください。

②左右カーソルボタンで項目の値を選ぶ

• 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

▼ おやすみタイマー「通常」の画面例（表示設定：「アイコン＋文字」）

おやすみタイマー：残り１０分

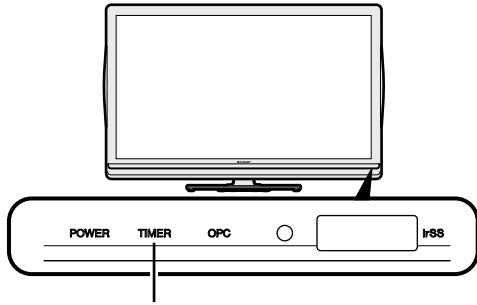
１０分前 ……… ０分前
通常：→→→→→電源「切」
サンセット：→→→→→電源「切」

• 表示設定が「アイコン+文字」の場合は、1 分ごとに大きなアイコンが表示され、その後小さなアイコンが表示されます。
• 表示設定が「文字のみ」の場合は、1 分ごとに残り時間が表示されます。

◇おしらせ◇

• 無操作オフや無信号オフ（⇒ **89** ページ）が設定されている場合は、一番早く切れるタイマーで電源が切れます。
• おやすみタイマーのモードの設定が「サンセット」の状態で、「時刻（時）」「時刻（分）」を 10 分以内の時刻に設定した場合、徐々に画面を暗くし、音量を下げる動作は行いません。
• おやすみタイマーとおはようタイマーを同じ時刻に設定すると、おはようタイマーが優先されます。
• テレビに全画面表示している番組表の操作中や、一部のホームメニューの操作中は、指定時刻になっても操作を優先しているため、電源が切れません。操作を終了したあとに、画面左下にアイコンや文字が表示され、電源が切れます。

目覚ましとして使うなど タイマーで電源を入れる （おはようタイマー）

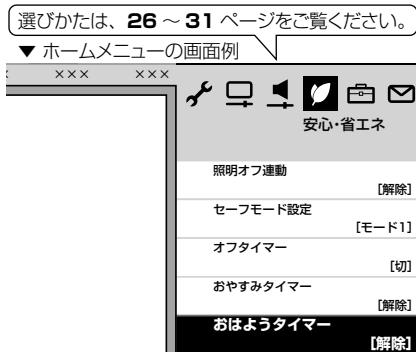
- 指定した時刻に、自動的に電源が入るように設定できます。
- おはようタイマーを設定すると、本体のTIMER（タイマー）ランプが赤色に点灯します。

TIMER（タイマー）ランプ

- 「タイマー 1」～「タイマー 4」まで、異なる設定のタイマーをセットできます。
- **お出かけになるときなど、おはようタイマーで自動的に電源を入れたくない場合は**本体の電源スイッチで電源を切るか、おはようタイマーを解除してください。

1 ホームメニューを表示して、「設定」−「(安心・省エネ)」−「おはようタイマー」を選ぶ

ホーム を押し　で選び　決定 を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「タイマー1」～「タイマー4」のいずれかを選ぶ

で選び

を押す

設定した時間に電源を入れます。

		曜日	時刻	入力	CH	音量	モー
タイマー1	解除	毎週日曜	午前 0時00分	地上D	1	20	サン
タイマー2	解除	毎週日曜	午前 0時00分	地上D	1	20	通
タイマー3	解除	毎週日曜	午前 0時00分	地上D	1	20	通
タイマー4	解除	毎週日曜	午前 0時00分	地上D	1	20	通

3 「おはようタイマー」で「設定」を選ぶ

で選ぶ

設定した時間に電源を入れます。

［タイマー1］

おはようタイマー	解除	設定
曜日	毎週日曜	
時刻 (時)	午前00	
時刻 (分)	00	
入力	地上D	
CH	1 NHK 総合・東京	
音量	20	
モード	サンライズ	
表示設定	アイコン+文字	

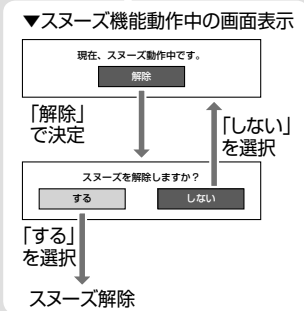
- 「解除」を選ぶと、そのタイマー機能が働かなくなります。

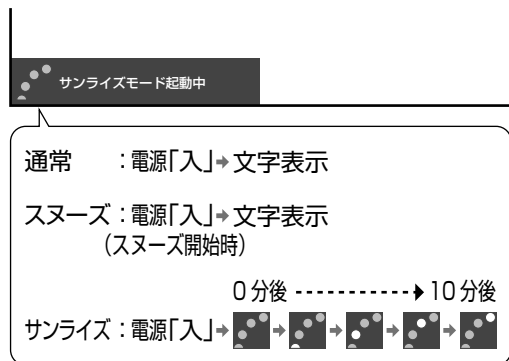
4 それぞれの項目を設定する

で選ぶ

- それぞれの項目については、「おはようタイマーの設定項目」（⇒**次**ページ）をご覧ください。

①上下カーソルボタンで項目を選ぶ

②左右カーソルボタンで項目の値を選ぶ

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

▼ おはようタイマー「サンライズ」の画面例（表示設定：「アイコン＋文字」）

- サンライズの場合、表示設定が「アイコン＋文字」の場合は、1 分ごとに大きなアイコンとメッセージが表示され、その後小さなアイコンが表示されます。表示設定が「文字のみ」の場合は、1 分ごとにメッセージが表示されます。
- 「通常」または「スヌーズ」に設定した場合の表示設定は、「文字のみ」となります。

おはようタイマーの設定項目

項目	内容	
おはようタイマー	• タイマーの設定／解除を選択します。「1 回だけ」に設定されているタイマーが動作した後は、自動的に「解除」になります。	
曜日	• タイマーで電源を入れたい曜日を設定します。「毎日」「月－土」「月－金」「毎週○曜」（○は日から土のいずれか）「1 回だけ」の中から選べます。	
時刻（時）	• タイマーで電源を入れたい時刻（時）を設定します。	
時刻（分）	• タイマーで電源を入れたい時刻（分）を設定します。	
入力	• タイマーで電源が入ったとき画面に表示される、放送の種類（地上D、ＢＳ、ＣＳ、地上Ａ）、または入力を選びます。 • 入力６は、「入力６端子設定」が「入力」に設定されているときのみ選べます。	
CH	• タイマーで電源が入ったとき画面に表示される、数字ボタン（チャンネルボタン）に割り振られた番号を選びます。	
音量	• タイマーで電源が入ったときの音量を選びます。0 ～ 100 の範囲で選べます。	
モード	**通常**	• 設定した時刻に、設定した音量で電源を入れます。
	サンライズ	• 設定した時刻に電源が入り徐々に音量が大きくなり、同時に画面も徐々に明るくなり、10 分後に設定した音量で画面は最も明るくなります。
	スヌーズ ▼スヌーズ機能動作中の画面表示 現在、スヌーズ動作中です。 解除 「解除」で決定 「しない」を選択 スヌーズを解除しますか？ する　しない 「する」を選択 スヌーズ解除	• いったん電源を切っても、５分後に再度電源が入るようにします。 • 音量を下げた場合でも、５分後に元の音量に戻します。 • チャンネルや入力を切り換えても、５分後に元のチャンネルに戻します。 • 「解除」—「する」を選択すると、スヌーズ動作が解除されます。 • 「解除」—「する」を選択しないかぎり、７回（35 分間）スヌーズ動作を繰り返します。 • スヌーズ起動中、他のタイマーは起動しません。 • 決定ボタンを押しただけでは、スヌーズは解除しません。「する」を選択し決定ボタンを押してください。 • 本体の電源スイッチで電源を切った場合、もしくは予約開始時にも、スヌーズ動作が解除されます。
表示設定	**アイコン＋文字**	• 画面にアイコンとメッセージを表示します。
	文字のみ	• 画面にメッセージを表示します。

◇**おしらせ**◇

おはようタイマーを「設定」にすると

- 「解除」にするまで、設定した曜日に繰り返しおはようタイマーが働きます。
- おはようタイマーで電源が入ってから２時間操作をしない場合は、電源が切れます。（電源が切れる５分前になると画面左下にメッセージが表示されます。）
- 「タイマー 1」～「タイマー 4」のうち、同じ時刻が設定されている場合は、「曜日」が「1 回だけ」のタイマーが優先されます。次にタイマー番号の小さいものが優先されます。
- 「曜日」が「1 回だけ」の設定で同時刻のタイマーがある場合は、タイマー番号の小さいものだけが実行されます。（他の「1 回だけ」のタイマーは、「解除」になりません。）

おはようタイマーで外部入力を使用する場合には

- あらかじめ外部入力機器の電源を入れ、視聴できる状態にしておいてください。外部入力機器が視聴できる状態になっていなければ映像や音声は出ませんのでご注意ください。

おはようタイマーのモードが「サンライズ」の場合は

- 電源が入ってしばらくは映像が出力されません。
- サンライズの動作中に操作をしますと、操作時点での明るさと音量になります。
- 10 分後に画面が最も明るくなりますが、すぐに通常使用状態に戻ります。

画面のサイズや映像、音声を調整する

映像の左右に黒帯が出たり上下幅が変わるときは

- 放送によっては、画面の両側や上下に黒帯が出る場合があります。このような黒帯を消したいときは、「画面サイズ」の変更をしてください。映像の左右幅や上下幅を変えることで、黒帯を消すことができます。
- 映像の種類（⇒ **344** ページ）によって、選べる画面サイズは異なります。

画面サイズ切換の設定項目

項目	内容
ノーマル	• 通常のテレビ（4：3 サイズ）の映像をそのまま映します。
シネマ	• シネスコまたは 16：9 サイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。
フル	• 16：9 から 4：3 に圧縮された映像を元の 16：9 に戻して画面いっぱいに映します。
スマートズーム	• 通常 4：3 映像をより自然に拡大して映します。
ワイド 4：3	• 通常 4：3 映像を画面いっぱいに映します。 • 16：9 映像の場合はこのように映ります。
ワイド 16：9	• 通常 4：3 映像の中央部を左右に拡大して映します。 • 通常 16：9 映像の中央部（4：3）を画面いっぱいに映します。入力信号が 16：9 で左右に黒帯の付いている映像を画面いっぱいに映したいときに便利です。
アンダースキャン Dot by Dot 16：9　16：9	• 入力信号どおりの映像で映します。

◆ 重　要 ◆

- 元の映像の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。
- ワイド映像でない通常（4：3）の映像を画面サイズ切換機能を利用して画面いっぱいに表示すると、画像周辺部分が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像をご覧になるときは、画面サイズを「ノーマル」にしてください。
- 画面サイズ変更前の映像信号の縦横比によっては、「シネマ」に切り換わっても画面の上下に黒い帯が残る場合があります。
- 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切換機能で最適なサイズに切り換え、画面位置（⇒ **65** ページ）で垂直位置を調整してください。このとき、ソフトによっては画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
- テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、画面サイズ切換機能（オートワイド機能を含む）を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 画面サイズを切り換えるときに画面が乱れる場合がありますが、故障ではありません。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（機能切換）」－「視聴操作」を選ぶ

ホーム を押し
で選び
決定 を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

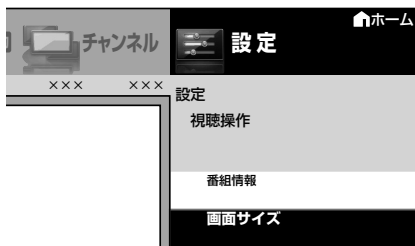
▼ ホームメニューの画面例

2 「画面サイズ」を選ぶ

で選び
決定 を押す

ホーム
チャンネル
設定
×××
×××
設定
視聴操作
番組情報
画面サイズ

3 お好みの画面サイズを選ぶ

で選び
決定 を押す

480i ／ 480p 映像の場合（地上アナログ放送、ビデオ映像など）

画面サイズ切換
ノーマル
スマートズーム
ワイド 4：3
シネマ
フル
ワイド 16：9

1080i 映像の場合（ハイビジョン）

画面サイズ切換
フル1
フル2
Dot by Dot
スマートズーム
ワイド 16：9
シネマ

1080p ／ 720p 映像の場合(ハイビジョン)

画面サイズ切換
フル
※ Dot by Dot
スマートズーム
ワイド 16：9
シネマ

※720p映像(ハイビジョン)の場合は、画面サイズ切換のDot by Dotはアンダースキャンに変わります。

◇**おしらせ**◇

- ホームメニューから「ツール」－「画面サイズ」を選んでも設定できます。
- 「字幕表示」（⇒ **55** ページ）を字幕アウトスクリーンにした場合、画面サイズの切り換えはできません。画面サイズを切り換えたい場合は、「字幕表示」を字幕アウトスクリーン以外にする必要があります。
- 1035i は、本機の画面表示（チャンネルサイン）では「1080i」と表示されます。

画面の位置がずれているときは（画面位置）

- インターネット閲覧時は設定できません。

項目	内容
水平位置	• 画像が右寄りまたは左寄りの状態にあるときに、左右カーソルボタンで調整します。
垂直位置	• 画像が上がりすぎまたは下がりすぎの状態にあるときに、左右カーソルボタンで調整します。
リセット	• 工場出荷時の状態に戻します。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（機能切換）」－「画面表示設定」を選ぶ

ホーム を押し
で選び
決定 を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「画面位置」を選ぶ

で選び
決定 を押す

3 「水平位置」または「垂直位置」を選び、適切な位置に調整する

で選ぶ

- 調整をやり直す場合は、戻るボタンを押します。

4 画面の位置を確定する

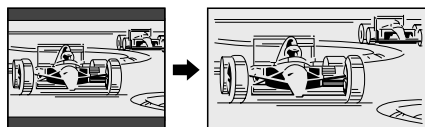
決定 を押す

映像を最適な大きさに自動で切り換える

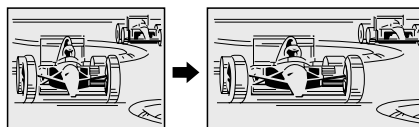
- オリジナル映像の種類によって、映像を最適な画面サイズで表示することができます。（オートワイド機能）
- デジタル放送視聴時は選択できません。

項目	内容
映像判別	• 受信している地上アナログ放送や入力 1 ～ 6 から入力された映像の上下に黒い幕があるとき、画面サイズを自動的に「シネマ」（⇒ **64** ページ）にします。
S2 対応 （入力選択が「ビデオ映像」以外のとき）	• 入力 6 の S2 映像端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズにします。
D 端子識別 （入力選択が「ビデオ映像」以外のとき）	• 入力 4・5 の D 映像端子とビデオ機器との接続に使うケーブルの種類により、画面サイズの判定方法を変えます。D 端子ケーブルのときは「する」にすると自動的に最適な画面サイズになります。D- コンポーネント変換ケーブルのときは D 端子識別が動作しないので「しない」に設定します。
HDMI 識別	• 入力 1 ～ 3 から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズにします。

オートワイド機能を働かせたときの画面表示例

上下に黒い帯の入った映像の場合

横方向に圧縮された映像（スクイーズ映像）の場合（映像判別を除く）

1 放送や入力を切り換える

地上A や 入力切換 を押す

映像判別を設定するとき
- 地上アナログ放送を選局するか、入力 1 ～ 6 に切り換えます。

HDMI 識別を設定するとき
- HDMI ケーブルをつないだ入力 1・2・3 に切り換えます。

D 端子識別を設定するとき
- D 端子ケーブルをつないだ入力 4・5 に切り換えます。

S2 対応を設定するとき
- S 端子ケーブルをつないだ入力 6 に切り換えます。

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「（機能切換）」－「画面表示設定」を選ぶ

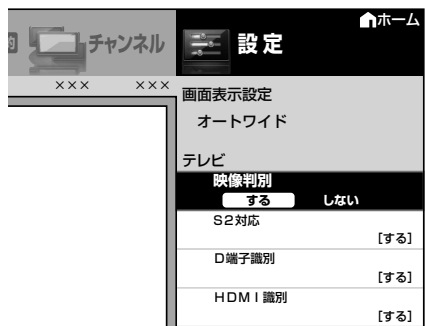
選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 「オートワイド」を選ぶ

で選び 決定 を押す

4 設定したい項目を選ぶ

で選ぶ

5 「する」または「しない」を選ぶ

で選び 決定 を押す

する　：画面サイズを自動で最適化します。

しない：画面サイズの最適化機能は働きません。

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

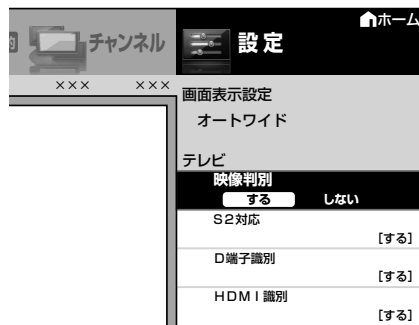
- ビデオ機器やゲーム機などをS2映像端子やD映像端子で接続した場合でも、機器やソフトなどによってはオートワイド機能が働かない場合があります。
- 「映像判別」は、D端子から入力された映像が480p、1080i、720p、1080pの場合は働きません。また、HDMI端子から入力された映像が、1080i、720p、1080pの場合も働きません。
- S2対応を設定しても、入力された映像によっては最適な画面サイズにならない場合があります。

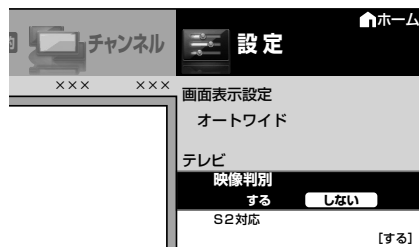
画面の大きさが頻繁に切り換わるときは

- 地上アナログ放送を見ているときやビデオなどの外部機器を再生しているときに、画面が大きくなったり小さくなったりすることがあります。（最適な画面サイズを探すために起こる現象です。故障ではありません。）気になる場合は、「オートワイド」の設定を「しない」にしてください。
- デジタル放送を見ているときは設定できません。

1 前ページからの手順1～3を行う

2 設定したい項目を選ぶ

で選ぶ

3 「しない」を選ぶ

で選び 決定 を押す

映画やゲームなどに適した映像・音声にする（AV ポジション）

AV ポジションの設定項目

項目	内容
ぴったりセレクト	• 見ている映像や音声に応じて、ふさわしい設定を自動的に行います。 • ぴったりセレクトの画質や音質を、より自分好みに調整することもできます。（⇒ **70** ～ **72**・**77** ページ）
標準	• 映像や音声の設定がすべて標準値になります。（工場出荷時の設定です。）
映画	• コントラストを抑えることにより、暗い映像を見やすくします。
映画（クラシック）※2	• フィルム投影機のような、昔ながらの懐かしい映像感を再現する画面モードです。
ゲーム	• テレビゲームなどの映像を、明るさを抑えて目にやさしい映像にします。 • すばやい反応を要求されるゲームの場合は、このモードでお使いください。
PC※1	• PC 用の画面モードです。
AV メモリー	• 入力ごとにお好みの調整内容を記憶できます。
フォト	• 静止画を見やすくします。
ダイナミック	• くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あるものにします。
ダイナミック（固定）	• くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あるものにします。「ダイナミック」に比べ、より鮮明な感じの画質になります。 • この設定のときは、映像調整や音声調整ができません。

※ 1 「PC」は入力 1 ～ 3、入力 7 選択時に表示されます。

※ 2 映像によっては点滅して見えることがありますが、故障ではありません。

◇おしらせ◇

- AV ポジションの「ぴったりセレクト」「標準」「映画」「映画（クラシック）」「ゲーム」「PC」「フォト」「ダイナミック」は、映像調整（⇒ **73** ページ）を行うと、行った調整が反映されたまま記憶されます。入力切換を行っても、「ぴったりセレクト」「標準」「映画」「映画（クラシック）」「ゲーム」「PC」「フォト」「ダイナミック」は、それぞれ記憶された設定で調整されます。
- 入力ごとに個別に調整したいときは、「AV メモリー」で設定してください。
- IrSS™、ホームネットワークの画面のとき、「PC」、「ゲーム」は選べません。
- AV ポジションは入力ごとに選べます。（例えば、テレビは「標準」、入力 1 は「ダイナミック」など）
- AV ポジション「ぴったりセレクト」を選択した場合でも、放送などのコンテンツによっては、本機能の効果が十分に得られない場合があります。
- AV ポジションを「PC」に切り換えるとき、または「PC」から別の AV ポジションに切り換えるときは、一時的に映像が消えます。
- 接続する機器によっては、上の表以外の AV ポジションが表示される場合があります。
- AV ポジション「映画（クラシック）」のとき、シーンによっては映像がパタパタと点滅して見えることがありますが、故障ではありません。
- AV ポジション「映画（クラシック）」のとき、長時間視聴した場合、または映像のシーンによっては、目の疲れの原因となることがあります。

HDMI 接続をしたときは

- HDMI ケーブルを使って本機と接続した機器から、映画、ゲーム、フォト、グラフィックのコンテンツ情報が送られたときに、受け取ったコンテンツ情報に合わせて、本機が自動的に AV ポジションを切り換えます。（HDMI コンテンツタイプ連動機能）

HDMI コンテンツタイプ連動機能が働かないようにするには

- AV ポジションが頻繁に切り換わって見づらい場合は、「HDMI コンテンツタイプ連動」を「しない」に設定します。
- 入力 1 ～ 3 の、HDMI コンテンツタイプ連動機能が働かないように設定できます。ホームメニューから、「設定」－「機能切換」－「外部端子設定」－「HDMI コンテンツタイプ連動」を選び、「しない」に設定します。

映像の種別	映像の内容	本機の AV ポジション
通常	• 録画したドラマを再生	標準
シネマ	• BD ソフトの映画を再生	映画
フォト	• デジタルカメラから取り込んだ静止画	フォト
グラフィック	• パソコンからの入力	PC
ゲーム	• ゲーム使用中	ゲーム

AV ポジションを選ぶ

AV ポジションボタンで切り換える

1 AVポジション（画質切換）を押す

AVポジションを表示させる

- 画面左下に表示されます。

ＡＶポジション：標準

▲AVポジションの表示例

2 AVポジション（画質切換）を押す

続けて何回か押し、お好みのAVポジションを選ぶ

- ボタンを押すたびに、AV ポジションが次のように切り換わります。

ぴったりセレクト → 標準 → 映画 → 映画(クラシック) → ゲーム → PC※1 → AV メモリー → フォト → ダイナミック → ダイナミック(固定) → ぴったりセレクト

※ 1 「PC」は入力 1 〜 3、入力 7 選択時に表示されます。

ホームメニューから AV ポジションを切り換える

1 ホームを押し

で選び 決定を押す

ホームメニューを表示して、「設定」−「映像調整」−「AVポジション(画質切換)」を選ぶ

選びかたは、**26** 〜 **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2

で選び 決定を押す

お好みの設定を選ぶ

その他の AV ポジションの表示のしかた

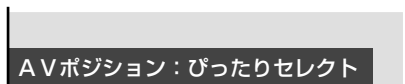
- ホームメニューから「ツール」−「AV ポジション（画質切換）」を選びます。

「ぴったりセレクト」をより活用する

明るさセンサーの感度を設定する

- AV ポジション「ぴったりセレクト」にて、最適な画質調整を行うために必要な設定です。
- 本機の「明るさセンサー」が部屋の明るさを感知し、部屋の照明に合わせた最適な画質調整ができるようにします。
- AV ポジション「ぴったりセレクト」選択時に有効となる設定です。

項目	内容
感度	• 光源の種類が昼白色または電球色と表示された場合に、センサーが感知する照度を調整します。
感度（暗めな部屋）	• 光源の種類が暗室と表示された場合に、センサーが感知する照度を調整します。
色温度	• センサーの色温度調整を行い、部屋の照明とメニュー画面に表示される光源の種類が一致するように調整してください。

1 AVポジションの「ぴったりセレクト」を選ぶ

AVポジション（画質切換）を押す

ＡＶポジション：ぴったりセレクト

▲ AVポジション

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「視聴環境設定」を選ぶ

を押し

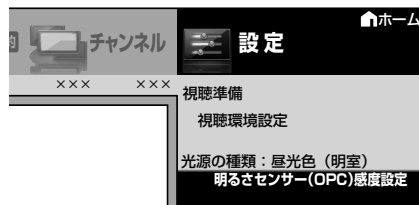
で選び

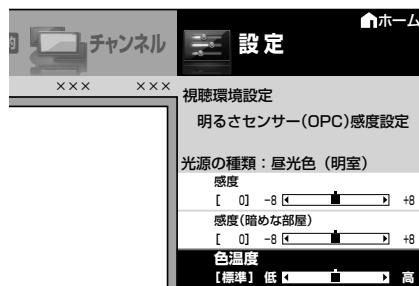
を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 「明るさセンサー（OPC）感度設定」を選ぶ

で選び　決定　を押す

4 「感度」「感度（暗めな部屋）」「色温度」のいずれかを選び、調整を行う

で選び　決定　を押す

◇**おしらせ**◇

- 外光（太陽光）が十分な明るさで差し込んでいなければ、「昼白色（蛍光灯）／電球色」と表示されます。光が遮られていなくてもお部屋に対してテレビが暗いと感じられる場合には調整してください。
- テレビの前に障害物が置かれていないか確認してください。
- 照明が暗すぎると、照明の種類の判別ができなくなります。

より自分好みの画質に設定する

- AV ポジション（⇒ **68** ページ）を「ぴったりセレクト」にすると、見ている映像にふさわしい画質設定を、本機が自動で行います。このとき自動で設定される画質を、より自分好みの画質に調整するための設定です。
- 画面に表示される 3 つの画質から好きな画質を選ぶだけで、かんたんに設定できます。
- このページの設定は、「かんたん初期設定」（⇒ **266** ページ）の「お好み画質・音質設定」と同じものです。
- 本設定は AV ポジションが「ぴったりセレクト」のときに有効となる設定です。

1 AVポジション（画質切換）を押す

AVポジションの「ぴったりセレクト」を選ぶ

AVポジション：ぴったりセレクト

▲ AVポジション

2 ホーム を押し　で選び　決定 を押す

ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「お好み画質・音質設定」を選ぶ

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 で選び　決定 を押す

「お好み画質設定」を選ぶ

お好み画質設定
お好み音質設定

お好み画質の設定をしますか

すでにお好み画質の設定をしている
お好み画質の設定が、本設定により変

[設定内容]
スポーツ　：②
ビデオ　：②
フィルム　：②

4 で選び　決定 を押す

「する」を選ぶ

お好み画質の設定をしますか?

すでにお好み画質の設定をしている場合は、
お好み画質の設定が、本設定により変更されます。

[設定内容]
スポーツ　：②
ビデオ　：②
フィルム　：②

する　しない

5 で選び　決定 を押す

スポーツを視聴するときの画質を選ぶ

映像ジャンルが「スポーツ」のときの画質設定を行います。
お好みの画像を選択してください。

6 で選び　決定 を押す

ビデオ素材の映像を視聴するときの画質を選ぶ

映像ジャンルが「ビデオ」のときの画質設定を行います。
お好みの画像を選択してください。

7 で選び　決定 を押す

フィルム素材の映像を視聴するときの画質を選ぶ

映像ジャンルが「フィルム」のときの画質設定を行います。
お好みの画像を選択してください。

8 決定 を押す

「完了」を選ぶ

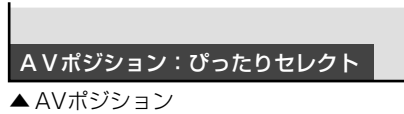
お好み画質の設定を完了しました。

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

次のページに続く

より自分好みの音質に設定する

- AV ポジション（⇒ **68** ページ）を「ぴったりセレクト」にすると、見ている映像にふさわしい音質設定を、本機が自動で行います。このとき自動で設定される音質を、より自分好みの音質に調整するための設定です。
- 画面に表示される音質の種類を選び、音を聞きながらお好みの音質に設定できます。
- 本設定は AV ポジションが「ぴったりセレクト」のときに有効となる設定です。

1 AVポジションの「ぴったりセレクト」を選ぶ

AVポジション（画質切換）を押す

ＡＶポジション：ぴったりセレクト

▲ AVポジション

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「お好み画質・音質設定」を選ぶ

ホームを押し　で選び　決定を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 「お好み音質設定」を選ぶ

で選び　決定を押す

4 「する」を選ぶ

で選び　決定を押す

5 中音域の音質を選ぶ

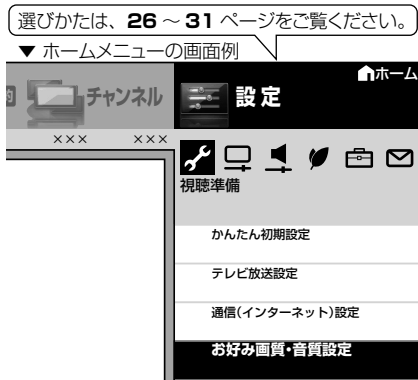
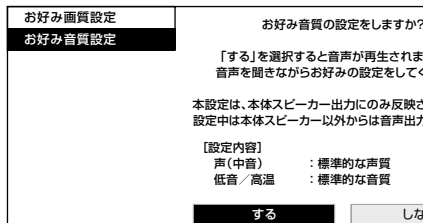
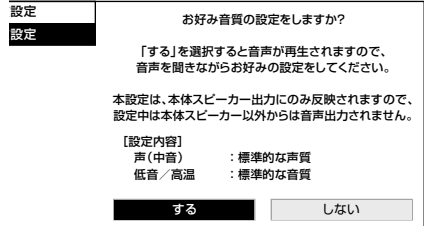
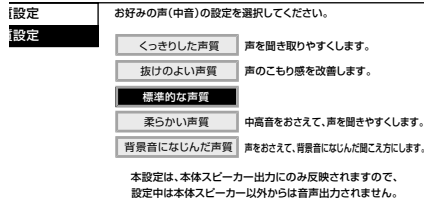
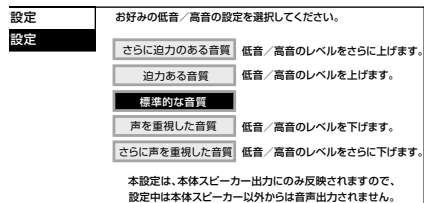
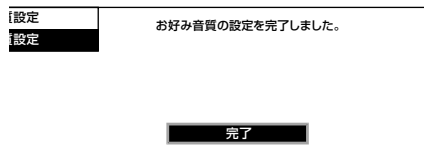
で選び　決定を押す

6 低音域と高音域の音質を選ぶ

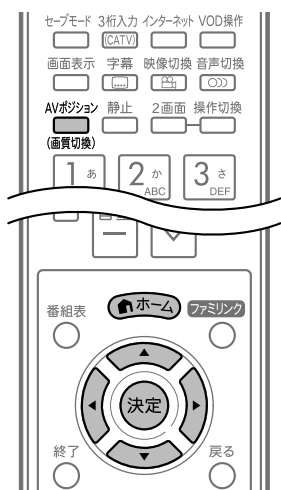
で選び　決定を押す

7 「完了」を選ぶ

決定を押す

設定
設定
お好み音質の設定を完了しました。
完了

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

画面の明るさや色を変える（映像調整）

- 映像をより見やすくするために、明るさや色などを調整できます。
- プロ設定で、より細かな映像調整ができます。
- 映像調整の設定は、AV ポジションごとに記憶できます（「ダイナミック（固定）」以外）。先にＡＶポジション（⇒ **68** ページ）を選んでから映像調整してください。

1 映像調整をしたいAVポジションを選ぶ

AVポジション（画質切換）を押す

▲ AVポジションの表示例

- 映像調整の設定は、AV ポジションごとに記憶できます。(「ダイナミック（固定）」以外)
- 先にＡＶポジションを選んでから映像調整をします。

AV ポジションの選びかた

- ⇒ **69** ページ

AV ポジションによる違いについて

- 「ダイナミック（固定）」では、調整できません。
- 「AV メモリー」は、入力ごとの調整となります。
- その他の AV ポジションで映像調整を行うと、すべての入力でその結果が有効になります。

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「（映像調整）」を選ぶ

ホームを押し　で選ぶ

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 調整したい項目を選ぶ

で選ぶ

工場出荷時の設定に戻したいときは

- 「リセット」を選び、決定ボタンを押します。
- 上下カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。

4 ◆「お好み画質設定」「明るさセンサー(OPC)」「プロ設定」以外を設定する場合

で選び　決定を押す

①左右カーソルボタンでお好みの設定にする
②操作を終了する場合はホームボタンを押す

◆「お好み画質設定」「明るさセンサー(OPC)」「プロ設定」を設定する場合

を押す

- 「お好み画質」「お好み画質設定」は、AV ポジションが「ぴったりセレクト」のときに選べます。

画面の指示に従う

- 画面に従って操作します。

映像調整の項目一覧⇒ **74** ページ

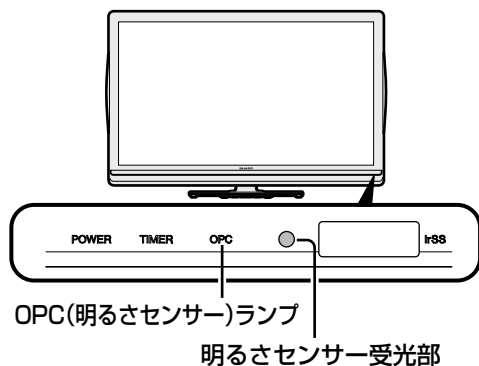
プロ設定の項目一覧⇒ **75** ページ

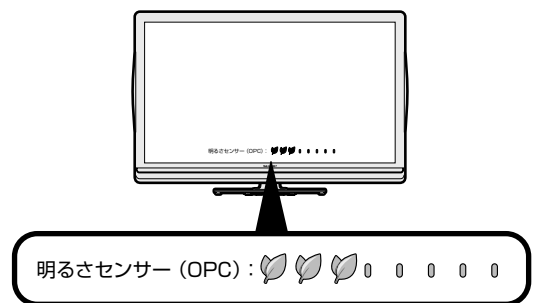
次のページに続く

「映像調整」の設定項目

項目	内容
お好み画質	• 次項目の「お好み画質設定」を、視聴中の映像に反映させるかどうかを選びます。
お好み画質設定	• 各映像ジャンル（スポーツ、ビデオ、フィルム）ごとに映像調整ができます。（調整のしかた⇒ **76** ～ **77** ページ）
明るさセンサー（OPC）	• 室内の照明状況など周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動的に調整するかを、「入：表示あり」「入」「切」で設定します。 **明るさセンサーの感度（動作する範囲）を手動で調整したい場合** •「プロ設定」の「明るさセンサー（OPC）設定」（⇒ **75** ページ）で設定します。 **「ぴったりセレクト」で自動的に設定される明るさを、さらに調整したい場合** • AV ポジションで「ぴったりセレクト」を選んでいるときの明るさは、「明るさセンサー（OPC）感度設定」（⇒ **70** ページ）で設定します。
明るさ	• 画面をお好みの明るさに手動で調整します。（調整すると、上の項目の「明るさセンサー（OPC）」は「切」になります。）
映像	• 映像の強弱を調整します。
黒レベル	• 画面を見やすい明るさに調整します。
色の濃さ	• 映像の色の濃さを調整します。
色あい	• 色を調整します。
画質	• 画面をお好みの画質に調整します。 • AQUOS 純モード対応レコーダーが接続されているとき、レコーダーによっては、番組表示時やモードによって選択できない場合があります。
プロ設定	• 映像をさらにきめ細かく調整します。（⇒ **75** ページ）
リセット	• 映像調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。 •「お好み画質設定」は、ホームメニューから「設定」－「視聴準備」－「お好み画質·音質設定」－「お好み画質設定」で選択した設定値に戻ります。

明るさセンサーについて

• 明るさセンサー受光部の前にものを置いたりすると、明るさを感知できなくなります。

明るさセンサーを「入:表示あり」にすると

• 自動調整中、明るさセンサー機能の効果が画面に表示されます。

• 音量表示中、消音中は表示されません。
• ホームメニュー表示中は表示されない場合があります。

◇おしらせ◇

• 映像調整は、ホームメニューから「ツール」－「映像調整」を選んでも設定できます。
• AV ポジションが「ぴったりセレクト」または「ダイナミック（固定）」の場合は、明るさセンサーの設定ができません。

AV ポジション	明るさセンサーの設定
ぴったりセレクト	• 設定不可
標準（工場出荷時の設定）	• 設定可（切、入、入：表示あり）
ダイナミック（固定）	• 設定不可

プロ設定の項目

項目	内容
カラーマネージメント	• 色の構成要素となる 6 つの系統色を調整し、色相・彩度・明度を変化させます。 **カラーマネージメントの調整項目について**（例：色相の調整の場合）

系統色	調整 −30…………… 0 ……………+30	系統色	調整 −30…………… 0 ……………+30
R(赤)	マゼンタに近づく ⇔ 黄に近づく	C(シアン)	緑に近づく ⇔ 青に近づく
Y(黄)	赤に近づく ⇔ 緑に近づく	B(青)	シアンに近づく ⇔ マゼンタに近づく
G(緑)	黄に近づく ⇔ シアンに近づく	M(マゼンタ)	青に近づく ⇔ 赤に近づく

項目		内容
色温度		• 青みがかった白（色温度：高）にするか、赤みがかった白（色温度：低）にするかを調整します。また、色温度ごとに R ゲイン、G ゲイン、B ゲインの値を変えて、ホワイトバランスを微調整することができます。 •「自動」を選ぶと、本機の「明るさセンサー」が部屋の視聴環境を感知し、最適な色温度に自動で調整します。
アンベールコントロール		• エッジを補正することで奥行き感のある映像にします。
QS 駆動※6（120Hz）	アドバンス（スキャン）	• 120 コマ／秒で表示される映像に加え、LED バックライトをオン・オフさせて動画をよりくっきりと、表示します。
	アドバンス（強）	• 通常 60 コマ／秒で表示される映像を 120 コマ／秒に補間し、より滑らかに表示します。 • 動きの速い映像や撮影時にぼやけてしまった映像をくっきりと、より見やすくします。
	アドバンス（標準）	• 通常 60 コマ／秒で表示される映像を 120 コマ／秒に補間し、より滑らかに表示します。 • 動きの速い映像を落ち着き感のある表示にします。
	スタンダード	• 動きの速い映像をくっきりと、より見やすくします。
	しない	• QS 駆動を停止します。
フルハイプラス		• 高精細で鮮明な映像にする設定です。
アクティブコントラスト		• シーンに応じて映像のコントラストを自動的に調整します。「する」「しない」の 2 つの中から選べます。※6
ガンマ設定		• 映像の明るい部分と暗い部分の階調の差を調整できます。
I／P設定		•「動画より」の設定（通常のテレビ放送やビデオなどをきめ細かい映像で楽しむモード）と「静止画より」の設定（静止画やグラフィックなどの画像を、チラツキのない滑らかな映像で楽しむモード）を切り換えます。※3※4※6
フィルムモード		• フィルム収録のＤＶＤなど、元信号が 24 コマ／秒の映像を高画質で再生するための設定です。※1※3※4※6
	アドバンス（強）	• 映像の動きをより滑らかにして高画質に再生します。
	アドバンス（標準）	• 映像の動きを滑らかにして高画質に再生します。
	スタンダード	• 映像の各コマの表示時間を等しく再生します。より映画館の臨場感が味わえるモードです。
	しない	• フィルムモードを停止します
デジタル NR		• 録画した番組やビデオなどの再生映像を、すっきりさせる機能です。※2※6
モノクロ		• 白黒映像にします。
明るさセンサー（OPC）設定		• 明るさセンサー（OPC）「入」時の、稼動範囲の上限と下限をお好みの値に設定できます。 • 周囲の明るさにもよりますが、設定範囲がせまい場合は、明るさセンサーが働きません。

※ 1　ＡＶポジションが「ゲーム」のときは選択できません。
※ 2　ＡＶポジションが「PC」のときは選択できません。
※ 3　入力信号がプログレッシブ（480p、720p、1080p）のときは選択できません。
※ 4　入力信号が PC 信号のときは選択できません。
※ 5　アナログ放送視聴時またはビデオ映像端子から入力された映像を表示しているときに選択できます。
※ 6　ホームネットワークのときは選択できません。

画面のチラつきやざらつきを抑えてすっきりさせる

•「プロ設定」の「デジタル NR」を、「強」「中」「弱」「アクティブ」のいずれかに設定してみてください。

ジャンルを選んで画質を設定する（お好み画質設定）

- 映像のジャンル（「スポーツ」「ビデオ」「フィルム」）ごとに、お好みの画質に設定できます。
- この設定は、AV ポジションを「ぴったりセレクト」にしていて、映像調整の「お好み画質」が「する」に設定しているときのみ、有効になります。

ジャンルのお好み画質の設定項目

項目		内容
ジャンル切換		•「スポーツ」「ビデオ」「フィルム」の切換えをします。
映像※		• 映像の強弱を調整します。
黒レベル※		• 画面を見やすい明るさに調整します。
色の濃さ※		• 映像の色の濃さを調整します。
色あい※		• 色を調整します。
画質※		• 画面をお好みの画質に調整します。 • AQUOS 純モード対応レコーダーが接続されているとき、レコーダーによっては、番組表示時やモードによって選択できない場合があります。
プロ設定※	**カラーマネージメント**	• 色の構成要素となる 6 つの系統色を調整し、色相・彩度・明度を変化させせます。
	アンベールコントロール	• エッジを補正することで奥行き感のある映像にします。
	ガンマ設定	• 映像の明るい部分と暗い部分の階調の差を調整できます。
	アクティブガンマ	• 映像に応じて階調設定を変化させる量を設定します。
学習機能		• 映像の明るさ（輝度）の段階ごとに画質を調整して、本機に「お好み画質」の働きかたを学習させせます。（調整のしかた⇒ **78** ～ **81** ページ）

カラーマネージメントの調整項目について（例：色相の調整の場合）

系統色	調整 −30……………0……………+30	系統色	調整 −30……………0……………+30
R(赤)	マゼンタに近づく ⇔ 黄に近づく	C(シアン)	緑に近づく ⇔ 青に近づく
Y(黄)	赤に近づく ⇔ 緑に近づく	B(青)	シアンに近づく ⇔ マゼンタに近づく
G(緑)	黄に近づく ⇔ シアンに近づく	M(マゼンタ)	青に近づく ⇔ 赤に近づく

※ ホームメニューから「設定」－「視聴準備」－「お好み画質・音質設定」－「お好み画質設定」または、かんたん初期設定にてお好み画質設定を行うと、設定内容が上書き変更されます。

◇**おしらせ**◇

「お好み画質設定」をするときは

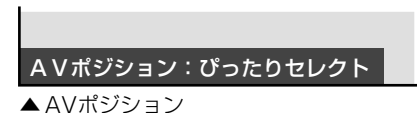
- AV ポジションが「ぴったりセレクト」のときに設定できます。
- 映像調整の「お好み画質」（⇒ **74** ページ）が「する」のときに設定できます。

1 画質を設定したいジャンルの映像を選局する

- 異なるジャンルの映像を選局しても設定はできますが、視聴中の映像では設定した結果を確認できません。

2 AVポジションの「ぴったりセレクト」を選ぶ

AVポジション（画質切換）を押す

AVポジション：ぴったりセレクト

▲ AVポジション

AV ポジションの選びかた

- ⇒ **69** ページ

3 ホームメニューを表示して、「設定」－「(映像調整)」を選ぶ

ホームを押し　で選ぶ

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

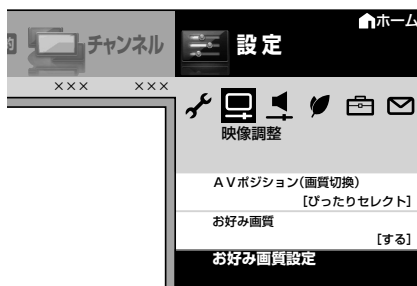
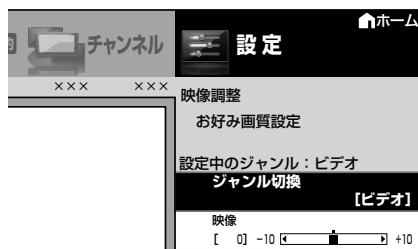
4 お好み画質の設定が「する」になっているかを確認する

[しない]になっている場合は、お好み画質を「する」に設定します。（設定のしかた⇒**73**ページ）

5 「お好み画質設定」を選ぶ

で選び　決定を押す

6 「ジャンル切換」を選ぶ

で選び　決定を押す

7 「スポーツ」「ビデオ」「フィルム」のいずれかから、視聴中の映像と同じジャンルを選ぶ

で選び　決定を押す

- 設定を行うジャンルの初期値は、現在の視聴中の映像のジャンルとなります。

視聴中の映像のジャンルと異なるジャンルを選んだ場合

- 「設定中のジャンルが現在のジャンルと異なります。現在のジャンルに合わせて設定をしてください。」と表示されます。
- 異なるジャンルを選んでも設定はできますが、視聴中の映像では設定した結果を確認できません。

8 調整したい項目を選ぶ

で選ぶ

工場出荷時の設定に戻したいときは

- 「リセット」を選び、決定ボタンを押します。
- 上下カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。

9

で選び　決定を押す

◆「プロ設定」「学習機能」以外を設定する場合

- 「映像」、「黒レベル」、「色の濃さ」、「色あい」、「画質」が設定できます。
  ①左右カーソルボタンでお好みの設定にする
  ②操作を終了する場合はホームボタンを押す

決定を押す　画面の指示に従う

◆「プロ設定」「学習機能」を設定する場合

- 画面に従って操作します。
- 「学習機能」の設定については、⇒**78**～**81** ページをご覧ください。

次のページに続く

本機にお好み画質の働きかたを学ばせる（学習機能）

- 「お好み画質」による画質の自動設定のしかたを変えられます。
- 映像の明るさの段階ごとに画質の調整をして、本機にお好み画質の働きかた（画質の設定のしかた）を学習させせます。

◆「学習機能」を選ぶ

1 **前ページの手順1～7を行う**

2 **前ページの手順8で「学習機能」を選ぶ**

で選び 決定 を押す

◆画質調整に使いたい場面を選ぶ

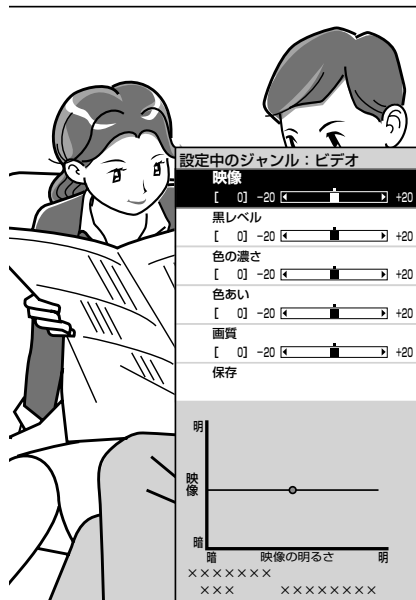
3 **画質を設定したい映像が映されたときに、「映像取得」を選ぶ**

で選び 決定 を押す

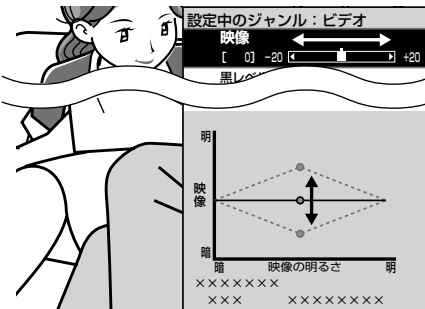
- 選んだ場面の明るさ（画面全体の平均輝度）が、画質調整の対象になります。
- 映像取得を行うと、映像は静止画状態になります。

◆画質を調整する

4 **「映像」を選ぶ**

で選ぶ

5 **設定の値を変える**

- 場面の画像を見ながら、お好みの値に変えます。

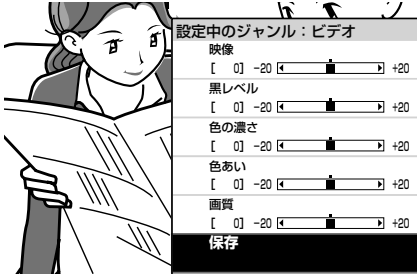
で選ぶ

- 設定の値に連動して、下に表示されるグラフも変わります。

6 **手順4～5と同様の操作で、「黒レベル」「色の濃さ」「色あい」「画質」をそれぞれ調整する**

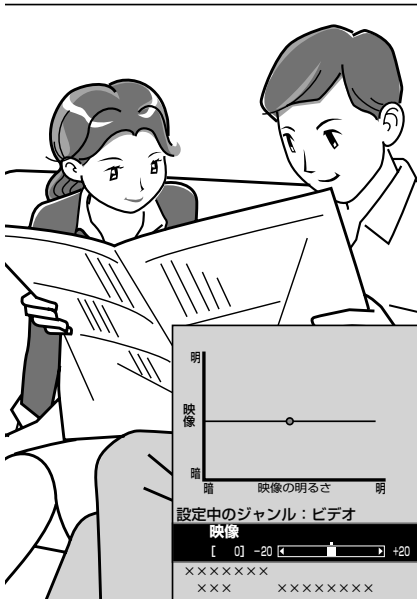
で選ぶ

◆調整の結果を保存する

7 「保存」を選ぶ

▲▼で選び 決定を押す

- 保存すると、設定した値でお好み画質の働きかたが変わります。

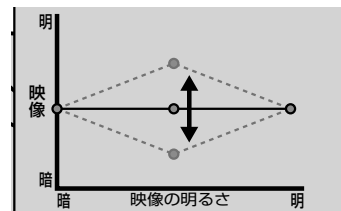
◇おしらせ◇

- 手順 **5** で決定を押すと、その項目だけを画面右下に表示できます。場面の画像が見やすくなるので便利です。

- 決定を押すと、手順 **5** の画面に戻ります。

グラフの見かた

- グラフの縦軸は、「映像」「黒レベル」「色の濃さ」「色あい」「画質」のそれぞれになります。
- グラフの横軸は、画面全体の平均輝度の段階（左側ほど暗い映像、右側ほど明るい映像）になります。

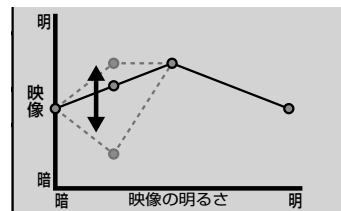
- グラフの横軸は、左端と右端の 2 点が初期値として表示されます。2 点の間は、線で結ばれています。

- 手順 **3** で選んだ場面の平均輝度の段階が、グラフの点として追加されます。
- 追加された点は、手順 **5** の操作に連動して上下に動きます。

- 点の間の線は、それぞれの輝度での設定値を表します。

- 手順 **7** で「保存」すると、設定した値で学習が完了します。

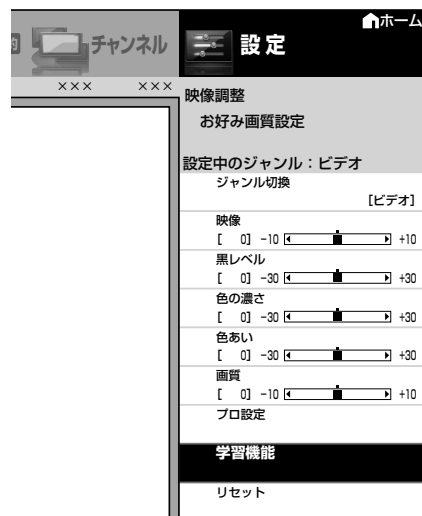
学習を繰り返したときのグラフについて

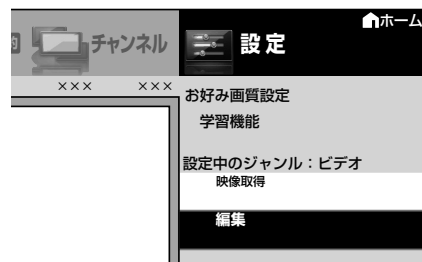
- 「学習機能」で学習を繰り返すと、グラフに設定値の点が増えます。
- 増えた点の設定を変えて、より細かく「お好み画質」の学習をさせられます。

次のページに続く

保存した設定値を調整するには（学習機能の編集）

- 学習した点についてのみ編集可能です。

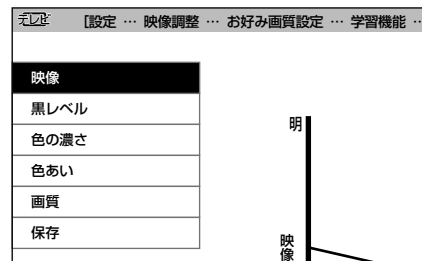
1 77ページの手順1～7を行う

2 77ページの手順8で「学習機能」を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 「編集」を選ぶ

で選び 決定 を押す

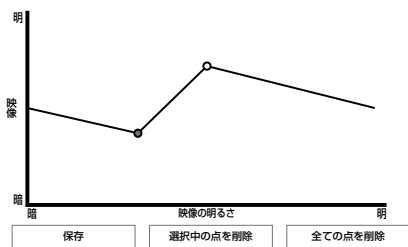
4 編集したい項目を選ぶ

- 「映像」「黒レベル」「色の濃さ」「色あい」「画質」のいずれかを選びます。

で選び 決定 を押す

- 画面全体にグラフが表示されます。

5 で選ぶ

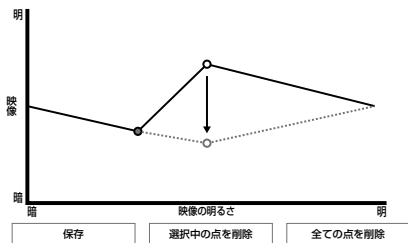
編集したい点を選ぶ

- 0%や 100%の点も選べます。

6 で選ぶ

点を編集する

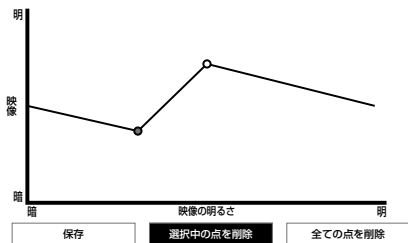
設定の値を変えるとき

- 上下に点を動かせます。

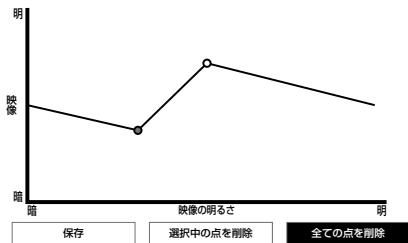
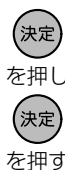
決定を押し で選び 決定を押す

選んでいる点を削除するとき

- グラフ下の「選択中の点を削除」を選びます。

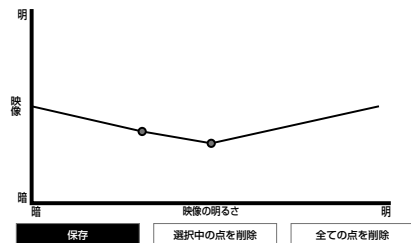
決定を押し

で選び 決定を押す

学習した点を全て削除するとき

- グラフ下の「全ての点を削除」を選びます。

7 決定を押し 決定を押す

編集の結果を保存する

- グラフの下の「保存」を選ぶと、保存できます。

明
映像
暗
暗
映像の明るさ
明
保存
選択中の点を削除
全ての点を削除

◇おしらせ◇

- 「編集」の操作では、学習する点を追加することはできません。

音質を調整する（音声調整）

- 選択している AV ポジションの音声を調整できます。
- 普段テレビを視聴しているときの音量にして調整してください。
- AV ポジション「ぴったりセレクト」のときの音質設定については、**72** ページをご覧ください。
- ＡＶポジションごとに、音声調整を記憶できます。先にＡＶポジション（⇒ **68** ページ）を選んでから音声調整を行ってください。

項目	内容	
オートボリューム	• 自動的に最適な音量に調整する機能です。（調整のしかた⇒ **84** ページ）	
高音	• 高音を調整できます。	
低音	• 低音を調整できます。	
バランス	• 左右のスピーカー音声のバランスを調整できます。	
サラウンド	• 内蔵のスピーカーで臨場感あふれるマルチチャンネルサラウンド空間を擬似的に実現します。	
音質補正	• 選択している AV ポジションの音質を設定します。	
	標準	• 標準設定です。
	映画	• 映画番組などに適した設定です。
	ダイナミック	• メリハリのきいた設定です。
	ニュース	• ニュース番組などに適した設定です。
リセット	• 音声調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。（「声の聞きやすさ」は除きます。）	
声の聞きやすさ	• 人の声や会話などを聞きやすくするための設定です。（調整のしかた⇒ **85** ページ）	

◇**おしらせ**◇

次の場合は音声調整ができません

- AV ポジションを「ダイナミック（固定）」にしているとき
- ヘッドホンを接続しているとき（「ヘッドホン」設定が「モード 2」のときを除く）
- 入力 6 端子設定を「モニター出力（可変 1）」に設定しているとき
- ホームメニューから「リンク操作」－「音声出力機器切換」で「AQUOS オーディオで聞く」に設定しているとき

「サラウンド」について

- 「自動」に設定すると、サラウンド再生が可能な番組を選局した際、自動でサラウンド再生します。
- ヘッドホンで音声を聴いているときや、入力 6 ／モニター出力（録画出力）端子からの音声出力、デジタル音声出力（光）端子からの出力では、サラウンドの効果が得られません。
- 放送や DVD などのコンテンツによっては、サラウンドの効果が得られないことがあります。
- IrSS™ モードのときはサラウンドの設定ができません。

音声調整のしかた

1 普段テレビを視聴しているときの音量にする

を押す

2 音声調整をしたいAVポジションを選ぶ

AVポジション（画質切換）を押す

ＡＶポジション：標準

▲AVポジションの表示例

- 音声調整の設定は、AV ポジションごとに記憶できます。(「ダイナミック（固定）」以外)
- 先にＡＶポジションを選んでから音声調整をします。

AV ポジションの選びかた

- ⇒ **69** ページ

AV ポジションによる違いについて

- 「ダイナミック（固定）」では、調整できません。
- 「ぴったりセレクト」に設定している場合、オートボリュームなどは自動で制御されるため、変更できません。また､「高音」「低音」は､「お好み音質設定」により設定されるため、変更できません。

3 ホームメニューを表示して、「設定」－「（音声調整）」を選ぶ

を押し　で選ぶ

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ホームメニューの画面例

4 調整したい項目を選ぶ

で選ぶ

工場出荷時の設定に戻したいときは

- 「リセット」を選び、決定します。
- 上下カーソルボタンで「する」を選び、決定します。

5

決定を押し　で選び　決定を押す

◆「オートボリューム」を設定する場合

- 上下カーソルボタンで「強」「中」「弱」「切」のいずれかを選ぶ

◆「サラウンド」を設定する場合

- 上下カーソルボタンで「自動」「入」「切」のいずれかを選ぶ

◆「音質補正」を設定する場合

- 上下カーソルボタンで「標準」「映画」「ダイナミック」「ニュース」のいずれかを選ぶ

◆「声の聞きやすさ」を設定する場合

- 上下カーソルボタンで「標準」「マイルド」「くっきり」「しない」のいずれかを選ぶ

◆「高音」「低音」「バランス」を設定する場合

で選び　決定を押す

- 左右カーソルボタンでお好みの設定にする。

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

- 音声調整は、ホームメニューから「ツール」－「音声調整」を選んでも設定できます。
- サラウンドを「自動」に設定すると、サラウンド再生が可能な番組を選局したときに、自動でサラウンド再生します。

音量を自動で調整する（オートボリューム）

- チャンネルを切り換えたときやコマーシャルに切り換わったときなど極端に音量が変わるとき、自動的に音量を調整して不快感を軽減できます。
- 撮影した映像や他の機器で録画した番組の音量が小さすぎるときは、自動的に聞こえやすい音量になります。

◇おしらせ◇

- 声の聞きやすさ設定を「標準」「マイルド」「くっきり」のいずれかに設定している場合、オートボリュームは自動的に設定され、変更できません。
- この機能は、本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンや外部スピーカーの音声に対しては働きません。
- AV ポジションを「ぴったりセレクト」に設定している場合、オートボリュームは自動で制御されるため、変更できません。
- 放送や DVD などのコンテンツによっては、本機能の効果が十分に得られない場合があります。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（音声調整）」－「オートボリューム」を選ぶ

ホームを押し

で選び

決定を押す

選びかたは、26 ～ 31 ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「強」「中」「弱」のいずれかを選ぶ

で選び

を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

会話を聞き取りやすくする（声の聞きやすさ）

• ドラマや映画のセリフが聞き取りにくいとき、人の声に関する音域を強調させて聞き取りやすくすることができます。

「声の聞きやすさ」の設定項目

項目	内容	共通の内容
標準	• 音の大きさをそろえた標準的な音質にします。	• 小さい音のセリフを大きく、大きな音のセリフを小さくすることにより、セリフを聞きとりやすくします。
マイルド	• 標準よりもマイルドな音質にします。 • セリフ以外の効果音や雑音を小さくし、セリフを聞きとりやすくします。	
くっきり	• 標準よりもくっきりした音質にします。 • セリフの音質をくっきりさせて、聞きとりやすくします。	
しない	• この機能を無効にします。	

1 ホームメニューを表示して、「設定」−「(音声調整)」−「声の聞きやすさ」を選ぶ

ホーム を押し
で選び
決定 を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

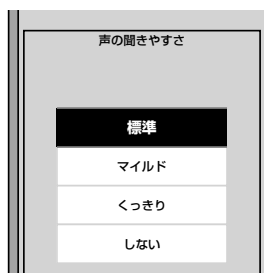
▼ ホームメニューの画面例

2 「標準」「マイルド」「くっきり」のいずれかを選ぶ

で選び
決定 を押す

• 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

• この設定は、AV ポジションを「ぴったりセレクト」に設定している場合、「お好み音質設定」（⇒ **72** ページ）により設定されるため、変更できません。
• この機能は、本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンや外部スピーカーの音声に対しては働きません。
• 放送や DVD などのコンテンツによっては、本機能の効果が得られにくい場合や、声の一部が聞きづらくなる場合があります。その場合は設定を変えるか「しない」にしてください。
• 声の聞きやすさを「標準」「マイルド」「くっきり」のいずれかに設定したときは、「音質補正」（⇒ **82** ページ）の効果はあまり得られません。

部屋や置きかたに適した音質を選ぶ

- この機能は、当社が開発した視聴環境に適した音質の設定機能です。

「視聴環境設定（音声）」の設定項目

項目		内容
部屋の種類	**洋室**	• フローリングの床のように反響の大きい部屋の場合に選びます。
	寝室	• ベッドなどの音声を吸収するものがある部屋の場合に選びます。
	和室	• 畳部屋で音声を吸収する大きな家具がない部屋の場合に選びます。
設置場所	**壁寄せ**	• 部屋の壁面に平行に設置している場合に選びます。
	コーナー置き	• 部屋の角に設置している場合に選びます。
	壁掛け	• 専用の壁掛け金具で、部屋の壁に設置する場合に選びます。（壁掛け設置 ⇒ **340** ページ）

1 ホームメニューを表示して、「設定」−「（視聴準備）」−「視聴環境設定」を選ぶ

ホーム を押し

決定 で選び

決定 を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

ホーム
チャンネル
設定
×××　×××
視聴準備
かんたん初期設定
テレビ放送設定
通信(インターネット)設定
お好み画質・音質設定
クイック起動設定 [しない]
起動チャンネル設定 [通常]
視聴環境設定

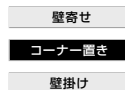
2 「視聴環境設定（音声）」を選ぶ

決定 で選び

決定 を押す

3 「個別設定」を選ぶ

で選び

決定 を押す

個別設定することで、本機を設置した部屋や設置場所に合わせたサウンドに設定します。

[現在の設定]

ユーザー選択　：個別設定
部屋の種類　　：洋室
設置場所　　　：コーナー置き

標準　個別設定

- 「標準」は、設定オフの状態になります。

4 視聴している部屋の種類を選ぶ

で選び

決定 を押す

部屋の種類を設定します。

洋室
寝室
和室

5 本機の設置場所を選ぶ

で選び

決定 を押す

設置場所を設定します。

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

- 視聴環境設定は、一般的な洋室、寝室、和室を目安に音を設定していますが、部屋によっては効果が分かりにくい場合があります。その場合は、音声調整（⇒ **82** ページ）で調整してください。
- 声の聞きやすさ設定を「標準」「マイルド」「くっきり」のいずれかに設定している場合は、視聴環境設定は選べません。
- この機能は、本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンや外部スピーカーの音声に対しては働きません。
- AV ポジションを「ぴったりセレクト」に設定している場合、「お好み音質設定」により設定されるため、変更できません。

ヘッドホンで聞くときの音の出かたを変える

• ヘッドホン使用中に、スピーカーとヘッドホン端子から出る音声を切り換えます。

1 画面でヘッドホンを使用しているときの、音の出かた

項目		スピーカー	ヘッドホン
モード 1	スピーカーから音を出さない	× （出力されません）	**見ている画面の音声**
モード 2	スピーカーだけでは聞きづらい方と、スピーカー音量を大きくし過ぎたくない方とが一緒に楽しむ	**見ている画面の音声**	**見ている画面の音声**
モード 3	スピーカーから音を出さない	× （出力されません）	**見ている画面の音声**

※「モード 2」ではヘッドホンをつないだときに、消音ボタンでヘッドホン出力を停止できません。

2 画面でヘッドホンを使用しているときの、音の出かた

項目		スピーカー	ヘッドホン
モード 1	スピーカーから音を出さない	× （出力されません）	**操作画面** （「♪」マークのある側）の音声
モード 2	スピーカーだけでは聞きづらい方と、スピーカー音量を大きくし過ぎたくない方とが同じ画面の音声を一緒に楽しむ	**操作画面** （「♪」マークのある側）の音声	**操作画面** （「♪」マークのある側）の音声
モード 3	ヘッドホンとスピーカーで別々の画面の音声が楽しめる	**操作画面** （「♪」マークのある側）の音声	**非操作画面の音声**

※「モード 2」「モード 3」ではヘッドホンをつないだときに、消音ボタンでヘッドホン出力を停止できません。

1 ホームメニューを表示して、「設定」−「(機能切換)」−「外部端子設定」を選ぶ

ホーム を押し
で選び
決定 を押す

選びかたは、26 ～ 31 ページをご覧ください。

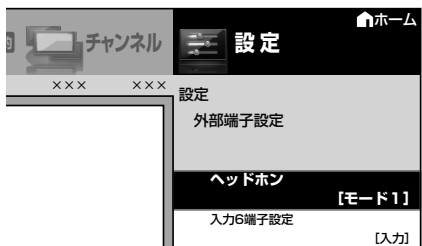
▼ ホームメニューの画面例

2 「ヘッドホン」を選ぶ

で選び
決定 を押す

3 「モード1」「モード2」「モード3」のいずれかを選ぶ

で選び
を押す

• 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

「モード 2」「モード 3」の音量調整について

• スピーカーの音量調整はリモコンで行います。
• ヘッドホンの音量調整は本体の音量（＋／−）ボタンで行います。
• リモコンの消音ボタンを押してもヘッドホンの音量は「0」になりません。

ヘッドホンを使用しないとき

• 設定に関係なくスピーカーから音が出ます。

本体のボタンで操作するとき

• 2 画面で本体側面の選局ボタン・入力／放送切換（決定）ボタンを押すと、操作画面側が切り換わります。

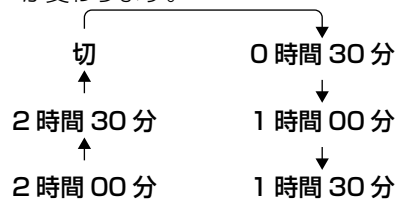
省エネの設定をする

指定した時間後に電源を切る（オフタイマー）

- テレビを見ながらお休みになるときなどに便利です。

を押す

繰り返し押してオフタイマーを設定する

- 押すごとに次のように画面の表示が変わります。

- オフタイマーの残り時間が 5 分になると、残り時間が画面左下に表示されます。

◇**おしらせ**◇

ホームメニューからオフタイマー機能を設定することもできます

- ホームメニューから「ツール」－「タイマー機能」－「オフタイマー」を選びます。
- ホームメニューから「設定」－「（安心・省エネ）」－「オフタイマー」を選びます。
- オフタイマーを解除するには、「切」を選びます。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

オフタイマーの残り時間を確認するには

を押す

オフタイマーの残り時間を確認する

- オフタイマーがすでに設定されている場合は、オフタイマーの残り時間が表示されます。
- しばらくすると表示が消えます。
- 残り時間が表示されている間は、オフタイマーボタンを押さないでください。残り時間が変わってしまいます。

放送終了後に電源を切る（無信号オフ）

- 放送終了後など、番組が映らない状態になると、約 15 分後に電源が切れるように設定できます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(安心・省エネ)」－「無信号オフ」を選ぶ

ホームを押し ◀▶▲▼で選ぶ

選びかたは、26 ～ 31 ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「する」を選ぶ

◀▶▲▼で選び 決定を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。
- 電源が切れる 5 分前から画面左下に残り時間が表示されます。

◇**おしらせ**◇

無信号オフ機能について

- 工場出荷時は「しない」に設定されています。
- 放送が終了しても、他局の放送やその他の電波が混入するときや、ブルーバックなどのビデオ信号が入力されているときは、正しく動作しない場合があります。
- 放送電波の状態などにより、番組を見ているときに無信号オフ機能が働いて電源が切れる場合は、設定を「しない」にしてください。

操作しない状態のときに電源を切る（無操作オフ）

- 本機を操作しない状態が続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(安心・省エネ)」－「無操作オフ」を選ぶ

ホームを押し ◀▶▲▼で選び 決定を押す

選びかたは、26 ～ 31 ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「30分」または「3時間」を選ぶ

◀▶▲▼で選び 決定を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

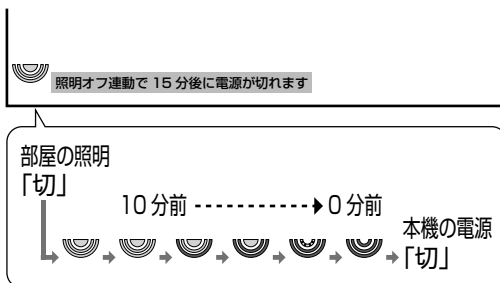
無操作オフ機能について

- 工場出荷時は「しない」に設定されています。

部屋の照明を消したときに本機の電源も切る（照明オフ連動）

※「照明オフ連動」が働きはじめたあとでリモコン操作を行うと、画面の明るさと音量が元に戻ります。
※「照明オフ連動」が働きはじめたあとで部屋が明るくなった場合は、「照明オフ連動」が解除されます。

項目	内容	
照明オフ連動	• 照明オフ連動機能の「設定」「解除」を設定します。	
電源切（待機状態）移行時間	0 分	• 部屋の明るさがある程度の暗さに変わったら、すぐに本機の電源を「切」にします。
	15 分※	• 部屋の明るさがある程度の暗さに変わったら、画面の明るさと音量を徐々にさげ、15 分後に本機の電源を「切」にします。
	30 分※	• 部屋の明るさがある程度の暗さに変わったら、画面の明るさと音量を徐々にさげ、30 分後に本機の電源を「切」にします。
	60 分※	• 部屋の明るさがある程度の暗さに変わったら、画面の明るさと音量を徐々にさげ、60 分後に本機の電源を「切」にします。
表示設定	アイコン＋文字	• 画面にアイコンとメッセージを表示します。
	文字のみ	• 画面に文字を表示します。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（安心・省エネ）」－「照明オフ連動」を選ぶ

ホーム を押し　で選び　決定 を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「照明オフ連動」で「設定」を選ぶ

で選ぶ

3 それぞれの項目を設定する

① 上下カーソルボタンで項目を選ぶ

② 左右カーソルボタンで項目の値を選ぶ

• 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

で選ぶ

▼ 照明オフ連動の画面例
（表示設定：アイコン＋文字）

• 表示設定が「アイコン＋文字」の場合は、1 分ごとに大きなアイコンとメッセージが表示され、その後小さなアイコンが表示されます。
• 表示設定が「文字のみ」の場合は、1 分ごとにメッセージが表示されます。
• 電源を切る 10 分前から、残り時間が表示されます。

◇おしらせ◇

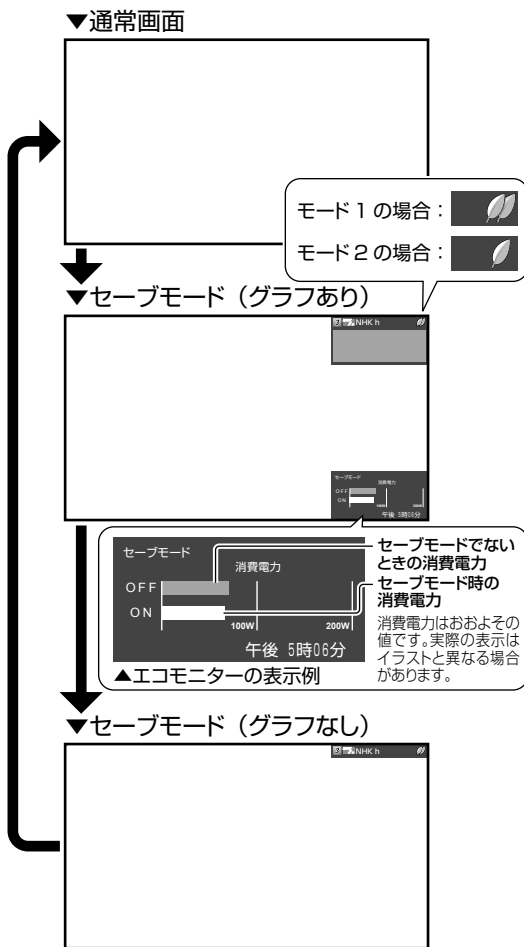
• 明るさセンサーの前にものを置いたりすると、部屋の明るさを感知できなくなります。
• 部屋が暗い状態で本機の電源を入れた場合は、照明オフ連動が働かないことがあります。（この機能は、ある程度の暗さに変わったときに働きます。）
• テレビに全画面表示している番組表の操作中や、一部のホームメニューの操作中は、指定時刻になっても操作を優先しているため、電源が切れません。操作を終了したあとに、画面左下にアイコンや文字が表示され、電源が切れます。

画面の明るさを抑えて節電する（セーブモード）

- ボタン１つで消費電力を抑えることができます。
- セーブモード中に、視聴している映像に対して画質の設定を切り換える操作（ホームボタン、ツールボタン、AV ポジション（画質切換）ボタンを押す操作）をしたときや、電源を切ったときは、セーブモードが解除されます。

1 視聴中にセーブモードボタンを押す

セーブモード を押す

- 押すたびに、次のように切り換わります。

セーブモードの節電効果を設定するには

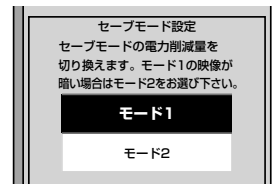
1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(安心・省エネ)」－「セーブモード設定」を選ぶ

ホーム を押し、で選び、決定 を押す

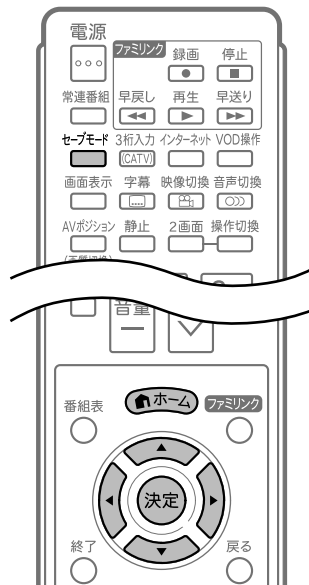
選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「モード1」または「モード2」を選ぶ

で選び、決定 を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

設定値	内容
モード１	• 今見ている映像から、電力をより多く削減します。
モード２	• 今見ている映像から、電力を削減します。

- 「モード１」の映像が暗い場合は、「モード２」をお選びください。

視聴できる番組や操作を制限する

暗証番号を設定し、視聴を制限する

• 視聴の年齢制限など、各種の制限を設定できます。これらの制限を設定するときや変更するときに、暗証番号を使います。

暗証番号設定

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(視聴準備)」－「各種設定」を選ぶ

ホーム を押し

で選び 決定 を押す

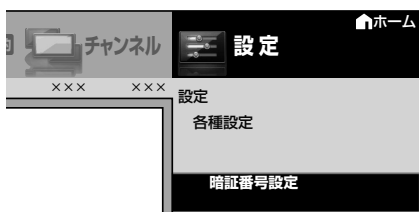
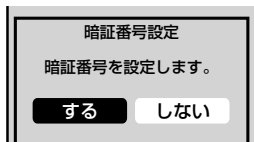
選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

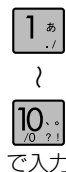
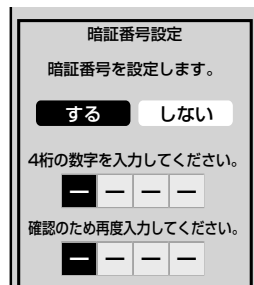
2 「暗証番号設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

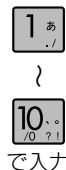
3 「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

• 暗証番号を設定している状態で、「しない」を選んだ場合、確認の画面が表示されます。確認の画面で「する」を選ぶと、暗証番号が消去され「視聴年齢制限設定」「ネットサービス制限設定」「視聴制限レベル」が初期化されます。

4 4桁の暗証番号を入力する

～

で入力

• 「0」を入力したい場合は を押します。
• 暗証番号は必ずメモしてください。

5 確認のため、再度同じ暗証番号を入力する

～

で入力

• 間違った番号を入力した場合は、手順 **4** からやり直してください。

6 「確認」で決定する

を押す

• 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

暗証番号を忘れたときは

• 受信契約されている、有料放送の放送局（WOWOW やスターチャンネルなど）までご連絡ください。放送局で暗証番号を消去します。暗証番号の消去には手数料がかかります。（2010 年 6 月現在）

暗証番号を変更するときは

①左記の手順 **1** ～ **2** を行う
• 暗証番号入力画面が表示されます。

②数字ボタン（チャンネルボタン）で、暗証番号を入力する
• 暗証番号を入力すると、暗証番号を設定するときの画面になります。暗証番号を設定するときと同じ要領で設定をやり直してください。

視聴年齢制限設定

- 年齢制限のある番組の視聴を4～20歳の範囲で制限します。
- この設定には、暗証番号設定（⇒**前**ページ）が必要です。

◇**おしらせ**◇

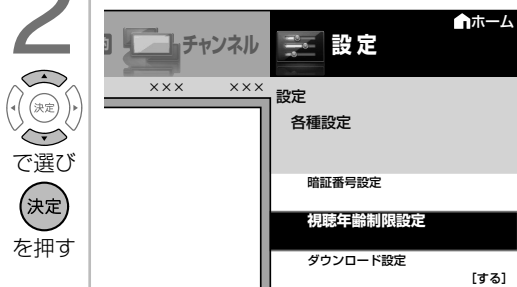
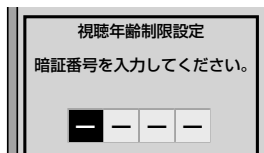
- IPTVの成人向けチャンネルやコンテンツを視聴するためには、視聴年齢制限設定が必要です。視聴年齢制限を「20歳」または「無制限」に設定すると、番組表などに成人向けチャンネルが表示されます。

1 前ページの手順**1**を行う

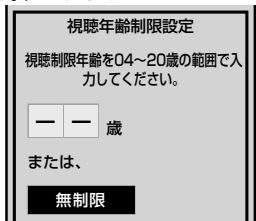
2「視聴年齢制限設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 暗証番号を入力する

1～10 で入力

4 年齢の入力欄を選び、制限する年齢の上限を入力する

1～10 で入力し 決定 を押す

- 制限しない場合は「無制限」を選び、決定ボタンを押します。

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

リモコンまたは本体の操作をロックする（チャイルドロック）

- リモコンまたは本体の操作をロックするよう設定できます。

項目	内容
しない	• リモコンでも本体ボタンでも操作できます。
リモコン操作ロック	• リモコンでの操作ができない状態にします。
本体操作ロック	• 本体ボタンでの操作ができない状態にします。（本体の電源スイッチはロックされません。）

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(安心・省エネ)」－「チャイルドロック」を選ぶ

選びかたは、**26**～**31**ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2「しない」「リモコン操作ロック」「本体操作ロック」のいずれかを選ぶ

で選び 決定 を押す

- 「リモコン操作ロック」、「本体操作ロック」のどちらかを選んだ場合、確認の画面が表示されます。「する」を選ぶと、チャイルドロックが設定されます。

◇**おしらせ**◇

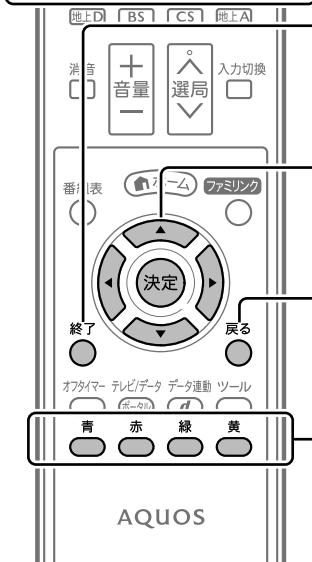
- 誤ってリモコン操作をロックしてしまった場合は、本体の操作ボタン（⇒**20**ページ）で上記の操作をし、ロックを解除してください。

文字を入力する（ソフトウェアキーボード）

- 本機の操作で文字の入力が必要なときは、画面に表示されるソフトウェアキーボードを使って入力します。

番組表のキーワード入力、
入力切換の入力表示の編集、
LAN 設定の IP アドレスの入力、
インターネットの検索などで、
文字の入力が必要になります。

▼文字入力の画面例

文字の入力に使うリモコンのボタン

- 文字を入力します。
- 現在の入力をすべて取り消します。
  ソフトウェアキーボードも消えます。
- 入力欄のカーソルを移動します。
- 予測変換しているときは変換候補を選びます。
- 漢字変換しているときは、左右で変換する範囲を指定し、上下で変換候補を選びます。
- 文字を消去します。
- 予測変換や漢字変換しているときは、変換を取り消します。
- 青：ひらがなを漢字に変換します。（漢字を入力できる欄のみ）
- 赤：予測変換や漢字変換の候補を逆順で選びます。
- 緑：文字の種類（文字種）を選びます。
- 黄：文字入力を完了します。
  ソフトウェアキーボードが消えます。

入力できる文字の一覧

- 文字種によって入力できる文字が変わります。

ひらがな（全角）

①	あいうえお ぁぃぅぇぉ	②	かきくけこ	③	さしすせそ
④	たちつてと っ	⑤	なにぬねの	⑥	はひふへほ
⑦	まみむめも	⑧	やゆよ ゃゅょ	⑨	らりるれろ
⑩	、。？！ ・「」	⑪	わをんーゎ （スペース）	⑫	゛゜

カタカナ（全角）

①	アイウエオ ァィゥェォ	②	カキクケコ	③	サシスセソ
④	タチツテト ッ	⑤	ナニヌネノ	⑥	ハヒフヘホ
⑦	マミムメモ	⑧	ヤユヨ ャュョ	⑨	ラリルレロ
⑩	、。？！ ・「」	⑪	ワヲンーヮ （スペース）	⑫	゛゜

半角英字／全角英字

①	. / @ : -	②	abcABC	③	defDEF
④	ghiGHI	⑤	jklJKL	⑥	mnoMNO
⑦	pqrsPQRS	⑧	tuvTUV	⑨	wxyzWXYZ
⑩	? ! ( ) _	⑪	（スペース）	⑫	全角／半角切換

半角数字／全角数字

①	1	②	2	③	3
④	4	⑤	5	⑥	6
⑦	7	⑧	8	⑨	9
⑩	0			⑫	全角／半角切換

半角記号

<table>
<tr><td>①</td><td>. / @</td><td>②</td><td>, : ;</td><td>③</td><td>_ - ¥</td></tr>
<tr><td>④</td><td>$ % &</td><td>⑤</td><td># + *</td><td>⑥</td><td>= | ~</td></tr>
<tr><td>⑦</td><td>" ‘ ^ ’</td><td>⑧</td><td>( ) < ></td><td>⑨</td><td>[ ] { }</td></tr>
<tr><td>⑩</td><td>? !</td><td>⑪</td><td>（スペース）</td><td>⑫</td><td>全角／半角切換</td></tr>
</table>

全角記号

<table>
<tr><td>①</td><td>．／＠・</td><td>②</td><td>，：；</td><td>③</td><td>＿－￥</td></tr>
<tr><td>④</td><td>＄％＆</td><td>⑤</td><td>＃＋＊</td><td>⑥</td><td>＝｜￣～</td></tr>
<tr><td>⑦</td><td>＂‘＾’</td><td>⑧</td><td>（）＜＞</td><td>⑨</td><td>［］｛｝</td></tr>
<tr><td>⑩</td><td>？！</td><td>⑪</td><td>（スペース）</td><td>⑫</td><td>全角／半角切換</td></tr>
</table>

区点コード

- 本機に搭載する全ての全角文字が入力できます。
- 区点入力では、カーソルボタンで文字を選択し、決定することで文字を入力します。

16 進数

- 文字種から「16 進数」は選べません。16 進数専用の入力欄を選んだときに入力できます。

①	1	②	2	③	3
④	4	⑤	5	⑥	6
⑦	7	⑧	8	⑨	9
⑩	0	⑪	abc	⑫	def :

◇おしらせ◇

- 入力欄によって、選択できる文字種が変わります。
- 入力欄によっては、英字、数字、記号の全角と半角の切り換えができない場合があります。
- インターネットにおいて、区点コード入力で一部の記号文字を入力すると、文字化けなど正しく処理されない場合があります。

文字を入力する
⇒ **96 ～ 97** ページ

文字を入力する

◇おしらせ◇

文字入力の制限について

- ホームメニューから「設定」ー「(機能切換)」ー「外部端子設定」ー「入力表示」で「編集」を選んだときや、ホームメニューから「設定」ー「(視聴準備)」ー「通信(インターネット)設定」ー「LAN 設定」で LAN 設定の文字入力をするときは、予測変換されません。
- 1 つの入力欄に入力できる文字数は全角で 128 文字まで、半角で 256 文字までです。
- 文字が入力されている欄を選んだときは、入力済みの文字が入力欄に表示されます。
  このとき、全角で 128 文字(半角の場合は 256 文字)を超える文字は削除されます。

予測変換候補を工場出荷時状態に戻すには

①緑ボタンを繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ
②数字ボタン(チャンネルボタン)の「3」を押して「履歴削除」を選ぶ
- 予測変換候補が工場出荷時状態に戻ります。

予測変換機能を停止するには

①緑ボタンを繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ
②数字ボタン(チャンネルボタン)の「4」を押して「予測 OFF」を選ぶ
- 予測変換機能が停止し予測候補の表示欄が消えます。予測変換機能を使用するときは上記と同じ手順で「予測 ON」を選んでください。

「お早うございます」と入力する手順例

1 文字を入力できる欄を選ぶ

で選び 決定 を押す

- ソフトウェアキーボードが表示されます。

文字を選ぶ

2 「お」を入力する

1 を押す

- 1 を 5 回押します。
  押すたびに、文字が「あ」「い」「う」「え」「お」と変わっていきます。

入力中の文字に応じた予測変換候補が表示されます。
画面は一例です。予測変換候補は保存された履歴によって変わります。

予測変換候補に入力したい文字が表示されている場合

- 次の手順で語を入力します。
  ①下カーソルボタンを押す
  ②上下左右カーソルボタンで入力したい語を選び、決定ボタンを押す

入力中に文字を消去する場合

- 左右カーソルボタンでカーソルを移動し、戻るボタンを押します。

3 「は」を入力する

を押す

- 6 を 1 回押します。

4 同じようにして「よ」、「う」を入力する

「゛」（濁点）や「゜」（半濁点）を入力するときは

- [12 全/半] を押します。押すたびに「゛」と「゜」が切り換わります。

「っ」などの小さい文字を入力するときは

- [4 た GHI] を 6 回押すと「っ」が入力されます。

  「ぉ」の場合は、[1 あ] を 10 回押します。

スペースを入力するときは

- [11 わをん] を 6 回押します。

入力できる文字は

- 「入力できる文字の一覧」（⇒ **95** ページ）をご覧ください。

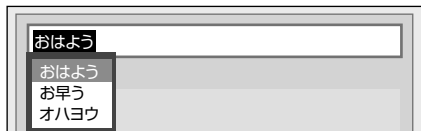
漢字やカタカナに変換する

5 入力欄の文字を変換する

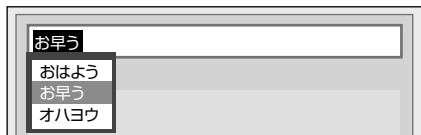
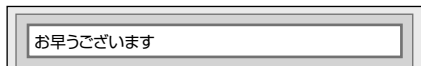
青を押す

- 変換候補が表示されます。
- 左右カーソルボタンで変換する範囲を選べます。

6 入力したい文字を選ぶ

▲▼◀▶で選び 決定を押す

- ここでは「お早う」を選びます。
- 次に続く文字の予測変換候補が表示されます。

7 続けて文字を入力する

[1 あ] ～ [12 全/半] で入力

- ここでは「ございます」と入力します。

- 変換せずに続けて文字を入力する場合は、(決定) を押します。

8 入力中の文字を確定する

黄を押す

- **前**ページの手順 **1** で選んだ入力欄に文字が入力されます。

改行するとき

1 改行したい箇所を選ぶ

2 繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ

緑を押す

文字種： あ　ア　1　A　記　区　機能

1 全文クリア	2 改行	3 履歴削除
4 予測OFF	5	6
7	8	9
10	11	12

⇕ で予測　(決定) でカーソル移動
(終了) 入力取消 (戻る) 文字消去

青 漢字変換　赤 逆順　緑 文字種変更　黄 完了

3 「改行」を選ぶ

[2 か ABC] を押す

- 「↵」が入力されます。黄を押して文字を確定すると、「↵」の部分で改行されます。

◇**おしらせ**◇

- 入力欄によっては、改行できない場合があります。また、改行以降の文字が消去される場合があります。
- 改行マークは、全角 1 文字として数えられます。

入力中の文字を全て消去するとき

- 入力欄に表示されている文字をまとめて消去することができます。

1 繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ

緑を押す

2 「全文クリア」を選ぶ

を押す

- 入力中の文字が全て消えます。
- 続けて文字を入力するときは、緑を押して、文字種を選んでください。

ファミリンクで使う

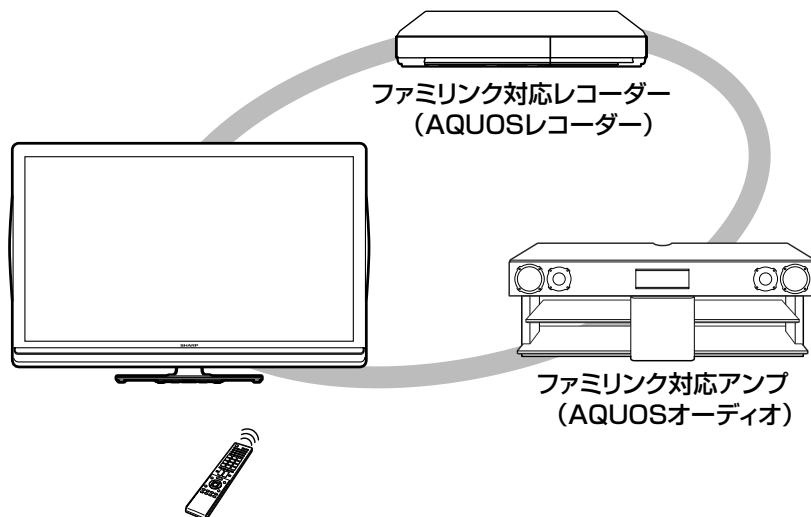
ファミリンクとは

- HDMI 端子は、映像や音声信号だけでなく、HDMI ケーブルを介して機器間を制御するコントロール信号もやり取りすることができます。この相互に機器間を制御できる規格− HDMI CEC（Consumer Electronics Control）−を使ってシャープ製の液晶テレビやレコーダー、AV アンプなどを相互に制御しスムーズに連携できるようにしたのが、ファミリンクです。

本機に、ファミリンクに対応したレコーダー（AQUOS レコーダー）やAV アンプ（AQUOS オーディオ）を HDMI 認証ケーブルで接続すると、本機のリモコンまたはレコーダーに付属のリモコンで、下記の連動操作が楽しめます。

テレビで見ている番組を、ワンタッチ録画

テレビの番組表で、録画予約

録画した番組を、ワンタッチ再生

◇おしらせ◇

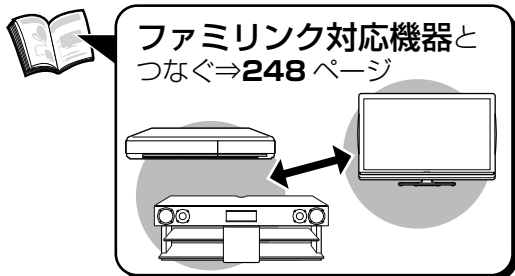
- ファミリンクの対応機種については SHARP web ページ内の AQUOS サポートステーション「他の機器と接続するには→ AQUOS ファミリンクについて（▼対応機種一覧）」をご覧ください。

AQUOS サポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

- 本機のリモコンでファミリンクを使う場合には、本機に向けて操作してください。AQUOS レコーダーや AQUOS オーディオは直接リモコン信号を受信しません。
- 本機には i.LINK 端子はありません。そのため、ハイブリッドダブレコ機能搭載の AQUOS レコーダーと接続したとき i.LINK 録画（2 番組同時録画）は働きません。

ファミリンク機能を使うための準備について

1. 接続をしましょう。

- 市販品の HDMI 認証ケーブルを使って、ファミリンク対応機器と本機をつないでください。

2. 設定をしましょう。

- ファミリンク機能を使うためには、以下の設定が必要です。（本機に付属のリモコンでも設定できます。）

> - 「連動起動設定」⇒**右記**
> - 「録画機器選択」⇒ **100** ページ
> - 「ファミリンク予約機器選択」⇒ **100** ページ
> - 「選局キー」⇒ **101** ページ
> - 「ファミリンク制御（連動）」⇒ **101** ページ
> - AQUOS レコーダー側の設定も必要です。⇒機器に付属の取扱説明書をご覧のうえ、設定を行ってください。

3. 使ってみましょう。

- ファミリンクⅡ機能に対応した機器をお使いの場合は、ファミリンクパネルで操作できます。⇒ **102** ページ
- 録画・録画予約してみましょう。⇒ **104** ～ **107** ページ
- 再生してみましょう。⇒ **108** ～ **109** ページ
- AQUOS オーディオを使ってみましょう。⇒ **110** ～ **111** ページ
- 携帯電話をつないで楽しみましょう。⇒ **112** ～ **113** ページ

ファミリンク対応機器から本機を自動で起動する

- ファミリンク対応機器を操作すると本機の電源が自動的に入るように設定します。

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」－「ファミリンク設定」を選ぶ

ホーム を押し
で選び
決定 を押す

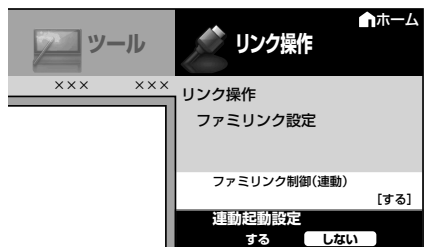
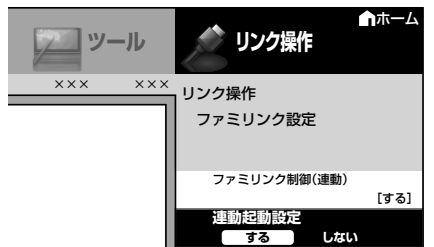
選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「連動起動設定」を選ぶ

で選ぶ

3 「する」を選ぶ

で選び
決定 を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

- ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「ファミリンク設定」－「連動起動設定」を選んでも設定できます。

次のページに続く

録画先として使うレコーダーを選ぶ

• AQUOS レコーダーをつないだときの設定です。本機からファミリンク録画するレコーダーを指定するための設定です。

1 **99ページの手順1を行う**

2 **「録画機器選択」を選ぶ**

で選び

決定 を押す

3 **ファミリンク機能で録画する機器を選ぶ**

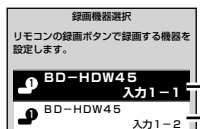
で選び

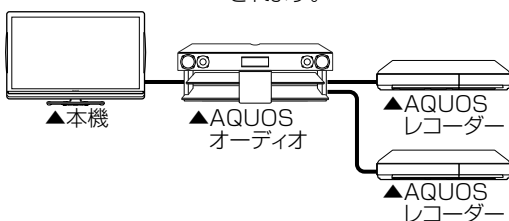
決定 を押す

• 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

• ホームメニューから「設定」−「(機能切換)」−「ファミリンク設定」−「録画機器選択」を選んでも設定することができます。

AQUOS オーディオを接続しているときの設定画面について

接続位置を数字コードで表示

下図のように1つの入力に複数の機器が接続されている場合は、入力1-1や入力1-2のように、枝番号が表示されます。

ファミリンク録画予約の録画先として使うレコーダーを選ぶ

• AQUOS レコーダーをつないだときの設定です。本機からファミリンク録画予約するレコーダーを指定するための設定です。

1 **99ページの手順1を行う**

2 **「ファミリンク予約機器選択」を選ぶ**

で選び

決定 を押す

3 **ファミリンク録画予約で録画する機器を選ぶ**

で選び

決定 を押す

• 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

• ホームメニューから「設定」−「(機能切換)」−「ファミリンク設定」−「ファミリンク予約機器選択」を選んでも設定することができます。

本機のリモコンで AQUOS レコーダーの選局などの操作をできるようにする

「選局キー」を「する」に設定すると、本機のリモコンで、以下の AQUOS レコーダーの操作が行えます。

- 選局ボタンと数字ボタン（チャンネルボタン）の 1 〜 12 で選局の操作ができます。
  ただし、11 12 は、レコーダーによっては動作しない場合があります。
- 番組表ボタンで番組表を表示できます。
- データ連動ボタンで連動データ放送を表示できます。
- 番組表ボタン、データ連動ボタンは、接続している機器によっては操作できない場合があります。

この設定は、入力端子ごとに設定します。

1 99ページの手順1を行う

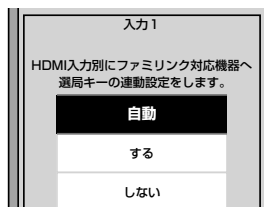
99ページの手順1を行う

2 「選局キー」を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 本機のリモコンで操作する機器を接続している入力を選ぶ

で選び 決定 を押す

4 「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。
- 「自動」に設定すると、「しない」に設定したときと同じ動作をします。しかし、接続されている機器から要求があった場合のみ、「する」に設定したときと同じ操作ができます。

◇**おしらせ**◇

- ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「ファミリンク設定」－「選局キー」を選んでも設定することができます。

本機から AQUOS レコーダーの電源を入／切するには

- ホームメニューから「リンク操作」－「レコーダー電源入／切」を選ぶと、AQUOS レコーダーの電源を入／切できます。

一般の HDMI 機器が誤作動するときは

- ファミリンクに対応していない機器をつないでいるときに、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが変わってしまう場合に行う設定です。

◇**おしらせ**◇

- ファミリンク機能を使うときは、「ファミリンク制御（連動）」を「する」に設定します。「しない」に設定すると、ファミリンク機能が無効になります。

1 99ページの手順1を行う

2 ①「ファミリンク制御（連動）」を選ぶ ②「しない」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

- ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「ファミリンク設定」－「ファミリンク制御（連動）」を選んでも設定することができます。

ファミリンクパネルの操作のしかた

このファミリンクパネルは、新しい機能です。
ファミリンクⅡ機能に対応したアクオスオーディオ・BD プレーヤー・BD レコーダーを接続した場合に、ファミリンクパネルを表示できます。(表示内容は機器により異なります。)

- ファミリンク対応機器と接続しているときは、ファミリンクパネルで、一時停止や再生などの操作ができます。

◆ 重 要 ◆

- ファミリンクⅡ機能に対応していない機器（ファミリンクⅠ対応機器）では、ファミリンクパネルはお使いいただけません。

◇おしらせ◇

ホームメニューからファミリンクパネルを見ることもできます

- ホームメニューから「リンク操作」－「ファミリンクパネル」を選びます。

1 ファミリンクパネル（機器選択）を表示する

ファミリンク を押す

2 操作したい機器を選ぶ

で選び 決定 を押す

ファミリンクでつながっている機器が表示されます。

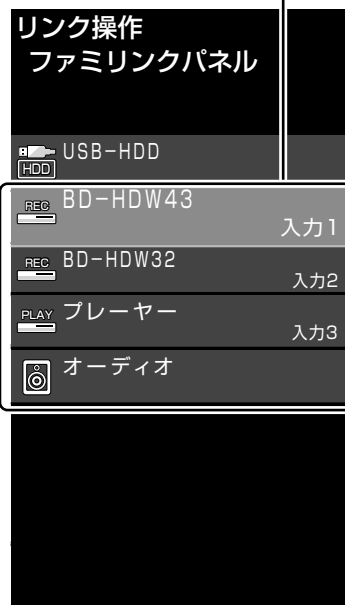
3 操作したい機能のボタンを選ぶ

（決定）で選び（決定）を押す

操作機器名

XXXXXXXXXXX

電源 番組表 録画リスト
ポップアップメニュー ホーム メディア切換

（決定）で実行
（終了）で終了

操作ボタン
詳しくは「操作ボタンの機能について」（⇒**右記**）をご覧ください。

◇**おしらせ**◇

- プレーヤーや AQUOS オーディオ、携帯電話と接続したときは、上記の操作パネルと異なる内容の操作パネルが表示されます。

ボタン	説明
電源	• ファミリンク対応機器の電源を入／切できます。
番組表	• ファミリンク対応機器の番組表を表示します。
録画リスト	• ファミリンク対応機器の録画リストを表示します。
ポップアップメニュー	• ファミリンク対応機器のポップアップメニューを表示します。
ホーム	• ファミリンク対応機器のホーム画面を表示します。
メディア切換	• ファミリンク対応機器のメディアを切り換えます。

操作ボタン※1 の機能について

ボタン	説明
早戻し	• 早戻し再生
再生	• 再生
早送り	• 早送り再生
前	• 前のチャプター※2 に戻って頭出し（逆頭出し）
一時停止	• 一時停止
次	• 1 つ前のチャプター※2 に進んで頭出し（順頭出し）
10秒戻し	• 10 秒後戻し
停止	• 停止
30秒送り	• 30 秒先送り
録画画質	• 録画画質を選択
録画	• 録画
録画停止	• 録画を停止

※1　視聴するコンテンツによっては、操作できない機能があります。
※2　チャプターとは、サービスであらかじめ設定された、再生区切り位置です。

AQUOS レコーダーのスタートメニューを表示する

・AQUOS レコーダーのセットアップメニューなどを表示することができます。表示される内容は AQUOS レコーダーによって異なります。

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」－「スタートメニュー表示」を選ぶ

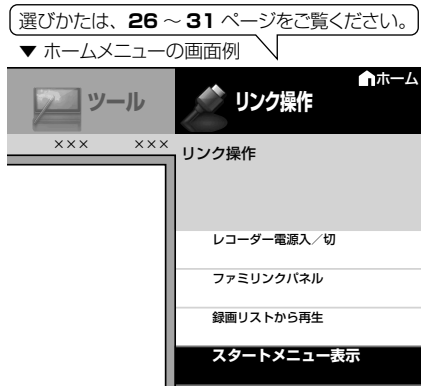
ホーム を押し

で選び

を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

ツール　リンク操作　ホーム
××× ××× リンク操作
レコーダー電源入／切
ファミリンクパネル
録画リストから再生
スタートメニュー表示

・AQUOS レコーダーのスタートメニューが表示されます。
・AQUOS レコーダーの状態（録画中、電源待機中）によっては正しく表示されない場合があります。

◇**おしらせ**◇

・スタートメニューを表示できる AQUOS レコーダーの対応機種については、SHARP web ページ内の AQUOS サポートステーション「他の機器と接続するには→ AQUOS ファミリンクについて （▼対応機種一覧）」をご覧ください。

AQUOS サポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

見ている番組をすぐに録画する（ワンタッチ録画）

◆ **重　要** ◆

ファミリンクで録画を行う前に AQUOS レコーダー側の録画準備が必要です。次のことなどを確認します。

・本機と AQUOS レコーダーをつないでいますか。
・B-CAS カードが挿入されていますか。有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録した B-CAS カードが、AQUOS レコーダーに挿入されていることを確認してください。
・アンテナが接続されていますか。
・記録メディア（HDD、BD、DVD など）に空き容量がありますか。
・本機のホームメニューから「リンク操作」－「ファミリンク設定」－「録画機器選択」で録画機器をつないでいる入力を選んでいますか。（⇒ **100** ページ）
・初期設定では入力 1 に接続したレコーダーに録画する設定になっています。

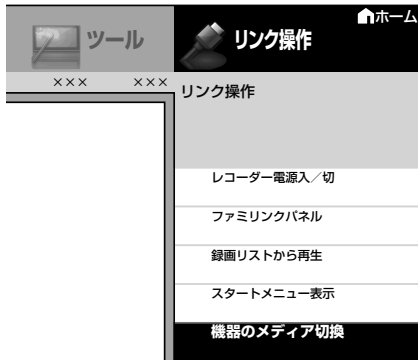
再生・録画するメディア（HDD/DVD など）を切り換える

- 必要に応じて AQUOS レコーダー側の HDD モード／ BD モード／ DVD モードを切り換えます。

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」−「機器のメディア切換」を選ぶ

ホームを押し　で選び　決定を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 レコーダーのメディアの種類（「HDD」や「BD/DVD」、「DVD」など）を選ぶ

決定を押す

- AQUOS レコーダー側の操作したい記録メディアを選びます。
- 「機器のメディア切換」で決定するごとに、メディアが順次切り換わります。メディアが正しく切り換わったかどうかは、レコーダー側の表示をご確認ください。

見ている番組を AQUOS レコーダーに録画する

録画を押す

録画したい番組の視聴中に録画ボタンを押す

- 「録画機器選択」（⇒ **100** ページ）で選択した AQUOS レコーダーのチャンネルが、本機で視聴中のチャンネルに切り換わり、AQUOS レコーダーに録画を開始します。

録画の停止について

- お使いの AQUOS レコーダーによっては、録画終了時刻が表示されます。表示された時刻になると自動的に録画が停止されます。

録画終了時刻が表示されない AQUOS レコーダーの場合は

- 手動で録画の停止が必要です。録画したい番組が終わったら、ファミリンクパネルを表示して「録画停止」ボタンを選んでください。（⇒ **103** ページ）
- ファミリンクⅡ機能に対応していないレコーダーの場合は、レコーダーのリモコンで録画停止してください。

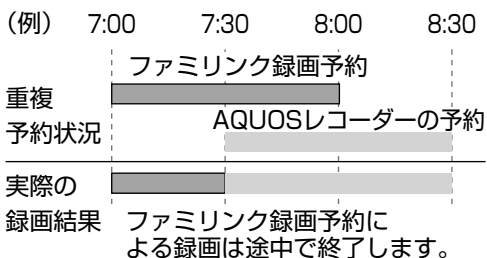
◇**おしらせ**◇

- 「録画機器選択」（⇒ **100** ページ）で選択した AQUOS レコーダーで受信した放送を視聴しているときは、視聴している AQUOS レコーダーに録画を開始します。
- 「録画機器選択」（⇒ **100** ページ）で選択した AQUOS レコーダー以外で受信した放送を視聴しているときや、他の外部入力を視聴しているときは、録画ボタンを押しても録画できません。
- 録画をするときは、ホームメニューから「ツール」—「ファミリンク操作」—「録画」を選んでも録画できます。
- 録画を停止するときは、ホームメニューから「ツール」—「ファミリンク操作」—「録画停止」を選んでも録画を停止できます。

本機の番組表でAQUOS レコーダーに録画予約する

◆ **重　要** ◆

ファミリンクで録画予約するときのご注意

- テレビは録画予約状態になります。2 画面にすると、右画面は録画中の画面となります。他の放送や外部入力に切換できません。
- 録画予約した番組の録画が終了する前に本機の電源を切るときは、リモコンの電源ボタン（赤）で電源を切って（待機状態）ください。本体の電源スイッチで電源を切ると正しく録画されない場合があります。
- 録画予約状態を解除すると、レコーダーの録画が停止して、電源が切れます。
- AQUOS レコーダーで日時の重なる番組が予約されている場合は、レコーダー側の予約が優先されます。

- レコーダー側の予約を取り消すと、本機でファミリンク録画予約した番組が録画されます。
- 番組の放送時間が延長された場合、録画の終了時刻が延長されるかは、お使いの AQUOS レコーダーによって異なります。
- 詳しくは、SHARP web ページ内の AQUOS サポートステーション「他の機器と接続するには→ AQUOS ファミリンクについて（▼対応機種一覧）」をご覧ください。

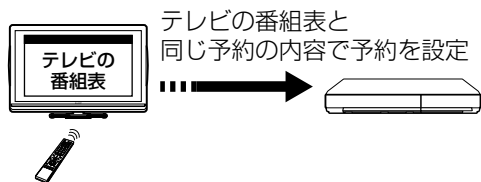
AQUOS サポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

◇**おしらせ**◇

- 予約の確認・取り消し・変更については ⇒ **152** ページをご覧ください。

本機の番組表で録画予約する（ファミリンク録画）

- 本機の番組表から接続している AQUOS レコーダーに録画予約できます。

テレビの番組表と
同じ予約の内容で予約を設定

1 AQUOSレコーダー側の準備をする

- 本機と AQUOS レコーダーを接続します。
- HDD に録画する場合は、HDD の残量を確認します。
- 有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録した B-CAS カードが、AQUOS レコーダーに挿入されていることを確認してください。

2 本機の番組表を表示し、予約したい番組を選ぶ

番組表を押す

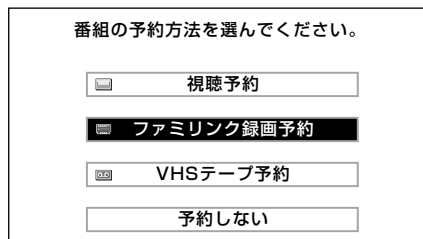
で選び

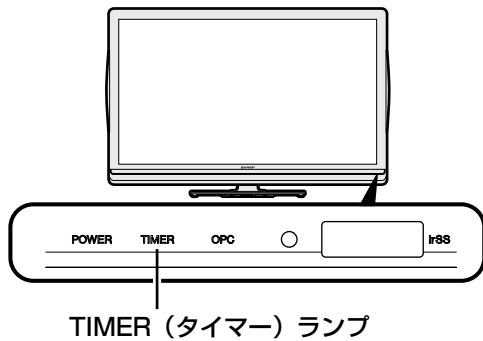
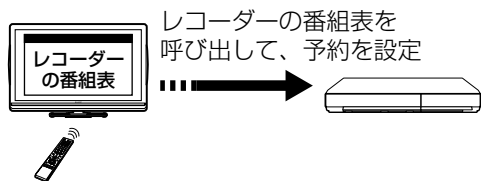
決定を押す

- ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。(⇒**44**･**45**ページ)
- 同じ時間帯に他の番組が予約されていると、先の予約を削除する画面になります。

3 「ファミリンク録画予約」を選ぶ

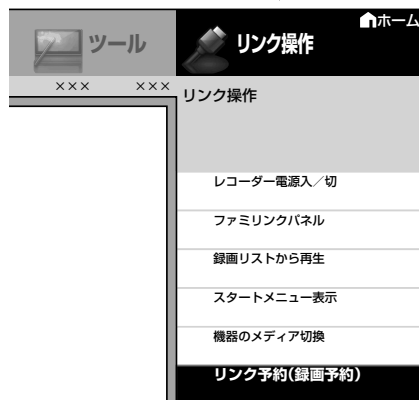
で選び

を押す

- 機器が利用できない場合は選択できません。
- 表示されている接続機器と違う機器に録画したい場合は、予約設定後に録画機器選択(⇒ **100** ページ)を行ってください。

- USBハードディスクを接続しているときは、USBハードディスクへの録画予約となります。「ファミリンク録画予約」に変更する場合は⇒**152**ページで「ファミリンク録画」に変更してください。
- AQUOSレコーダー側で設定した予約と日時が重複している場合は、「AQUOSレコーダーで日時の重なる番組が予約されていますので、レコーダーの予約が優先されます。」と表示されます。今選んでいる番組を予約したい場合は、AQUOSレコーダーの予約を取り消してください。
- 予約が設定され、TIMER(タイマー)ランプが点灯します。
- 操作を終了する場合は、番組表ボタンを押します。

AQUOSレコーダーの番組表を呼び出して録画予約する

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」−「リンク予約(録画予約)」を選ぶ

ホームを押し　で選び　決定を押す

選びかたは、**26**～**31**ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

- ホームメニューから「リンク予約」−「レコーダーの番組表を表示」を選んでも表示できます。
- 表示されたレコーダーを選択すると、レコーダー側の番組表が表示されます。

2 予約したい番組を選び、録画予約の操作をする

- レコーダー側の番組表は本機のリモコンの

で操作します。(詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。)

AQUOSレコーダーを再生する

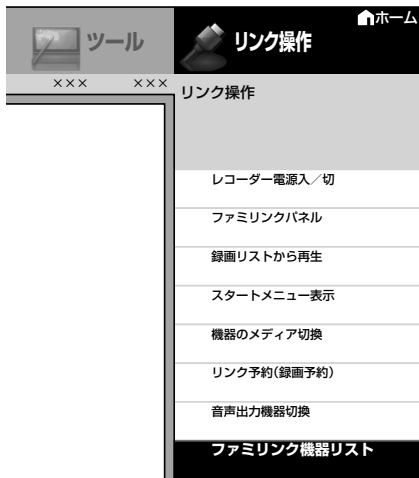
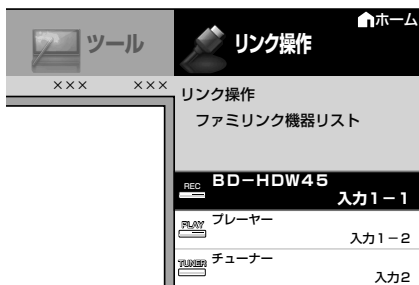
視聴するHDMI対応のレコーダー（録画機器）を選ぶ

・複数のHDMI機器を接続している場合、視聴したいHDMI機器を選びます。

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」−「ファミリンク機器リスト」を選ぶ

ホーム を押し
で選び
決定 を押す

選びかたは、**26**〜**31**ページをご覧ください。

▼ホームメニューの画面例

2 視聴したい機器を選ぶ

で選び
決定 を押す

最後に録画した番組を再生する（ワンタッチプレー）

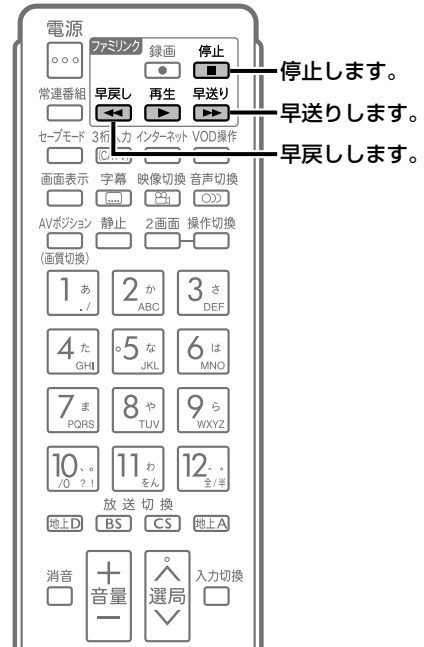
・本機のリモコンでHDMI接続したAQUOSレコーダーを操作できます。

録画した番組を再生する

再生 を押す

・最後に再生または録画した番組が再生されます。
・録画した番組の中（録画リスト）から見たい番組を選んで再生したいときは、ホームメニューから「リンク操作」−「録画リストから再生」を選びます。

再生中の操作について

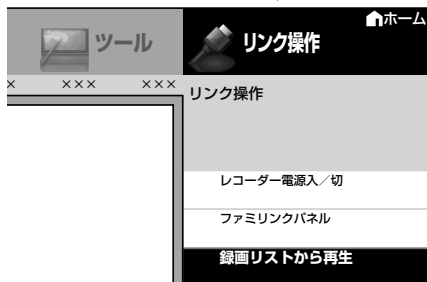
・ファミリンクで再生しているときは、ファミリンク操作ボタンで次の操作が行えます。

AQUOS レコーダーの録画リストから再生する

- 本機のリモコンを使って、本機とHDMI接続したAQUOSレコーダーの録画リストから見たい番組を再生します。
- あらかじめ「連動起動設定」を「する」に設定します。(⇒ **99** ページ)

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」−「録画リストから再生」を選ぶ

ホーム を押し
で選び
決定 を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

- AQUOS レコーダーの電源が入り、本機の入力が切り換わります。
- AQUOS レコーダーの録画リストが表示されます。

2 再生したい番組(タイトル)を選び再生する

で選び
決定 を押す

- 録画リストは本機のリモコンの 決定 戻る 終了 青 赤 緑 黄 で選択などの操作ができます。
- 選んだ番組が再生されます。
- 停止したいときは、停止 を押します。
- 停止したときは、切り換わった入力のままです。

◇**おしらせ**◇

- AQUOS レコーダーが DVD モードになっていて DVD ビデオなどの録画リストがないディスクがセットされている場合、録画リストは表示されません。ホームメニューから「リンク操作」−「機器のメディア切換」を選んで、AQUOS レコーダーのモードを切り換えてください。
- PinP のときは、以下のボタンでレコーダーのスタートメニュー、番組表や録画リストなどの操作はできません。

AQUOS オーディオで聞く

- AQUOS オーディオで音声が楽しめます。（本機のスピーカーからは音が出ません。）
- 本機のリモコンで AQUOS オーディオの音量調整、消音、音声切換の操作ができます。

◇**おしらせ**◇
- AQUOS オーディオを接続していないときは、「AQUOS オーディオで聞く」は選べません。

「AQUOS オーディオで聞く」に設定中のご注意
- ヘッドホン設定を「モード 3」に設定している場合、2 画面のときは、非操作画面側の音声がヘッドホンから出力されます。
- 入力６端子設定(⇒ **126** ページ)を「モニター出力(可変 1)」または「モニター出力(可変2)」に設定しているときは、モニター出力の音声が停止します。
- 本機のホームメニューから「設定」－「音声調整」の設定はできません。

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」－「音声出力機器切換」を選ぶ

を押し
で選び
決定
を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「AQUOSオーディオで聞く」を選ぶ

で選び
を押す

- 本機の音声が停止し、AQUOS オーディオから音声が出力されます。
- 画面中央に「ファミリンク接続された AQUOS オーディオから音声を出力します。」と表示されます。

本機のスピーカーから音を出すときは

- 上記の手順 **2** で「AQUOS で聞く」を選びます。

オーディオリターンチャンネル（ARC）対応のAQUOSオーディオをつないだときは

- 「ARC（オーディオリターンチャンネル）」は、テレビのチューナーの音声をHDMIケーブルを使ってAVアンプなどに伝送する機能です。
- 「ARC設定」を「自動」に設定すると、本機とARC対応のAQUOSオーディオをHDMIケーブル一本で接続することができます。（デジタル音声ケーブルは必要ありません）。**この機能は、入力1端子に接続したときのみ使えます。**

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」－「ファミリンク設定」を選ぶ

ホーム を押し
で選び
決定 を押す

選びかたは、**26**～**31**ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「ARC設定」を選ぶ

で選び
決定 を押す

ファミリンク設定
ファミリンク制御（連動） ［する］
連動起動設定 ［しない］
録画機器選択
ファミリンク予約機器選択
ジャンル連動 ［する］
選局キー
ARC設定 ［切］

3 「自動」を選ぶ

で選び
決定 を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

番組内容に適した音に切り換える

- デジタル放送のジャンル情報に従って、AQUOSオーディオを適切なサウンドモードに切り換えられます。

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」－「ファミリンク設定」を選ぶ

ホーム を押し
で選び
決定 を押す

選びかたは、**26**～**31**ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「ジャンル連動」を選ぶ

で選ぶ

3 「する」を選ぶ

で選び
決定 を押す

ファミリンク制御（連動） ［する］
連動起動設定 ［しない］
録画機器選択
ファミリンク予約機器選択
ジャンル連動 する しない

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

- 地上アナログ放送やDVD映像はジャンル情報がありません。自動でサウンドモードが切り換わりませんので、AQUOSオーディオ側でサウンドモードに切り換えてください。
- サウンドモードについて詳しくはAQUOSオーディオの取扱説明書をご覧ください。

携帯電話を AQUOS に つないで楽しむ

携帯電話操作用のファミリンクパネルは、新しい機能です。
ファミリンクⅡ機能に対応したシャープ製携帯電話を接続した場合に、ファミリンクパネルで操作できます。
また、携帯電話接続中に電話やメールの着信があると、視聴画面内にAQUOS からのお知らせとして表示されます。

- HDMI micro 端子の付いた携帯電話（ファミリンクⅡ機能に対応したシャープ製携帯電話）と本機をつなぐと、さまざまなコンテンツが楽しめます。
  - 動画・写真の再生
  - 音楽の再生
  - ホームページの閲覧
  - メールの表示
  - ドキュメントの閲覧 など
- 本機のリモコンで、携帯電話の操作ができます。
- 携帯電話の出力するコンテンツに合わせ、適切な画質とサイズで表示します。
- 携帯電話のファミリンクⅡ対応機種については、SHARP Webページ内のAQUOSサポートステーションをご覧ください。

AQUOS サポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

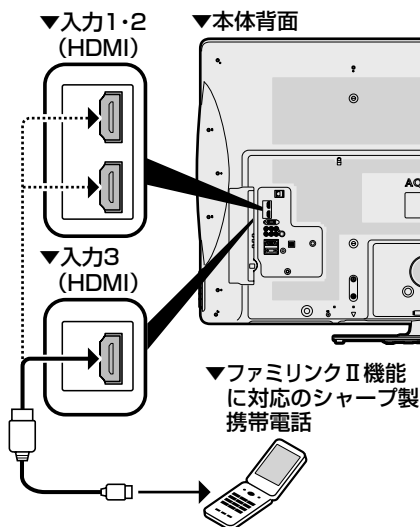
◆ 重 要 ◆

- ファミリンクⅡ機能に対応していないシャープ製の携帯電話または、他社製の携帯電話では、ファミリンクパネルはお使いいただけません。

◇おしらせ◇

ホームメニューからファミリンクパネルを見ることもできます

- ホームメニューから「リンク操作」－「ファミリンクパネル」を選びます。

1 ファミリンクⅡ機能に対応している携帯電話を、本機につなぐ

2 ファミリンクパネル（機器選択）を表示する

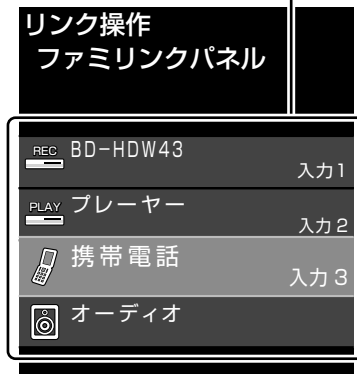
を押す

3 操作したい携帯電話を選ぶ

で選び
決定
を押す

ファミリンクでつながっている機器が表示されます。

4 操作したい機能のボタンを選ぶ

で選び 決定 を押す

携帯電話の機器名

操作ボタン
詳しくは「操作ボタンの機能について」（⇒**右記**）をご覧ください。

携帯電話を取り外すときは

- 操作ボタンの 取り外し を選んで決定してから、携帯電話を取り外します。

ボタン	説明
インターネット	• インターネット用のブラウザを起動します。
メール	• メールを起動します。
音楽	• 音楽プレーヤーを起動します。
静止画リスト	• 静止画の一覧を表示します。
ホーム	• 携帯電話の HDMI メニューを表示します。
動画リスト	• 動画の一覧を表示します。

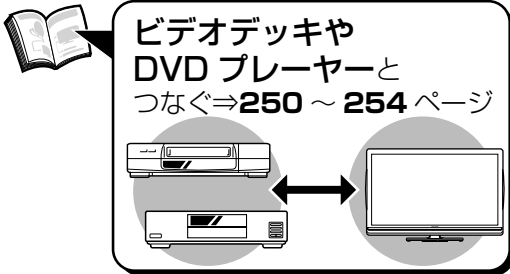
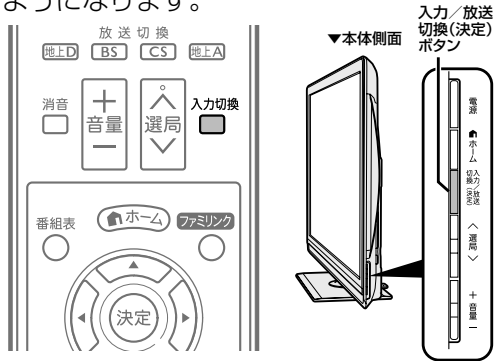
操作ボタン※1 の機能について

ボタン	説明
早戻し	• 早戻し再生
再生	• 再生
早送り	• 早送り再生
前	• 前の動画を再生します。
一時停止	• 一時停止
次	• 次の動画を再生します。
取り外し	• 携帯電話を本機から取り外すときに選びます。

※1 視聴するコンテンツによっては、操作できない機能があります。

VHS ビデオなど外部機器の映像を見る

ビデオデッキや DVD プレーヤーの画面に切り換える（入力切換）

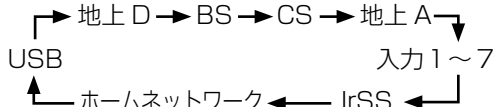
つなぐ⇒**250** ～ **254** ページ

- テレビ放送の画面から外部入力画面に切り換えると、ビデオや DVD が見られるようになります。

灰色で表示した手順は VHS ビデオデッキや DVD プレーヤーの操作です。

1 VHSビデオデッキやDVDプレーヤーを本機に接続し、電源を入れる

2 再生したいビデオテープやディスクをセットする

◇**おしらせ**◇

本体の入力／放送切換（決定）ボタンでも入力を切り換えられます。

- ボタンを押すたびに次の順で切り換わります。（放送の種類も切り換えられます。）

- 本体のボタンで入力を切り換えたときは、入力切換メニューは表示されません。
- 「USB」が表示されないときは、USB メモリーが接続されているか確認してください。

3 入力切換を押す

入力切換メニューを表示する

- 表示中に次の操作を行います。

4 入力切換を押す

繰り返し押し、機器を接続した入力名を選ぶ

- 上下カーソルボタンでも選択できます。

（例）本機の入力 1 に接続した機器の映像を見るときは、「入力 1」を選ぶ

選べる入力について

- 入力４～６は、ビデオ機器が接続されているときのみ選択できます。
- 入力６は、入力６端子をモニター出力用の端子として使っているとき、モニター出力の表示になります。（⇒ **118**・**126** ページ）

5

VHSビデオデッキやDVDプレーヤーを再生する

- VHS ビデオデッキや DVD プレーヤーの再生映像が本機の画面に表示されます。
- VHS ビデオデッキや DVD プレーヤーによっては、映像を出力するために設定が必要になる場合もあります。設定のしかたについては、接続した VHS ビデオデッキや DVD プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

入力４～６の映像が表示されないときは

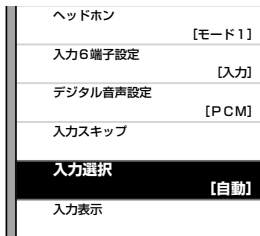
• 入力４～６の映像が表示されない場合、以下の操作を行ってください。

1 **入力切換ボタンを押して、表示されない入力(入力4～6)を選ぶ**

2 **ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「外部端子設定」を選ぶ**

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 **上下カーソルボタンで、「入力選択」を選ぶ**

4 **左右カーソルボタンで、「D端子」「ビデオ映像」「S端子」のいずれかを選ぶ**

• 工場出荷時の設定は「自動」です。
• 「自動」の場合、D 端子または S 端子が映像端子より優先されます。（D 端子は入力４･5、S 端子は入力６のみです。

◇**おしらせ**◇

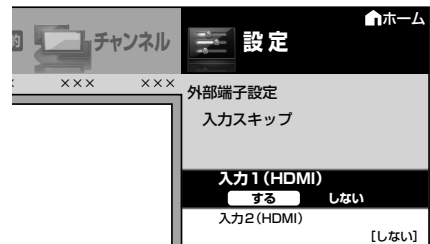
• 映像の種類について詳しくは、⇒ **344** ページをご覧ください。
• 映像の種類（1080i など）は放送方式の種類を走査線数で表したものです。数字が大きいほど高精細な映像になります。また D 端子の種類は数字が大きいほど高画質な映像に対応しています。本機は D5 映像の入力に対応しています。

使用していない入力をスキップするには

• 入力１～3、入力 7、IrSS™、ホームネットワーク、地上 D、BS、CS、地上 A を使用しないときは、入力切換の際に飛ばすことができます。
• ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「外部端子設定」－「入力スキップ」で設定します。

（例） 入力１をスキップさせる

1 **上下カーソルボタンで、「入力1」を選ぶ**

2 **左右カーソルボタンで、「する」を選ぶ**

◇**おしらせ**◇

• 同様の操作で、本体の入力／放送切換（決定）ボタンでも設定できます。
• 入力スキップを解除するには、上記の手順 **2** で「しない」を選んでください。

HDMI 端子につないで見られる映像の種類

1080p(24Hz/60Hz)、720p、1080i、480p、480i、VGA

• 対応している音声信号はリニア PCM、サンプリング周波数 48kHz、44.1kHz、32kHz です。

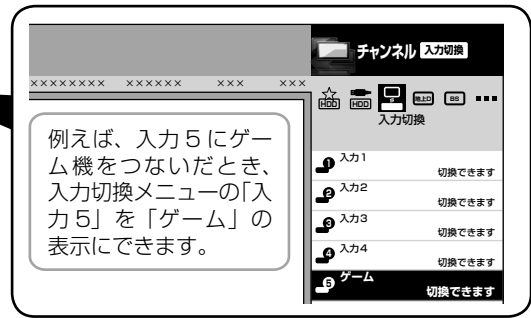
D端子につないで見られる映像の種類

D端子の種類	映像の種類
D5	1080p、720p、1080i、480p、480i
D4	720p、1080i、480p、480i
D3	1080i、480p、480i
D2	480p、480i
D1	480i

次のページに続く

入力切換の表示を お好みのなまえに変えるには

- 入力１～７に接続している機器に合わせ、入力切換メニューなどに表示される機器の名称を変更できます。
- お好みの名称を入力できる「ユーザー設定」の「編集」機能もあります。

例えば、入力５にゲーム機をつないだとき、入力切換メニューの「入力５」を「ゲーム」の表示にできます。

例）入力５を「ゲーム」の表示にする

1 **変更したい入力を選ぶ**

- ここでは「入力５」を選びます。

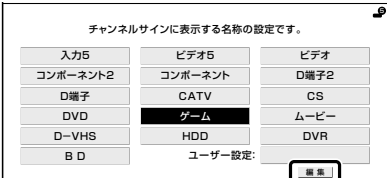
2 **ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「外部端子設定」を選ぶ**

選びかたは、**26**～**31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 **上下カーソルボタンで、「入力表示」を選ぶ**

4 **カーソルボタンで、表示させたい名称を選ぶ**

- ここでは「ゲーム」を選びます。

ユーザー設定について

- お好みで機器の名称を入力したいときは、「編集」を選んで決定します。（文字を入力する⇒**94**ページ）
- ここで入力できるのは全角で5文字まで、半角で10文字までです。

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

表示できる名称について

- 入力ごとに設定できる名称は異なります。

入力１／入力２／入力３

(自動)入力1 ※	入力1 ※	ビデオ1 ※
ビデオ	HDMI	HDMI1 ※
DVD	ゲーム	HDD
DVR	BD	

※「入力２」選択時は、(自動)入力2 入力2 ビデオ2 HDMI2 と表示されます。（入力３も同様）

- HDMI 機器を接続し、「(自動) 入力 1」の表示に設定されている場合、表示の内容が変わることがあります。(「(自動) 入力 2」「(自動) 入力 3」も同様)

入力４／入力５

入力4 ※	ビデオ4 ※	ビデオ
コンポーネント1 ※	コンポーネント	D端子1 ※
D端子	CATV	CS
DVD	ゲーム	ムービー
D-VHS	HDD	DVR
BD		

※「入力５」選択時は、入力5 ビデオ5 コンポーネント2 D端子2 と表示されます。

入力６

入力6	ビデオ6	ビデオ
CATV	CS	DVD
ゲーム	ムービー	D-VHS
HDD	DVR	BD

※ 入力６端子設定を「モニター出力（固定)」、「モニター出力（可変 1)」、「モニター出力（可変 2)」のいずれかに設定しているときは、「モニター出力」または「録画出力」と表示されます。

入力７

入力7	ビデオ7	ビデオ
RGB	DVD	ゲーム
PC		

デジタル放送を録画・録画予約する

デジタル放送の録画について

- 録画機器の種類と録画のしかたにより、つなぎかたや操作のしかたが異なります。
- 予約には「視聴予約（⇒ **123** ページ）」と「録画予約（⇒**下記**）」の 2 つがあります。

ビデオデッキや、デジタルチューナーが搭載されていない録画機器に録画・録画予約する場合

- ハイビジョン放送でも標準画質で録画されます。

つなぎかた

- ⇒ **255** ページ

すぐに録画する場合

- ⇒ **118**・**119** ページ（IPTV の番組は、この方法でのみ録画可能です。）

録画予約する場合

- ⇒ **118**・**120** ページ

ハイビジョン放送を、ハイビジョン画質のまま録画したい場合

- ファミリンクに対応したレコーダーを使って、録画・録画予約します。（ファミリンク⇒ **98** ページ）
- USB ハードディスクを使って、録画・録画予約します。（USB ハードディスク⇒ **134** ページ）

著作権について

- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 番組により、録画・録音が制限されている場合などがあります。

ダビング 10 について

- デジタル放送番組の全てがダビング 10 になるわけではありません。

コピー制御信号について

- デジタル放送のほとんどの番組には録画可能回数を制限するコピー制御信号が加えられています。この信号とともに録画された番組は、他のデジタル機器へのダビングができません。詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧になるか、下記へお問い合わせください。

> **コピー制御お問合せセンター**
> 電話：0570-000-288
> （午前 10 時～午後 8 時）
> （2010 年 6 月現在）

◆ 重　要 ◆

- 本機の入力 6 ／モニター出力（録画出力）端子と接続した場合、標準画質で出力されます。ハイビジョン画質の映像をハイビジョン画質のまま録画するには、**ファミリンク対応 AQUOS レコーダーまたはデジタルチューナー付きハイビジョン対応録画機器や USB ハードディスク**が必要です。
- 有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。契約していない有料放送は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。

◇おしらせ◇

- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを通してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本機とビデオデッキを直接接続してお楽しみください。
- デジタル放送をビデオデッキやデジタルチューナーが搭載されていない録画機器で録画する場合は、「VHS テープ予約」で録画することをおすすめします。

録画・録画予約をするための設定（入力６端子設定）

- 本機から録画機器へ映像を出力するために、本機の入力６端子が出力端子として働くように設定します。

- 録画した映像を見るときは、本機の入力６端子が入力端子として働くように設定します。手順 **3** で「入力」を選びます。

◇**おしらせ**◇

- おはようタイマー（⇒ **62** ～ **63** ページ）で「入力」を「入力６」に設定しているときは、「入力６端子設定」ができません。

「モニター出力（固定）」に設定したときは

- 入力切換メニューの「入力６」の表示が「モニター出力（固定）」に変わります。デジタル固定中や録画予約中は「録画出力」と表示されます。

モニター出力の設定には以下の制約があります。

- D5 映像端子、HDMI、アナログ RGB からの入力映像は出力されません。

出力 ＼ TV 視聴状況	入力６／モニター出力（録画出力）
地上アナログ	○
地上 D/BS/CS	○
ビデオ映像	○
D 端子映像	×
HDMI 信号	×
アナログ RGB 信号	×
アクトビラ ビデオ／アクトビラ ビデオ・フル	○
IPTV	○
IrSS	×
DLNA	×
USB	×
USB ハードディスク	×

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（機能切換）」－「外部端子設定」を選ぶ

ホームを押し
決定で選び
決定を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

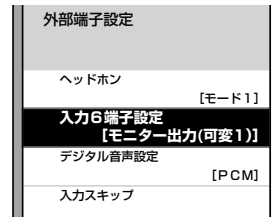
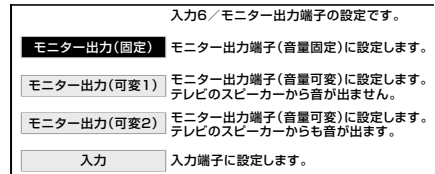
2 「入力6端子設定」を選ぶ

で選び
決定を押す

3 「モニター出力（固定）」を選ぶ

で選び
決定を押す

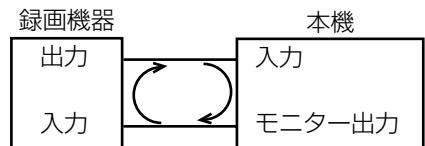
入力6／モニター出力端子の設定です。

モニター出力（固定）	モニター出力端子（音量固定）に設定します。
モニター出力（可変１）	モニター出力端子（音量可変）に設定します。テレビのスピーカーから音が出ません。
モニター出力（可変２）	モニター出力端子（音量可変）に設定します。テレビのスピーカーからも音が出ます。
入力	入力端子に設定します。

- 音声出力端子から出力される音量が一定の大きさで固定されます。スピーカーの音量を調整しても音声出力端子から出力される音量は変わりません。

4 「する」または「しない」を選ぶ

で選び
決定を押す

する　　しない

- 本機と録画機器をループ接続（下図）している場合、「する」を選ぶと、ハウリング（ブー音）や画面の乱れが生じます。

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

視聴中の番組を録画する

- 灰色で表示した手順は録画機器の操作です。

1 入力6端子を「モニター出力(固定)」に切り換える(⇒**118**ページ)

2 録画機器の電源を「入」にし、録画の準備をする

- 録画機器を本機とつないだ外部入力に切り換えます。

3 録画するデジタル放送の番組を、選局する

NHK ハイビジョンを選局したときの画面表示例

4 録画機器側の録画操作をする

- 録画が始まります。

◆ 重 要 ◆

録画される番組について

- 視聴している番組が録画されます。録画中に他の番組を選局するとその番組が録画されてしまいます。
- 録画中に他の番組を選局できないようにするには、右記の「デジタル固定」を設定します。

録画の途中で電源を切るときは

- 右記の「デジタル固定」を設定し、リモコンで電源を切って(待機状態)ください。

◇**おしらせ**◇

- 字幕やデータ放送は録画できません。
- 録画機器の操作については、録画機器の取扱説明書をご覧ください。

録画中に選局できないようにしたり電源を切りたいときは(デジタル固定)

- デジタル放送を予約なしで録画している場合、通常は録画中に本機のチャンネルを変えると、変えたチャンネルで録画が続きます。また本機の電源を切った場合(待機状態)は映像が録画できなくなります。「デジタル固定」を「する」に設定すると、リモコンで電源を切っても映像や音声が出力されるので、録画を続けることができます。

1 録画するチャンネルを選ぶ

2 ホームメニューから「設定」−「(機能切換)」−「デジタル固定」を選ぶ

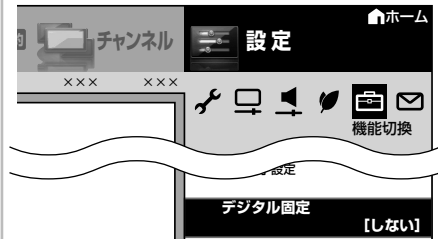
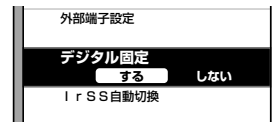
ホーム を押し
決定 で選び
決定 を押す

選びかたは、**26**~**31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 「する」を選ぶ

外部端子設定
デジタル固定
する しない
IrSS自動切換

で選び
決定 を押す

- 視聴中のデジタル放送のチャンネルに固定されます。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

- デジタル固定を解除するときは、手順 **3** で「しない」を選び、決定します。また、選局に関する操作をして表示される「デジタル固定を解除しますか」の確認画面で「する」を選んでも解除できます。
- 録画予約実行中や IPTV 視聴時は、デジタル固定にできません。
- 2 画面表示にすると、他の番組を見ながら録画中の番組を確認できます。2 画面の右側に録画中の番組が表示されます。(⇒**58**ページ)
- 録画予約の準備が始まると、デジタル固定は自動的に解除されます。(⇒ **122** ページ)
- 本体の電源スイッチで電源を切ると、デジタル固定が解除されます。

デジタル放送を ビデオデッキなどで 録画予約する （VHS テープ予約）

・「VHS テープ予約」は、デジタルチューナーのない録画機器（ビデオデッキや HDD レコーダーなど）にデジタル放送を録画するための予約です。
・無料放送や契約している有料放送が予約できます。

◆ 重 要 ◆

・録画機器がどの方法に対応しているかは、録画機器の取扱説明書をご覧ください。
・「外部自動録画に対応しているビデオデッキ」の場合は、番組の延長や放送時間の変更に追従して、録画できます。
・録画予約する前に、必ず試し録りをしてください。
・番組開始の 2 分前から予約準備が始まります。番組が始まる 2 分前までに予約をしてください。開始 2 分前になると、予約できません。
・録画機器の外部自動録画（シンクロ予約）を設定しているときに本機の電源を入れると、入力 6 ／モニター出力（録画出力）端子から信号が出力されるため、録画機器で録画が始まります。不要な録画を避けるためには、録画予約が終了したあとは、録画機器の外部自動録画（シンクロ予約）を「しない」状態にしてください。
・録画機器は起動時に選局しているチャンネルの映像を録画するので、他のチャンネルでのタイマー録画が先に実行されると、予約開始時間になっても他のチャンネルを録画し続けます。

◇おしらせ◇

・録画予約時に「詳細を設定する」を選択していない場合、二重音声の場合は、直前に視聴した音声で録画します。その他の場合は、「音声 1」で録画します。
・字幕やデータ放送は録画できません。
・最大 32 番組まで予約できます。さらに予約したいときは、既存の予約を取り消してください。(⇒ **152** ページ)
・予約を確認することもできます。(⇒ **152** ページ)
・別の予約と日時が重なっている場合は、先に設定した予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。

1 入力6端子を「モニター出力（固定）」に切り換える（⇒118ページ）

2 番組表で、予約したい番組を選ぶ

番組表 を押す

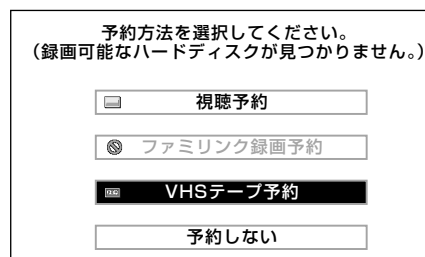
で選び 決定 を押す

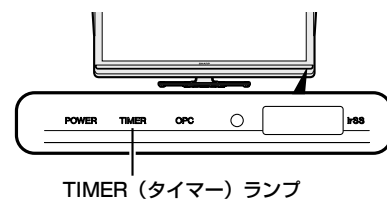
・ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。(⇒ **44**･**45** ページ)
・外部自動録画に対応していないビデオデッキなどの場合、番組のチャンネル、録画日、開始時刻、終了時刻をメモしておくと、手順 **4** の録画機器側で同じ予約を設定するときに役に立ちます。

3 「VHSテープ予約」を選ぶ

で選び 決定 を押す

予約方法を選択してください。
（録画可能なハードディスクが見つかりません。）

視聴予約
ファミリンク録画予約
VHSテープ予約
予約しない

・USB ハードディスクを接続しているときは、USB ハードディスクへの録画予約となります。「VHS テープ予約」に変更する場合は⇒ **152** ページで「VHS テープ予約」に変更してください。
・予約が設定され、TIMER（タイマー）ランプが点灯します。

TIMER（タイマー）ランプ

・操作を終了する場合は、番組表ボタンまたは終了ボタンを押します。

録画予約設定後は本体の電源スイッチで電源を切らないでください。

・録画予約した番組の録画が終了するまでに本機の電源を切るときは、リモコンの電源ボタン（赤）で電源を切って（待機状態）ください。本体の電源スイッチで電源を切ると正しく録画されない場合があります。

4 録画機器側でも、本機と同じ予約を設定する

- 外部自動録画（シンクロ予約）に対応している機器と対応していない機器で、操作が異なります。下記をご覧ください。

録画機器側の設定をする

外部自動録画(シンクロ予約)に対応しているビデオデッキやレコーダーの場合

① 録画機器の外部自動録画（シンクロ予約）を設定します。
② 録画用ビデオテープやディスクを入れ、録画の準備をします。
③ 録画機器のリモコンで電源を切ります。（予約開始前に本機の電源を入れると、予約前の放送が録画されてしまいます。）

外部自動録画(シンクロ予約)に対応していないビデオデッキやレコーダーなどの場合

① 本機で設定した予約と同じ日付·時刻を、録画機器の予約機能で設定します。（**前**ページの手順**2**で作成したメモをご覧ください。）
② 予約するチャンネルは、本機を接続した外部入力に設定します。
③ 録画用ビデオテープやディスクを入れ、録画の準備をします。
④ 録画機器のリモコンで電源を切ります。

- 予約開始時刻になると、録画機器の電源が入り、本機で受信したデジタル放送を録画機器側で録画開始します。
- 予約終了時刻になると、録画機器の電源が切れます。

予約の詳細設定

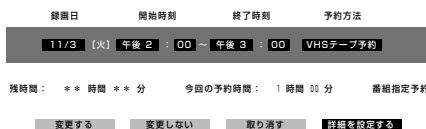
- 「詳細を設定する」は、「VHS テープ予約」を選択したときのみ有効です。
- 複数の映像や音声が含まれる番組を予約したときに、録画したい映像や音声を選ぶことができます。
- 映像（最大４つ）や音声（最大８つ）の数は、番組によって異なります。

1 120ページの手順3でVHSテープ予約した番組を選び、「詳細を設定する」を選ぶ

予約の取り消し、または予約の内容を変更してください。
番組指定：放送開始時間や終了時間が変更されたときに自動的に対応して録画します。
日時指定：開始時刻／終了時刻を指定して録画します。

録画日	開始時刻	終了時刻	予約方法
11/3 [火]	午後 2 : 00 ～	午後 3 : 00	VHSテープ予約

残時間：　＊＊ 時間 ＊＊ 分　今回の予約時間：　1 時間 00 分　番組指定予約

変更する　変更しない　取り消す　詳細を設定する

2 「映像」や「音声」を選んで設定をしたあと、「設定の確認」を選ぶ

- マルチビュー（いろいろな角度から見た映像）を含む番組を予約したいときは、「マルチビュー」も選べます。

3 画面に表示された内容を確認して「確認」を選ぶ

- 番組表ボタンを押すと、確認画面が消えます。
- 電源を切るときは、リモコンの電源ボタンで切ります。

4 このあと、録画機器側でも同じ予約を設定します。

◇おしらせ◇

- 視聴制限のある番組を予約したときは、数字ボタン（チャンネルボタン）で暗証番号（⇒ **92** ページ）を入力してください。

実行中の録画予約を解除するには

- 番組表から予約の取り消し、または２画面にして予約の取り消しを行ってください。（⇒ **124** ページ）

デジタル固定の自動解除について

- デジタル固定中に視聴・録画予約開始２分前になると、デジタル固定が自動的に解除されます。また、視聴・録画予約が終了してもデジタル固定は解除されたままとなります。

録画と予約のこんなときは／録画予約ができないときは

録画と予約のこんなときは

番組表から予約した番組の放送時間が変更されたときは

- 変更された放送時間に合わせて、視聴または録画できます。

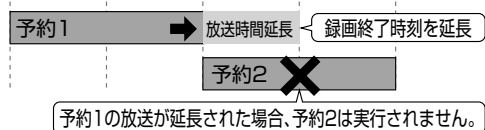
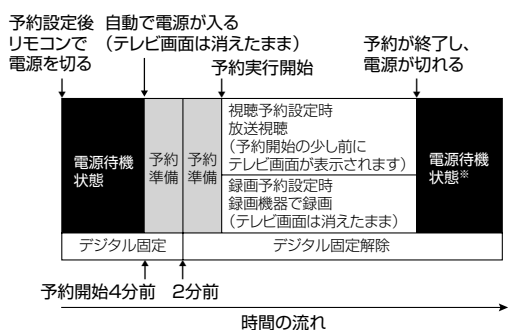
[例]

録画予約したスポーツ中継が延長された場合

→スポーツ中継が終了するまで録画します。

録画予約したドラマの放送時間がスポーツ中継の延長で遅れた場合

→遅延した放送時間で録画します。

- ただし、放送局からの情報によっては、番組の時間変更に対応できない場合もあります。
  ※「VHS テープ予約」で外部自動録画に対応していない録画機器の場合、録画機器に手動で予約設定するため放送時間の変更後は録画されません。外部自動録画に対応していない録画機器に、放送時間が変更される可能性が高い番組を録画したいときは、録画機器の予約設定をするときに、変更時間を見込んで予約してください。
- 延長した予約と他の予約が重なったときは、他の予約は実行されません。

予約設定時から予約終了後までの本機の動作

※ 視聴予約実行中に何らかのボタン操作をすると、視聴予約は終了します。この場合、予約した番組が終了しても電源待機状態にはなりません。

デジタル固定中のときは

- デジタル固定中に視聴・録画予約開始 2 分前になると、デジタル固定が自動的に解除されます。また、視聴・録画予約が終了してもデジタル固定は解除されたままとなります。

録画予約ができないときは

録画予約した番組が録画されていなかった場合は受信機レポート（⇒ 319 ページ）をご確認ください。

- 「予約の実行に失敗しました。」というレポートがある場合は、予約の実行に失敗しています。
- レポートに「前の予約番組が延長されたため、予約の開始ができませんでした。」または「番組放送時間が変更されました。」と書かれている場合は、番組の放送時間の変更により録画ができなかった事例です。
- レポートに「予約の開始時間に電源が切れていました。」と書かれている場合は、本体の電源スイッチで電源を切ったり、電源コードを抜いたりして、予約開始時刻に電源が入らなかった事例です。録画予約した場合は、必ずリモコンで電源を切ってください。

VHS テープ予約で録画できないときは

- 録画予約を設定したら、リモコンでビデオデッキの電源を切ってください。電源が入っていたり、ビデオデッキの操作中は、録画されない場合があります。（お使いの機器により操作のしかたが異なりますので、機器の取扱説明書をご覧ください。）
- 外部自動録画（シンクロ予約）に対応していないビデオデッキの場合は、本機の入力 6 ／モニター出力（録画出力）端子と接続した外部入力から録画する状態になっていることを確認してください。ビデオデッキの内蔵チューナーから録画する設定になっていると、デジタル放送を録画できません。
- ビデオテープが入っていない場合やテープ残量が足りない場合は、正しく録画できません。

見たい番組を予約する（視聴予約）

本機のチューナーを使って
ビデオデッキなどに録画予約するには
• ⇒ **117** ページをご覧ください。

- 番組表で視聴予約すると、設定した時刻に自動的に予約した番組に切り換わります。（電源待機状態のときは、自動的に電源が入ります。）
- 見たい番組の見逃しを防いだり、番組開始までテレビを消しておきたい場合などに便利です。

◇**おしらせ**◇

- 録画予約と合わせて、32 番組まで予約できます。さらに新たな予約をしたい場合は、予約の取り消し（⇒ **152** ページ）が必要です。
- 予約を確認することもできます。（⇒ **152** ページ）
- 別の予約と日時が重なっている場合は、先に設定した予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 視聴予約の開始によって本機の電源が入ったときは、番組が終了すると自動的に電源が切れます。ただし、視聴予約の実行中に何らかの操作をすると番組が終了しても電源は切れません。
- 番組開始の 2 分前から予約準備が始まります。番組が始まる 2 分前までに予約をしてください。開始 2 分前になると、予約できません。
- デジタル放送の有料放送を予約する場合は、有料放送のプラットフォームや放送局と、あらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。

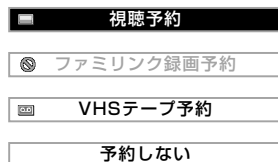
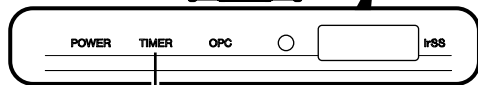
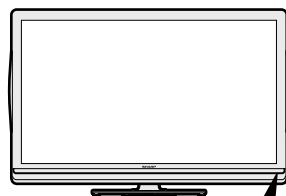
1 番組表を表示する

番組表 を押す

2 予約したい番組（まだ放送されていない番組）を選ぶ

- ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。（⇒**44**･**45**ページ）
- USB ハードディスクを接続しているときは、USB ハードディスクへの録画予約となります。「視聴予約」に変更する場合は⇒ **152** ページで「視聴予約」に変更してください。

3 「視聴予約」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 視聴予約が設定され、TIMER（タイマー）ランプが点灯します。
- 本機の電源を切るときは、リモコンで電源を切って（待機状態）ください。
- 操作を終了する場合は番組表ボタンまたは終了ボタンを押します。

TIMER（タイマー）ランプ

予約の確認・取り消し・変更をするには

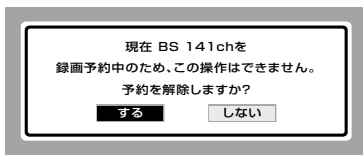
- 予約の確認・取り消し・変更をすることができます。⇒ **152** ページをご覧ください。

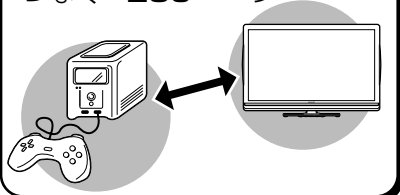
◇**おしらせ**◇

- 録画実行中は「取り消す」のみ操作ができます。

実行中の録画予約を解除するには

- 番組表から取り消す方法以外に、下記の方法でも実行中の録画予約を解除できます。
- 2画面表示にしてから操作切換ボタンで、録画予約実行中の画面（右側の画面）を操作画面にします。（⇒ **56**・**58** ページ）

- 次に、リモコンで選局操作をします。そのとき以下の画面で「する」を選び、決定すると予約を解除できます。

ゲーム機をつないで使う

ゲームの画面に切り換える

• ゲーム機をつないだら、ゲーム機の画面を表示しましょう。

1 ゲーム機の電源を入れる

2 入力切換メニューを表示する

入力切換 を押す

• 表示中に次の手順に進みます。

3 繰り返し押して、ゲーム機を接続した入力を選ぶ

入力切換 または 決定 を押す

• 選択した入力に切り換わり、ゲーム機の画面が表示されます。
• 上下カーソルボタンでも選択できます。
• 例えば、本機の入力 1 にゲーム機を接続した場合は、「入力 1」を選びます。

◇おしらせ◇

• 光線銃などを使って画面を標的にするようなゲームは使用できません。

目に優しい映像で、ゲームを楽しみましょう

• テレビゲームを楽しむときは、画面の明るさを抑えて目にやさしい映像にし、ゲームに最適なAVポジション(⇒**68**ページ)の「ゲーム」にすることをお奨めします。

ゲームの反応が遅いときは

• ゲームによっては、映像の動きの速いシーンにおいて、反応が遅くなる場合があります。
• ゲームによっては、キーの操作に対して画面の反応が遅く感じられる場合があります。反応が遅く感じる場合は、AV ポジションを「ゲーム」に変更し、ホームメニューから「ツール」－「映像調整」－「プロ設定」－「QS 駆動（120Hz）」の設定を「スタンダード」または「しない」に変更してください。

ゲームのプレイ時間を 30 分ごとに表示する（ゲーム時間表示設定）

• ゲームに夢中で時間を忘れてしまうことのないように、経過時間を知らせてくれる機能です。
• ホームメニューから「設定」－「(安心・省エネ)」－「ゲーム時間表示設定」で設定します。（入力 1 ～ 7 を選んでいるときに表示されます。）

項目	内容
する	• 外部入力でゲームモードに設定されているときに、ゲームを始めてから 30 分経過するたびに画面左下にメッセージが表示されます
しない	• 何も表示しません。

◆ 重　要 ◆

• 経過時間を表示させたいときは、ゲームを始める前に、ゲーム機をつないだ入力の AV ポジション（⇒ **68** ページ）を「ゲーム」にしてください。
• 外部入力視聴時のみ有効です。

オーディオ機器で音声を楽しむ

アナログ音声端子付きのオーディオ機器で聞く

- 本機の入力６／モニター出力（録画出力）端子につなぐとアナログ音声を楽しめます。

◇**おしらせ**◇
- 接続する機器の取扱説明書をあわせてお読みください。
- 「モニター出力（固定)」、「モニター出力（可変 1)」、「モニター出力（可変 2)」のいずれかに設定したときは、入力切換メニューの「入力６」の表示が「モニター出力」に変わります。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「外部端子設定」を選ぶ

ホーム を押し
で選び
決定 を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

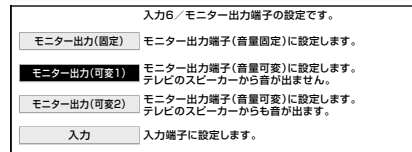
▼ ホームメニューの画面例

2 「入力6端子設定」を選ぶ

で選び
決定 を押す

3 「モニター出力（可変1)」「モニター出力（可変2)」のいずれかを選ぶ

で選び
決定 を押す

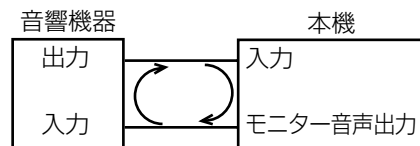
- 出力される音量は音量ボタン（青）で調整できます。

モニター出力（可変 1）
- 本機のスピーカーの代わりに、接続した音響機器で音声を聞くときに選びます。本機のスピーカーからの音声が停止します。

モニター出力（可変 2）
- 本機のスピーカーと接続した音響機器の両方で音声を聞くときに選びます。ウーハーをつないで、低音を強調したいときなどの設定です。

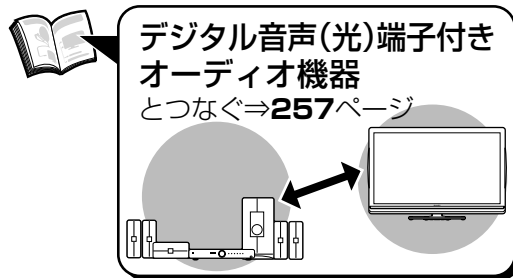
4 「する」または「しない」を選ぶ

で選び
決定 を押す

する　　しない

- 本機と音響機器をループ接続（下図）しないでください。ハウリング（ブー音）や画面の乱れを生じます。

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

デジタル音声（光）端子付きのオーディオ機器で聞く

・本機のデジタル音声出力（光）端子は、MPEG2 AAC／ドルビーデジタルフォーマットを出力できます。AAC／ドルビーデジタル対応の音響機器を接続すると、迫力ある音声で楽しめます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「外部端子設定」を選ぶ

ホームを押し　で選び　決定を押す

選びかたは、**26**～**31**ページをご覧ください。

▼ホームメニューの画面例

2 「デジタル音声設定」を選ぶ

で選び　決定を押す

外部端子設定
ヘッドホン［モード1］
入力6端子設定［入力］
デジタル音声設定［PCM］

3 「PCM」または「ビットストリーム」を選ぶ

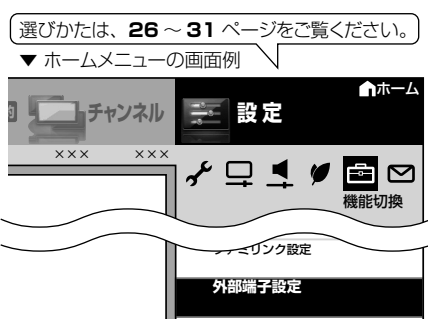
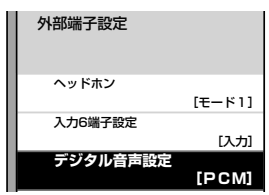
で選び　決定を押す

デジタル音声設定
PCM
ビットストリーム

・操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

「デジタル音声設定」の設定項目

項目	内容
PCM	AAC/ドルビーデジタルに対応していない機器につなぐときは、「PCM」に設定します。視聴している番組の音声と同じ音声（主、副、主／副）が出力されます。
ビットストリーム	AAC/ドルビーデジタル対応のAVアンプなどをつなぐときは、「ビットストリーム」に設定します。主と副の両方の音声が同時に出力されます。

デジタル音声(光)端子付きオーディオ機器
とつなぐ⇒**257**ページ

◇おしらせ◇

・接続する機器がビットストリーム/PCMの自動切換に対応していない場合は、機器側の設定を切り換えてください。
・詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
・地上アナログ放送やCATV放送、ビデオ入力の音声は、「ビットストリーム」に設定しても「PCM」で出力されます。
・「ビットストリーム」に設定すると、字幕放送や一部のデータ放送の音声が出力されません。
・本機の電源を切ると、デジタル音声出力（光）端子からは出力されません。
・本機では通常、デジタル音声出力の内容はスピーカー音声出力の内容と同じです。（視聴しているときの音声が出力されます。）
・ファミリンク対応のAVアンプ（AQUOSオーディオ）を市販のHDMI認証ケーブルとデジタル音声ケーブルでつなぐと、ファミリンク機能で操作できます。(⇒ **110** ページ)
・再生する機器、ソフトによってはデジタル音声出力されない場合があります。

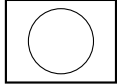
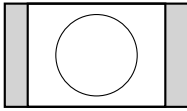
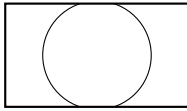
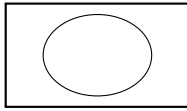
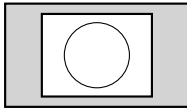
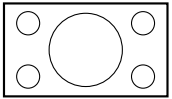
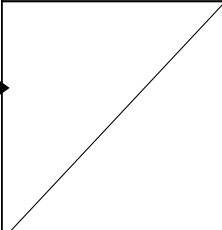
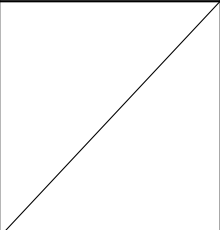
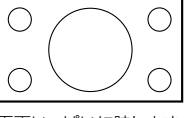
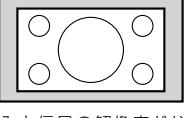
デジタル音声出力（光）端子から出力される音声の種類について

HDMI端子からの入力音声信号※1	リニアPCM※2
視聴中のデジタル放送音声など	リニアPCM※2、AAC／ドルビーデジタル

※1 HDMI端子で接続したレコーダーからの音声信号は、本機のデジタル音声出力（光）端子から、2chのリニアPCMで出力されます。
レコーダーからの音声をサラウンドで楽しみたい場合は、直接レコーダーからAVアンプへ音声信号を入力してください。詳しくは、お手持ちのレコーダーおよびAVアンプの取扱説明書をご確認ください。本機で受信したデジタル放送(サラウンド対応番組）の場合は、デジタル音声出力（光）端子からサラウンドのAACで出力できます。
※2 48kHz以下の2ch音声が出力されます。

パソコンとつないで使う

パソコンの
モニターとして使う

パソコンと
つなぐ⇒**258**～**259**ページ

・本機にパソコンをつなぐ場合は、パソコン（PC）の DVI 出力／ RGB 出力の解像度を確認してください。パソコンが以下の解像度に対応していない場合は、本機でパソコンの画面を表示できません。

本機が対応している解像度

解像度（画素）		水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	VESA規格
VGA	720 × 400	31.5	70	
	640 × 480	31.5	60	○
		37.9	72	○
		37.5	75	○
SVGA	800 × 600	35.1	56	○
		37.9	60	○
		48.1	72	○
		46.9	75	○
XGA	1024 × 768	48.4	60	○
		56.5	70	○
		60.0	75	○
WXGA	1360 × 768	47.7	60	○
SXGA	1280 × 1024	64.0	60	○
SXGA+	1400 × 1050	65.3	60	○
※ 480p	720 × 480	31.5	60	
※ 1080i	1920 × 1080	33.8	60	
※ 720p	1280 × 720	45.0	60	
※ 1080p	1920 × 1080	67.5	60	

※の入力信号の画面サイズについては、
⇒ **65** ページをご覧ください。

◇**おしらせ**◇

・省エネの設定をすることができます。（⇒ **88** ページ）
・接続するパソコンによっては、本機で対応している信号であっても正しく表示できなかったり、まったく表示されない場合があります。
・本機で対応していない信号が入力されたときは、「この入力信号には対応しておりません。」と表示されます。その場合、お使いのパソコンの取扱説明書などをご覧になり、本機で対応している信号に設定してください。
・アナログ接続時の表示設定は、自動同期調整で最良に近い状態に設定されます。（「自動で画面を調整する」⇒ **130** ページ）
・PC 入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。画面サイズの種類については、⇒**下記**をご覧ください。
・特定の入力信号時、特定の条件下で画面の文字などににじみが出ることがあります。

本機で選べる画面サイズ（パソコンからの入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。）

パソコンの画面を表示させる／画面サイズを選ぶ

パソコンの画面を表示させる

1 パソコン(PC)の電源を入れる

2 入力切換メニューを表示する

入力切換 を押す

- 表示中に次の手順に進みます。

3 繰り返し押して、パソコンを接続した入力を選ぶ

入力切換 または で選び を押す

入力切換のしかた

- ⇒ **114** ページ

入力 1 を選んだときの画面例

- パソコンの画面が表示されます。

画面サイズを選ぶ

4 ホームメニューを表示して、「設定」－「（機能切換）」－「視聴操作」を選ぶ

ホーム を押し で選び 決定 を押す

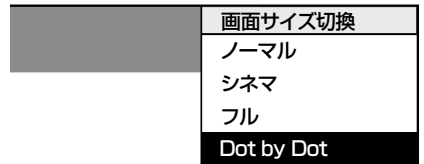
選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

5 「画面サイズ」を選ぶ

で選び 決定 を押す

6 お好みの画面サイズを選ぶ

で選ぶ

7 画面サイズ切換メニューを消す

決定 を押す

- 画面の調整が必要なときや、画面が正しく映らないときは、⇒ **130** ページをご覧ください。

入力 1 ～ 3 に接続したパソコンの画面を調整する

- ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「画面表示設定」－「画面位置」で設定します。（⇒ **65** ページ）

◇**おしらせ**◇

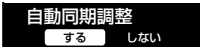
- 画面の明るさや色の調整などについては「映像調整」（⇒ **73** ページ）をご覧ください。

次のページに続く

アナログ接続したパソコンの画面を調整する

自動で画面を調整する

- 入力７にパソコン（PC）を接続している場合に、最良に近い画面に自動的に調整されます。クロック周波数、クロック位相などが調整されます。
- ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「外部端子設定」－「パソコン入力」－「自動同期調整」で設定します。

1 **左右カーソルボタンで「する」を選ぶ**

自動同期調整
する　しない

- 「自動同期調整中」と表示されます。
- 自動調整が終了すると、「映像を調整しました。」と表示されます。
正常に終了しないと、何も表示されずメニューに戻ります。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

- お使いのパソコンによっては、外部出力を有効にしないと映像が表示されない場合があります。シャープ製のノート型パソコンの場合では、Fn キーと F5 キーを同時に押すと、外部出力が有効になります。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

自動調整で最適な画面にならないときは、手動で画面を調整してください。

- 動きのある映像や色のメリハリの少ない映像などの映像信号や PC によっては、自動調整で最適な画面にならないことがあります。

手動で画面を調整する

- 以下の項目が調整できます。（調整範囲は入力、信号、画面サイズにより変わります。）

項目	内容
水平位置	• 画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。
垂直位置	• 画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。
クロック周波数	• 縦じま状のチラツキがあるときに調整します。
クロック位相	• 文字などを表示したときに、映像のチラツキが出たり、コントラストがつかないときに調整します。
リセット	• 工場出荷時の設定に戻します。

- ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「外部端子設定」－「パソコン入力」－「画面調整」で設定します。

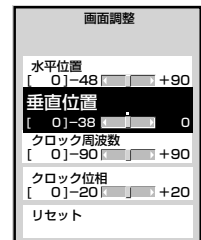
（例）　画面の垂直位置を調整する

1 **上下カーソルボタンで「垂直位置」を選ぶ**

2 **左右カーソルボタンで適切な位置に調整する**

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

アナログ接続したパソコンの画面が正しく映らないときは（入力解像度の設定）

- アナログ接続の場合は、一部の入力解像度（768 ライン）において自動判別できない信号があるため、手動での入力解像度の選択設定が必要な場合があります。
- パソコン（PC）の解像度が「1024 × 768」または「1360 × 768」の場合に必要な設定です。
- ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「外部端子設定」－「パソコン入力」－「入力解像度」で設定します。

1 **上下カーソルボタンで入力解像度を選ぶ**

- 「自動」に設定しているときは、自動的に「1024 × 768」と「1360 × 768」の解像度を判別します。
- 垂直ライン数（非表示期間を含む）が特殊な一部の信号の場合は、解像度を正しく判別できないことがあります。
- 映像表示させた状態で正しい解像度を設定してください。設定後に映像表示させると、位置が大きくずれてしまうことがあります。この場合は、一度他の設定を選んだ後、再度正しい設定を選んでみてください。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

パソコンの音声入力端子を設定する（入力音声選択）

- 入力２（HDMI）にパソコンを接続してアナログ音声入力端子を使用する場合や、入力７（アナログ RGB）にパソコンを接続してアナログ音声入力端子を使用する場合の設定です。
- 入力２または入力７に切り換えてから設定を行ってください。

1 ホームメニューを表示して、「設定」–「(機能切換)」–「外部端子設定」を選ぶ

を押し

で選び

決定 を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

チャンネル　設定　ホーム
×××　×××
機能切換
ファミリンク設定
外部端子設定

2 「入力音声選択」を選ぶ

で選び

決定 を押す

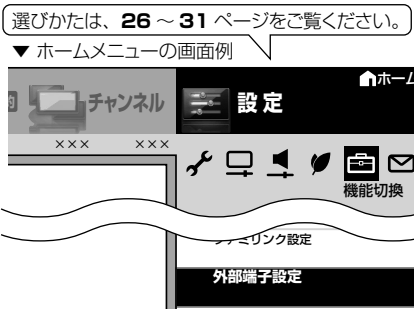
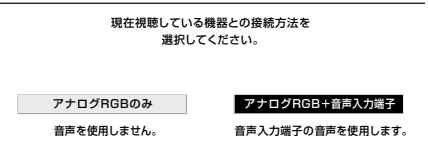
3 現在視聴している機器との接続方法を選ぶ

で選び

決定 を押す

現在視聴している機器との接続方法を
選択してください。

アナログRGBのみ
音声を使用しません。

アナログRGB+音声入力端子
音声入力端子の音声を使用します。

- パソコン（PC）を接続した端子により、選べる項目が異なります。

**「入力音声選択」の設定項目
（入力２に切り換えた場合）**

項目	内容
HDMI のみ	• HDMI ケーブルを使って入力２（HDMI）に接続し、HDMI から音声が入力される場合に選びます。
HDMI+ 音声入力端子	• HDMI ケーブルまたは DVI/HDMI 変換ケーブルを使って入力２（HDMI）に接続し、ミニプラグからアナログ音声を入力する場合に選びます。

**「入力音声選択」の設定項目
（入力７に切り換えた場合）**

項目	内容
アナログ RGB のみ	• アナログ RGB ケーブルを使って入力７（PC）に接続し、音声を使用しない場合に選びます。
アナログ RGB ＋音声入力端子	• アナログ RGB ケーブルを使って入力７（PC）に接続し、ミニプラグからアナログ音声を入力する場合に選びます。

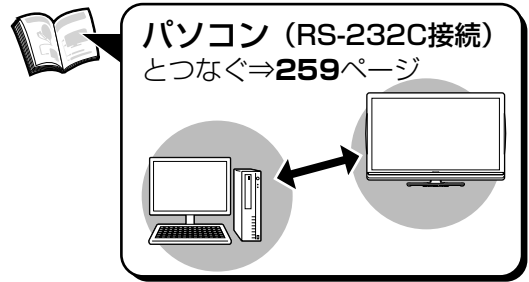
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

- 「入力音声選択」で「HDMI ＋音声入力端子」を選択した場合は、通常の HDMI 対応機器をアナログ音声を接続せずに HDMI ケーブルで接続しても音は出ません。（アナログ音声用の接続が必要です）
  通常の HDMI 対応機器を HDMI ケーブルのみで接続する場合は「入力音声選択」を「HDMI のみ」に戻してください。

はじめに お読みください
テレビを見る／便利な使いかた
ファミリンク
ビデオ・オーディオ・パソコンをつなぐ
USB ハードディスクをつないで録る・見る
インターネット／ホームネットワーク
設置・接続・受信設定
故障かな？／エラーメッセージ
お役立ち情報（仕様や索引）
English Guide

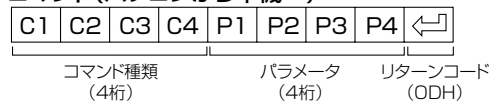
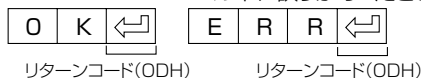
パソコンで本機を操作する

- ターミナルソフトなどを使って、チャンネル切換、音量調整、入力切換などの本機の操作ができます。
- **パソコン（PC）を使い慣れたかたのご利用をお願いします。**

本機の通信仕様

- パソコン側の RS-232C 通信仕様を、本機の通信仕様に合わせてお使いください。
- 本機の仕様は、下記のとおりです。

ボーレート	9600bps
データ長	８ビット
パリティ	なし
ストップビット	１ビット
フロー制御	なし

通信のしかた

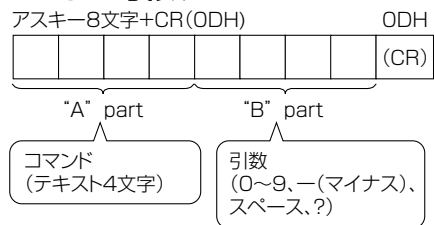
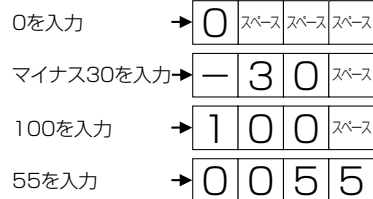
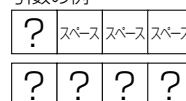
- パソコンから RS-232C コネクタを通じて、制御コマンドを送信します。本機は、送られたコマンドに応じて動作し、レスポンスメッセージをパソコン側に送ります。
- 複数のコマンドを同時に送信しないでください。正常時の戻り値（OK）を受け取ってから、次のコマンドを送信するようにしてください。

戻り値について

- コマンドの実行が終了したら、次の戻り値を返します。

O K (CR)

- コマンドが実行できなかったり、コマンド表になかったりした場合は、次の戻り値を返します。

E R R (CR)

コマンドと引数について

- "B" part は左詰めで入力し、残りはスペースで埋めます。（必ず４文字にしてください。）設定可能範囲外の場合、「ERR」が返ります。

- 次ページのコマンド一覧で引数が「－」になっているものは、「0」～「9」、「ー」（マイナス）、スペース、「?」であれば何を書いてもかまいません。
- いくつかのコマンドは、引数に「?」を与えることにより、現在の設定値を返します。

RS-232C コマンド一覧

- 下の表に掲載されている以外のコマンドについては動作保証範囲外です。

機 能		"A" part	"B" part	Part 動作説明	備 考
電源		POWR	0		スタンバイへ移行
入力切換	トグル	ITGD	－※1	（トグル）	トグルで入力切換（入力切換ボタンと同じ）
	テレビ	ITVD	－		テレビに入力切換（チャンネルはそのまま［ラストメモリー］）
	入力1～7	IAVD	1～7※1	（入力端子番号）	入力1～入力7に入力切換
	放送切換（デジタル）	IDEG	－	（トグル）	デジタル放送のネットワーク切換
チャンネル切換	地上アナログ	CAIR	1～20	テレビのチャンネル番号	UV表示でなかったら入力切換含む（リモコン番号選択）
	CATV	CATV	13～63	CATVのチャンネル番号	CATV表示でなかったら入力切換含む
	BSデジタル3桁入力	CBSD	0～999	BSデジタルチャンネル番号	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	CSデジタル3桁入力	CCSD	0～999	CSデジタルチャンネル番号	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	地上デジタル	CTBD	0～999	地上デジタルチャンネル番号	枝番入力が必要な場合にはラスト枝番、同一チャンネル選択時は順に枝番を選択
	選局順	CHUP	－	テレビのチャンネル番号＋1	リモコン選局順と同じ動作（入力切換含む）
	選局逆	CHDW	－	テレビのチャンネル番号－1	リモコン選局逆と同じ動作（入力切換含む）
入力選択	入力4 入力5 入力6	INP4 INP5 INP6※1	0	自動	入力切換含む。入力4～6で有効
			1	D端子	入力4･5のみ有効
			3	S端子	入力6のみ有効
			4	ビデオ映像端子	入力4～6のみ有効
AVポジション		AVMD	0	（トグル）	現在選択できるものの中でトグル動作
			1	標準	
			2	映画	
			3	ゲーム	
			4	AVメモリー	
			5	ダイナミック（固定）	
			6	ダイナミック	
			7	PC	入力1～3･7選択時
			11	フォト	
			13	映画（クラシック）	
			100	ぴったりセレクト	
音量		VOLM	0～100	音量値	
位置調整･画面調整	水平位置	HPOS	※2	移動値	
	垂直位置	VPOS	※2	移動値	
	クロック周波数	CLCK	※2	移動値	入力7にPC信号が入力されているときのみ有効
	クロック位相	PHSE	※2	移動値	入力7にPC信号が入力されているときのみ有効
画面サイズ		WIDE	0	（トグル）	
			1	ノーマル	（AV系／PC系）
			2	スマートズーム	（AV系）
			3	ワイド 4:3	（AV系480i、480p）
			4	シネマ	（AV系／PC系）
			5	フル	（AV系／PC系）
			6	フル1	（AV系1080i）
			7	フル2	（AV系1080i）
			8	アンダースキャン	（AV系720p）
			9	Dot by Dot	（AV系1080i、1080p/PC系）
			10	ワイド 16:9	（AV系）
消音		MUTE	0	（トグル）	消音オン、オフのトグル
			1	消音	
			2	消音解除	
サラウンド		ACSU	0	（トグル）	トグル動作
			1	入	
			2	切	
			3	自動	
音声切換		ACHA	－	（トグル）	
オフタイマー		OFTM	0	解除	
			1	オフタイマー30分	
			2	オフタイマー1時間	
			3	オフタイマー1時間30分	
			4	オフタイマー2時間	
			5	オフタイマー2時間30分	

※１　入力６は、「入力６端子設定」の設定が「入力」に設定されているときのみ有効。
※２　入力、信号、画面サイズによって範囲が変わります。

◇**おしらせ**◇

- "B" part 欄の「－」は、「0」～「9」、「－」（マイナス）、スペース、「？」であれば何を入力してもかまいません。

USB ハードディスクを使って デジタル放送を録画・再生するための準備をする

USB ハードディスクを使ってできること／できないこと

・USB ハードディスクを本機につないで、デジタル放送の録画・再生が楽しめます。

できること

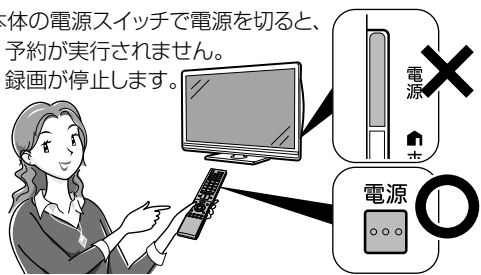
○ 地上デジタル放送の録画と再生
○ BS デジタル放送の録画と再生
○ 110 度 CS デジタル放送の録画と再生
○ 常連番組の自動録画（常連録画）と再生

できないこと

× 地上アナログ放送の録画
× IPTV（ひかり TV）の録画
× アクトビラ ビデオの録画
× ビデオデッキなど、本機につないだ外部入力映像の録画
× 本機以外につないで録画した USB ハードディスクの再生
× 本機につないで録画した USB ハードディスクの映像の、他の映像機器での再生・複製

◆ **重　要** ◆

・USB ハードディスクを使うためには、最初に必ず USB ハードディスクを使うための準備「機器の初期化」が必要です。（ホームメニューを表示して、「リンク操作」―「ファミリンク設定」―「USB-HDD 設定」―「機器の初期化」で「する」を選ぶ）
初期化をすると、USB ハードディスクに記録されているデータは全て消えます。

予約をしたときや録画中に電源を切りたいときは、リモコンの電源ボタンで電源をお切りください。
本体の電源スイッチで電源を切ると、
・予約が実行されません。
・録画が停止します。

本機で使えるUSBハードディスクについて

・本機は 16 台までの USB ハードディスクを登録して使えますが、ハブなどを使って同時に複数の USB ハードディスクを使用できません。

推奨 USB ハードディスク

・ホームページやカタログなどでご確認ください。
ホームページ　http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

◆ **重　要** ◆

・USB ハードディスクに付属の取扱説明書は、必ずお読みください。

録画時間について

・録画時間は、お使いになる USB ハードディスクの容量によって異なります。以下は、録画時間の目安です。

容量＼放送の種類	BS・110 度 CS ハイビジョン放送	地上デジタル ハイビジョン放送	標準放送
2TB	約 174 時間	約 240 時間	約 347 時間
1.5TB	約 130 時間	約 180 時間	約 260 時間
1TB	約 87 時間	約 120 時間	約 173 時間
750GB	約 65 時間	約 90 時間	約 130 時間
640GB	約 56 時間	約 77 時間	約 111 時間
500GB	約 44 時間	約 60 時間	約 87 時間
400GB	約 35 時間	約 48 時間	約 70 時間
320GB	約 28 時間	約 39 時間	約 56 時間
300GB	約 26 時間	約 36 時間	約 52 時間
250GB	約 22 時間	約 31 時間	約 43 時間

◇ **おしらせ** ◇

録画時間の算出について（録画時間は目安です）

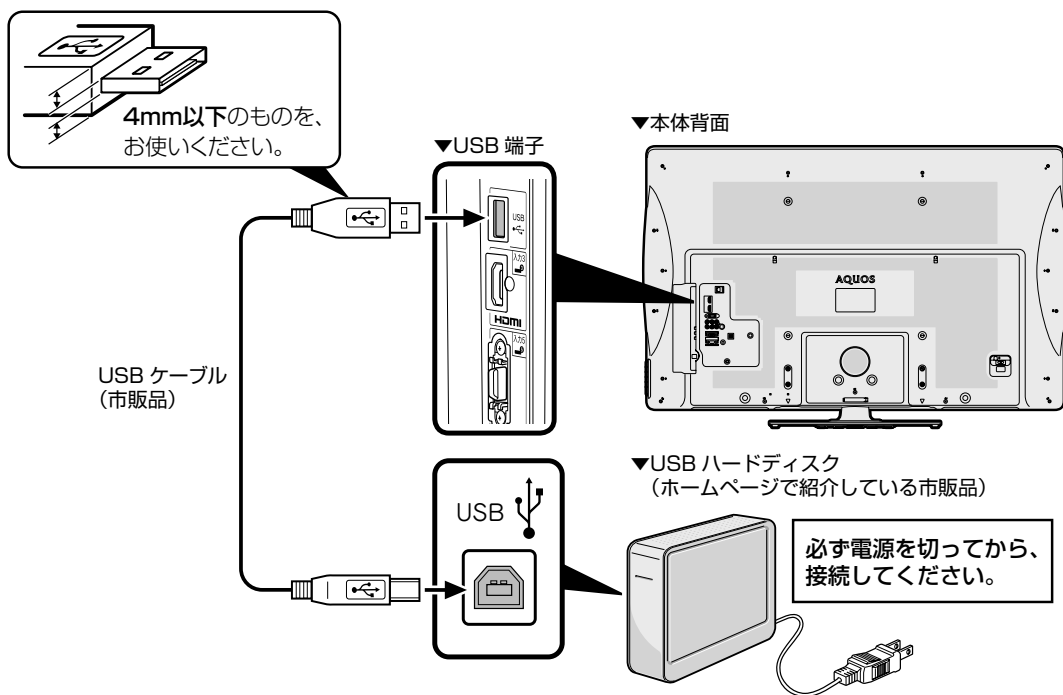
・録画時間は、BS/110 度 CS デジタルハイビジョン（HD）放送は約 24Mbps、地上デジタルハイビジョン（HD）放送は約 17Mbps、標準（SD）放送は約 12Mbps で算出しています。録画時間はその性能を保証するものではなく、実際の録画では入力映像の画質、その他条件により上記の時間を下回るまたは上回る場合があります。
・録画した時間と空き時間の合計は、録画時間と一致しない場合があります。

USB ハードディスクを使うための準備のながれ

1. USB ハードディスクと本機をつなぐ（⇒**下記**）
2. 初めて使う USB ハードディスクの場合は、「機器の初期化」をする（⇒ **138** ページ）
3. リモコンの録画を USB ハードディスクへの録画に使用するには、「録画機器選択」（⇒ **100** ページ）で「USB-HDD」を選択します。
4. 必要に応じて省エネの設定をする（⇒ **140** ページ）

- USB ハードディスクの使いかた（録画・再生）については、⇒ **146** ～ **158** ページをご覧ください。

USB ハードディスクをつなぐ

- 本機の USB 端子に、市販の USB ハードディスクをつなぎます。
- 接続には、市販の USB ケーブルを使います。
- USB ハードディスクを取りはずすときは⇒ **136** ページをご覧ください。

USB ハードディスクを取りはずすときは

・本機やUSB ハードディスクの電源を切ったり、接続しているUSB ケーブルを抜く前に、必ずホームメニューから「機器の取りはずし」を行ってください。

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」ー「ファミリンク設定」を選ぶ

を押し

で選び 決定 を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

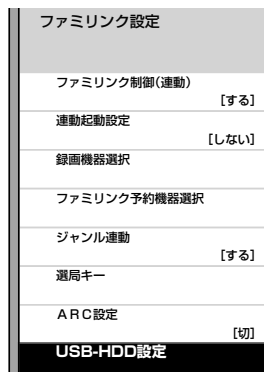
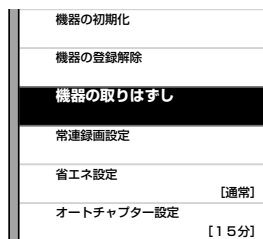
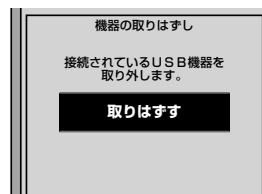
2 「USB-HDD設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

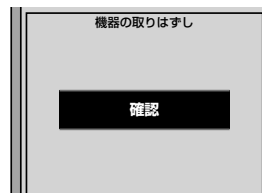
3 「機器の取りはずし」を選ぶ

で選び 決定 を押す

4 「取りはずす」を選ぶ

で選び 決定 を押す

・取りはずし中を知らせるメッセージが表示されます。
・取りはずしが完了するまで、USB ハードディスクの電源を切ったり、接続しているUSB ケーブルを抜いたりしないでください。故障の原因となります。

5 「確認」で決定する

決定 を押す

6 本機とUSBハードディスクの電源を切り、接続しているUSBケーブルを抜く

◇**おしらせ**◇

・本機で使用していたUSB ハードディスクをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その際に、本機で保存したデータは全て消去されます。

USB ハードディスクの登録解除について

- 本機で USB ハードディスクを使うには、USB ハードディスクを本機につないでから、「初期化」をする必要があります。(⇒ **138** ページ)
- 本機は USB ハードディスクを 16 台まで登録できますが、ご使用の際は、本機と 1 対 1 で接続してください。USB ハブ接続などの方法を使い複数機器の接続をしないでください。

◇**おしらせ**◇

- 「機器の初期化」を行うことで、本機に USB ハードディスクが登録されます。
- 17 台目以降の USB ハードディスクを登録する場合には、登録済みの USB ハードディスクを「機器の登録解除」により登録解除してから「機器の初期化」を行ってください。
- 本機に登録していない USB ハードディスクでは、録画・再生できません。

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」－「ファミリンク設定」を選ぶ

ホーム を押し
で選び
決定 を押す

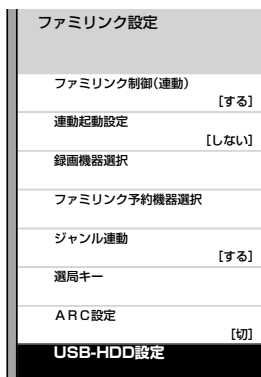
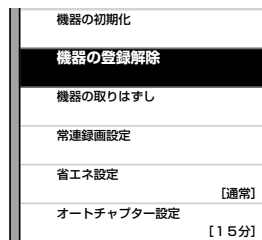
選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「USB-HDD設定」を選ぶ

で選び
決定 を押す

3 「機器の登録解除」を選ぶ

で選び
決定 を押す

4 登録を解除したいUSBハードディスクを選ぶ

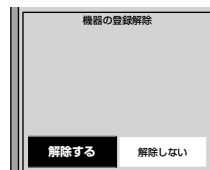
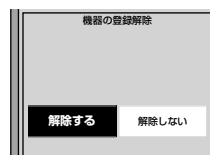
で選び
決定 を押す

- 画面の指示に従って操作をします。

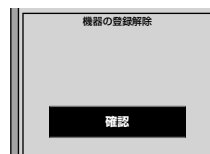
5 「解除する」を選ぶ

で選び
決定 を押す

6 「解除する」を選ぶ

で選び
決定 を押す

- この USB ハードディスクを、本機の登録リストから削除します。登録を解除すると、この USB ハードディスクに録画されている番組は、再生できなくなります。

7 「確認」で決定する

決定 を押す

USB ハードディスクを初期化する

• USB ハードディスクを使って録画するためには、使うための準備「初期化」が必要です。

◇おしらせ◇
• USB ハードディスクを初期化すると、録画済みのタイトルがすべて消去されます。消去されたタイトルは元に戻せませんので、USB ハードディスクの内容をよく確認してください。
• 他社のレコーダーやパソコンで録画した USB ハードディスクをつないだときも、本機で使うためには、初期化が必要です。

1 USBハードディスクと本機の準備をする

• USB ハードディスクをつなぎます。
(⇒ **135** ページ)
• USB ハードディスクと本機の電源を入れます。

2 ホームメニューを表示して、「リンク操作」−「ファミリンク設定」を選ぶ

ホーム を押し
決定 で選び
決定 を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

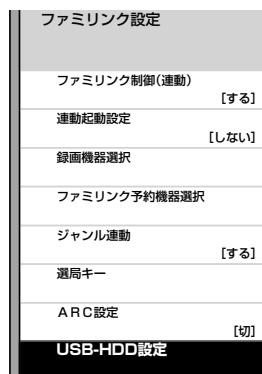
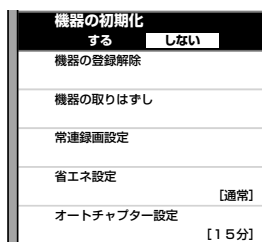
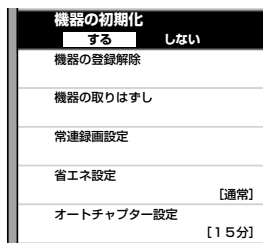
3 「USB-HDD設定」を選ぶ

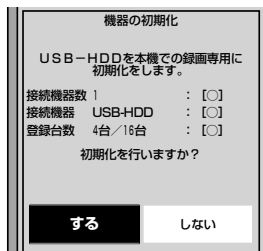
で選び
を押す

4 「機器の初期化」を選ぶ

決定 で選ぶ

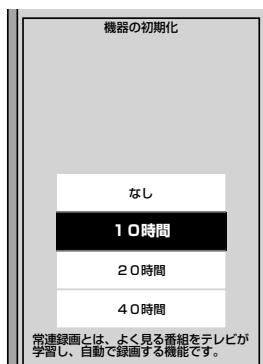
5 「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

6 「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

◆常連録画時間設定

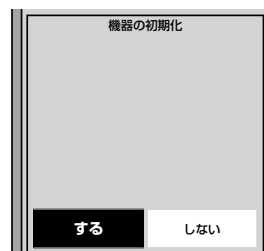
- 常連録画機能については、⇒ **154** ページをご覧ください。

7 「なし」「10時間」「20時間」「40時間」のいずれかを選ぶ

で選び 決定 を押す

- USBハードディスクの容量(⇒ **134** ページ) を超える項目は、選べません。

◆機器の初期化

8 「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 初期化が実行されます。
- 初期化中に USB ハードディスクを取り外したり、USB ハードディスクや本機の電源を切らないでください。故障の原因となります。

9 「確認」で決定する

決定 を押す

USB ハードディスクを省エネで使うには

- USB ハードディスクを使わない状態が続いたときに、USB ハードディスクを待機状態にして、消費電力を抑えます。

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」－「ファミリンク設定」を選ぶ

ホームを押し
で選び
決定を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

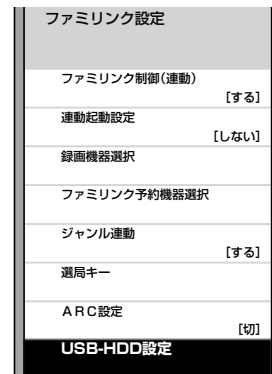
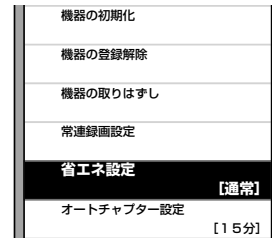
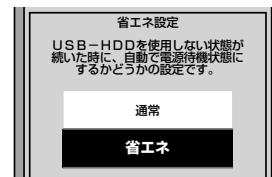
2 「USB-HDD設定」を選ぶ

で選び
決定を押す

3 「省エネ設定」を選ぶ

で選び
決定を押す

4 「通常」または「省エネ」を選ぶ

で選び
決定を押す

USB ハードディスクに録画をする前にお読みください

◆ 重　要 ◆

予約をしたときや録画中に電源を切りたいときは、リモコンの電源ボタンで電源をお切りください。

本体の電源スイッチで電源を切ると、
- 予約が実行されません。
- 録画が停止します。

録画できる番組数と予約件数について
- 1 台の USB ハードディスクには、通常録画と常連録画をあわせて最大 999 番組まで録画可能です。（USB ハードディスクに空き容量がない場合は、録画できません。）
- 最大 32 件までの予約が可能です。

録画予約実行中の制限について
- 予約が実行中（録画中）の場合は、実行中の予約と時刻の重なる新たな予約は設定できません。すぐに予約を設定したいときは、録画予約を停止させてから設定してください。

◇**おしらせ**◇

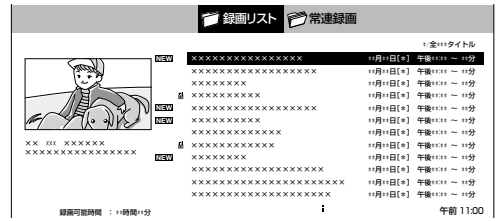
録画予約について
- 番組の頭切れ防止のため、設定した時刻より数秒早く録画が始まります。
- 時間の連続した予約設定をしている場合、次番組は先頭から録画を開始するため、前番組は予約の終了時刻よりも早く録画が終わります。
- 既存の予約と日時が重なっている場合は、メッセージが表示されます。画面に従って操作をやり直してください。

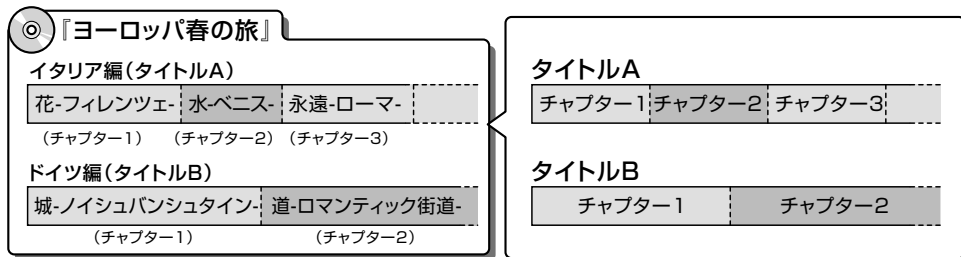
コピー制御信号について
- デジタル放送で視聴・録画できる番組には、コピー制御信号が含まれています。
- コピー制御信号が録画禁止の場合は、USB ハードディスクに録画できません（視聴のみ可能）。また、本機で USB ハードディスクに録画した番組は、ダビングできません。

◆ 重　要 ◆
- 録画中、または予約録画中に主電源を切ったり停電になった場合には、録画中の内容が損なわれることがあります。
- パソコンと同様に、HDD（ハードディスク）は、壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。録画（録音）内容の長期的な保管場所ではありません。あくまでも一時的な保管場所としてご使用ください。大切な番組の録画には、ブルーレイディスクレコーダーや DVD レコーダー、ビデオなど、他の機器にも録画することをお勧めします。
- 大切な録画の場合には、事前に試し録りをするなど機器が正常に働くことを確認してから行ってください。
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。私的目的で録画したものでも、著作権者などに無断で販売したり、インターネット上で公衆に送信したり、営利目的で放送すると著作権侵害となります。
- 修理などで本機内の主要部品を交換したり、本機を交換したときは、USB ハードディスクに記録済みのコンテンツは、再生できなくなります。
- 独立データ放送は録画できません。
- 録画中に、録画禁止の番組が始まったり電波状況が悪くなった場合は、録画が停止・一時停止する場合があります。

万一何らかの不具合により、録画・編集されなかった場合の内容の補償、録画・編集されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いません。あらかじめご了承ください。

録画した番組の構成について

・録画した番組は、1 回の録画ごとに「タイトル」として記録されます。各タイトル（録画した番組）は「録画リスト」に一覧表示され、再生・保護・保護解除・消去・タイトルの並べ換えができます。（⇒ **157**・**162**・**164**・**166** ページ）

「タイトル」「チャプター」「録画リスト」の関係

例）市販のビデオディスクの場合

これを短編小説に例えると、次のような関係になります。
• タイトル ＝ 話
• チャプター ＝ 章
• 録画リスト ＝ もくじ

チャプターマーク

しおり

『ヨーロッパ春の旅』

もくじ
第1話 イタリア編
第1章 花-フィレンツェ-
第2章 水-ベニス-
第3章 永遠-ローマ-
第2話 ドイツ編
第1章 城-ノイシュバンシュタイン-
第2章 道-ロマンティック街道-

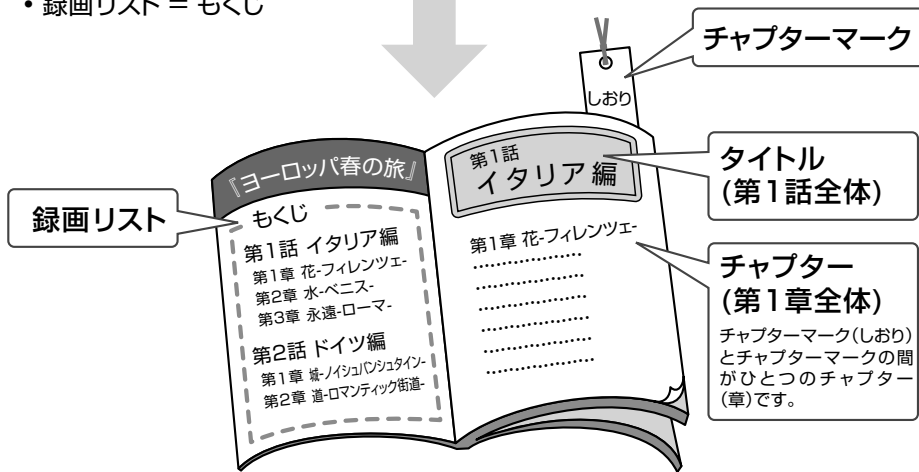
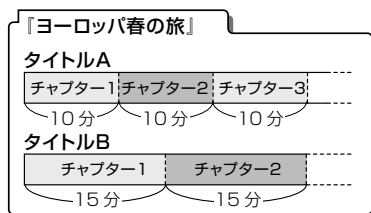
第1話
イタリア編

第1章 花-フィレンツェ-

録画リスト

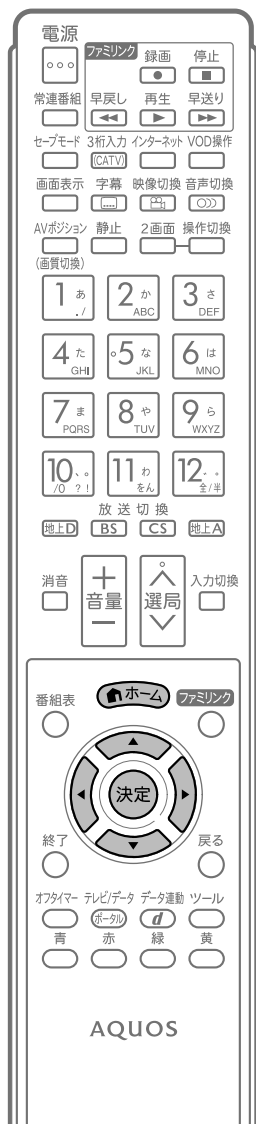
タイトル
（第1話全体）

チャプター
（第1章全体）

チャプターマーク（しおり）とチャプターマークの間がひとつのチャプター（章）です。

例）本機で録画した USB ハードディスクの場合

・本機は、一定時間でチャプターを作成できます。※
　※ 本機にはチャプターマークを任意の場所に記録する機能はありません。（録画するときに、チャプターマークを設定した間隔で自動的に入れるようにできます。⇒ **143** ページ）
　※ 図のタイトル A は「オートチャプター設定」を「10 分」に、タイトル B は「15 分」に設定した例です。

録画するときに自動的に入るチャプター間隔を変えたいときは（オートチャプター設定）

- 録画中に自動的に記録されるチャプターマークの間隔を設定します。
- 録画した番組にチャプターマークが記録されていると、再生したい場面を探すときに便利です。

項目	内容
しない	チャプターが入りません。
10 分	10 分間隔でチャプターが入ります。
15 分	15 分間隔でチャプターが入ります。
30 分	30 分間隔でチャプターが入ります。

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」－「ファミリンク設定」を選ぶ

を押し
で選び 決定 を押す

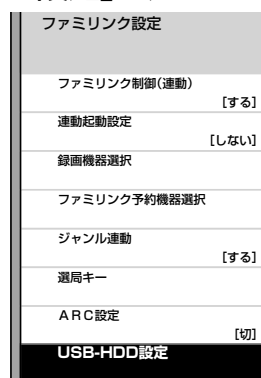
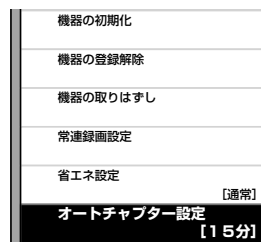
選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「USB-HDD設定」を選ぶ

で選び
を押す

3 「オートチャプター設定」を選ぶ

で選び
を押す

4 「しない」「10分」「15分」「30分」のいずれかを選ぶ

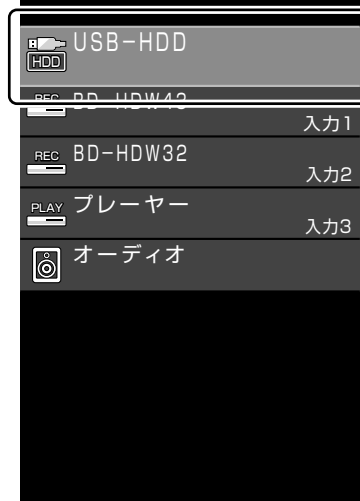
で選び 決定 を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

ファミリンクパネルの操作のしかた

- USB ハードディスクと接続しているときは、ファミリンクパネルで、一時停止や再生などの操作ができます。

1 ファミリンクパネル（機器選択）を表示する

ファミリンク を押す

2 USBハードディスクを選ぶ

で選び 決定 を押す

ボタン	説明
視聴メニュー	• 視聴メニューを表示します。
録画リスト	• USB ハードディスクの録画リストを表示します。

3 操作したい機能のボタンを選ぶ

操作ボタン

詳しくは「操作ボタンの機能について」(⇒**右記**)をご覧ください。

操作ボタン※1 の機能について

ボタン	説明
早戻し	• 早戻し再生
再生	• 再生
早送り	• 早送り再生
前	• 前のチャプター※2 に戻って頭出し（逆頭出し）
一時停止	• 一時停止
次	• 次のチャプター※2 に進んで頭出し（順頭出し）
10秒戻し	• 10 秒後戻し
停止	• 停止
30秒送り	• 30 秒先送り
録画	• 録画
録画停止	• 録画を停止

※ 1　視聴するコンテンツによっては、操作できない機能があります。

※ 2　チャプターとは、オートチャプター設定（⇒ **143** ページ）で設定された、再生区切り位置です。

USB ハードディスクに デジタル放送の番組を録画・録画予約する

放送中の番組を録画する（一発録画）

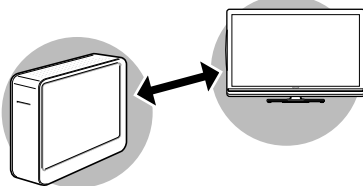
- 今見ている番組をその場で USB ハードディスクに録画します。
- 視聴中のデジタル放送の番組が終わるまで録画し、番組が終了すると自動で録画が停止します。番組の延長にも対応します。

◆ 重 要 ◆

- 録画の前に「USB ハードディスクをつないでできること／できないこと」（⇒ **134** ページ) をご覧ください。
- USB ハードディスクの録画可能時間がなくなると録画を停止します。
- 録画●で USB ハードディスクに録画するには、事前に「録画機器選択」（⇒ **100** ページ）で「USB-HDD」を選択しておく必要があります。

◇**おしらせ**◇

- 2 画面、PinP のときは一発録画できません。
- デジタル放送は B-CAS カードを挿入しないと視聴・録画できません。

ビーキャス
B-CASカード
⇒**242**ページ

1 録画の準備をする

- 本機の電源を入れます。
- 本機に B-CAS カードが入っていることを確認します。

2 録画したい放送の種類を選ぶ

- 地上D BS CSのいずれかを押して選びます。

3 選局ボタンで録画したいチャンネルを選ぶ

4 録画をはじめる

録画●を押す

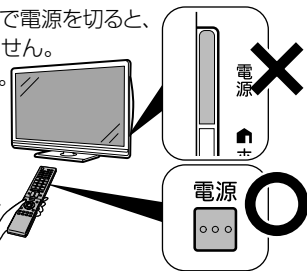
- テレビ画面に録画開始のメッセージが表示されます。

録画開始のメッセージ例

この番組を最後まで録画します。

- 視聴中の番組が終わるより前に録画を止める場合は、ファミリンクパネルを表示して「録画停止」ボタンを選んでください。

予約をしたときや録画中に電源を切りたいときは、リモコンの電源ボタンで電源をお切りください。

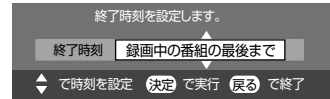
本体の電源スイッチで電源を切ると、
- 予約が実行されません。
- 録画が停止します。

◇おしらせ◇

番組情報が取得できていないチャンネルを録画したときは

- デジタル放送で番組表が表示されていないチャンネルを録画したときは、ファミリンクパネルを表示して「録画停止」ボタンを選ぶまで、最大６時間録画が続きます。
- 録画終了時刻を設定したいときは⇒**右記**をご覧ください。

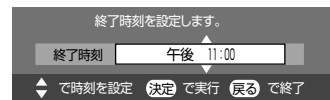
録画終了時刻の設定をやり直すには

1 録画中に、終了時刻設定画面を表示させる

録画 を押す

（終了時刻設定画面の例）

- 終了時刻設定画面は、ファミリンクパネルを表示して「録画」ボタンを押しても表示できます。

2 終了時刻を選ぶ（1分単位）

で選び 決定 を押す

- 終了時刻を選ぶときに、上下カーソルボタンを長押しすると、10分単位で選べるようになります。（カーソルボタンを押し直すと、1分単位の動作に戻ります。）

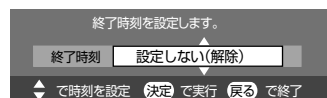
「録画中の番組の最後まで」を設定したとき

- 設定した時点での番組情報に従い、番組終了時刻が設定されます。
- 途中で録画を止めるときは、ファミリンクパネルを表示して「録画停止」ボタンを選んでください。
- 番組表で番組情報が取得されていないときは、「録画中の番組の最後まで」は設定できません。

録画終了時刻を設定したとき

- 録画終了時刻が設定されます。設定した時刻になると、自動的に録画が停止します。
- 録画を途中で止めたいときは、ファミリンクパネルを表示して「録画停止」ボタンを選んでください。

設定を解除したいとき

- 「設定しない（解除）」を選びます。

「設定しない（解除）」を選んだとき

- 「設定しない（解除）」を選んだときは、ファミリンクパネルを表示して「録画停止」ボタンを選ぶまで最大６時間録画が続きます。USB ハードディスクの録画可能時間がなくなると録画を停止します。

デジタル放送の番組を録画予約する

・番組表を使って、デジタル放送の番組を録画予約できます。
・7 日先まで録画予約できます。
・予約の最大件数は、32 番組です。

◆ 重 要 ◆

・録画予約の前に「USB ハードディスクをつないでできること／できないこと」（⇒ **134** ページ）をご覧ください。

1 録画の準備をする

・本機の電源を入れます。
・本機に B-CAS カードが入っていることを確認します。

2 録画したい放送の種類を選ぶ

・地上D BS CS のいずれかを押して選びます。

3 番組表を表示する

番組表 を押す

4 予約したい番組を選ぶ

で選ぶ

・ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。（⇒ **44**・**45** ページ）
・視聴年齢制限が設定されている番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。暗証番号（⇒**92**ページ）を入力してください。
・常連番組の番組欄（⇒ **52** ページ）から番組を選ぶこともできます。

5

を押す

予約する

- 「この番組を USB-HDD に録画予約しました」というメッセージが表示されます。
- 予約した番組には、予約アイコンが表示されます。

録画禁止の番組を予約したときは

- 視聴予約となります。

USB ハードディスクが接続されていないときは

- 予約方法の選択画面が表示されます。

次のような画面が表示されたときは

この時間に予約されている番組があります。
予約されている番組を削除して、この番組を予約しますか?

予約する　予約しない

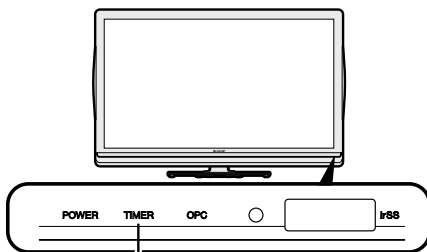
- **次**ページをご覧ください。

6

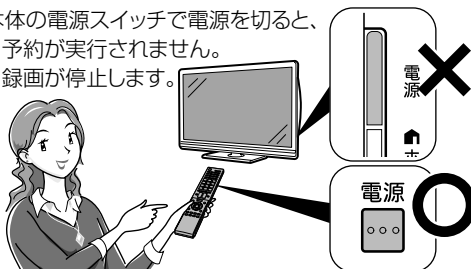
番組表

を押す

番組表を消す

- 予約が設定されると、本体の TIMER（タイマー）ランプが点灯します。

TIMER（タイマー）ランプ

予約をしたときや録画中に電源を切りたいときは、リモコンの電源ボタンで電源をお切りください。

本体の電源スイッチで電源を切ると、
- 予約が実行されません。
- 録画が停止します。

録画予約した内容を取り消し・変更したいときは

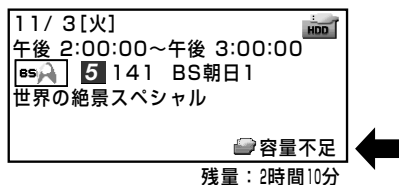
- ⇒ **152** ページをご覧ください。

◇おしらせ◇

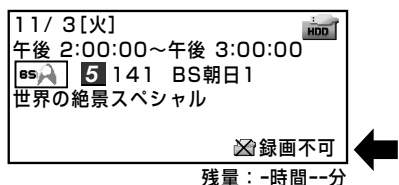
- 録画予約ができないときは、「故障かな？と思ったら」（⇒ **298** ページ）を参照してください。エラーメッセージについては、(⇒ **309 ～ 311** ページ）をご覧ください。

予約設定時のメッセージについて

- 番組表で番組を予約したときに、取得された番組情報に基づいてテレビ画面にメッセージが表示されることがあります。必要に応じて、以下の設定を行ってください。

予約リスト（⇒ **149**・**152** ページ）に「容量不足」と表示されるとき

USB ハードディスク残時間が不足しており設定した予約が録画できないときに表示されます。

- USB ハードディスクを接続しているときは、録画リストから不要な番組を消去することで、残量を増やせます。（タイトル消去⇒ **164**・**165** ページ）

予約リスト（⇒ **149**・**152** ページ）に「録画不可」と表示されるとき

USB ハードディスクを接続していないときに表示されます。

- 初期化（登録）済み（⇒ **137**、**138** ページ）の USB ハードディスクを接続してください。

本機で初期化していない（登録されていない）USB ハードディスクが接続されているときに表示されます。

- 接続した USB ハードディスクを本機で初期化（⇒ **138** ページ）してください。

設定した予約が他の予約と重複しているメッセージが表示されるとき

この時間に予約されている番組があります。
予約されている番組を削除して、この番組を予約しますか?

予約する　予約しない

- 既存の予約を取り消して、現在の予約を実行させることができます。

設定中の予約を残したいとき

- 「予約する」を選ぶと、設定中の予約で設定を完了します。
- すでに設定された予約は、消えます。

すでに設定された予約を残したいとき

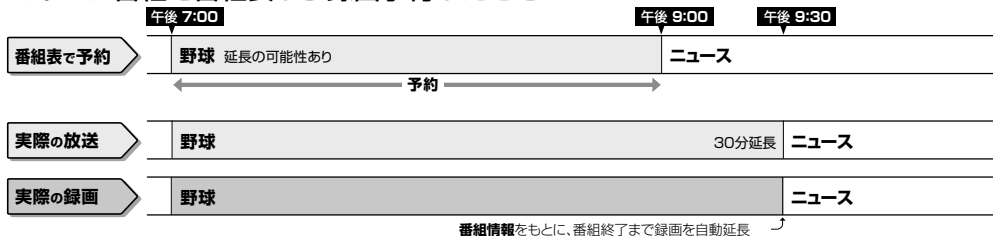
- 「予約しない」を選ぶと、すでに設定された予約が残ります。
- 設定中の予約は、設定されません。

◇おしらせ◇

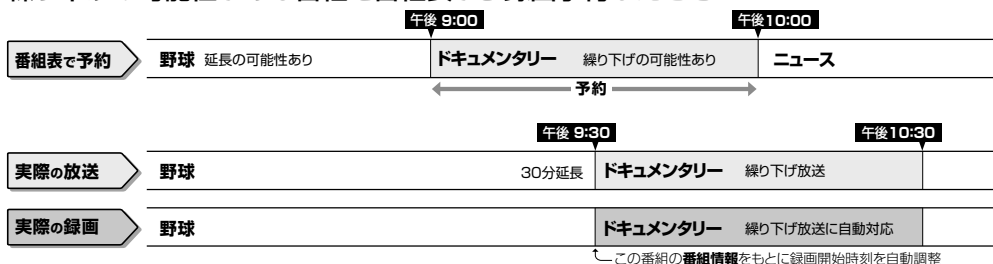
- USB ハードディスク利用時に関するエラーメッセージ（⇒ **309** ～ **311** ページ）も併せてご覧ください。
- 予約した番組によっては、番組情報の取得に時間がかかることがあります。

番組表でのデジタル放送の延長予約について

- スポーツ中継など終了時刻が延長される可能性のある番組を番組表で予約すると、録画予約の終了時刻が自動で延長されます。
- 番組が延長されても番組の最後まで録画を行います。
- 前の番組が延長されて録画予約した番組が繰り下げられたときでも、録画予約した番組の最後まで録画します。

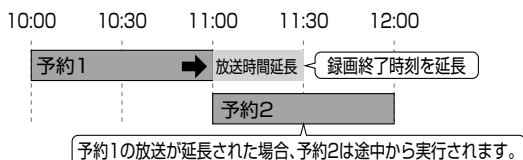
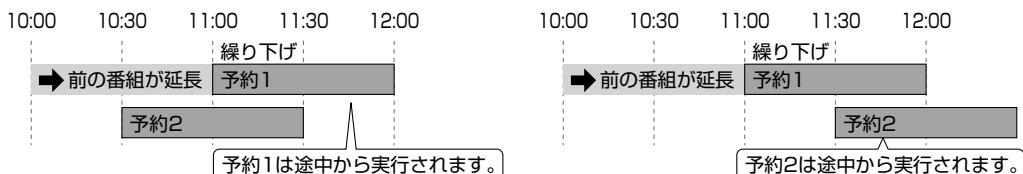
スポーツ番組を番組表から録画予約したとき

◇おしらせ◇

- 予約した番組が延長したり、繰り下げとなった予約と他のチャンネルの予約が重なったときは、重なった予約が実行されない、または番組の途中から予約が実行されます。
- 開始時刻、終了時刻を変更したときは、設定をやり直した時刻で録画されます。（延長に対応しなくなります。）

繰り下げの可能性がある番組を番組表から録画予約したとき

◇おしらせ◇

- 開始時刻、終了時刻を変更したときは、設定をやり直した時刻で録画されます。（延長に対応しなくなります。）

番組の延長により、予約が重なった場合

- 先に始まった録画予約が終了したあと、次の重なった録画予約を途中から実行します。

- 番組が繰り下げられた場合も同様です。

- 番組が繰り下げられた結果、開始時刻が他の予約と同じ時刻になった場合は、繰り下げられた予約が取り消されます。

予約の確認・取り消し・変更をするには

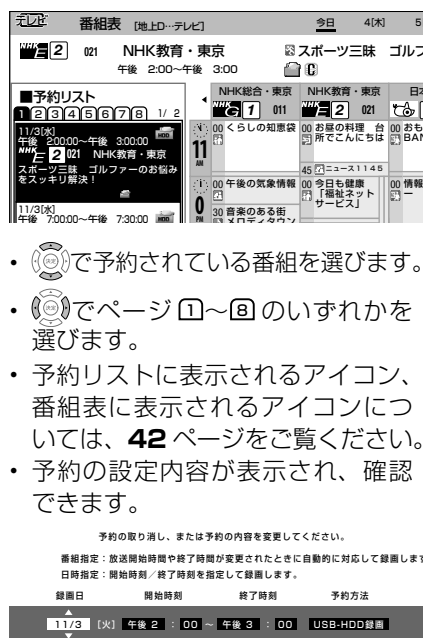
デジタル放送の予約の確認・取り消し・変更をするには

- 予約の確認・取り消し・変更をすることができます。
- 日時を指定して予約したいときや、視聴予約（⇒ **123** ページ）やファミリンク予約（⇒ **106** ページ）、繰り返し予約は、この手順で予約方法を変更します。

1 番組表を表示する

番組表 を押す

2 ①予約リストを表示する
②確認･取り消し･変更をしたい予約を選ぶ

黄 を押す

で選び 決定 を押す

- （決定ボタン）で予約されている番組を選びます。
- （決定ボタン）でページ 1～8 のいずれかを選びます。
- 予約リストに表示されるアイコン、番組表に表示されるアイコンについては、**42** ページをご覧ください。
- 予約の設定内容が表示され、確認できます。

- 上記は、番組表から予約した予約の変更・取り消し画面です。日時指定予約の場合は、画面が若干異なります。
- 確認のみで終了する場合は、「変更しない」を選び、番組表または予約リストに戻ります。

◆ 予約を取り消したいとき

3 ①「取り消す」を選ぶ
②「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

［地上Dテレビ番組の予約設定］

予約方法：USB-HDD録画
11月 3日［火］午後 2：00～午後 3：00

この番組の予約を取り消しますか？

- 予約が取り消されます。
  手順 **2** の画面に戻ります。

◆ 予約の設定を変更するとき

つづき

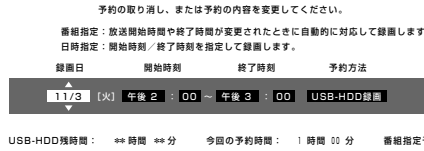
で項目を で内容を選ぶ

変更したい項目の内容を選ぶ

予約の取り消し、または予約の内容を変更してください。

番組指定：放送開始時間や終了時間が変更されたときに自動的に対応して録画します
日時指定：開始時刻／終了時刻を指定して録画します。

録画日	開始時刻	終了時刻	予約方法
11/3［火］	午後 2：00	～ 午後 3：00	USB-HDD録画

USB-HDD残時間： ** 時間 ** 分　今回の予約時間： 1 時間 00 分　番組指定

設定項目	予約方法	録画日	開始時刻／終了時刻
設定内容	• USB-HDD 録画※1 • ファミリンク録画※1 ※2※3 • VHS テープ予約 • 視聴予約※4	• 日付※5 • 毎週○曜 • 毎日 • 月ー土 • 月ー金	(「番組指定予約」の場合、変更できません。)※6

※ 1　USB ハードディスクやファミリンク機器が認識できないときは、表示されません。
※ 2　予約方法がファミリンク録画の場合、「録画日」「開始時間」「終了時間」は変更できません。
※ 3　「日時指定予約」の場合、ファミリンク録画には設定できません。
※ 4　視聴予約については、⇒ **123** ページをご覧ください。
※ 5　「日時指定予約」の場合、「日付」は、「今日の日付」～「28 日後の日付」が選べます。
※ 6　「開始時刻」「終了時刻」は、「日時指定予約」に切り換えると変更できます。

4 「変更する」を選ぶ

で選び

を押す

5 「戻る」で決定する

決定 を押す

［地上Dテレビ番組の予約設定］

予約方法：USB-HDD録画
11月 4日［水］午後 4：00～午後 5：00

この番組をUSB-HDD録画予約しました。

戻る

繰り返し予約をする

• 毎日、毎週など、同じ番組を繰り返し録画予約できます。

1 **148ページの手順1～149ページの手順5で繰り返し予約をしたい番組を選び､録画予約を設定する**

2 **上下左右カーソルボタンでもう一度同じ番組を選び､決定する**

• 予約リストからも選べます。

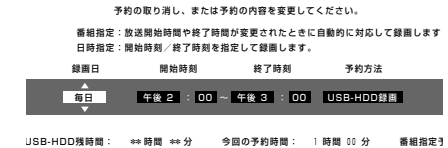
3 **①上下左右カーソルボタンで「録画日」を選ぶ**

②上下カーソルボタンで「毎週○曜」「毎日」「月－土」「月－金」のいずれかを選ぶ

予約の取り消し、または予約の内容を変更してください。

番組指定：放送開始時間や終了時間が変更されたときに自動的に対応して録画します
日時指定：開始時刻／終了時刻を指定して録画します。

録画日	開始時刻	終了時刻	予約方法
毎日	午後 2：00	～ 午後 3：00	USB-HDD録画

USB-HDD残時間： ** 時間 ** 分　今回の予約時間： 1 時間 00 分　番組指定

• 青 を押すと、「毎日予約」に設定できます。
• 赤 を押すと、「毎週予約」に設定できます。
• 黄 を押すと、「日時指定予約」※1 に切り換えられます。

4 **左右カーソルボタンで「変更する」を選び、決定する**

5 **「戻る」で決定する**

予約方法：USB-HDD録画
毎日 午後 2：00～午後 3：00

この番組をUSB-HDD録画予約しました。

戻る

※ 1　「日時指定予約」の場合は、指定した時間で繰り返し予約を行います。
「番組指定予約」の場合は、初回予約時の前後 3 時間以内で放送が開始される類似した番組名の番組を検索し、録画します。繰り返し予約が他の予約の時間と重なる場合、繰り返し予約は自動的に「休止」となり、録画予約は行われません。また、該当する番組がない場合は、日時指定予約で録画されます。

◇おしらせ◇

• 「日時指定予約」に変更した番組を再度変更するときは、一度予約を取り消してから新しい予約の設定をやり直してください。

常連番組を USB ハードディスクに毎日自動で録画する（常連録画）

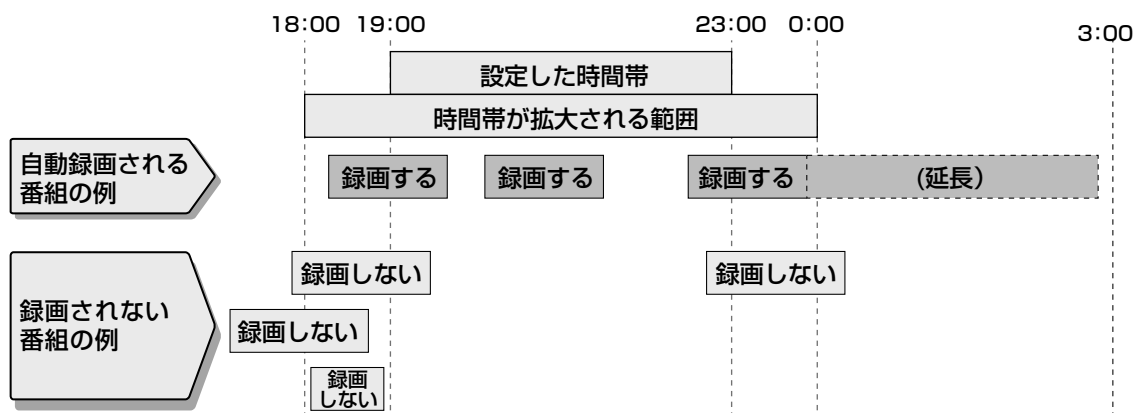
- USB ハードディスクを使って、常連番組（⇒ **50** ページ）を毎日自動で録画できます。
- 常連録画機能で録画できるのは、毎日同じ時間帯（4 時間）です。工場出荷時は 19 時〜23 時に設定されています。常連録画機能で録画する時間帯は、変更できます。
- 常連録画機能で録画した番組の再生については、⇒ **157**・**158** ページをご覧ください。

◆ 重 要 ◆

- 常連録画機能を使うには、USB ハードディスクに常連録画専用領域を作っておく必要があります。
- 常連録画機能で録画した番組は、常連録画専用領域の録画可能時間を越えないように、録画日時の古い番組から自動的に消されます。消されたくない番組は、消される前に録画リストへ移動（⇒ **167** ページ）しておくか、はじめから通常の録画・録画予約をしてください。

◇おしらせ◇

- 常連録画機能で録画する時間帯と通常の録画予約の時刻が重なったときは、通常の録画予約が優先されます。
- 常連録画機能で設定できる時間帯は４時間ですが、番組の放送状況により、設定した時間帯の前後にそれぞれ１時間まで拡大されることがあります。また、番組が延長して、常連録画の時間帯を過ぎてしまったときは、その番組の最後まで（最大３時間まで）録画されます。

（例）録画時間帯が 19：00 〜 23：00（工場出荷時）の場合

常連録画の設定をする

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」ー「ファミリンク設定」を選ぶ

を押し　で選び　決定　を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「USB-HDD設定」を選ぶ

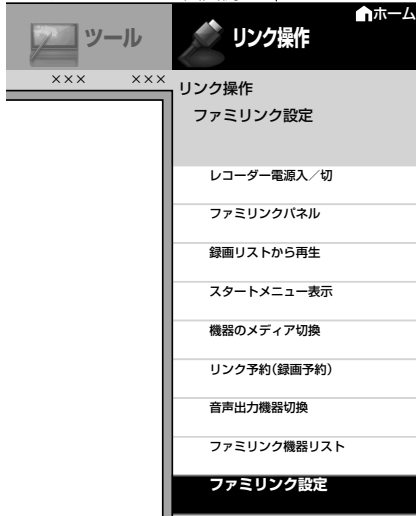
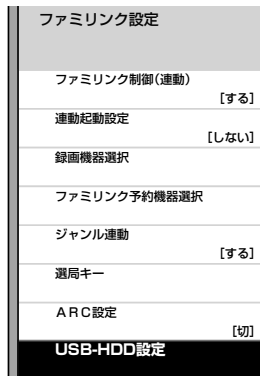
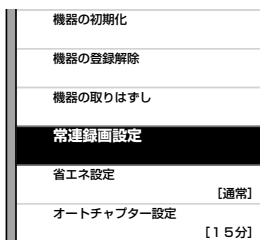
で選び　決定　を押す

ファミリンク設定
- ファミリンク制御(連動)　[する]
- 連動起動設定　[しない]
- 録画機器選択
- ファミリンク予約機器選択
- ジャンル連動　[する]
- 選局キー
- ARC設定　[切]
- **USB-HDD設定**

3 「常連録画設定」を選ぶ

で選び　決定　を押す

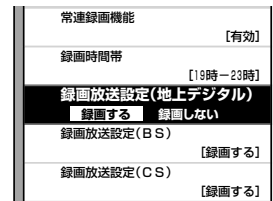
4 「常連録画機能」で「有効」を選ぶ

で選ぶ

5 「録画時間帯」で時間帯を選ぶ

を押し　で選ぶ

6 録画放送設定(地上デジタル BS/CS)で録画したい放送を選び、「録画する」を選ぶ

を押し　で選ぶ

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

7 「常連録画時間設定」で「なし」「10時間」「20時間」「40時間」のいずれかを選ぶ

- 空き容量が不足している場合は、不要なタイトル（録画した番組）を削除してから、再度設定してください。
- 常連録画時間を増やす場合は、録画リストのタイトルを削除してください。
- 常連録画時間を減らす場合は、常連録画のタイトルを削除してください。

◇**おしらせ**◇

- 「録画時間帯」や録画放送設定の各項目は、「常連録画機能」を「無効」にすると選べません。

USB ハードディスクに録画した番組を再生する

USB ハードディスクに録画した番組を録画リストから再生する

- 録画リストを表示して、USB ハードディスクに録画した番組を一覧表示できます。一覧表示した番組は、小画面で映像を確認しながら選べます。

▼録画リストの画面例

録画リストを呼び出すには

1 ファミリンクパネル（機器選択）を表示する

ファミリンク を押す

2 USBハードディスクを選ぶ

で選び 決定 を押す

3 「録画リスト」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 録画リストが表示されます。

◇おしらせ◇

- 録画リストは、ホームメニューから「リンク操作」－「ファミリンク機器リスト」－「USB-HDD」を選んでも表示できます。
- 録画リストは、本機に登録済みのUSBハードディスクを接続しているときに、リモコンの 入力切換 を押して「USB」を選んでも表示できます。
- 録画リストは、ホームメニューから「チャンネル」－「USB-HDD」または「常連録画」を表示しているときに、赤 を押しても表示できます。

録画リストから再生する

1 録画リストを呼び出す

2 「録画リスト」または「常連録画」フォルダを選ぶ

で選び 決定 を押す

- 通常の録画・録画予約で録画した番組は、「録画リスト」フォルダにあります。
- 常連録画で録画された番組は、「常連録画」フォルダにあります。

録画リスト　常連録画

××××××××××××××××　**月**日[*]　午
××××××××××××××××××　**月**日[*]　午
××××××××　**月**日[*]　午
××××××××××　**月**日[*]　午
××××××××××××××××××　**月**日[*]　午

3 再生したい番組を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 1ページに12タイトルまで表示されます。13タイトル以上あるときは、 を押すと、ページを切り換えて表示できます。

録画リスト　常連録画

××××××××××××××××　**月**日[*]　午
××××××××××××××××××　**月**日[*]　午
××××××××　**月**日[*]　午
××××××××××　**月**日[*]　午
××××××××××××××××××　**月**日[*]　午
××××××××××　**月**日[*]　午
×××××××××××××　**月**日[*]　午
××××××××××××　**月**日[*]　午
××××××××　**月**日[*]　午
×××××××××××××××××××　**月**日[*]　午
××××××××××××××××××××××　**月**日[*]　午
××××××××××××××××××××　**月**日[*]　午
⋮

- 選んだ番組の再生が始まります。

USB ハードディスクに録画した番組をホームメニューから再生する

- ホームメニューを表示して、再生したい番組を選んでみましょう。

1 再生の準備をする

- 本機の電源を入れます。

2 ホームメニューを表示して、「チャンネル」を選ぶ

ホーム を押し

で選び

決定 を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 「USB-HDD」または「常連録画」を選ぶ

で選ぶ

- 通常の録画・録画予約で、録画した番組は、「USB-HDD」にあります。
- 常連録画で録画された番組は、「常連録画」にあります。

USB-HDD を選んだときの画面例

常連録画を選んだときの画面例

4 再生したい番組を選ぶ

で選び

決定 を押す

- １ページに８タイトルまで表示されます。９タイトル以上あるときは、黄 を押すとページを切り換えて表示できます。

- 選んだ番組の再生が始まります。
- 再生を止めるときは、停止 を押します。

- 手順 **4** で、1 ～ 8 のボタンを押しても選べます。

再生時の操作

停止した場所からつづけて再生する／はじめから再生する

再生中に停止を押して途中で止めた場合

◆ つづきから再生するときは

1 再生する

再生 を押す

- つづきから再生できます。

◆ はじめから再生するときは

1 録画リストを表示する

- ⇒ **157** ページ

2 再生したいタイトルを選ぶ

で選ぶ

3 機能メニューを表示する

赤 を押す

4 「最初から再生」を選ぶ

で選び 決定 を押す

5 「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 選んだタイトルがはじめから再生されます。

はじめに お読みください
テレビを見る／便利な使いかた
ファミリンク
ビデオ・オーディオ・パソコンをつなぐ
USBハードディスクをつないで録る・見る
インターネット／ホームネットワーク
設置・接続・受信設定
故障かな？／エラーメッセージ
お役立ち情報（仕様や索引）
English Guide

再生中に設定をする（視聴メニュー）

- 再生しながら、再生情報を確認したり、リピート再生が行えます。

◇**おしらせ**◇
- アングルや字幕などの表示が「−−」と表示される場合は、そのタイトルに選択できるアングルや字幕が記録されていません。

1 ファミリンクパネル（機器選択）を表示する

を押す

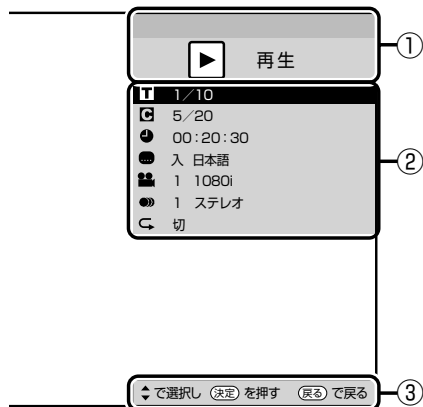
2 USBハードディスクを選ぶ

で選び 決定 を押す

3 再生中に「視聴メニュー」を選ぶ

で選び 決定 を押す

4 設定項目を選ぶ

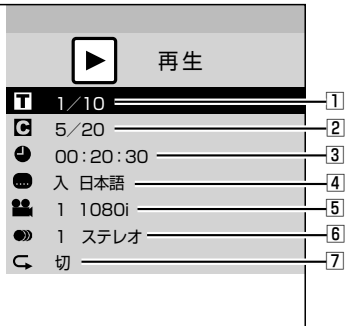
で選び 決定 を押す

①再生状態表示
　動作状態やディスクの種類
②設定項目（⇒ **161** ページ）
③操作ガイド表示

5 設定する（⇒161ページ）

で選び 決定 を押す

6 設定を終了する

戻る を押す
または
終了 を押す

画面表示と各設定項目について

• 再生しているタイトルによって選択できる項目は異なります。

1 T タイトル（トラック）選択
• 再生中のタイトル番号が表示されます。番号を選択してタイトルの頭出しができます。

2 C チャプター再生表示
• 再生中のチャプター番号が表示されます。番号を選択してチャプターの頭出しができます。

3 再生経過時間表示
• 選択したタイトルのはじめから現在までの経過時間が表示されます。時間を指定して頭出しができます。

4 字幕言語再生表示
• 再生中のタイトルに字幕がある場合に、切り換えられます。複数の言語が含まれている場合、お好みの言語に切り換えられます。

5 映像切換
• 再生中のタイトルに複数の映像がある場合に、切り換えられます。

6 音声切換
• 再生中のタイトルに複数の音声がある場合に、切り換えられます。

7 リピート再生
• 再生中のタイトルまたはチャプターを、くり返し再生できます。（⇒**右記**）

タイトル（録画した番組）またはチャプターをくり返し再生する（リピート再生）

• 視聴メニューで、選んだタイトル（録画した番組）やチャプター（章）をくり返し再生できます。

1 再生 を押す

くり返したいタイトルまたはチャプターを選んで再生する

2

①ファミリンクパネルを表示する
②再生中に「視聴メニュー」を選ぶ

3 で選び 決定 を押す

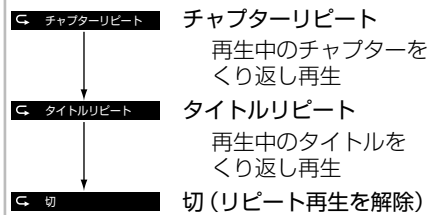
「」を選ぶ

4 で選び 決定 を押す

「チャプターリピート」または「タイトルリピート」を選ぶ

チャプターリピート
再生中のチャプターをくり返し再生

タイトルリピート
再生中のタイトルをくり返し再生

切（リピート再生を解除）

• リピート再生を開始します。
• 選択画面に戻るには戻るボタンを押します。

USB ハードディスクに録画した番組の管理

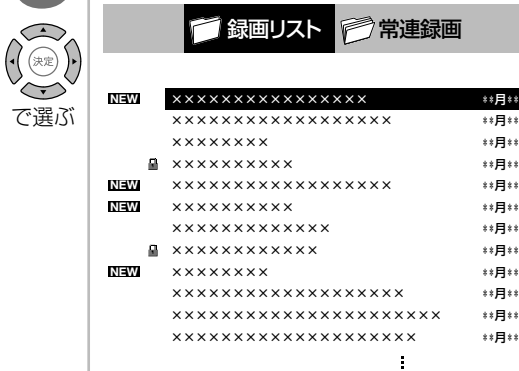
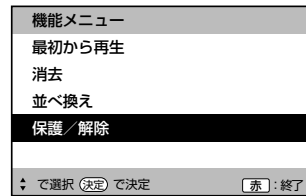
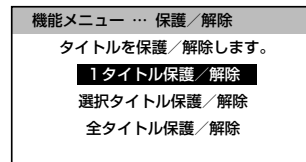
タイトル（録画した番組）を消さない設定と設定解除をする

• 間違って消さないよう、タイトル（録画した番組）を保護できます。

タイトルを 1 つ選んで保護／解除する

1 タイトルを保護／解除したいUSBハードディスクの準備をする

2 録画リストを表示する
• ⇒ **157** ページ

3 保護／解除したいタイトルを選ぶ

4 機能メニューを表示する

5 「保護／解除」を選ぶ

で選び 決定 を押す

6 「1タイトル保護／解除」を選ぶ

で選び 決定 を押す

• 選んだタイトルを保護／解除できます。

7 「保護する」または「保護解除」を選ぶ

で選び 決定 を押す

• 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

USB ハードディスクのタイトルを全て保護／解除する

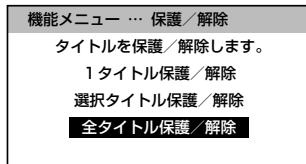
1 前ページの手順**1**～**2**と手順**4**～**5**を行う

2 「全タイトル保護／解除」を選ぶ

で選び 決定 を押す

機能メニュー … 保護／解除
タイトルを保護／解除します。
1タイトル保護／解除
選択タイトル保護／解除
全タイトル保護／解除

3 「保護する」または「保護解除」を選ぶ

で選び 決定 を押す

保護する　保護解除

- すべてのタイトルが保護または保護解除されます。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

複数のタイトルを選んで保護／解除する

1 前ページの手順**1**～**2**と手順**4**～**5**を行う

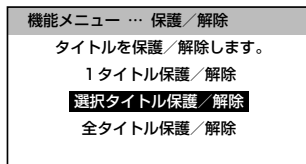
2 「選択タイトル保護／解除」を選ぶ

で選び 決定 を押す

機能メニュー … 保護／解除
タイトルを保護／解除します。
1タイトル保護／解除
選択タイトル保護／解除
全タイトル保護／解除

3 保護／解除したいタイトルを選ぶ

で選び 決定 を押す

- 保護したいタイトルに、チェックマークを付けます。
- 最大 20 タイトルまで選べます。
- 保護するタイトルにはチェックマークが付きます。もう一度選ぶとチェックマークが外れます。

4 選んだタイトルを確定する

赤 を押す

- チェックマークが付いたタイトルが保護されます。
- チェックマークのない（外した）タイトルは保護されません。

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

タイトル（録画した番組）を消去する

- すでに見て不要なタイトル（録画した番組）を録画リストから消去できます。

◇**おしらせ**◇

- 消去したタイトルは復活できません。

タイトルを 1 つ選んで消去する

1 タイトルを消去したいUSBハードディスクの準備をする

2 録画リストを表示する

- ⇒ **157** ページ

3 消去したいタイトルを選ぶ

で選ぶ

- 消去したいタイトルに「🔒」マークがついている場合は、先に「保護解除」（⇒ **162・163** ページ）を行ってください。

4 機能メニューを表示する

赤を押す

5 「消去」を選ぶ

で選び

決定を押す

6 「1タイトル消去」を選ぶ

で選び

決定を押す

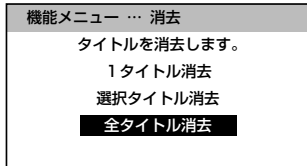
- 選んだタイトルが消去されます。
- 消去中は、電源を切らないでください。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

USB ハードディスクのタイトルを全て消去する

1 前ページの手順1～2と手順4～5を行う

2 「全タイトル消去」を選ぶ

で選び 決定 を押す

機能メニュー … 消去
タイトルを消去します。
1タイトル消去
選択タイトル消去
全タイトル消去

「する」を選ぶ

- すべてのタイトルが消去されます。（保護されたタイトルは残ります。）
- 消去中は、電源を切らないでください。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

複数のタイトルを選んで消去する

1 前ページの手順1～2と手順4～5を行う

2 「選択タイトル消去」を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 消去したいタイトルを選ぶ

で選び 決定 を押す

- 最大 20 タイトルまで選べます。
- 選んだタイトルにはごみ箱マークが付きます。もう一度選ぶとごみ箱が消えます。

4 選んだタイトルを確定する

赤 を押す

- ごみ箱マークを付けたタイトルが消去されます。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

録画リストの一覧表示の並びかたを変えるには

1 USBハードディスクの準備をする

2 録画リストを表示する

• ⇒ **157** ページ

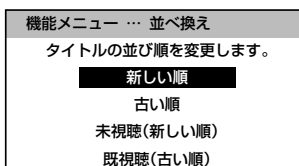
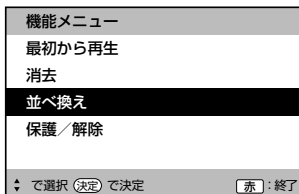
3 機能メニューを表示する

赤 を押す

4 「並べ換え」を選ぶ

で選び 決定 を押す

5 「新しい順」「古い順」「未視聴（新しい順）」「既視聴（古い順）」のいずれかを選ぶ

で選び 決定 を押す

常連録画機能で録画した番組を録画リストへ移動する

タイトルを 1 つ選んで移動する

1 常連録画フォルダ内のタイトルを録画リストフォルダに移動したいUSBハードディスクの準備をする

2 録画リストを表示する

• ⇒ **157** ページ

3 「常連録画」フォルダを選ぶ

NEW ××××××××××××××× **月**
×××××××××××××××××× **月**
×××××××× **月**
×××××××××× **月**

で選び 決定 を押す

4 移動したいタイトルを選ぶ

で選ぶ

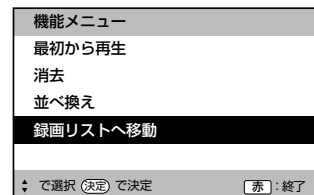
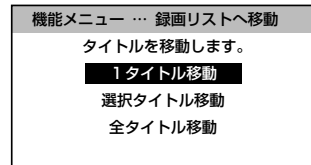
5 機能メニュー表示する

赤 を押す

6 「録画リストへ移動」を選ぶ

で選び 決定 を押す

7 「1 タイトル移動」を選ぶ

機能メニュー … 録画リストへ移動
タイトルを移動します。
1タイトル移動
選択タイトル移動
全タイトル移動

で選び 決定 を押す

- 選んだタイトルが録画リストへ移動します。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

常連録画フォルダ内のタイトルを全て録画リストへ移動する

- 「タイトルを 1 つ選んで移動する」の手順 **1** ～ **3** と手順 **5** ～ **6** を行います。
- 上下カーソルボタンで「全タイトル移動」を選んで決定します。

常連録画フォルダ内のタイトルを複数選んで録画リストへ移動する

- 「タイトルを 1 つ選んで移動する」の手順 **1** ～ **3** と手順 **5** ～ **6** を行います。
- 上下カーソルボタンで「選択タイトル移動」を選んで決定します。
- 上下左右カーソルボタンで移動したいタイトルを選んで決定します。選んだタイトルにはチェックマークが付きます。
- 赤ボタンを押して、確定します。

双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする

- インターネットやホームネットワークを楽しむために、ブロードバンド環境や LAN 環境を用意しましょう。
- 通信端末認定品の市販のルーターなどを使って LAN 接続をしてください。

ブロードバンド環境や LAN 環境を用意すると楽しめること

楽しめること	有料サービスの契約	ブロードバンド環境の用意	LAN環境の用意
オーナーズラウンジAQUOS.jpやインターネットの表示 使いかた ⇒**186**～**195**ページ	プロバイダとの契約が必要	必要	必要
アクトビラ ビデオの視聴 使いかた ⇒**209**～**211**ページ	プロバイダとの契約が必要	光回線環境が必要	必要
デジタル放送の双方向通信 **（LAN接続に対応している番組のみ）**	プロバイダとの契約が必要	必要	必要
IPTVの視聴 使いかた ⇒**196**～**208**ページ	プロバイダとの契約と、IPTVサービスの契約が必要	光回線環境が必要	必要
ホームネットワーク上の写真データの表示･印刷／動画や音楽データの再生 使いかた ⇒**212**～**223**･**228**～**229**ページ	不要	不要	必要

◇**おしらせ**◇

AQUOS.jp について
- AQUOS のお客様のためのサイトとして、「AQUOS.jp」を公開しています。本機の活用のしかたやよくあるお問い合わせなど、お客様にとってお役に立つ情報を提供していますのでご活用ください。

視聴者参加型データ放送の利用について
- 本機には電話回線端子がありませんので、視聴者参加型データ放送など、接続に電話回線が必要となる一部のサービスは、ご利用いただけません。（LAN 接続で利用できるものもあります。）

アクトビラ ビデオ／アクトビラ ビデオ・フルの利用について
- アクトビラ ビデオなどの映像配信サービス（動画）を利用するには、光回線（FTTH）が必要です。
- アクトビラ ビデオ・フルのご利用では､実効速度（常時）12Mbps 以上の光回線（FTTH）が必要です。

IPTV の利用について
- IPTV のご利用には、実効速度（常時）20Mbps 以上の光回線（FTTH）が必要です。

ホームネットワークの利用について
- ホームネットワークを利用するには、LAN 接続が必要です。インターネットプロバイダーとの契約は不要です。

ブロードバンド環境とLAN環境の用意のしかた

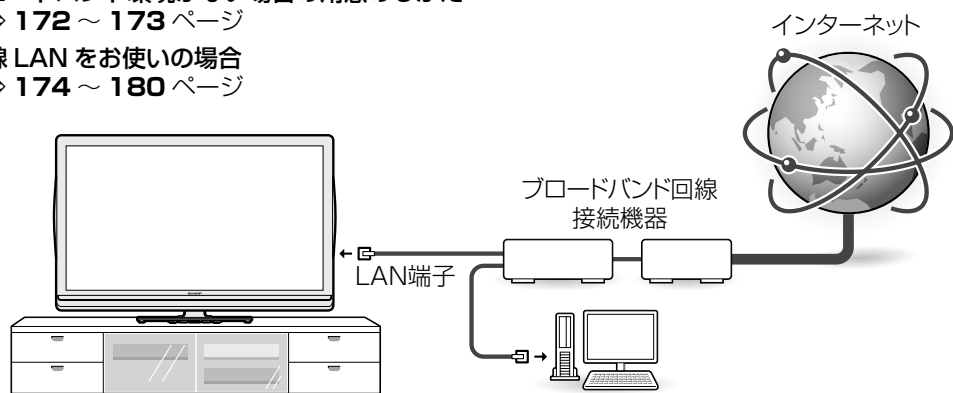
1 本機が接続できるブロードバンド環境を確認する
⇒170〜185ページ

- 本機をインターネットに接続するには、ブロードバンド環境が必要です。
- IPTVを視聴するためには、IPTVサービス事業者との契約などが必要です。
- ホームネットワーク（⇒**212**ページ）を利用するときは、インターネットプロバイダーへの契約は不要ですが、ブロードバンドルーターの設置と家庭内LANへの本機の接続が必要です。

ブロードバンド環境の確認
- ⇒**170**〜**171**ページ

ブロードバンドルーターと本機を接続する
- ⇒**171**ページ

ブロードバンド環境がない場合の用意のしかた
- ⇒**172**〜**173**ページ

無線LANをお使いの場合
- ⇒**174**〜**180**ページ

2 AQUOS.jpを表示してみる
⇒187ページ

AQUOS.jpの表示内容は一例です。

- AQUOS.jpが表示されないときは、「インターネットに接続できない場合は」（⇒**181**ページ）をご覧ください。
- 無線LAN環境をお使いの場合は、無線LANの接続設定（⇒**183**ページ）もご覧ください。

3 インターネットへの接続を制限する

- プロキシ形式のフィルタリングサービス(インターネットでの有害情報が含まれる特定ページへのアクセスを禁止する機能)を利用する場合や、プロバイダーなどから指定がある場合は、プロキシサーバー設定を行ってください。（⇒**185**ページ）

- インターネットやホームネットワークをお楽しみください。

ブロードバンド環境を用意する

- 本機をインターネットに接続するためには、ブロードバンド環境が必要です。
- まだブロードバンド環境がない場合は、下記の環境をご用意ください。すでにブロードバンド環境がある場合は、本機をブロードバンドルーターに接続してください。（⇒**次**ページ）
- IPTV やアクトビラ ビデオなどの映像配信サービス（動画）をご利用いただくには、光回線（FTTH）が必要です。

本機をインターネットに接続するためのブロードバンド環境

インターネット

プロバイダー

ブロードバンド回線

プロバイダー
インターネット情報サービスを提供している会社です。⇒**プロバイダーと契約してください。**

ブロードバンド回線
ご家庭とプロバイダーをつなぐための回線です。光回線(FTTH)、CATV 回線、ADSL 回線などがあります。⇒**回線業者と契約してください。**

信号変換機器
ブロードバンド回線と接続するための機器です。⇒**レンタルまたは購入してください。**

ブロードバンドルーター
複数の機器を同時にインターネットにつなぐための機器です。⇒**必要に応じて購入してください。**

LAN ケーブル
ブロードバンドルーターを接続するためのケーブルです。⇒**購入してください。**

光回線の場合

光回線（FTTH）
信号変換機器
回線終端装置
WAN側　LAN側
ブロードバンドルーター
LANケーブル（市販品）
本機のLAN端子につなぐ

IPTV をご利用になる場合は、⇒**197** ページをご覧ください。

CATV回線の場合

CATV回線
信号変換機器
ケーブルモデム
WAN側　LAN側
ブロードバンドルーター
LANケーブル（市販品）
本機のLAN端子につなぐ
CATVボックス
接続例 ⇒**244** ページ

ADSL回線の場合

電話回線
スプリッター
信号変換機器
ADSLモデム
WAN側　LAN側
ブロードバンドルーター
LANケーブル（市販品）
本機のLAN端子につなぐ
電話線（市販品）

◇**おしらせ**◇

IPTV やアクトビラ ビデオなどの映像配信サービス（動画）をご利用いただくには、光回線（FTTH）が必要です。

映像配信サービス（動画）をご利用いただく場合、本機と回線終端装置は LAN ケーブルで接続してください。LAN ケーブル接続以外では諸条件（ノイズなど）によって通信速度が一時的に低下し、画像の乱れや停止などが発生することがあります。

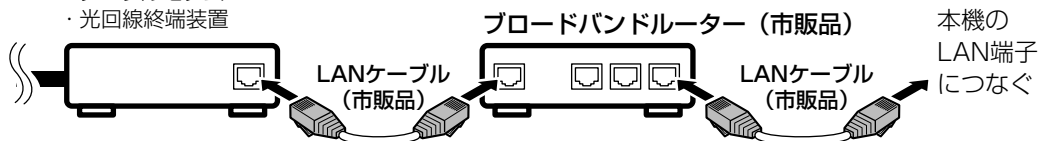
- IPTV のご利用には、実効速度（常時）20Mbps 以上の光回線（FTTH）が必要です。
- アクトビラ ビデオ・フルのご利用では、実効速度（常時）12Mbps 以上の光回線（FTTH）が必要です。

本機をインターネットに接続するための LAN 環境

- 本機の LAN 端子とブロードバンドルーターの LAN 側の端子を LAN ケーブルで接続します。

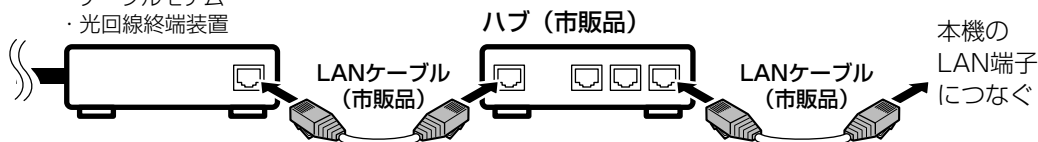
接続例

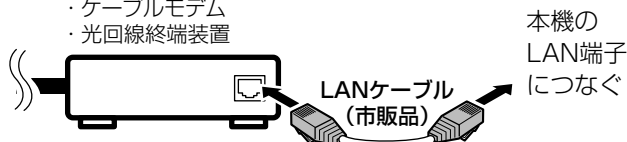
ADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、ルーター機能が付いていない場合

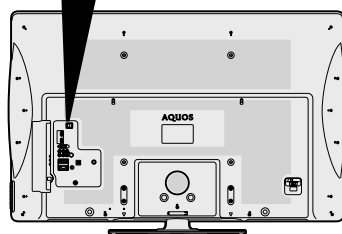
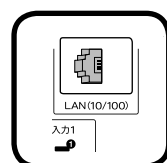
信号変換機器（ルーター機能なし）
- ADSLモデム
- ケーブルモデム
- 光回線終端装置

接続例 B

ルーター機能付きADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、LAN端子の空きがない場合

信号変換機器（ルーター機能付き）
- ADSLモデム
- ケーブルモデム
- 光回線終端装置

接続例

ルーター機能付きADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、LAN端子の空きがある場合

信号変換機器（ルーター機能付き）
- ADSLモデム
- ケーブルモデム
- 光回線終端装置

LAN端子
（10BASE-T/100BASE-TX）

接続例

無線LAN環境の場合

無線LAN環境の場合は
⇒**174**ページをご覧ください。

ブロードバンド環境がない場合の用意のしかた

- インターネットの接続サービスを行っている「プロバイダー」や、光回線（FTTH）・CATV 回線・ADSL 回線などを提供している「回線事業者」と契約する必要があります。詳しくはお買いあげの販売店やプロバイダー、回線事業者などにご相談ください。次のような手順が必要です。

1 サービスを提供するプロバイダーや回線事業者と契約する

- パソコン売り場などにあるパンフレットなどをご覧になり、申し込むプロバイダーや回線事業者を選びます。
- お申し込みになる前に、次の内容を確認してください。

プロバイダーや回線事業者に確認すること

- 申し込むサービスがお住まいの地域で提供されているか。
- ブロードバンドルーターの機種に指定や制限がないか。
- インターネットに接続する機器の台数やサポートなどに指定や制限がないか。
- ADSL モデムやケーブルモデムなどの信号変換機器を、お客様自身で購入する必要があるか。
- 購入する場合は、信号変換機器の種類も確認してください。

- 申し込み手続きが完了すると、プロバイダーからインターネットの接続に必要な設定情報が発行されます。

◇おしらせ◇

- プロバイダーによっては、ブロードバンド回線とセットでサービスを提供している会社もあります。
- プロバイダーの料金や回線使用料金はさまざまです。また、同じプロバイダーであっても、コースによって価格が異なります。
- 申し込みをされてから回線を使用できるようになるまでに、工事が必要になったり、手続きに時間がかかったりする場合があります。

2 必要に応じてブロードバンドルーターを購入する

- ブロードバンドルーターは、一般的にパソコン周辺機器売り場やパソコンショップで販売されています。

◇おしらせ◇

- 信号変換機器には、ブロードバンドルーター機能が内蔵されているものもあります。この場合、ブロードバンドルーターは必要ありません。ただし、LAN ケーブルを接続するための端子が 1 つしかない場合､ハブ(市販品)が必要です。信号変換機器にブロードバンドルーター機能が内蔵されているかどうかは、販売店やプロバイダー、回線事業者にご確認ください。

本機には、プロバイダーに接続するためのユーザー ID やパスワードを登録できません。

- 接続に認証が必要なインターネット接続環境の場合は、ブロードバンドルーターに接続情報を登録してください。

3 LANケーブルを購入する

- LAN ケーブルは、一般的にパソコン周辺機器売り場やパソコンショップで販売されています。
- LAN ケーブルは、10BASE-T/100 BASE-TX タイプのものをご使用ください。
- LAN ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類があり、モデムやルーターなどの種類によって、使用するものが異なります。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- LAN ケーブルをお買い求めになる前に、本機とブロードバンドルーターを設置する場所を決めて、必要なケーブルの長さを測っておいてください。

4 ブロードバンド回線と信号変換機器、信号変換機器とブロードバンドルーターを接続する

- **170**ページのように接続します。接続について詳しくは、お申し込みになったプロバイダーや回線事業者にご確認ください。接続の際は、それぞれの取扱説明書も併せてお読みください。

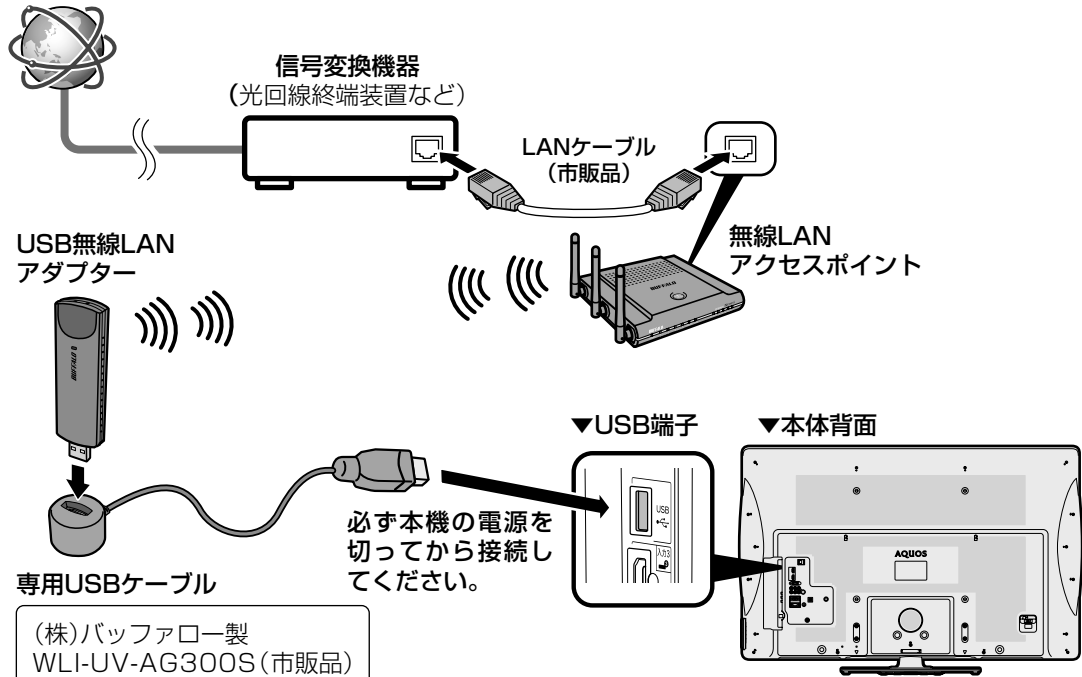
◇おしらせ◇

- IPTV サービスが IPv6 サービスの場合には、IPv6 に対応したブロードバンドルーターが必要になります。
- ADSL モデムやケーブルモデムにルーター機能がある場合は、ブロードバンドルーターは不要です。モデムの取扱説明書に従ってルーター機能をオンにしてください。なお、ご自身で別途ブロードバンドルーターを用意して接続する場合はモデムのルーター機能を無効にしないと正しく通信できない場合があります。詳しくは、モデムやブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧ください。

5 ブロードバンドルーターの設定をする

- プロバイダーから提供された設定情報（接続のためのユーザー ID やパスワード、IP アドレス、DNS など）をブロードバンドルーターに設定します。
- 設定の操作については、ブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 設定にはパソコンが必要になる場合があります。パソコンをお持ちでない方は、お買いあげの販売店や、お申し込みになったプロバイダーや回線事業者にご相談ください。

無線 LAN 環境を用意する

- USB 無線 LAN アダプター（当社指定の市販品）を本機の USB 端子につなぐと、無線 LAN 接続ができます。
  有線 LAN ケーブルの配線が不要になり、使いやすく便利です。

接続するときに気をつけること

- 接続の前に、本機の電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥までしっかり差し込んでください。
  しっかり差し込めていないと、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。
- テレビの角度を変えるときに、USB 端子に負荷がかからないようにしてください。

◇**おしらせ**◇

- 本機に接続できる USB 無線 LAN アダプターは、（株）バッファロー製 **WLI-UV-AG300S**（市販品）以外はご使用できません。
  - 本機との接続は、USB 無線 LAN アダプター同梱の専用 USB ケーブルを使って接続してください。
  - 設置およびケーブルの取り扱いにご注意いただき、安全な場所に設置してください。
  - USB 無線 LAN アダプターは、本体が熱くなります。安全な場所に設置してください。
    くわしくは、USB 無線 LAN アダプターの取扱説明書の「USB 無線 LAN アダプター設置環境」を必ずご覧の上、正しくお使いください。
- USB 無線 LAN アダプターは、本機と 1 対 1 で接続してください。USB ハブ接続、複数機器の接続はしないでください。
- 無線 LAN を利用するためには無線 LAN アクセスポイントが必要になります。アクセスポイントの取扱説明書をご覧いただき設置、設定を行ってください。無線 LAN アクセスポイントは、安定したワイヤレス接続のために 802.11n(5GHz) 方式 /IPv6 ブリッジ接続／AES 暗号化に対応した、（株）BUFFALO 製 WZR-AGL300NH（市販品）のご使用をおすすめします。
- 無線 LAN 接続をご利用になる場合は、有線 LAN 接続のご利用はできなくなります。無線 LAN 接続または有線 LAN 接続のいずれかを選んでご利用ください。⇒ **176** ページ
- 第三者に譲渡したり廃棄するなどお客様以外の方へ渡る場合は、無線設定情報を初期化してください。⇒ **183** ページ（無線設定の初期化）または **318** ページ（個人情報初期化）

- すべての住宅環境でワイヤレス接続、性能を保証するものではありません。
  次のような場合は、電波が届かなくなったり、電波が途切れたり通信速度が遅くなることがあります。
  - コンクリート、鉄筋、金属が使われている建造物での利用
  - 障害物の近くへの設置
  - 同じ周波数を利用する無線通信機器との干渉
  - 電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ
- 本機と、（株）バッファロー製 USB 無線 LAN アダプター WLI-UV-AG300S（市販品）の接続環境で、次の認証を取得しています。
  - IEEE802.11a/b/g/n (WPA2™)（Wi-Fi アライアンスの認定プログラム）
  - Wi-Fi Protected Setup™（Wi-Fi アライアンスの認定プログラム）
- くわしくは、SHARP Web ページ内の AQUOS サポートステーション「Q&A 情報」、又は (株) バッファロー Web ページをご覧ください。

AQUOS サポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

(株) バッファロー Web
86886.jp

無線ＬＡＮ使用上のご注意

無線 LAN をご利用の場合は、電波や個人情報などに関して守らなければならない注意事項があります。
詳しくは本機で使用できる（株）バッファロー製　WLI-UV-AG300S（市販品）の取扱説明書、及びご使用の無線 LAN 機器の取扱説明書を必ずご覧になり正しくお使いください。
お客さま、または第３者使用による誤った使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、この製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いません。

- 電波に関する使用上の注意事項について、詳しくは本機で使用できる（株）バッファロー製　WLI-UV-AG300S（市販品）の取扱説明書の「電波に関する注意」を必ずご覧になり正しくお使いください。
- 無線 LAN 機器をご利用の場合は、暗号設定有無に関わらず、電波を使用している関係上、傍受される可能性があります。
  個人情報（セキュリティー関連）に関する使用上の注意事項について、詳しくは本機で使用できる（株）バッファロー製　WLI-UV-AG300S（市販品）の取扱説明書の「無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティーに関するご注意」を必ずご覧になり正しくお使いください。
- 一般的な無線ＬＡＮ機器として、ご家庭宅内でお使いください。
  - 機密を要する重要な通信や、人命に関わる通信など、重要な通信には使用しないでください。
  - 病院内や医療機器のある場所やその近くで使用しないでください。
- 無線接続設定時に利用権限がない機器およびネットワークとの接続をしないでください。
- 日本国内でのみ使用できます。

有線接続／無線接続の設定を切り換える

- 本機は、有線接続／無線接続の接続方法を選び、接続することができます。
- 有線接続または無線接続で設定した後に有線接続／無線接続を切り換える場合は、以下の手順で設定を切り換えてください。

◇**おしらせ**◇

- 初めて無線接続設定をする場合は、**177** ページの手順でかんたんに設定できます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(視聴準備)」－「通信(インターネット)設定」を選ぶ

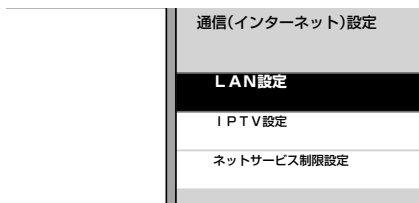
を押し

で選び

決定
を押す

2 「LAN設定」を選ぶ

で選び

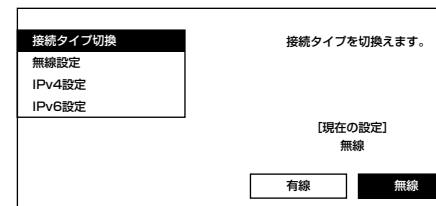
決定
を押す

3 「接続タイプ切換」を選び、現在の設定を確認する

で選ぶ

本機と有線接続（LAN ケーブル）して使用する場合

- 「現在の設定」が「有線」になっていることを確認してください。
- 「無線」になっている場合は「有線」を選び、決定してください。
- 有線接続をされても接続できない場合は、⇒ **181**・**182** ページの手順でネットワークの設定を確認してください。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

本機と無線接続(USB 無線アダプター)して使用する場合

- 「現在の設定」が「無線」になっていることを確認してください。
- 「有線」になっている場合は「無線」を選び、決定してください。
- 無線の設定のしかたは、⇒ **177** ページの手順で接続の設定をしてください。
- 無線接続と無線設定をされても接続できない場合は、⇒ **181**・**183** ページの手順で無線接続設定の確認をしてください。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

アクセスポイントに接続する

- 無線LANに接続するには、アクセスポイント(無線LAN親機)と本機の接続設定をしておく必要があります。
- WPS対応のアクセスポイントをお使いになる場合は、WPSでの接続がおすすめです。(WPSに対応していないアクセスポイントをお使いの場合は、⇒ **179** ページの手順で接続の設定をしてください。)
- WPSでの接続には、プッシュボタン方式とPINコード方式がありますが、プッシュボタン方式で接続すると、かんたんに設定することができます。

プッシュボタン方式

- アクセスポイントのWPSボタンを押して、自動的に接続できます。

PINコード方式

- PIN(Personal Identification Number)コードとは、無線LANルーターや本機などの機器がお互いに情報をやり取りするときに機器の識別に利用するための識別番号のことです。
- PINコードを手動で入力して接続の設定をします。(⇒ **178** ページ)

◇**おしらせ**◇

- 本機は、有線接続/無線接続の接続方法を選び、接続することができます。
  無線接続設定をした後で有線接続に切り換えたい場合は、⇒ **176** ページの手順で有線接続に切り換えてください。

プッシュボタン方式でアクセスポイントに接続する

1 ホームメニューを表示して、「設定」−「(視聴準備)」−「通信(インターネット)設定」を選ぶ

ホーム を押し

で選び 決定 を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ホームメニューの画面例

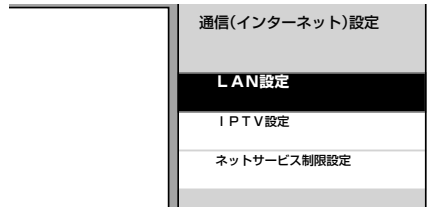
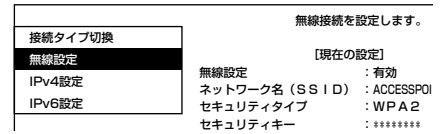
2 「LAN設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

通信(インターネット)設定
LAN設定
IPTV設定
ネットサービス制限設定

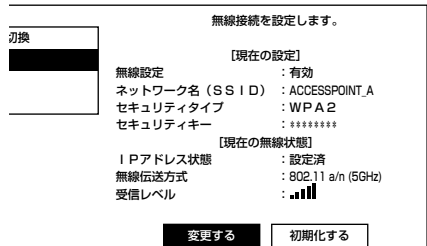
3 「無線設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

無線接続を設定します。
接続タイプ切換
無線設定
IPv4設定
IPv6設定
[現在の設定]
無線設定 ：有効
ネットワーク名(SSID) ：ACCESSPOI
セキュリティタイプ ：WPA2
セキュリティキー ：********

現在設定されている無線設定状態を確認できます

- 表示内容についてくわしくは、⇒ **183** ページをご覧ください。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

4 「変更する」を選ぶ

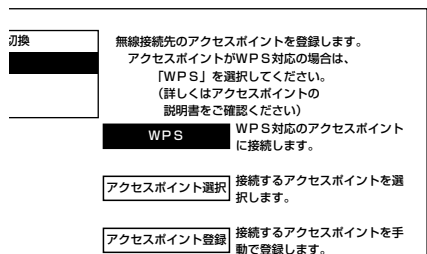
で選び 決定 を押す

無線接続を設定する場合や、変更する場合

- 「変更する」を選んで決定し、手順 **5** へ進みます。
  現在有線接続している場合は、無線接続に切り換わります。

操作を終了する場合

- ホームボタンを押します。

無線設定をお買い上げ時の状態に戻す場合

- 「初期化する」を選び、決定します。

5 「WPS」を選ぶ

で選び 決定 を押す

次のページに続く

6 「プッシュボタン方式」を選ぶ

で選び 決定 を押す

設定方法を選択してください。
アクセスポイントがプッシュボタン方式に
対応している場合は、
「プッシュボタン方式」を選択してください。

プッシュボタン方式　ボタンを押して設定します。

ＰＩＮコード方式　ＰＩＮコード（数字）を入力して設定します。

- 「PIN コード方式」で設定するときは、「PIN コード方式でアクセスポイントに接続する」（⇒**右記**）をご覧ください。

7 「次へ」で決定する

決定 を押す

プッシュボタン方式で接続を開始します。

次へ

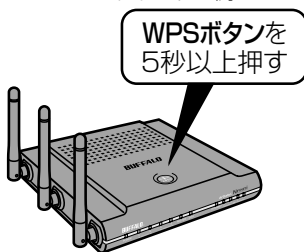
- アクセスポイントの WPS ボタンが押されるのを待っている状態になります。

アクセスポイントのＷＰＳボタンを
5秒以上押してください。

中止

8 アクセスポイントのWPSボタンを5秒以上押す

- WPS ボタンとは、無線 LAN 自動接続のためのボタンです。アクセスポイントによっては、WPS ボタンの名称が異なる場合や、ボタンを数秒間押し続ける必要があります。詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

▼アクセスポイントの例

- アクセスポイントの WPS ボタンを押すと、無線接続確認中の画面になります。そのまましばらくお待ちください。
- 無線接続が完了したら、接続の内容が表示されます。

9 「終了」で決定する

決定 を押す

無線接続設定が完了しました。

ネットワーク名（ＳＳＩＤ）　：ACCESSPOINT_A
セキュリティタイプ　：ＷＰＡ２
セキュリティキー　：＊＊＊＊＊＊＊＊

終了

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。
- 無線接続設定に失敗した場合は、アクセスポイントの電源や設定を確認してください。それでも接続できない場合は、⇒ **183** ページをご覧ください。

PIN コード方式でアクセスポイントに接続する

1 前ページの手順1〜5を行う

2 「PINコード方式」を選んで決定する

3 本機のPINコードをアクセスポイントに設定する

- PIN コードが表示されます。（PIN コードは、「PIN コード方式」を選ぶたびに異なる番号が表示されます。）
- 表示された PIN コードを、アクセスポイントに設定します。設定のしかたは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- アクセスポイントに PIN コードを設定したら、「次へ」で決定します。

4 接続するアクセスポイントのSSIDを選んで決定する

- SSID の確認のしかたについては、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- 無線接続確認中の画面になります。そのまましばらくお待ちください。
- 無線接続が完了したら、接続の内容が表示されます。

5 「終了」で決定する

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。
- 無線接続設定に失敗した場合は、アクセスポイントの電源や設定を確認してください。それでも接続できない場合は、⇒ **183** ページをご覧ください。

その他の手動設定でアクセスポイントに接続する

- 手動での設定方法には、アクセスポイント選択方式とアクセスポイント登録方式があります。

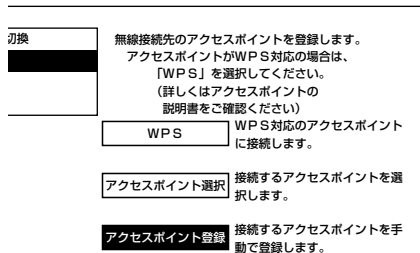
アクセスポイント選択方式

- 接続できるアクセスポイントを検索してリスト表示し、接続するアクセスポイントを選択します。

アクセスポイント登録方式

- 接続するアクセスポイントの SSID 番号を入力します。

1 **177ページの手順1〜4を行う**

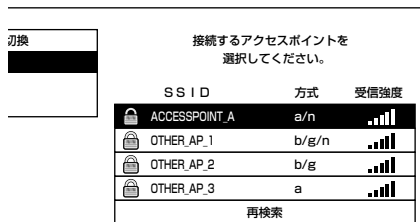
2 **上下カーソルボタンで「アクセスポイント選択」または「アクセスポイント登録」のいずれかを選び、決定する**

- 「WPS」で設定するときは、⇒ **177** ページをご覧ください。

「アクセスポイント選択」を選んだ場合

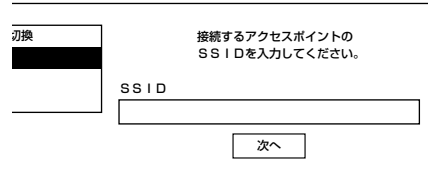
- 手順 **3** へ進みます。

「アクセスポイント登録」を選んだ場合

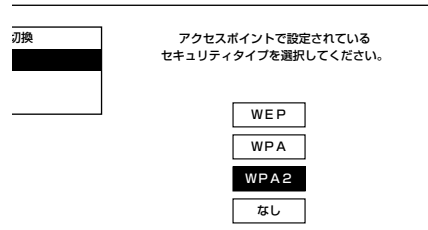
- 手順 **4** へ進みます。

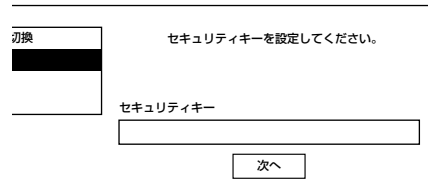
3 **上下カーソルボタンで接続するアクセスポイントを選び、決定する**

- 手順 **6** へ進みます。

4 **SSIDを入力する**

- 「文字を入力する（ソフトウェアキーボード）」（⇒ **94** ページ）をご覧になり、SSID を入力します。

左右カーソルボタンで「次へ」を選び、決定する

5 **上下カーソルボタンで「WEP」「WPA」「WPA2」「なし」のいずれかを選び、決定する**

- アクセスポイントで設定されているセキュリティタイプを選びます。

6 **セキュリティーキーを入力する**

- 「文字を入力する（ソフトウェアキーボード）」（⇒ **94** ページ）をご覧になり、セキュリティーキーを入力します。

左右カーソルボタンで「次へ」を選び、決定する

7 **設定の内容を確認し、決定する**

次のページに続く

8 「終了」で決定する

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。
- 無線接続設定に失敗した場合は、アクセスポイントの電源や設定を確認してください。それでも接続できない場合は、⇒ **183** ページをご覧ください。

インターネットに接続できない場合は

ネットワークの設定を確認する

- AQUOS.jp を表示できない場合は、以下の手順で、ネットワークの設定を確認します。

1 ホーム を押し　で選び　決定 を押す

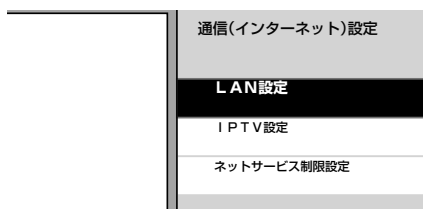
ホームメニューを表示して、「設定」–「(視聴準備)」–「通信(インターネット)設定」を選ぶ

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

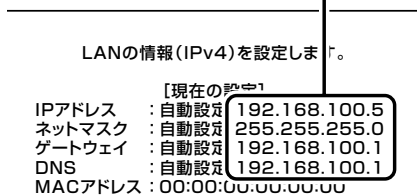
2 で選び　決定 を押す

「LAN設定」を選ぶ

3 で選び　決定 を押す

「IPv4設定」を選ぶ

- 各項目に数値が表示されているか確認します。

LANの情報(IPv4)を設定します。

	[現在の設定]	
IPアドレス	:自動設定	192.168.100.5
ネットマスク	:自動設定	255.255.255.0
ゲートウェイ	:自動設定	192.168.100.1
DNS	:自動設定	192.168.100.1
MACアドレス	:00:00:00:00:00:00	

- この画面に表示されている数値は一例です。お客様のネットワーク環境によって表示される数値は異なります。

各項目が空欄の場合

次のことを確認してください。

- ブロードバンドルーターの電源が入っていますか。ブロードバンドルーターによっては、電源を入れてから使用できるようになるまで少し時間のかかるものもあります。
- 本機の LAN 端子とブロードバンドルーターの LAN 端子が、正しく接続されていますか。
- ブロードバンドルーターの DHCP 機能（IP アドレスなどを自動で割り当てる機能）が有効になっていますか。DHCP 機能を使用しない場合は、LAN 設定で IP アドレスなどを入力してください。(⇒**次**ページ)
- 無線 LAN につないでいる場合は、アクセスポイントなどの無線設定を確認してください。(⇒ **183** ページ)

各項目に数値が表示されている場合

LAN 設定を確認しても原因が分からないときは、次のことを確認してください。

- 接続する機器の電源は入っていますか。
- ブロードバンドルーターと、回線終端装置やケーブルモデム、ADSL モデムなどとが正しく接続されていますか。
- ブロードバンド回線と、回線終端装置やケーブルモデム、ADSL モデムなどとが正しく接続されていますか。
- ブロードバンドルーターのインターネット接続に関する設定は正しく設定されていますか。
- ブロードバンド環境を使ってインターネットを活用しているかたは、パソコンなどがインターネットに接続できるか確認してみてください。
- ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「通信（インターネット）設定」－「ネットサービス制限設定」－「インターネット接続制限」を「しない」に設定してください。(⇒ **184** ページ)

ここに記載している項目をすべて確認しても原因が分からないときは、プロバイダーや回線事業者にお問い合わせください。

ネットワークの設定を変更する

- IP アドレスなどを手動で設定する場合は、次の手順で設定を変更します。

1 **前ページの手順1～2を行う**

2 **上下カーソルボタンで「IPv4設定」または「IPv6設定」を選び、決定する**

IPv4 を設定する場合
- 「IPv4 設定」を選んで決定します。

IPv6 を設定する場合
- 「IPv6 設定」を選んで決定します。

3 **左右カーソルボタンで「変更する」を選び、決定する**

4 **IPアドレスなどを入力する場合、左右カーソルボタンで「しない」を選び、決定する**
- 「IP アドレスなどの入力のしかた」(⇒**右記**)をご覧になり、ブロードバンドルーターの設定に合わせて、IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイを入力し、「次へ」で決定ボタンを押します。

入力する必要がない場合
- 「する」を選び、決定ボタンを押したあと「次へ」で決定ボタンを押します。

5 **DNSのIPアドレスなどを入力する場合、左右カーソルボタンで「しない」を選び、決定する**
- 「IP アドレスなどの入力のしかた」(⇒**右記**)をご覧になり、プロバイダーから発行された資料をもとに、DNS の IP アドレスを入力し、「次へ」で決定ボタンを押します。
- セカンダリの指定がない場合は、空欄のまま入力を完了してください。

入力する必要がない場合
- 「する」を選び、決定ボタンを押したあと「次へ」で決定ボタンを押します。

6 **「完了」で決定する**
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

IP アドレスについて
- TCP/IP ネットワークに接続されたネットワーク機器に個別に割り振られた識別番号です。

ネットマスクについて
- TCP/IP ネットワークを複数の小さなネットワークに分割して識別管理する識別番号です。

ゲートウェイについて
- 異なるネットワークを相互に通信可能にする機器の識別番号です。

プロバイダーから発行された資料で、DNS のアドレスが見つからないとき
- DNS は、ドメインネームサーバーやネームサーバーと記載される場合もあります。

IP アドレスなどの入力のしかた

1 **入力欄を選ぶ**

で選び
を押す

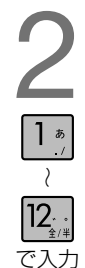
- ソフトウェアキーボードが表示されます。

2 **文字を入力する**

1 ～ 12 で入力

- 「0」を入力する場合は 10 を押します。
- IPv6 の場合 11 で「ABC」、12 で「DEF:」を入力できます。

3 **入力した文字を確定する**

黄 を押す

- ソフトウェアキーボード上の文字が入力欄に入力されます。

IPアドレス	192 ・ --- ・ --- ・ ---

無線接続の設定を確認する

- 無線接続ができない場合は、以下の手順で、無線設定を確認します。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(視聴準備)」－「通信(インターネット)設定」を選ぶ

ホーム を押し
で選び
決定 を押す

選びかたは、26 ～ 31 ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「LAN設定」を選ぶ

で選び
決定 を押す

3 「無線設定」を選ぶ

で選び
決定 を押す

正常動作の表示がされない場合

次のことを確認してください。

- 本機に USB 無線 LAN アダプタは接続されていますか。⇒ **174** ページの「無線 LAN 環境を用意する」をご覧ください。
- アクセスポイントの電源が入っていますか。アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- アクセスポイントの設定はされていますか。アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- 既にアクセスポイントに接続している機器はありますか。接続している機器の数や設定によっては、接続できない場合があります。本機のみ接続して確認してください。
- アクセスポイントを複数台お使いですか。無線のチャンネルや周波数が競合しているか確認してください。
- 有線接続で接続できますか。⇒ **181** ページの手順で、ブロードバンド環境が正しく接続されているか確認してください。

ここに記載されている全ての項目を確認しても原因が分からないときは、⇒ 297 ～ 298・305 ページをご確認ください。

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

「無線設定」の表示内容の説明

項目	正常に動作している場合	ここを確認してください
無線設定	有効	⇒ **176** ページの手順で接続タイプ切換をしてください。
ネットワーク名(SSID)	設定されている SSID が表示されます。	・⇒ **177** ～ **180** ページの手順で無線設定をしてください。 ・安定に受信いただくためには、WPA2 をおすすめします。アクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。
セキュリティタイプ	設定されているセキュリティタイプが表示されます。(表示例⇒ WPA2)	
セキュリティーキー	設定されているセキュリティキーが表示されます。(通常は *** が表示されます)	
IP アドレス状態	設定済が表示されます。(設定中のときは、自動設定していますと表示されます。)	⇒ **181** ページの手順でネットワークの設定を確認してください。
無線伝送方式	無線伝送方式が表示されます。(表示例⇒ 802.11a/n (5GHz))	安定に受信いただくためには、802.11a/n (5GHz) をおすすめします。アクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。
受信レベル	受信レベルが表示されます。(通常は左から 5 つまで緑になれば電波は良好です。)	⇒ **174** ～ **175** ページの設置環境で USB 無線 LAN アダプタを設置し、レベル表示が良好になる位置に設置してください。

インターネットへの接続を制限する

双方向サービスやインターネット接続の利用を制限する

- 双方向サービスを行うと回線の利用料金がかかる場合がありますので、デジタル放送やインターネットでの接続を禁止したいときに便利な設定です。

◇**おしらせ**◇

- この設定には暗証番号の入力が必要です。暗証番号の設定（⇒ **92** ページ）をしていない場合は、先に暗証番号を設定してください。

「デジタル放送接続制限」または「インターネット接続制限」を禁止する設定の例

1 ホームメニューを表示して、「設定」–「(視聴準備)」–「通信(インターネット)設定」を選ぶ

を押し

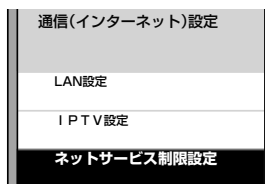
で選び

を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「ネットサービス制限設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 「デジタル放送接続制限」または「インターネット接続制限」を選ぶ

で選び

を押す

デジタル放送接続制限

- デジタル放送の双方向通信の、禁止する／禁止しないを設定できます。

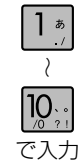
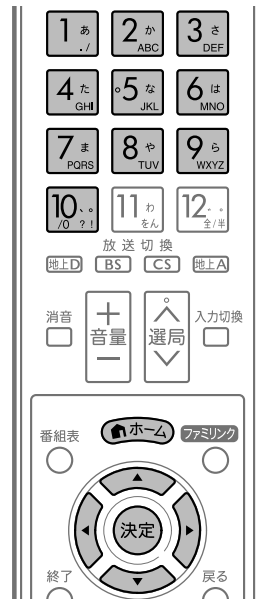
インターネット接続制限

- インターネットの接続を禁止する／禁止しないを設定できます。禁止すると、インターネットの表示やIPTV の視聴ができなくなります。

4 暗証番号を入力する

1 ～ 10 で入力

5 「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

プロキシ設定機能を利用する（プロキシサーバー設定）

- プロキシ形式のフィルタリングサービス（インターネットでの有害情報が含まれる特定ページへのアクセスを禁止する機能）を利用する場合や、プロバイダーなどから指定がある場合は、プロキシサーバー設定で入力してください。

◇**おしらせ**◇
- この設定には暗証番号の入力が必要です。暗証番号の設定（⇒ **92** ページ）をしていない場合は、先に暗証番号を設定してください。

1 前ページの手順**1**～**2**を行う

ホームを押し
で選び
決定を押す

2 「プロキシサーバー設定」を選ぶ

で選び
決定を押す

3 暗証番号を入力する

1 ～ 10 で入力

4 「変更する」を選ぶ

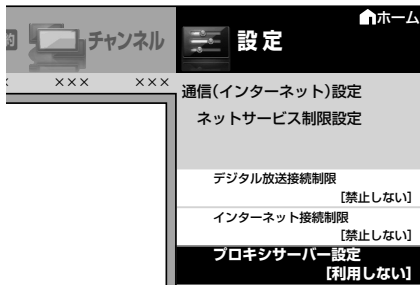
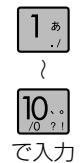
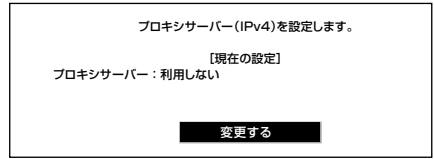
を押す

プロキシサーバー（IPv4）を設定します。

［現在の設定］
プロキシサーバー：利用しない

変更する

5 「する」を選ぶ

で選び
決定を押す

6 プロキシサーバーのアドレスとポート番号を入力する

で選び
決定を押す

- 各欄を選ぶとソフトウェアキーボードが表示されます。
  1 ～ 12 で文字を入力し 黄 で確定します。
  詳しくは「文字を入力する」（⇒ **96** ページ）をご覧ください。

7 「完了」で決定する

決定を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

インターネットを楽しむ（AQUOS.jp）

- AQUOS のお客様のためのサイトとして、「AQUOS.jp」を公開しています。本機の活用のしかたやよくあるお問い合わせなど、お客様にとってお役に立つ情報を提供していますのでご活用ください。

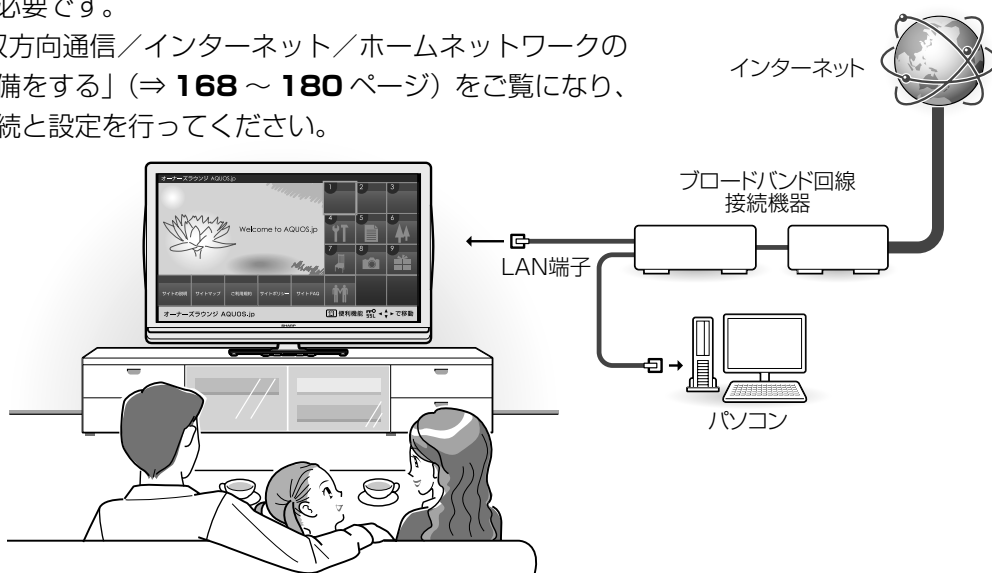
AQUOS.jp の表示内容は一例です。

接続について

- インターネットに接続するには、ブロードバンド環境が必要です。
- 「双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする」（⇒ **168** ～ **180** ページ）をご覧になり、接続と設定を行ってください。

インターネット

ブロードバンド回線接続機器

LAN端子

パソコン

- 本製品には、株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。

- ACCESS、ACCESS ロゴ、NetFront は、日本国、米国、およびその他の国における株式会社 ACCESS の登録商標または商標です。
- 本製品の一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

パソコンでインターネットを活用されているお客様へ

- 本機でインターネットを活用するときは、パソコンの一般的なブラウザと比べて動作の異なる場合があります。ご了承ください。
  - ファイルのダウンロードはできません。
  - 表示したページの履歴は表示できません。
  - インターネットボタンを押したあと最初に表示されるページは変更できません。
  - ポップアップウインドウは、別のタブで表示されます。
  - ページによっては、動画や音声が再生されなかったり、文字や画像が正しく表示されなかったりする場合があります。
  - PDF（電子文書）を読み込む機能はありません。
  - メールの送受信機能はありません。

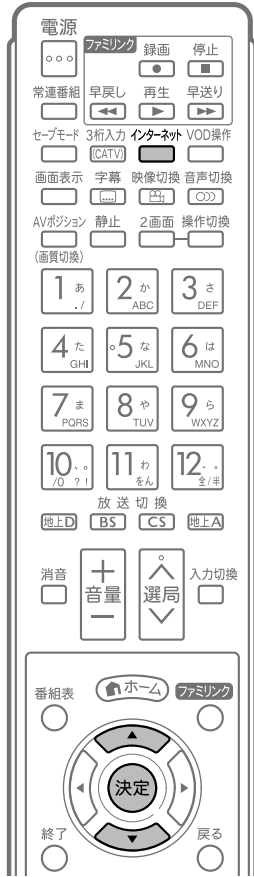
AQUOS.jp を表示する

◇**おしらせ**◇

テレビと同時に表示したときは

- テレビの音声が聞こえます。インターネットのページの音声は聞けません。
- テレビのチャンネルは選局ボタン（緑）で切り換えてください。数字ボタン（チャンネルボタン）では、選局できません。
- テレビとインターネットの画面の位置は変更できません。
- 「2 画面＋ インターネット」の場合、左半分のテレビ画面については、2 画面で表示したときと基本的な操作は同じです。（⇒ **58** ページ）
- 「2 画面＋インターネット」では、PinP の表示はされません。2 画面ボタンを押すと 1 画面表示となります。
- テレビとインターネットを同時に使用しているときは、ファミリンクでの外部接続の操作はできません。

視聴予約しているときは

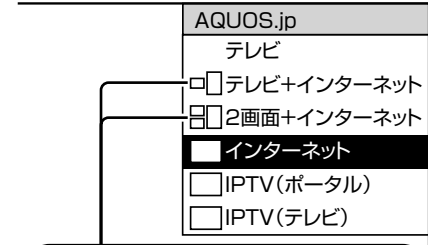
- 視聴予約した時間になると、予約した番組が 1 画面で表示されます。

1 AQUOS.jpメニューを表示する

インターネット を押す

- 表示中に次の操作を行います。

2 インターネットボタンを繰り返し押し、「インターネット」を選ぶ

インターネット を押す

- 上下カーソルボタンでも選べます。

テレビも同時に見たい場合に選びます。

- ブラウザが起動し、AQUOS.jp が表示されます。（画面は一例です。）

- テレビの画面に戻すときは、終了ボタンを押します。インターネットの画面だけを表示しているときは、選局ボタン（緑）や放送切換ボタンでも戻せます。

AQUOS.jp が表示されないときは

- 「LAN 接続していません」または、エラーメッセージが表示されます。ホームボタンを押して、テレビの画面に戻してから「インターネットに接続できない場合は」（⇒ **181** ページ）をご覧になって、インターネットに接続してください。

インターネットを楽しむ操作
⇒ **188 ～ 192** ページ

インターネットを見る画面（ブラウザ）の使いかた

ブラウザとは

- インターネットのページを表示するためのソフトウェアのことです。

ブラウザで表示されたインターネットのページ例

AQUOS.jp（表示内容は一例です。）

インターネットのページに番号が割り当てられている場合は、数字ボタン（チャンネルボタン）を押すと、リンク先のページを呼び出せます。

タブ

セキュリティで保護されたページの場合、明るく表示されます。

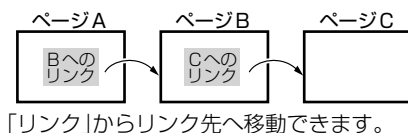
ページに続きがある場合は、その方向が明るく表示されます。

- 押した方向にリンクのある文字や画像があるときは、先に文字や画像が選ばれます。この場合は数回同じ方向のボタンを押してください。

でそのページの続きが見られます。

リンクについて

「リンク」からリンク先へ移動できます。

- インターネットのページには、他のページ（サイト）に移動できる「リンク」があります。
- 「リンク」の見た目は文章や画像などさまざまですが、選ぶとリンク先へ移動できる働きは同じです。
- 選んでいる項目（リンクや文字入力欄など）が黄色の枠で囲まれます。

でリンクを選び、決定を押してリンク先のページを呼び出します。

終了でテレビの画面に戻します。

戻るで一つ前の画面に戻します。

◆ 重 要 ◆

- インターネットの画面を表示しているときに電源プラグが抜けたり、停電などによって電源が切れたりすると、ブックマークや Cookie などの情報が正しく保存されない場合があります。また、ブラウザ動作による不具合があった場合、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

◇おしらせ◇

セキュリティの通知画面が表示されたとき

- 決定ボタンを押すと、画面が消えます。
- この画面は、セキュリティで保護されているページを表示するときや、保護されているページから保護されていないページに切り換わるときに表示されます。
- この画面を表示させるかどうかは、「セキュリティ設定」で設定できます。（⇒ **193** ～ **194** ページ）

Cookie の確認画面が表示されたとき

- Cookie（⇒ **345** ページ）を受信するかどうかを選び、決定ボタンを押してください。
- この画面を表示させるかどうかは、「Cookie 設定」で設定できます。また、Cookie はまとめて削除することもできます。（⇒ **194** ページ）

ページの中に ☒ が表示されたとき

- ページの読み込みに失敗したか、本機で表示できない形式の画像などに表示されます。ツールバーの

（再読み込み）（⇒**次**ページ）を選んで、ページを表示し直してみてください。

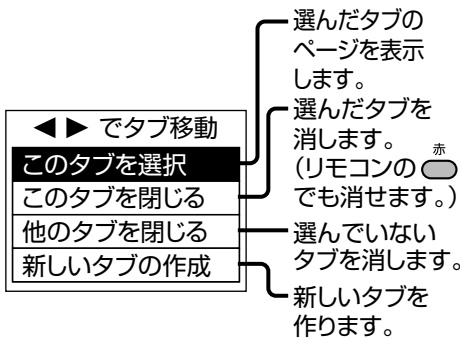
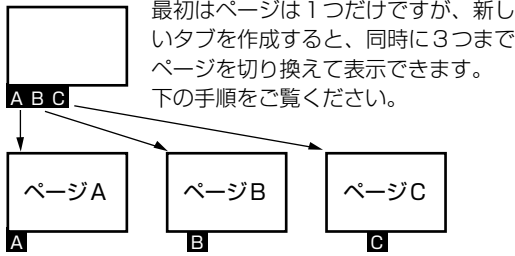
タブの使いかた

- インターネットのページを、同時に３つまで切り換えて表示できます。それぞれのページに「タブ」が付き、「タブ」でページを切り換えます。

選んだタブのページを表示します。

選んだタブを消します。（リモコンの 赤 でも消せます。）

選んでいないタブを消します。

新しいタブを作ります。

1 タブ操作メニューを表示する

緑 を押す

- ツールバーから表示することもできます。
- タブ操作メニューを閉じた状態からリモコンの 青 で、選択しているリンク先のページを新しいタブで表示することができます。
- すでにタブを３つ表示しているときは、一番右のタブに表示されているページが書き換わります。

2 操作したいタブを選ぶ

で選ぶ

タブ

3 「このタブを選択」を選ぶ

で選び 決定 を押す

ツールバー（便利機能）の使いかた

- ツールバーを使って、ブラウザの操作や設定が行えます。

黄 を押す

ツールバー（便利機能）を表示する

- でボタンを選び 決定 を押すとその機能が実行されます。（⇓**下記**）
- ツールバー（便利機能）を消したいときは、もう一度黄ボタンを押します。

ツールバー（便利機能）について

ボタン	はたらき
	リンク先のページを新しいタブで表示します。
	タブ操作メニューを表示します。
	１つ前のページに戻ります。
	前のページを見たあとに元のページに再び進みます。
	ページを再表示します。ページを読み込んでいるときは、読み込みを中止します。
	AQUOS.jp を表示します。
	URL を入力するときに選びます。（⇒**次**ページ）
	ブックマークを開くときに選びます。（⇒**190** ページ）
	表示中のページをブックマークに登録します。（⇒**190** ページ）
	ブラウザメニューを表示します。（⇒**193** ページ）

◇おしらせ◇

- ツールバー（便利機能）を表示中に、インターネットボタンを押して画面を切り換えると、ツールバー（便利機能）が消えます。

次のページに続く

URL（アドレス）を入力してページを表示する

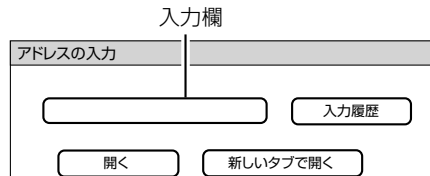
- URL（アドレス）は、インターネットの個々のページを家に例えたときの、住所（アドレス）のようなものです。雑誌や広告などで URL を知っているときは、URL を入力してページを表示できます。

◇**おしらせ**◇
- 「ブラウザ制限」（⇒**次**ページ）を「する」にすると、アドレスの入力 は選べません。

1 **黄ボタンを押して、ツールバー（便利機能）を表示する**

2 **左右カーソルボタンでツールバー（便利機能）の （アドレスの入力）を選び、決定する**

3 **カーソルボタンで入力欄を選び、決定する**

入力欄

- ソフトウェアキーボードが表示されます。

4 **表示したいページのURLを入力する**
- 文字入力の方法については⇒ **96** ページをご覧ください。

5 **カーソルボタンで「開く」を選び、決定する**

◇**おしらせ**◇

履歴から選ぶときは
- 上記の手順 **3** で「入力履歴」を選び、決定すると、入力履歴の一覧が表示されます。

- カーソルボタンで URL を選び、決定すると、アドレスの入力画面に戻ります。
入力欄には、選んだ URL が入力されています。

◇**おしらせ**◇

入力履歴を削除するときは

①入力履歴の一覧で、削除したい URL を選び、青ボタンを押す
②上下カーソルボタンで「削除」または「すべて削除」を選び、決定ボタンを押す
③左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押す

表示しているページの URL を保存する（ブックマーク登録）

- ページをブックマーク（⇒ **347** ページ）に登録しておくと、次に表示するときはブックマーク一覧から選んで、表示できます。

◇**おしらせ**◇
- 「ブラウザ制限」（⇒**次**ページ）を「する」にすると、アドレスの入力およびブックマークの編集は選べません。

1 **ブックマークに登録したいページを表示する**

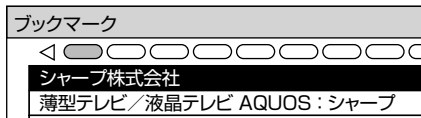
2 **黄ボタンを押して、ツールバー（便利機能）を表示する**

3 **左右カーソルボタンでツールバー（便利機能）の （ブックマークに登録）を選び、決定する**

4 **左右カーソルボタンで「する」を選び、決定する**
- ブックマークに登録されます。

ブックマークに登録したページを開く

1 **黄ボタンを押して、ツールバー（便利機能）を表示する**

2 **左右カーソルボタンでツールバー（便利機能）の （ブックマークを開く）を選び、決定する**
- ブックマーク一覧が表示されます。
（画面例）

3 **カーソルボタンで表示したいブックマークを選ぶ**
- ブックマークを 11 以上登録しているときは、左右カーソルボタンでブックマーク一覧の表示を切り換えます。

4 **決定する**
- 選んだページが表示されます。

ブックマークを新しいタブで開くときは
- 決定ボタンの代わりに青ボタンを押し、「新しいタブで開く」を選んで決定ボタンを押します。

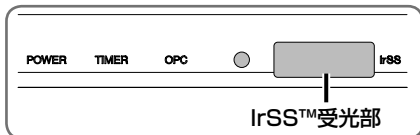
携帯電話を使って ページを表示する

- 携帯電話から IrSS™ で URL（アドレス）を含むフォトリモ ™ 画像を本機に送信することでインターネットのページを表示させることができます。
- フォトリモ ™ 画像を送信するにはフォトリモ ™ 機能対応の携帯電話が必要です。フォトリモ ™ 画像の入手にあたってはユーザ登録などの手続きが必要な場合があります。フォトリモ ™ 機能対応の携帯電話については AQUOS サポートステーション「Q&A 情報」をご覧ください。http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

1 **携帯電話を操作してフォトリモ™画像の送信準備をする**

- 携帯電話の操作については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

2 **携帯電話から本機のIrSS™受光部に向かってフォトリモ™画像を送信する**

▼本体前面

- 確認画面が表示された後、自動的にフォトリモ ™ 画像で指定されたページに移動します。

◇おしらせ◇

- 「ブラウザ制限」を「する」にしている場合（⇒**右記**）、フォトリモ ™ 機能は利用できません。
- ホームネットワークモードやインターネット経由のビデオ再生中など一部のモードではフォトリモ ™ 画像を受信することができません。この場合は入力切換ボタンまたはインターネットボタンを押して「テレビ」を選んでから、再度送信してください。
- 移動先のサーバやインターネット回線に問題がある場合は確認画面が表示されたままになったり、エラーが表示されたりすることがあります。
- フォトリモ ™ 画像が壊れている場合はエラーが表示されたり、確認画面で「移動」を選択する必要があったりすることがあります。
- フォトリモ ™ 機能は写真や絵に URL を埋め込むための IrDA® 規格、EMAP 仕様に準拠しています。

有害サイトへのアクセスを防ぐ（ブラウザ制限）

- 有害サイトへのアクセスを防ぐために、URL を入力してページを表示させる機能を禁止することができます。

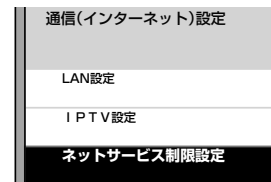
◇おしらせ◇

- 「ブラウザ制限」を「する」にすると、アドレスの入力およびブックマークの編集は選べません。

1 **ホームメニューを表示して、「設定」－「(視聴準備)」－「通信(インターネット)設定」を選ぶ**

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

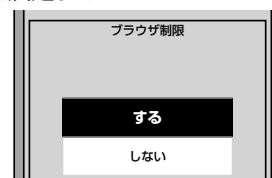
▼ ホームメニューの画面例

2 **上下カーソルボタンで「ネットサービス制限設定」を選び、決定する**

3 **上下カーソルボタンで「ブラウザ制限」を選び、決定する**

- 暗証番号の設定をしていない場合は、先に暗証番号の設定をしてください。（⇒ **92** ページ）

4 **数字ボタン「1」～「10」で暗証番号を入力する**

- 「0」を入力したい場合は、[10] を押します。

5 **上下カーソルボタンで「する」を選び、決定する**

次のページに続く

ブックマークの便利な使いかた

- ツールバー（便利機能）の ♡（ブックマークを開く）を選んだあと、ブックマークメニューで次のようなことができます。

ブックマークのタイトルや URL を編集する

- ブックマークのタイトルや URL を編集（書き換え）できます。

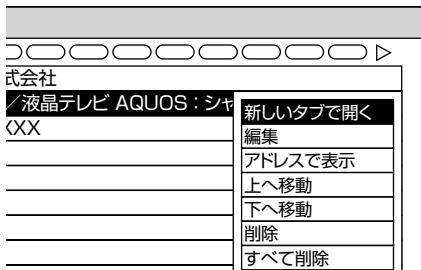
◇**おしらせ**◇

- 「ブラウザ制限」を「する」にしている場合（⇒ **191** ページ）、ブックマークの編集は選べません。

1 **ブックマーク一覧から、編集したいブックマークを選ぶ**

- ブックマークを 11 以上登録しているときは、左右カーソルボタンでブックマーク一覧の表示を切り換えます。

2 **青ボタンを押して、ブックマークメニューを表示する**

（画面例）

3 **「編集」を選ぶ**

- ブックマークの編集画面が表示されます。

4 **タイトル欄またはアドレス欄（URL）を選ぶ**

- ソフトウェアキーボードが表示されます。

5 **タイトルやURLを入力する**

- 文字入力の方法については⇒ **96** ページをご覧ください。

6 **編集を終えたら「する」を選ぶ**

- 入力した文字が保存されます。

ブックマーク一覧の表示を変更する

- ブックマーク一覧をページのタイトルで表示するか URL で表示するか選べます。

1 **青ボタンを押して、ブックマークメニューを表示する**

2 **ブックマークメニューの「アドレスで表示」または「タイトルで表示」を選ぶ**

ブックマーク一覧の表示順序を入れ換える

1 **表示順序を変更したいブックマークを選ぶ**

2 **青ボタンを押して、ブックマークメニューを表示する**

3 **「上へ移動」または「下へ移動」を選ぶ**

- 表示順序が入れ換わります。

ブックマークを削除する

1 **削除したいブックマークを選ぶ**

2 **青ボタンを押して、ブックマークメニューを表示する**

3 **「削除」を選ぶ**

- ブックマークをすべて削除したいときは「すべて削除」を選びます。

4 **「する」を選ぶ**

インターネットを見るための設定を確認・変更するには

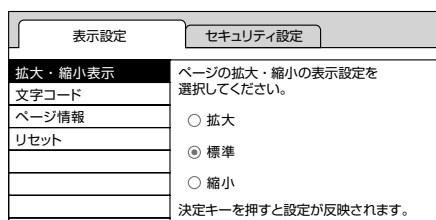
- ブラウザの設定はブラウザメニューで確認・変更できます。
- ブラウザメニューには表示設定メニューとセキュリティ設定メニューがあります。

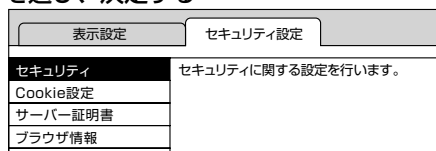
ブラウザメニューの基本操作

1 **黄ボタンを押して、ツールバー（便利機能）を表示する**

2 **左右カーソルボタンでツールバー（便利機能）の（メニュー）を選び、決定する**

ブラウザメニューが表示されます。

表示設定　セキュリティ設定
拡大・縮小表示
文字コード
ページ情報
リセット
ページの拡大・縮小の表示設定を選択してください。
○ 拡大
◉ 標準
○ 縮小
決定キーを押すと設定が反映されます。

3 **左右カーソルボタンで「表示設定」または「セキュリティ設定」を選び、決定する**

表示設定　セキュリティ設定
セキュリティ
Cookie設定
サーバー証明書
ブラウザ情報
セキュリティに関する設定を行います。

4 **変更する項目を選び、設定の変更や内容の確認をする**

- 各項目の詳しい操作については、表示設定メニュー（⇒**右記**）およびセキュリティ設定メニュー（⇒**次**ページ）をご覧ください。

5 **変更や確認が終わったら、黄ボタンを押してブラウザメニューを消す**

◇おしらせ◇

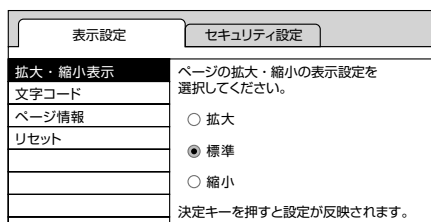
- ブラウザメニュー表示中に、インターネットボタンを押して画面を切り換えると、ブラウザメニューが消えます。

ブラウザの設定を工場出荷時の状態に戻すときは

1. 上記の手順 **3** で「表示設定」を選び、決定します。
2. 「リセット」を選び、決定します。
3. 確認の画面で「する」を選び、決定します。
4. 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

表示内容に関する設定（表示設定メニュー）

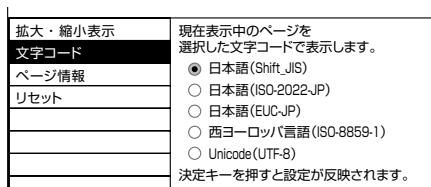
拡大・縮小表示

- ページの表示サイズを変更できます。

- 上下カーソルボタンで表示したいサイズを選び、決定ボタンを押します。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

◇おしらせ◇

- 文字のサイズだけを大きくすることはできません。

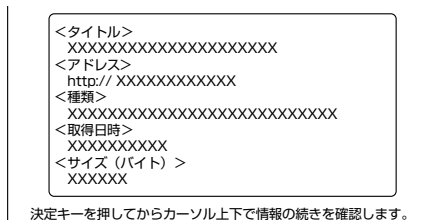
文字コード

- ページ上の文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると正しく表示される場合があります。

- 上下カーソルボタンで文字コードの種類を選び、決定ボタンを押します。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

◇おしらせ◇

- 「リセット」を行っても、各証明書の有効/無効（⇒**次**ページ）および文字コードの設定は戻りません。

ページの情報を確認する

- 表示しているページの情報を確認できます。

- 情報が途中で切れている場合は、決定ボタンを押すと、上下カーソルボタンで続きを確認できます。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

次のページに続く

セキュリティに関する設定（セキュリティ設定メニュー）

セキュリティ

- セキュリティで保護されたページ（サイト）とされていないページ（サイト）の間を移動するときに、メッセージを表示するかどうかの設定ができます。
- 本機に保存されている証明書※の確認と、証明書の有効・無効の切り換えができます。
  ※ ページを表示しても安全であることを証明するものです。

チェックをつけると、セキュリティで保護されたページとされていないページを移動するときにメッセージが表示されます。
変更するときはチェックの付け外しをして、「設定保存」を選び、決定ボタンを押してください。

証明書を確認するとき

1 **上記の画面で確認したい証明書の種類を左右カーソルボタンで選び、決定する**
- 証明書の一覧画面が表示されます。

2 **カーソルボタンで確認したい証明書を選び、決定する**
- 選んだ証明書の内容が表示されます。
- 情報が途中で切れている場合は、決定ボタンを押すと、上下カーソルボタンで続きを確認できます。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

証明書を無効にするとき

1 **上記の画面で確認したい証明書の種類を選び、決定する**
- 証明書の一覧画面が表示されます。

2 **カーソルボタンで無効にしたい証明書を選び、青ボタンを押す**
- サブメニューが表示されます。
- 選んだ証明書の内容が表示されます。

3 **上下カーソルボタンで「無効にする」を選び、決定する**
- 無効にした証明書は証明書の一覧画面でチェックがはずれます。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

Cookie（クッキー）の設定を変更する

- Cookie（⇒ **345** ページ）の受信方法の設定と、受信した Cookie の削除ができます。

Cookie受信設定
フォーカスを合わせて決定キーを押すと設定が反映されます
○ 受信する
○ 受信しない
◉ 受信前に確認する
Cookie削除
Cookieをすべて削除

- 上下カーソルボタンで選びたい設定を選び、決定ボタンを押します。
- 「受信前に 確認する」にしておくと、Cookie を使用するページを表示するときに確認のメッセージが表示されます。Cookie を受信するかどうかを選び、決定ボタンを押してください。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

Cookie をすべて削除するときは

- 上記の画面で上下カーソルボタンで「Cookie をすべて削除」を選び、決定します。
- 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定します。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

◇おしらせ◇

- Cookie を削除すると、入力した情報を再度入力する必要があります。

サーバー証明書を確認する

- セキュリティで保護されているページのサーバー証明書を確認できます。

決定キーを押してからカーソル上下で情報の続きを確認します。

- 情報が途中で切れている場合は、決定ボタンを押すと、上下カーソルボタンで続きを確認できます。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

◆ 重 要 ◆

- 本機には、インターネットのページ閲覧を禁止、もしくは、制限するための機能が複数組み込まれています。お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる場合には、この機能の利用をお勧めします。
- 利用にあたって以下の機能を搭載しています。必要な機能を選び設定を行ってください。なお、全ての設定に暗証番号の入力 (パスワードロック機能) が必要です。
  - インターネット接続を禁止する⇒ **184** ページ
  - アドレス入力機能を禁止する (ブラウザ制限) ⇒ **191** ページ
  - プロキシ設定機能を利用する (プロキシサーバー設定) ⇒ **185** ページ

AQUOS インフォメーションを受信するには

- AQUOS インフォメーションとは、インターネット経由で AQUOS からのお知らせ（天気予報など）が受信できる機能です。※

※ 受信できるお知らせの内容は、変更になることがあります。

AQUOS インフォメーションを受け取る設定を行う

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「通信（インターネット）設定」を選ぶ

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「AQUOS インフォメーション設定」を選ぶ

3 「する」を選ぶ

4 「AQUOS.jp へ」を選ぶ

5 受信したいお知らせを選ぶ

AQUOS インフォメーションを表示する

1 ホームメニューを表示して、「ツール」－「AQUOS インフォメーション」を選ぶ

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

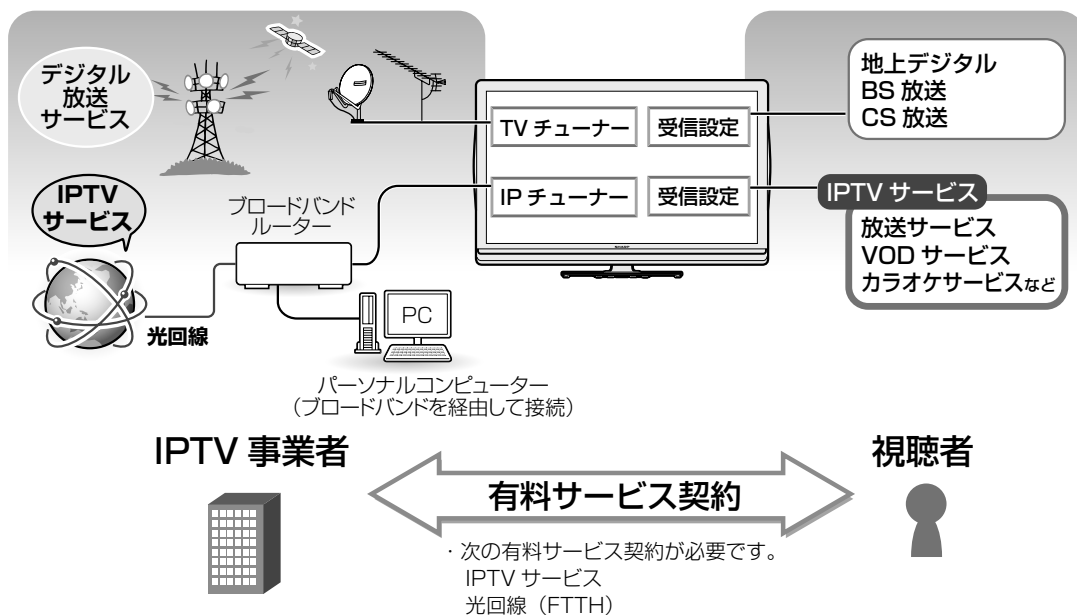
◇おしらせ◇

- お知らせの内容によっては、この操作を行わなくても自動的に表示されることがあります。

IPTV（ひかり TV）を視聴するための準備

- IPTV とはブロードバンド回線を使って受信するテレビ放送などのサービスです。従来のテレビ放送は壁のアンテナ端子につないで受信しますが、IPTVはご家庭に設置しているブロードバンドルーターなどとつないで受信します。
- IPTVのサービスには、テレビ放送サービスやビデオオンデマンドサービスなどがあります。2010 年 6 月現在、株式会社 NTT ぷららより、IPTV サービスとして「ひかり TV」が提供されています。

IPTV 事業者　　有料サービス契約　　視聴者

・次の有料サービス契約が必要です。
IPTV サービス
光回線（FTTH）

IPTV（ひかり TV）を視聴するまでの準備の流れ

IPTVサービスの契約をする
- IPTVサービス（ひかりTVなど）のホームページやパンフレットなどをご覧ください。
- 本機はIPTVのチューナーを内蔵しているため、**IPTVを受信するためのセットトップボックス（STB）は不要**です。

▼

光回線（FTTH）に接続する⇒次ページ

▼

IPTVの基本登録をする⇒198ページ
- IPTVサービスを利用するための登録をします。

▼

IPTVのチャンネルを設定する⇒200ページ
- IPTVの放送サービスをご利用になる場合に必要です。

◇おしらせ◇
- IPTV サービスによっては、IPTV を見るためのサービスとビデオを見るためのサービスでコースが分かれているものもあります。
- IPTV のご利用には、実効速度（常時）20Mbps 以上の光回線（FTTH）が必要です。
- 引っ越した場合、IPTV が視聴できなくなる場合があります。その場合は、かんたん初期設定を行った後、ポータルの案内に従って操作してください。

IPTV（ひかり TV）を見るための接続

- ご契約の IPTV サービスによって必要になるブロードバンド環境が異なります。詳しくは IPTV サービス申込書や接続に関する案内などをご覧ください。ただし、**本機は IPTV のチューナーを内蔵しているため、IPTV を受信するためのセットトップボックス（STB）は不要**です。

IPv6 環境の場合

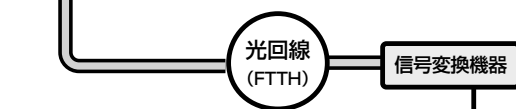
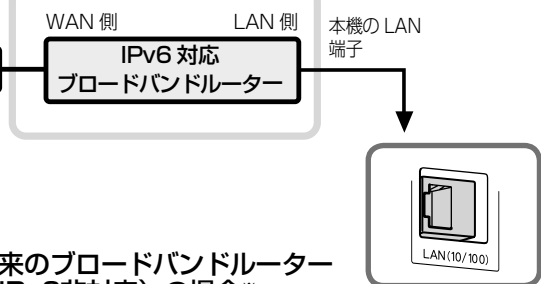
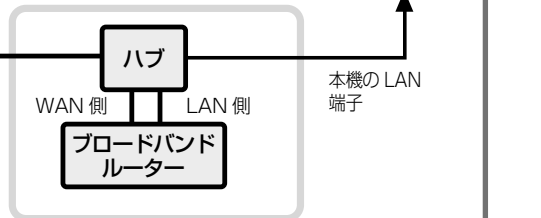
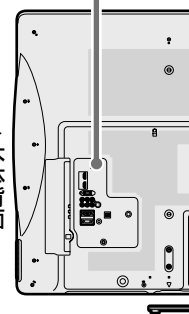
- IPTV サービスが、IPv6 方式の場合に必要な接続です。

◆ 重 要 ◆

本機の IPv6 接続は IPTV の受信にのみ使用します

- インターネットやホームネットワーク機能をお使いになるときは、IPv4 環境も必要です。

IPv6 とは

- インターネットでの通信に関する規約のことです。インターネットに接続された機器は IP を利用して通信していて、機器ごとに IP アドレス（住所のようなもの）が割り振られています。近年インターネットの普及により、従来の IP（IPv4）では数が足りなくなってきたため、新しく IPv6 方式が定められました。

※ 詳細なセキュリティの設定が必要です。通常は、IPv6 対応のブロードバンドルーターと接続してください。

IPv4 環境の場合

- 「双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする」（⇒ **168** ～ **180** ページ）をご覧になり、ブロードバンドルーターと本機を接続してください。

IPTV（ひかり TV）を見るための設定

IPTV の基本登録をする

• IPTV を視聴するためには、ポータル画面で基本登録をする必要があります。
• 基本登録を完了してから放送を受信できる状態になるまで、しばらく時間がかかる場合があります。

◇**おしらせ**◇

「IPTV 設定」－「サービス設定」について

• かんたん初期設定の「IPTV 設定」を「する」にした場合、IPTV のサービス設定は「する」に設定されていますので、改めて設定する必要はありません。新たに IPTV の契約をした場合は、IPTV のサービス設定を「する」に設定してください。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「通信（インターネット）設定」を選ぶ

ホーム を押し

で選び 決定 を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「IPTV設定」を選ぶ

で選び

を押す

設定
通信(インターネット)設定
LAN設定
I P T V設定
ネットサービス制限設定

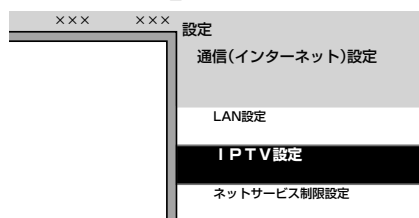
3 「サービス設定」を選ぶ

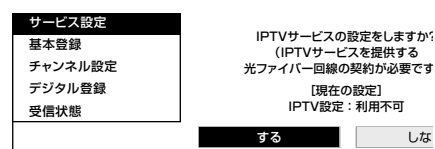
で選び 決定 を押す

IPTVサービスの設定をしますか?
（IPTVサービスを提供する
光ファイバー回線の契約が必要です
［現在の設定］
IPTV設定：利用不可
する
しな

4 「する」を選ぶ

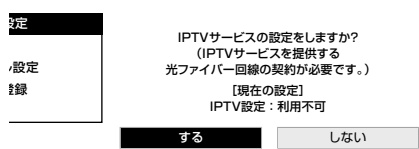
で選び

を押す

5 「終了」で決定する

決定 を押す

6 「基本登録」を選ぶ

基本登録を行う事業者を選択してくだ
事業者の登録ページに移動します

事業者ID　事業者名
00　○○○
01　×××

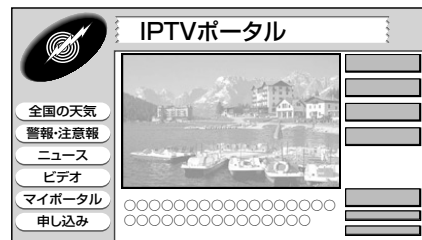
で選び　決定　を押す

7 基本登録をするIPTV事業者名を選ぶ

基本登録を行う事業者を選択してください。
事業者の登録ページに移動します。

事業者ID　事業者名
00　○○○
01　×××

で選び　決定　を押す

- IPTV 事業者の基本登録画面が表示されます。

（例）

8 「基本登録」をする

- 以降の操作は画面の表示に従って行ってください。

で選び　決定　を押す

IPTV のチャンネル設定は、⇒**次**ページをご覧ください。
ただし、基本登録を完了してから受信できるまで、しばらく時間がかかる場合があります。

◇**おしらせ**◇

IPTV の基本登録画面が表示されないときは

- IPTV サービス事業者が IPv6 でサービスを行っている場合は、ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「通信（インターネット）設定」－「LAN 設定」－「IPv6 設定」を選び、各項目に数値が入っているか確認します。
  各項目が空欄の場合は次のことを確認してください。
  - ブロードバンドルーターの電源が入っていますか。ブロードバンドルーターによっては、電源を入れてから使用できるまで少し時間のかかるものがあります。
  - ブロードバンドルーターが IPv6 に対応したものになっていますか。また、IPv6 を使用できる設定になっていますか。
  - 本機の LAN 端子とブロードバンドルーターの LAN 端子が正しく接続されていますか。
  - 光回線の終端装置 (ONU) や途中の機器の電源が入っていますか。また、必要なケーブルは正しく接続されていますか。

  これらの確認を行っても原因が分からないときは、回線事業者や IPTV サービスへお問い合わせください。
- IPTV サービス事業者が IPv4 でサービスを行っている場合は、「インターネットに接続できない場合は」（⇒ **181** ページ）をご覧ください。

IPTV のチャンネルを設定する

- IPTV を視聴するためには、ポータル画面 IPTV の放送サービスを受信するときはチャンネル設定が必要です。
  IPTV のチャンネル設定の前に、IPTV の基本登録が必要です。

◇**おしらせ**◇

チャンネルを追加するときは

- 「IPTV ー自動」を行った後で、新しくサービスに加入するなど開始された放送チャンネルを追加する場合、手順 **5** で「IPTV ー追加」を選びます。すでに登録されているチャンネルはそのまま残り、新しく確認されたチャンネルが追加されます。追加が終わったら、「終了」で決定ボタンを押します。

1 地上D BS CS のいずれかを押す

デジタル放送を選ぶ

- インターネットボタンを押して「AQUOS.jp」メニューから「IPTV」を選んで設定することもできます。

2 を押し で選び 決定 を押す

ホームメニューを表示して、「設定」ー「(視聴準備)」ー「通信(インターネット)設定」を選ぶ

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 で選び を押す

「IPTV設定」を選ぶ

4 で選び を押す

「チャンネル設定」を選ぶ

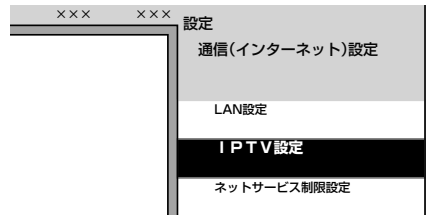
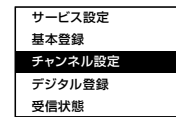
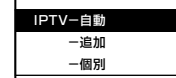
5 で選び を押す

「IPTVー自動」を選ぶ

6 「する」を選ぶ

で選び

を押す

自動
追加
個別

チャンネルサーチを行い、受信できる
IPTVのチャンネルを自動登録します。
あらかじめポータルでの登録が
必要な場合があります。
また、契約内容によっては放送サービスが
提供されない場合もあります。
チャンネルサーチを実行しますか?

する　しない

「しない」を選んだ場合は

- チャンネルの登録を行いません。次に表示される画面で「終了」を選びます。

- 自動設定が始まります。

自動
追加
個別

視聴可能な放送局を確認しています。
しばらくお待ちください。

○○○○○のチャンネル情報を取得中

中止

- 自動設定が終わるまでしばらくお待ちください。

7 「終了」を選ぶ

決定 を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

IPTV のチャンネルが見つからなかったときは

- 次の画面が表示されます。

- IPTV の放送サービスに加入していて、この画面が表示された場合は基本登録を行ってください。(⇒ **198** ページ)
- 基本登録がお済みでこの画面が表示された場合は、ポータル画面で、受信できる状態になっているか確認してください。
- IPTV の放送サービスに加入していない場合、チャンネルは登録されません。

選局ボタンで選べる不要なチャンネルを飛ばす／スキップしたチャンネルを番組表や裏番組一覧（ホームメニューの「チャンネル」）で非表示にするには

1 **前ページの手順5で「IPTV－個別」を選び、決定する**

2 **スキップするチャンネルを選び、決定する**

3 **「スキップ」を選び、決定する**

4 **「選局順逆時にこのチャンネルをスキップして選局しますか？」の表示で「する」を選び、決定する**

5 **「番組表、裏番組の表示時にも、このチャンネルをスキップしますか？」の表示で「する」または「しない」を選び、決定する**

- 「する」を選ぶとスキップ設定したチャンネルが、番組表や裏番組一覧（ホームメニューの「チャンネル」）に表示されなくなります。ただし、スキップ設定したチャンネルでも視聴中の場合は、番組表や裏番組一覧に表示されます。

IPTV（ひかり TV）を見る

IPTV（ひかり TV）のテレビサービスを楽しむ

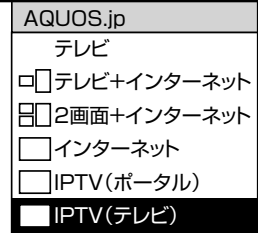
- リモコンの基本的なボタンを使って選局してみましょう。

◇おしらせ◇

- IPTV を見るための準備については、「IPTV（ひかり TV）を視聴するまでの準備の流れ」（⇒ **196** ページ）をご覧ください。

1 IPTVに切り換える

インターネットを押す

- インターネットボタンを数回押して「IPTV（テレビ）」を選びます。

2 チャンネルを選ぶ

1 〜 12 または 選局 または 3桁入力 を押す

- 数字ボタン（チャンネルボタン）、選局ボタン（緑）、3 桁入力ボタンのいずれかを押します。

- IPTV のチャンネル設定をした直後は、各放送局のプロモーションチャンネルが設定されます。
- 各ボタンによく見るチャンネルを登録できます。（⇒ **205** ページ）

- 登録されたチャンネル順に選局できます。

- 3 桁のチャンネル番号を入力して選局できます。受信できるチャンネルが多数ある場合に便利です。

- 複数の IPTV サービスに加入していて、3 桁チャンネル番号が重複する場合は、4 桁目（枝番）の選択画面が表示されます。数字ボタン（チャンネルボタン）で枝番を入力してください。

3 音量を調整する

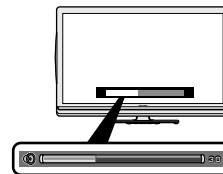
音量 や 消音 を押す

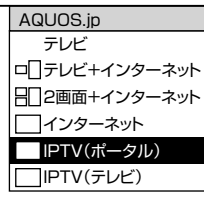
- 音量ボタンや消音ボタンで調整します。

- 「＋」で音が大きく、「－」で音が小さくなります。

画面下部に音量レベルが表示されます。

- 一時的に音を消せます。

視聴中の操作について

IPTV サービスのポータル画面に切り換えるには

• 詳しくは「IPTV（ひかり TV）のポータル画面を活用する」⇒ **208** ページ

• インターネットボタンを数回押して「IPTV（ポータル）」を選びます。

テレビ/データ
• 前回表示したポータル画面に、切り換えます。

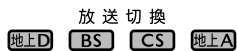
データ連動 d
• 見ている IPTV の放送サービスに連動したポータルがある場合に、そのポータル画面に切り換えます。

• ビデオオンデマンドなどのタイトルを選ぶには、ポータル画面から項目を選んで操作します。
• IPTV サービスによっては、IPTV を受信する前にポータル画面で受信の手続きが必要になる場合があります。このときは、ポータル画面に切り換えてください。

字幕や音声を切り換えるときは

音声切換
• 複数の音声がある番組の場合は、押すたびに音声が切り換わります。

字幕
• 字幕がある番組の場合は、押すたびに字幕の表示・種類が切り換わります。

デジタル放送や地上アナログ放送に戻すときは

放送切換
地上D　BS　CS　地上A
• 放送切換ボタンの中から見たい放送の種類のボタンを押してください。

◇**おしらせ**◇

IPTV の視聴について
• IPTV は光回線（FTTH）を使って受信するため、通信回線の使用状況によっては、映像が粗くなったり、一時的に停止したりする場合があります。
• IPTV の受信状態については、ホームメニューから「設定」—「（視聴準備）」—「通信（インターネット）設定」—「IPTV 設定」—「受信状態」で確認できます。
• 番組やコンテンツによっては標準画質のものもあります。この場合は、ハイビジョン放送に比べ画質は粗くなります。

放送サービスやビデオオンデマンドサービスをご利用になる場合は、次のことにもご注意ください。
• 映像コンテンツの中には、有料のものもあります。映像コンテンツを再生する前に画面上でよく確認してください。
• ほとんどの有料コンテンツには、視聴期間が設定されています。視聴期間が切れると新たに料金がかかります。
• 有料コンテンツを購入後、ビデオが視聴できないなどの不具合があった場合、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

次のページに続く

ホームメニューから番組を選ぶ

・テレビ放送の選局と同じように、IPTV の番組を、ホームメニューの「チャンネル」や番組表から選べます。

1 ホームメニューを表示して、「チャンネル」を選ぶ

ホーム を押し
決定 で選ぶ

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「IPTV（テレビ）」を選ぶ

を押し
で選ぶ

・複数のプラットホームを受信している場合は、「テレビ / データ / ポータル」ボタンでプラットホームを切り換えられます。

3 見たい番組を選ぶ

で選び
決定 を押す

・選んだ番組に切り換わります。

・手順 **3** で、1 ～ 12 のボタンを押しても選べます。
・手順 **3** で決定せずに 青 を押すと、番組情報が表示されます。

放送中の番組（裏番組）を調べる

1 IPTVを視聴中に裏番組の一覧（ホームメニューの「チャンネル」）を表示する

ホーム を押す

・複数のプラットホームを受信している場合は、「テレビ / データ / ポータル」ボタンでプラットホームを切り換えられます。

2 見たい番組を選ぶ

で選び
決定 を押す

・選んだ番組に切り換わります。

◇おしらせ◇

・プラットホームとは、IPTV サービス事業者がサービスを提供する際に使用している環境のことです。1 種類の IPTV サービスに加入しているときでも、IPTV サービスによっては複数のプラットホームを使用している場合があります。また、複数の IPTV サービスに加入していても使用しているプラットホームは 1 つだけの場合もあります。
・ポータル画面表示中および VOD 再生中は、番組情報が表示されます。番組情報画面の操作については、⇒ **36** ページをご覧ください。

テレビ放送の番組表と同じように次の操作ができます

青 番組の情報を表示します。

赤 ジャンルで検索します。

緑 指定した日時の番組表を表示します。

詳しい操作は⇒ **44** ～ **45** ページをご覧ください。

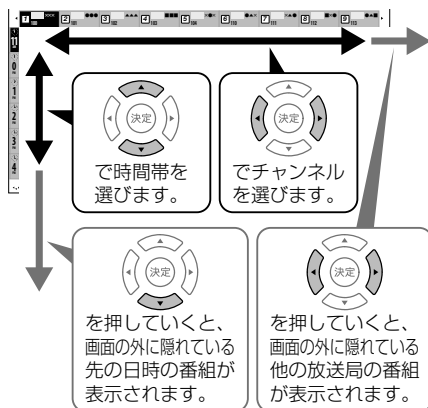
番組の放送予定を調べる

1 番組表 を押す

番組表を表示する

- 一時的に音声が停止します。
- 複数のプラットホームを受信している場合は､「テレビ / データ / ポータル」ボタンでプラットホームを切り換えられます。

2 で選ぶ

見たい番組を選ぶ

- 現在の時間帯より前の番組表は表示できません。

3 決定 を押す

決定する

- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- IPTV の番組は予約できません。

- 番組表を閉じるときは、番組表 を押して閉じます。

◇おしらせ◇

- 現在の時間帯より前の番組表は表示できません。
- IPTV の番組表に表示される情報の期間は最大 8 日分です。
- 番組表の表示方式を切り換えることができます。(⇒ **49** ページ)
- IPTV の番組表を表示しているときは、放送切換ボタンを押しても、他のデジタル放送の番組表には切り換わりません。
- IPTV の成人向けチャンネルやコンテンツを視聴するためには、視聴年齢制限設定が必要です。視聴年齢制限を「20 歳」または「無制限」に設定すると、番組表などに成人向けチャンネルが表示されます。

数字ボタン（チャンネルボタン）で選べる IPTV のチャンネルを変更する

- よく見るチャンネルは数字ボタン（チャンネルボタン）に登録しておくと便利です。

1 202ページの手順1～2を行い、登録したいチャンネルを選局する

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「(視聴準備)」－「通信(インターネット)設定」を選ぶ

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

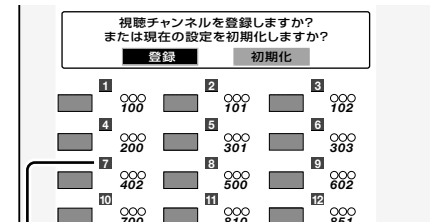
▼ ホームメニューの画面例

3 上下カーソルボタンで「IPTV設定」を選び､決定する

4 上下カーソルボタンで「デジタル登録」を選び､決定する

5 左右カーソルボタンで「する」を選び､決定する

- チャンネルの一覧が表示されます。

6 左右カーソルボタンで「登録」を選び､決定する

7 数字ボタン「1」～「12」で登録したいチャンネルボタンを押す

- 終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

- 登録できるのは、12 局までです。
- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、手順 **6** で「初期化」を選び、決定ボタンを押します。

IPTV（ひかり TV）の ビデオオンデマンド（VOD）を楽しむ

- ビデオオンデマンド（VOD※）とは映画などのタイトルを見たいときに、見ることができるレンタルビデオのようなサービスです。

※「VOD」とは、Video on Demand のことです。

◆ 重　要 ◆

ビデオオンデマンドを利用するためには

- IPTV サービスの中でも、ビデオオンデマンドを利用できるサービスに加入しておく必要があります。

◇**おしらせ**◇

- ビデオオンデマンドは､｢ビデオサービス｣や｢ビデオレンタル｣などと呼ばれる場合もあります。

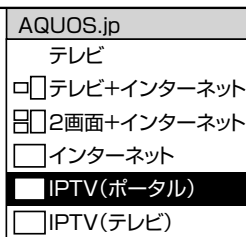
ビデオオンデマンドのタイトルを再生する

- タイトルの検索や再生の手続きなどは、主にポータル画面（⇒ **208** ページ）で行います。

◆ ポータル画面を表示する

1 インターネット を押す

インターネットボタンを繰り返し押し、「IPTV（ポータル）」を選ぶ

- 上下カーソルボタンでも選べます。
- 前回表示したポータル画面が表示されます。

2 番組表 を押す

ポータルリストを表示する

3 で選び 決定 を押す

表示したいポータル画面を選ぶ

◆ ビデオオンデマンドのタイトルを探す

4 で選び 決定 を押す

① **画面の項目からビデオオンデマンドに関する項目を選ぶ**

② **再生したいタイトルを選ぶ**

- 以降の操作は画面の表示に従ってください。タイトルによっては再生する前に視聴に関する注意事項や制限事項などが表示される場合がありますので、よく読んでから再生してください。

再生中の操作のしかた（VOD）

• VOD 操作パネルで、一時停止や再生などの操作ができます。

1 VOD操作パネルを表示する

VOD操作 を押す

• 画面の一部に映像が表示されているようなコンテンツの場合は、VOD 操作パネルが表示されない場合があります。

2 操作したい機能のボタンを選ぶ

で選び 決定 を押す

• VOD 操作パネルの表示を消すときは、もう一度 VOD 操作ボタンを押します。

◇おしらせ◇

逆頭出しボタン（⏮前）は、再生位置によってはたらきがかわります。

• 再生位置がチャプターから約 5 秒以内の場合は、そのひとつ前のチャプターに（下図Ⓐ）、5 秒を超えている場合は、直前のチャプター（下図Ⓑ）に戻ります。

VOD 操作パネルの見かた

詳しくは「操作ボタンの機能について」（⇒**下記**）をご覧ください。

プログレスバー
• ここを選ぶと、左右カーソルボタンで再生位置を移動できます。

操作ボタンの機能について

ボタン	機能
早戻し	早戻し再生
再生	再生
早送り	早送り再生
前	前のチャプター※に戻って頭出し（逆頭出し）
一時停止	一時停止
次	1 つ先のチャプター※に進んで頭出し（順頭出し）
10秒戻し	10 秒後戻し
停止	停止
30秒送り	30 秒先送り
逆スロー	スロー巻戻し再生
リピート	リピート 1 つのタイトルを繰り返し再生します
スロー	スロー再生

※ チャプターとは、サービスであらかじめ設定された、再生区切り位置です。

◇おしらせ◇

• 視聴するコンテンツによっては、操作できない機能があります。
• VOD 操作パネルの表示とコンテンツの操作情報が一致しないことがあります。

IPTV（ひかり TV）のポータル画面を活用する

- ポータル画面とは IPTV サービスの窓口となる画面のことです。

ポータル画面でできること※

- IPTV サービスの基本登録をする
- ビデオオンデマンドサービスのタイトルを選ぶ
- IPTV サービス事業者からのお知らせを確認する
- IPTV サービスのサービスプランを変える

※ できることは IPTV サービスによって異なります。詳しくは IPTV サービス事業者にお問い合わせください。

1 AQUOS.jpメニューを表示する

インターネット を押す

2 インターネットボタンを繰り返し押し、「IPTV（ポータル）」を選ぶ

インターネット を押す

- 上下カーソルボタンでも選べます。
- 前回表示したポータル画面が表示されます。

3 ポータルリストを表示する

番組表 を押す

4 表示したいポータル画面を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 選んだポータル画面が表示されます。

（例）

5 画面の中から目的の項目を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 選んだ項目によっては、新しい画面が表示され、その中からさらに項目を選ぶものもあります。

ポータル画面から IPTV のテレビ放送に切り換えるには

- インターネットボタンを押して AQUOS.jp メニューから「IPTV（テレビ）」を選択してください。

◇**おしらせ**◇

次の場合は、テレビ／データ／ポータルボタンを押すと、IPTV のテレビ放送が表示されます。

- ポータル画面に映像が表示されているとき
- IPTV のビデオオンデマンドを全画面で再生しているとき

ホームメニューからポータルリストを見ることもできます。

- ホームメニューから「チャンネル」－「IPTV（ポータル）」を選びます。

アクトビラ ビデオを見る

- アクトビラ ビデオとは、テレビ向けインターネットサイト「アクトビラ」が提供している映像配信サービスです。
- アクトビラ ビデオには「アクトビラ ビデオ」と「アクトビラ ビデオ・フル」があります。

アクトビラ ビデオ
- インターネットのページ上で再生する映像コンテンツです。
- 文字や写真と同時に映像も楽しめます。
- ページ上の項目や本機の VOD 操作パネルを使って操作します。

アクトビラ ビデオ・フル
- 全画面で再生する映像コンテンツです。
- 大画面で迫力ある映像を楽しめます。
- 本機の VOD 操作パネルを使って操作します。

アクトビラを利用するときは

- サービスへの入会などは不要です。ただし、アクトビラ ビデオのコンテンツによっては有料のものもあります。
- リモコンの基本操作は、「インターネットを見る画面（ブラウザ）の使いかた」（⇒ **188** ページ）と同様です。

・画面に表示される内容は変更になる場合があります。

必要な準備について

- インターネットに接続するためのブロードバンド環境のうち、光回線（FTTH）が必要です。本機を光回線（FTTH）に接続してください。詳しくは「双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする」（⇒ **168** ～ **180** ページ）をご覧ください。

◇**おしらせ**◇

アクトビラ ビデオ、アクトビラ ビデオ・フルの視聴について
- コンテンツによっては標準画質のものもあります。この場合は、ハイビジョン放送に比べ画質は粗くなります。

必要な回線速度について
- アクトビラ ビデオをお楽しみになる場合は、実効速度 6Mbps 程度必要です。
- アクトビラ ビデオ・フルの場合は、実効速度 12Mbps 程度必要です。
- 光回線（FTTH）においても、お客様のご利用環境（ハブやルーターの性能など）や回線の混雑状況などにより、時間帯によっては実効速度が低下する場合があります。

アクトビラ ビデオ、アクトビラ ビデオ・フルをご利用になる場合は、次のことにもご注意ください。
- 映像コンテンツの中には、有料のものもあります。映像コンテンツを再生する前に画面上でよく確認してください。
- ほとんどの有料コンテンツには、視聴期間が設定されています。視聴期間が切れると新たに料金がかかります。
- 有料コンテンツを購入後、ビデオが視聴できないなどの不具合があった場合、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

アクトビラ ビデオ／アクトビラ ビデオ・フルを見る

- アクトビラ ビデオをお楽しみになるためには、回線の実効速度が 6Mbps 程度必要です。
- アクトビラ ビデオ・フルをお楽しみになるためには、回線の実効速度が 12Mbps 程度必要です。

実行速度を確認するときは

- 実効速度は、お手持ちのパソコンを用いて、アクトビラのホームページ（http://actvila.jp）の「スピードテスト」で確認することができます。(2010年6月現在)

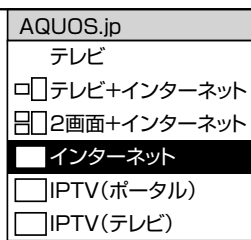
1 AQUOS.jpメニューを表示する

インターネット を押す

2 インターネットボタンを繰り返し押し、「インターネット」を選ぶ

インターネット を押す　決定 を押す

- 上下カーソルボタンでも選べます。

AQUOS.jp
- テレビ
- テレビ+インターネット
- 2画面+インターネット
- インターネット
- IPTV(ポータル)
- IPTV(テレビ)

- ブラウザが起動し、AQUOS.jp が表示されます。

- AQUOS.jp の表示内容は一例です。

3 「アクトビラ」を選ぶ

で選び
を押す

- アクトビラのポータル画面が表示されます。

4 視聴したいアクトビラ ビデオまたはアクトビラ ビデオ・フルのコンテンツを選ぶ

で選び　決定 を押す

- 以降の操作は画面の表示に従って操作してください。例えば、カーソルボタン（上･下・左・右）で「再生」などの項目を選びます。
- 早送りや早戻しの操作は、画面に表示されているボタンを使います。（映像コンテンツによっては早送りや早戻しができないものもあります。）
- VOD 操作パネル（⇒**次**ページ）で操作することもできます。
- アクトビラ ビデオ・フルを再生した場合は、全画面で表示されます。このときは VOD 操作パネルで操作してください。（⇒**次**ページ）

テレビの画面に戻すときは

- ホームボタンを押します。選局ボタン（緑）や放送切換ボタンでも戻せます。

コンテンツの再生を停止するときは

- VOD 操作パネルで停止ボタンを選びます。

◇おしらせ◇

- 「テレビ+インターネット」または、「2 画面+インターネット」の状態で再生操作をすると、自動的にインターネットの 1 画面表示になります。
- 再生中は 2 画面ボタンは使えません。
- 再生中、一部ブラウザ操作に制限があります。（タブ操作やブラウザメニューの「拡大・縮小表示」、文字入力など）

再生中の操作のしかた（アクトビラ ビデオ／アクトビラ ビデオ・フル）

- VOD 操作パネルで、一時停止や再生などの操作ができます。

1 VOD操作パネルを表示する

VOD操作 を押す

2 操作したい機能のボタンを選ぶ

で選び 決定 を押す

- VOD 操作パネルの表示を消すときは、もう一度 VOD 操作ボタンを押します。

◇おしらせ◇

- VOD操作パネルでアクトビラ ビデオを操作した場合、ブラウザからのVOD操作が正しく動作しないことがあります。

逆頭出しボタン（前）は、再生位置によってはたらきがかわります。

- 再生位置がチャプターから約 5 秒以内の場合は、そのひとつ前のチャプターに（下図Ⓐ）、5 秒を超えている場合は、直前のチャプター（下図Ⓑ）に戻ります。

VOD 操作パネルの見かた

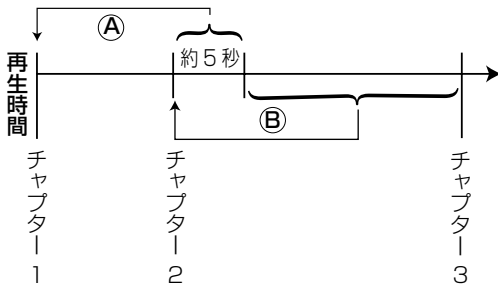
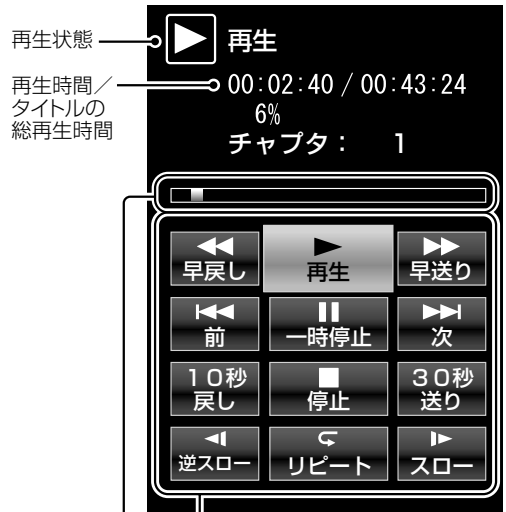
詳しくは「操作ボタンの機能について」（⇒**下記**）をご覧ください。

プログレスバー
- ここを選ぶと、左右カーソルボタンで再生位置を移動できます。

操作ボタンの機能について

ボタン	機能
早戻し	早戻し再生
再生	再生
早送り	早送り再生
前	前のチャプター※に戻って頭出し（逆頭出し）
一時停止	一時停止
次	1つ先のチャプター※に進んで頭出し（順頭出し）
10秒戻し	10 秒後戻し
停止	停止
30秒送り	30 秒先送り
逆スロー	スロー巻戻し再生
リピート	リピート 1 つのタイトルを繰り返し再生します
スロー	スロー再生

※ チャプターとは、サービスであらかじめ設定された、再生区切り位置です。

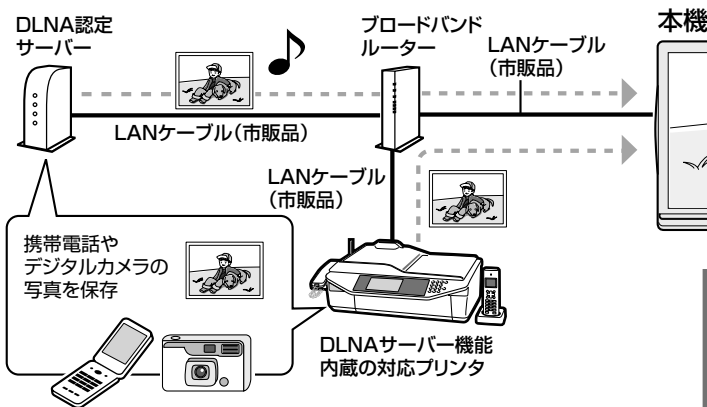
◇おしらせ◇

- 視聴するコンテンツによっては、操作できない機能があります。
- VOD 操作パネルの表示とコンテンツの操作情報が一致しないことがあります。
- アクトビラ ビデオ・フルを VOD 操作パネルを表示しないで視聴しているときに、戻るボタンを押すと再生が終了します。

ホームネットワークで映像・写真・音楽を楽しむ

- ホームネットワークに本機をつないで、ネットワーク経由で映像・写真・音楽を再生できます。
- 表示した写真を、本機に対応したプリンタで印刷することもできます。

サーバー内の写真・映像・音楽を再生する

ホームネットワークで写真を楽しむ（⇒ **214** ページ）
ホームネットワークで音楽を楽しむ（⇒ **222** ページ）
録画した番組をホームネットワークで楽しむ（⇒ **218** ページ）

DLNA認定サーバー
ブロードバンドルーター
LANケーブル（市販品）
本機
LANケーブル（市販品）
LANケーブル（市販品）
携帯電話やデジタルカメラの写真を保存
DLNAサーバー機能内蔵の対応プリンタ

携帯電話の写真を表示する

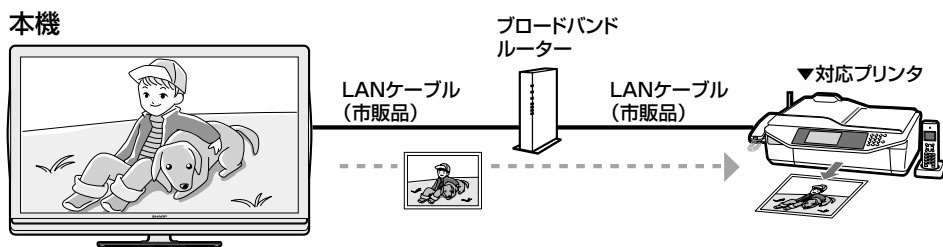
⇒ IrSS™ で携帯電話の写真を楽しむ
（⇒ **224** ページ）

IrSS™で送信

- IrSS™ とは、片方向赤外線受信機能です。

表示した写真を印刷する

⇒ **228** ページ

本機
ブロードバンドルーター
LANケーブル（市販品）
LANケーブル（市販品）
▼対応プリンタ

使用可能なサーバー／プリンター／携帯電話の最新情報について

- SHARP webページ内のAQUOSサポートステーション「Q&A 情報」をご覧ください。

AQUOS サポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

- サーバーやプリンタの操作については、それぞれの取扱説明書またはサポートホームページをご覧ください。

本機で表示できる写真データの形式

- 対応データ形式：DCF2.0 規格対応 JPEG 静止画※1※2
- 最大ファイルサイズ：6MB※3
- 最大解像度（画像サイズ）：4096 x 4096 画素※3※4

※１　以下の形式に対応しています。
色情報：YUV420、YUV422、ベースライン DCT
JPEG ヘッダーの回転タグは４方向（上、下、右 90 度、左 90 度）に対応しています。

※２　以下の形式は表示できません。
プログレッシブＪＰＥＧ、ロスレス回転ＪＰＥＧ（パソコンで回転させた場合に多い）、グレースケールＪＰＥＧ、ＹＵＶ４４４（パソコンで加工した画像に多い）形式の JPEG など。
なお、サーバーによってはデータ形式変更やファイルサイズの縮小、画像サイズの変更を行うため、上記制限のあるファイルでも表示されることがあります。

※３　約 1000 万画素以上のデジタルカメラや携帯電話では解像度（画像サイズ）や画質設定により、この制限を超えるため本機で高品位に表示できないことがあります。デジタルカメラや携帯電話の解像度（画像サイズ）や画質設定を小さめに変えて撮影するようにしてください。撮影後はデジタルカメラや携帯電話のリサイズ機能でサイズを小さくすることができる場合があります。またプリンタの扱えるファイルサイズ上限により印刷できないことがあります。詳しくはプリンタの取扱説明書をご覧ください。

※４　上記制限を超える写真はサーバーにより 160 × 120 画素のサムネイル画像が全画面に表示されます。このため、解像度が大幅に低下することがあります。

◇おしらせ◇

- 本機は DLNA 認定フォトプレーヤー (DLNA CERTIFIED™ Photo Player) です。
- DLNA 認定機器とは DLNA ガイドラインに適合した、デジタルメディアプレーヤーまたはサーバーです。
- JPEG 静止画は DCF2.0 規格のデジタルカメラまたはカメラ付携帯電話で撮影されたものが対象です。
- サーバーや静止画によっては、再生できないことがあります。パソコンソフトで加工した静止画は表示できないことがあります。
- 本機には静止画を保存することはできません。
- 印刷中にチャンネル切換や入力切換を行うと印刷が正しく完了しないことがあります。またシャープ製ファクシミリ複合機（DLNA サーバー機能、およびプリント機能内蔵）では印刷中のエラーはプリンタには表示されますが、本機の画面に表示されないことがあります。
- サーバー機器は 10 台まで選択できます。
- サーバー機器の設定についてはサーバー機器の取扱説明書またはサポートホームページなどをご覧ください。
- サーバーから取得したリストをそのまま表示するため、写真の無いフォルダが表示される場合があります。

DLNA 認定サーバー内の写真の表示／印刷について

- 本機の「ホームネットワーク」で表示できるのは、ホームネットワークに接続された DLNA 認定サーバーの JPEG 静止画の写真だけです。
- 現在動作を確認しているサーバーおよび本機対応プリンタについては、左記の SHARP web ページ内の AQUOS サポートステーションをご覧ください。
- SD カードスロットをもつサーバーではスロットに SD カードが入っているときだけサーバー機能が動作する場合があります。また、サーバーに JPEG ファイルを書き込んでから、サーバーのデータとしてホームネットワーク側に提供されるまで数分かかる、または更新設定をしないと反映されない場合があります。詳しくはサーバー機器の取扱説明書をご覧ください。
- JPEG 静止画のファイルサイズが大きいとスライドショーでの写真表示に時間がかかることがあります。

ホームネットワークで写真を楽しむ

ホームネットワークのサーバーにある写真を表示する

1 入力切換メニューを表示して、「ホームネットワーク」を選ぶ

入力切換 を押す

- 入力切換ボタンを押して入力切換メニューを表示させます。
- 入力切換ボタンを繰り返し押して、「ホームネットワーク」を選びます。
- 上下カーソルボタンでも選べます。

ホームネットワークはLAN 接続されているときに選択できます。

- メモリーモードを「オン」に設定し、前回写真のスライドショー中に終了していた場合は、スライドショーが始まります。
- メモリーモードのオン／オフの切り換えは、ホームネットワークのトップ画面で行います。（切り換えかた⇒ **220** ページ）

2 「写真を見る」を選ぶ

で選び 決定 を押す

ホームネットワークのトップ画面の例

3 サーバー機器を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 一度スライドショーが表示されれば、初期画面で緑ボタンを押すと最後に表示したスライドショーを再度表示できます。また、黄ボタンを押すと最後にスライドショーを表示したフォルダリストを表示できます。
- 初期画面で決定ボタンを押すと、最後に接続したサーバー機器のトップフォルダが表示されます。

4 フォルダを選ぶ

で選び 決定 を押す

- フォルダと写真が混在している場合は両方が表示されます。

- 青ボタンを押すと、一覧の表示のしかたを変えられます。（⇒ **216** ページ）
- フォルダ内の写真が一覧表示されます。

5 写真を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 写真が全画面表示になり、スライドショーになります。
- スライドショーを停止するには、もう一度決定ボタンを押します。
- 「BGM 再生」（⇒**次**ページ）を「する」に設定しているときは、音楽が流れます。

◇おしらせ◇

- シャープ製ファクシミリ複合機では、動作中に SD カードを抜くと写真を取得できません。また電話や FAX の使用中や操作パネルに操作中のメッセージなど（ダイアログと呼ばれています）が表示されている間は DLNA サーバー機能が停止します。詳しくはファクシミリ複合機の取扱説明書またはサポートホームページなどをご覧ください。

写真が表示されず、エラーメッセージが表示されたときは

- 「ホームネットワーク利用時に関するエラーメッセージ」（⇒ **306** ～ **307** ページ）をご覧ください。

- 本機で表示できる写真データの形式については⇒ **213** ページをご覧ください。
- スライドショーの途中で「次の写真を取得できません」と表示されたときは、接続やサーバーの設定を確認してください。

写真表示のしかたを変える

- スライドショーの間隔や BGM のオン／オフなど、写真表示の設定を変更できます。

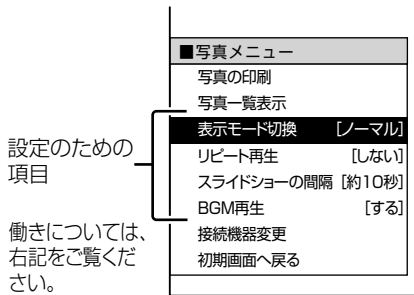
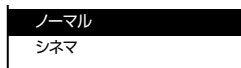
1 写真表示中に、写真メニューを表示する

赤 を押す

2 設定したい項目を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 好みの設定を選ぶ

で選び 決定 を押す

「表示モード切換」の画面例

ノーマル
シネマ

◇おしらせ◇

- 表示モードが「ノーマル」のときは、左右に黒い帯が出ることがあります。
- 表示モードが「シネマ」のときは、拡大により、写真の一部がはみ出すことがあります。
- スライドショーなどの「写真を見る」機能を、お好みの BGM でご利用いただいている場合、音楽サーバーから切断される等の理由により BGM が停止する場合がありますが、その場合も「写真を見る」機能はそのまま続行されます。再度 BGM を再生するには、初期画面より「音楽を聴く」を選び、音楽の再生をやり直してください。

設定のための項目

項目	内容
表示モード切換※1	•「ノーマル」（縦横比を変えずに画面内に最大で収める）と「シネマ」（縦横比を変えずに、黒帯をなくすように画面内に最大で収める）を切り換えます。
リピート再生	•「する」と「しない」（スライドショーで最後の写真のあとに最初の写真に戻るか、一覧表示に戻るか）を切り換えます。
スライドショーの間隔※2	• スライドショーで、次の写真に行くまでの時間を設定します。「約 5 秒」「約 10 秒」「約 30 秒」「約 60 秒」から選びます。
BGM 再生※3	•「する」にすると、サーバーの最後に再生したフォルダの音楽が流れます。サーバーに音楽がないときや再生できないときは、内蔵 BGM（弦楽セレナーデ･ホ短調）が流れます。

※ 1 写真の縦横比が 16：9 の横画像では、表示モード切換しても、表示が見かけ上変わらない場合があります。

※ 2 サーバーや写真によってはスライドショーの間隔が設定値通りにならない場合があります。

※ 3 スライドショーの BGM をお好みの音楽にするには
① BGM にしたい曲を再生する
② 終了ボタンを押す
ホームネットワークの初期画面が表示されます。
③ 上下カーソルボタンで「写真を見る」を選ぶ
④ 写真を選び決定ボタンを押してスライドショーを開始する
スライドショーが始まります。BGM には①で再生したフォルダ内の曲が流れます。音楽の再生について詳しくは、⇒ **222** ページをご覧ください。

次のページに続く

一覧表示のしかたを変える（リストとサムネイル）

- フォルダの一覧表示中または写真の一覧表示中に、リスト表示とサムネイル表示を切り換えることができます。

を押す

「写真を見る」の画面で一覧表示のしかたを変える

▼サムネイル表示の例

▼リスト表示の例

- 写真フォルダ一覧メニュー（⇒**右記**）から「サムネイル表示へ切換」または「リスト表示へ切換」を選んでも切り換えられます。

◇**おしらせ**◇

- サーバー機器や写真データによってはサムネイルが表示されないことがあります。
- 縦位置で撮影した写真でもサムネイルは横位置で表示されることがあります。（サーバーの仕様により異なります。）

写真やフォルダの一覧表示中の便利な機能

- 写真やフォルダの一覧表示中に、写真フォルダ一覧メニューを呼び出して便利な機能を使うことができます。

1

赤

を押す

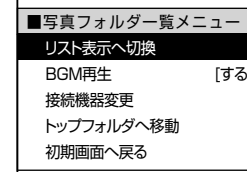
写真一覧表示中に、写真フォルダ一覧メニューを表示する

2

で選び

決定

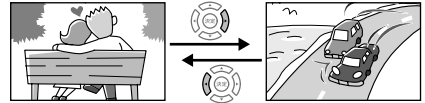
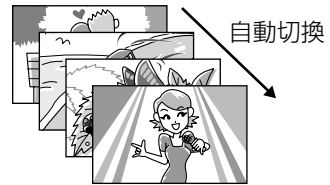
を押す

設定したい項目を選ぶ

利用できる項目

項目	内容
リスト表示へ切換／サムネイル表示へ切換	• 写真やフォルダが一覧表示されているとき、リスト表示とサムネイル表示を切り換えます。
BGM 再生	• 「する」にすると、サーバーの最後に再生したフォルダの音楽が流れます。サーバーに音楽がないときや再生できないときは、内蔵 BGM（弦楽セレナーデ・ホ短調）が流れます。
接続機器変更	• ホームネットワークに複数のサーバーを接続しているとき、写真を見るためのサーバーを変更します。接続機器選択画面では、上下カーソルボタンでサーバーを選び、決定ボタンを押します。 **▼接続機器選択画面** 接続機器選択 xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx で選び 決定 を押す
トップフォルダへ移動	• 操作中のサーバーの一番上のフォルダを表示します。
初期画面へ戻る	• 初期画面を表示します。

写真表示中の操作について

- 写真表示中に、次の写真に切り換えたり写真を回転させたりすることができます。
- 画面の下部に、操作方法を示すガイダンス（操作案内）が表示されます。ガイダンスの表示に従って、ボタンを押して操作してください。

- 右カーソルボタンで次の写真を表示します。
- 左カーソルボタンで 1 つ前の写真を表示します。
- リピート再生時は、最後の写真で右カーソルボタンを押すと最初の画面に戻ります。リピートしない場合は、一覧表示（サムネイル表示またはリスト表示）に戻ります。

- スライドショーを開始します。
- もう一度決定ボタンを押すとスライドショーを停止します。

- ガイダンス（操作案内）の表示・非表示を切り換えます。

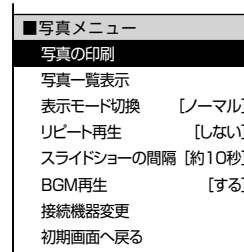
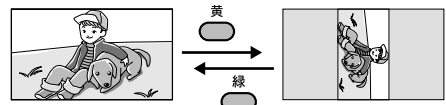
［例］ガイダンス（操作案内）

◀　▶で順送り／逆送り　決定 で一時停止　青 でガイダンス非表示　赤 でメニュー表示　緑 で

- 写真メニューを表示します。

- 写真を右に 90 度回転します。

- 写真を左に 90 度回転します。

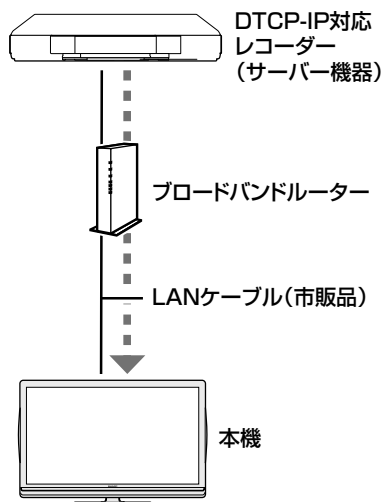
戻る

- 一覧表示（サムネイル表示またはリスト表示）に戻ります。

- 初期画面に戻ります。

録画した番組をホームネットワークで楽しむ

- 本機は、DTCP-IP 対応レコーダー（サーバー機器）に保存されているデジタル放送（地上デジタル放送、BS デジタル放送）の映像を表示できる動画プレーヤーです。

DTCP-IP とは

- DTCP-IP は、デジタル放送などの著作権保護されたデータを伝送するための規格です。この規格に対応することにより、著作権保護されたデータ（1 回だけ録画可能なデジタル放送の番組など）を、ホームネットワークでつないだ機器の間でやりとりすることができます。
- DTCP-IP は、「Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol」の略です。

使用可能なレコーダーについて

- 本機で使えるレコーダー（サーバー機器）は、DTCP-IP 対応のレコーダーです。詳しくは SHARP web ページ内の AQUOS サポートステーション「他の機器と接続するには」をご覧ください。

AQUOS サポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

本機で使える機器と、表示できるビデオ形式について

- DTCP-IP 対応レコーダーに録画した MPEG2/AAC、H.264/AAC、H.264/AC3 形式の映像が再生できます。

◇おしらせ◇

- ビデオカメラで撮影した映像、衛星放送の STB（セットトップボックス）や CATV（ケーブルテレビ）の STB（セットトップボックス）から録画した番組など、外部機器からレコーダーに取り込まれた映像は、再生できない場合や音声が出ない場合があります。
- 本機は、あらゆる録画データの再生を保障しておりません。レコーダーが配信可能な映像データでも、本機で一覧表示できない場合や一覧表示から選んでも再生できない（映像・音声が正常に再生されない）場合がありますが、故障ではありません。

DTCP-IP 対応レコーダーの取扱説明書または web ページ内のサポート情報などをご覧ください。

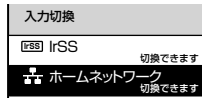
- レコーダーによっては、ホームネットワークで配信できる録画データの種類や形式に制約があります。（プレイリストは不可など）
- レコーダーによっては、録画中の番組が配信できない場合や、同時に複数の映像を配信できない場合があります。
- レコーダーの動作状況（使用状況、操作状況、録画画質の設定状況、画面の表示状況など）によっては、映像をホームネットワークで配信できない場合があります。このときは、本機の「接続機器選択」に表示されないことや、レコーダーの操作によって再生が途中で打ち切られることがあります。
- レコーダーによっては、レコーダーで BD ／ DVD の再生中や録画中、ダビング中に、映像を配信できない場合があります。
- 通常、レコーダーはハードディスクに記録されている映像のみ配信できます。BD や DVD の映像は配信できません。
- レコーダーによっては、本機とレコーダーのデータのやり取りを許可させるために本機の MAC アドレスを登録する必要があります。
- 本機は DLNA 認定動画プレーヤー（DLNA CERTIFIED Video Player）です。
- 無線 LAN 環境で DTCP-IP により著作権保護された映像を再生するには、無線 LAN のセキュリティ設定を行う必要があります。また、著作権保護された映像を安定して受信するためには、802.11a/n（5GHz）方式と AES 暗号化によるセキュリティ設定を組み合わせてご利用いただくことをおすすめします。
- 無線 LAN 環境の詳細につきましては、⇒ **174** ページからの「無線 LAN 環境を用意する」をご確認ください。

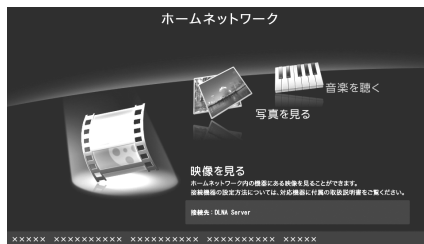
ホームネットワークの サーバーにある映像を再生する

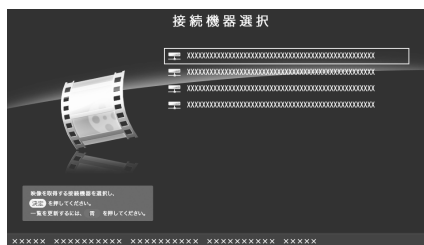
1 入力切換メニューを表示して、「ホームネットワーク」を選ぶ

入力切換 を押す

- 入力切換ボタンを押して入力切換メニューを表示させせます。
- 入力切換ボタンを繰り返し押して、「ホームネットワーク」を選びます。
- 上下カーソルボタンでも選べます。

ホームネットワークはLAN 接続されているときに選択できます。

- ホームネットワークの初期画面が表示されます。

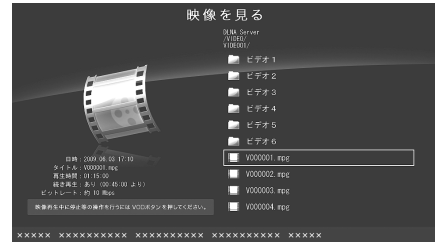
2 「映像を見る」を選ぶ

で選び 決定 を押す

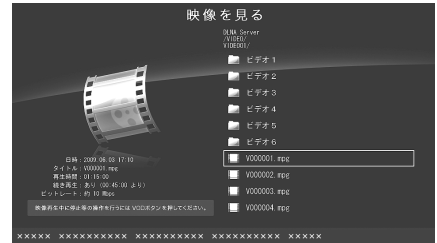
3 サーバー機器を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 一度映像が表示されれば、初期画面で緑ボタンを押すと最後に再生した映像の続きを再生できます (続きを再生できる場合。続きを再生できない場合は先頭から再生します)。
  また、黄ボタンを押すと最後に再生した映像のあるフォルダリストを表示できます。
- 初期画面で決定ボタンを押すと、最後に接続したサーバー機器のトップフォルダが表示されます。

4 フォルダがある場合は、フォルダを選ぶ

で選び

を押す

- フォルダ内の映像が、レコーダーが提示した順番で一覧表示されます。

5 映像を選ぶ

で選び 決定 を押す

- で映像を選び 決定 を押すと、その映像が再生されます。
- 戻る で、１つ上のフォルダを表示できます。
- 本機で再生できない映像が表示されることもあります。表示される映像は、正常に再生できることを保障するものではありません。

6 再生を終了する

- 戻る または、終了 で、映像リスト表示に戻ります。

次のページに続く

つづき再生について

- 本機は、途中まで再生した映像の状態を再生の新しい順で 20 件まで保持しています。**前**ページの手順 **5** で映像を選んで再生すると、つづきから再生します。
- 最初から再生したいときは、**前**ページの手順 **5** で、上下で映像を選び、青ボタンを押します。

メモリーモードについて

- いったん放送に戻り、**前**ページの手順 **1** で「ホームネットワーク」を選ぶと、すぐに最後に視聴した映像のつづきから再生できます。（メモリーモードが「オン」の場合）
- **前**ページの手順 **2** で緑ボタンを押すと、前回再生していた映像のつづきから再生できます。
- 映像を一覧から選びたいときなど、メニュー画面から開始したい場合は、再生を停止したあとにホームネットワークの初期画面まで戻り、赤ボタンを押してメニューを表示させ、メモリーモードを「オフ」にします。

◇**おしらせ**◇

再生中に映像や音声が途切れる場合

- レコーダーと本機を無線 LAN や PLC（電力線通信）を使った LAN 環境で接続している場合は、LAN の通信速度が不足して再生が途切れることがあります。有線 LAN で接続すると、改善することがあります。
- レコーダー側で長時間録画用の録画画質で録画しておくと、LAN の通信速度が低くても再生できる場合があります。

メモリーモードの設定を変える

- メモリーモードを「オン」に設定すると、ホームネットワークを開始したとき、前回最後に表示または再生した写真・映像・音楽のいずれかをすぐに再生開始します。

1 トップ画面表示中に、トップメニューを表示する

赤 を押す

2 「メモリーモード」を選ぶ

で選び

決定 を押す

3 「オン」または「オフ」を選ぶ

オン
オフ

で選び 決定 を押す

- メモリーモードを「オン」に設定しても、サーバーに接続できないなどの理由により、前回最後に再生した写真・映像・音楽が再生できない場合があります。

再生中の操作のしかた（ホームネットワーク）

• VOD 操作パネルで、一時停止や再生などの操作ができます。

1 VOD操作パネルを表示する

2 操作したい機能のボタンを選ぶ

• VOD 操作パネルの表示を消すときは、もう一度 VOD 操作ボタンを押します。

で選び 決定 を押す

VOD 操作パネルの見かた

操作ボタンの機能について

◇**おしらせ**◇

• 早送り再生／スロー再生／逆スロー再生には対応していません。
• 対応できない操作ボタンは、表示されません。
• 10 秒後戻し／ 30 秒先送りで操作できる時間は、おおよその時間です。

ホームネットワークで音楽を楽しむ

◇おしらせ◇

- 本機は DLNA 認定音楽プレーヤー（DLNA CERTIFIED Audio Player）です。
- DLNA 認定機器とは DLNA ガイドラインに適合した、デジタルメディアプレーヤーまたはサーバーです。
- サーバーや音楽ファイルによっては再生できないことがあります。パソコンでは再生できても、本機で再生できない場合があります。
- サーバーから取得したリストをそのまま表示するため、音楽の無いフォルダが表示される場合があります。

本機で再生できる音楽データの形式

- LPCM：
  サンプリング周波数 44.1/48KHz、stereo/mono
- MP3 形式で作成されたファイル：
  サンプリング周波数 32/44.1/48kHz
  32kbps から 320kbps、stereo/mono

使用可能なサーバーについて

- サーバーの動作確認機種の最新情報については、SHARP web ページ内の AQUOS サポートステーション「Q&A 情報」をご覧ください。

AQUOS サポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

- サーバーの操作については、それぞれの取扱説明書またはサポートホームページをご覧ください。

DLNA 認定サーバー内の音楽ファイルの再生について

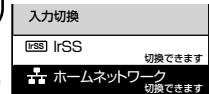
- 本機の「ホームネットワーク」で再生できるのはホームネットワークに接続された DLNA 認定サーバーの対応ファイル形式のものだけです。
- 音楽ファイルをサーバーに書き込んでもサーバーのデータとしてホームネットワークに反映されるのに非常に時間がかかる、または更新設定をしないと反映されない場合があります。詳しくはサーバー機器の取扱説明書をご覧ください。

ホームネットワークのサーバーにある音楽を再生する

1 入力切換メニューを表示して、「ホームネットワーク」を選ぶ

入力切換 を押す

- 入力切換ボタンを押して入力切換メニューを表示させます。
- 入力切換ボタンを繰り返し押して、「ホームネットワーク」を選びます。
- 上下カーソルボタンでも選べます。

ホームネットワークは LAN 接続されているときに選択できます。

- メモリーモードを「オン」に設定し、前回音楽を再生していた場合は、音楽再生が始まります。
- メモリーモードのオン／オフの切り換えは、ホームネットワークのトップ画面で行います。（切り換えかた⇒ **220** ページ）

2 「音楽を聴く」を選ぶ

で選び
を押す

ホームネットワークのトップ画面の例

3 サーバー機器を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 一度音楽が再生されれば、初期画面で緑ボタンを押すと最後に再生した音楽のあるフォルダ内の音楽を再度再生できます。また、黄ボタンを押すと最後に再生した音楽のあるフォルダリストを表示できます。
- 初期画面で決定ボタンを押すと、最後の接続したサーバー機器のトップフォルダが表示されれます。

4 フォルダを選ぶ

で選び 決定 を押す

- フォルダと曲名が混在している場合は両方が表示されます。

- フォルダ内の曲名が一覧表示されます

5 曲名を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 音楽が再生されます。

- で曲名を選び決定を押すと、その曲が再生されます。
- 戻るで、１つ上のフォルダを表示できます。
- 赤で表示されるメニューからトップフォルダや、再生中の曲が保存されているフォルダを表示することもできます。(⇒**右記**)
- 再生中の音楽ファイルと同じフォルダに複数の音楽ファイルがあるときは、フォルダ内の音楽ファイルが順番に再生されます。

再生中の操作

曲の最初から再生するとき

- を押す

前の曲を再生するとき

- を続けて２回押す（約３秒以内に押してください）

次の曲を再生するとき

- を押す

音楽を停止するとき

- 青 を押す

音楽の一覧表示中や再生中の便利な機能

- 繰り返し再生の設定や音楽を聴くためのサーバーの変更などができます。

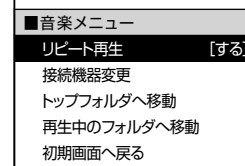
1 音楽一覧表示中または再生中に、音楽メニューを表示する

赤 を押す

2 設定したい項目を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 好みの設定を選ぶ

で選び 決定 を押す

設定のための項目

項目	内容
リピート再生	• フォルダ内の音楽をすべて再生したときに、もう一度最初から再生するかどうかを設定します。（1 曲のみのリピートはできません。）
接続機器変更	• ホームネットワークに複数のサーバーを接続しているとき、音楽を聴くためのサーバーを変更します。接続機器選択画面では、上下カーソルボタンでサーバーを選び、決定ボタンを押します。
トップフォルダへ移動	• 操作中のサーバーのトップフォルダを表示します。
再生中のフォルダへ移動	• 現在再生している曲のフォルダへ移動します。 • 停止中の場合は「停止中のフォルダへ移動」と表示されます。
初期画面へ戻る	• 初期画面を表示します。

IrSS™ 通信で携帯電話の写真を楽しむ

- IrSS™ 対応の携帯電話に記録されている静止画を本機で受信し、表示できます。

携帯電話から受信した写真が表示されます。

IrSS™受光部

OPC IrSS

静止画（写真）を送信します。

IrSS™通信に対応している携帯電話

高速赤外線で送信するため、ケーブル接続は不要です。

最新の詳しい情報については、SHARP webページ内のAQUOSサポートステーション「Q&A情報」をご覧ください。
AQUOSサポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

本機が対応している仕様

- 対応データ形式：JPEG※1※2
- 最大ファイルサイズ：約 3MB
- 最大解像度：4096 × 2160 画素
- これらの制限がありますので、本機に IrSS™ 通信で静止画を送信する場合、IrSS™ 送信をサポートしている動作確認機種自体で撮影（作成）された静止画を送信してください。

※1　以下の形式に対応しています。
色情報：YUV420、YUV422、ベースライン DCT（JPEG ヘッダーの回転タグは 4 方向（上、下、右 90 度、左 90 度）に対応しています。）

※2　以下の形式は表示できません。
プログレッシブ JPEG、ロスレス回転 JPEG（パソコンで回転させた場合に多い）、グレースケール JPEG、YUV444（パソコンで加工した画像に多い）形式の JPEG など

ファミリンク設定時の静止画受信

- IrSS™ 対応の AQUOS レコーダーを本機と HDMI ケーブルで接続している場合に、携帯電話から送信したデータを IrSS™ 対応の AQUOS レコーダーが受信すると、その画像がファミリンクを経由して本機で表示されます。

◇おしらせ◇

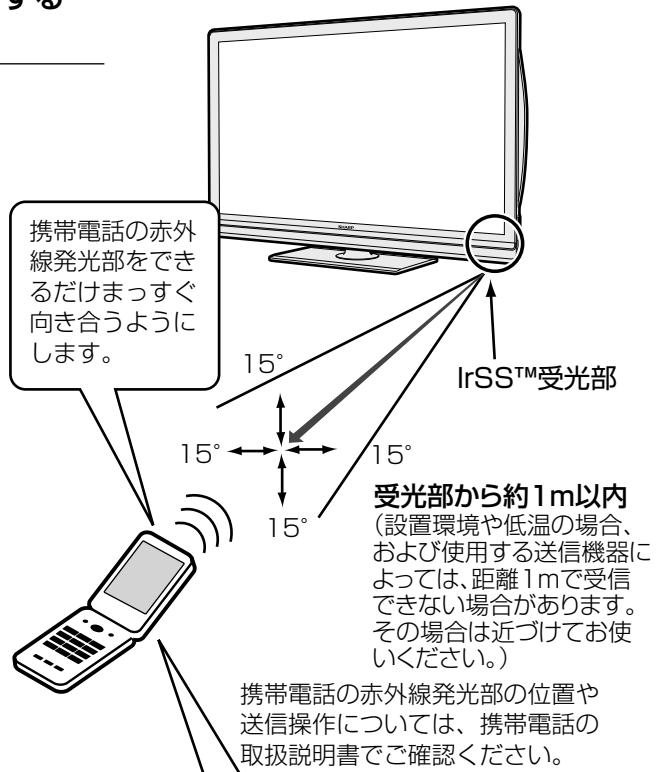
- 本機で受信できるのは、静止画だけです。
- 携帯電話からの出力が禁止されている静止画は、携帯電話から送信できません。
- IrSS™ 通信の送受信は片方向通信です。そのため、本機が受信できない場合でも、携帯電話の送信は正常に終了します。
- 本機からは静止画を送信できません。
- 携帯電話の機種によっては、携帯電話本体に挿入して使うメモリーカード（SD、mini SD、micro SD カードなど）に記録された静止画を送信できないことがあります。この場合は、携帯電話の本体メモリーにいったんコピーまたは移動してから送信してください。なお、画像のサイズ制限でコピーや移動ができなかったり、携帯電話側でデータ管理情報の更新をしないと携帯電話から送信できないことがあります。詳しくは携帯電話に付属の取扱説明書をご覧ください。
- IrSS™ 通信とは、IrSimple1.10 準拠の片方向通信機能 Home Appliance Profile を表します。
- IrSS™ または IrSimpleShot™ は、Infrared Data Association® の商標です。
- 他の機器に対して IrSS™ 送信する場合、高速赤外線の届く範囲に本機が設置されていると本機の入力が IrSS™ モードに切り換わることがあります。IrSS™ モードへの自動切換を禁止したい場合には「IrSS 自動切換」を「しない」に設定してください。（⇒ **226** ページ）
- 本機には静止画を保存することはできません。チャンネル切換や入力切換をしたり、新たな静止画を表示すると、前に表示していた静止画のデータは本機から消去されます。

携帯電話※から静止画を受信する

IrSS™ 通信対応の携帯電話

1 携帯電話を操作して、送信したい静止画を選択し、送信する

- 右図で示す範囲から送信してください。

携帯電話の赤外線発光部の位置や送信操作については、携帯電話の取扱説明書でご確認ください。

メニューから「送信」を選ぶ機種の送信のしかた

- 送信したい静止画を選んだ後に、メニュー項目から「送信」を選んで送信します。

IrSS™ボタンで送信する機種の送信のしかた

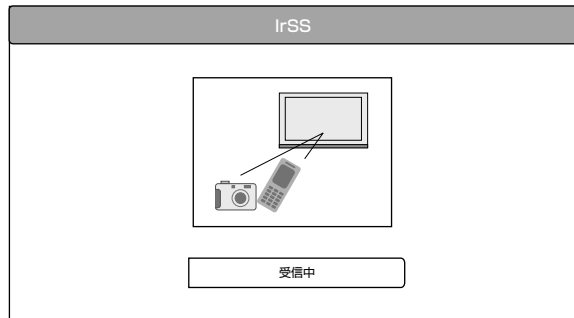
- 送信したい静止画を選んだ後に、IrSS™ボタンを押して送信します。（しばらく押しつづけると送信する機種もあります。）

2 本機で静止画を受信する

- 本機が受信を始めると、右の画面が表示されます。

- 受信中に戻るボタンまたは終了ボタンを押すと、受信スタンバイ画面になります。
- 数秒後に静止画が表示されます。
- 携帯電話から続けて静止画を送信すると、受信の完了とともに静止画が切り換わります。前の静止画に戻したいときは、手順 **1** からやり直してください。
- 本機には静止画を保存できません。

受信に失敗したときは

- ⇒**次**ページをご覧ください。

◇**おしらせ**◇

- 「設定」－「（機能切換）」の「IrSS 自動切換」（⇒**次**ページ）を「しない」に設定しているときは、手順 **1** の前に入力切換ボタンを繰り返し押して「IrSS」を選び IrSS™ モードのスタンバイ画面が表示されるまでお待ちください。
  工場出荷時は「設定」－「（機能切換）」の「IrSS 自動切換」が「する」になっています。

受信に失敗したときは

- 受信に失敗したときは、画面にエラーメッセージが表示されます。(IrSS™ に関するエラーメッセージ⇒ **305** ページ)

次のような場合は、赤外線受信に失敗します。

- 通信規格が IrSS™ の規格以外の場合 (高速赤外線あるいは IrSS™ と表記されていない携帯電話や PC の赤外線通信など)
- 距離が遠すぎるなど、受信データをとりこぼした場合
- 受信が途切れた場合
- 本機が対応している仕様以外のデータの場合
- 写真データが大きすぎる場合
- 写真データが壊れている場合
- 通信中に直射日光などの強い光が当たったり、リモコン操作による赤外線が当たったりした場合（一部のノート PC やゲーム機などでは赤外線を利用するものがあります。本機の IrSS™ も赤外線を使用するため、その影響により写真の受信に失敗する場合があります。そのようなときは、ノート PC やゲーム機本体や赤外線センサー部を本機と離して設置するか、ノート PC やゲーム機の使用を終えてから再度写真を送信してください。)

IrSS™ モードに自動で切り換わらないようにするには（IrSS 自動切換）

- 工場出荷時の設定では、他の機器に対して IrSS™ 送信する場合、高速赤外線の届く範囲に本機が設置されていると本機の入力が IrSS™ モードに切り換わることがあります。IrSS™ モードに自動で切り換わらないようにするには、次の手順で「IrSS 自動切換」を「しない」に設定してください。

1 **IrSS™モードの場合は入力切換ボタンを押して「テレビ」を選ぶ**

2 **ホーム(メニュー)ボタンを押してホームメニューを表示する**

3 **カーソルボタンで「設定」–「(機能切換)」–「IrSS自動切換」を選び、決定する**

4 **左右カーソルボタンで「しない」を選び、決定する**

- 終了する場合は、終了ボタンを押します。

- 上記の設定をしたあと IrSS™ モードに切り換えるには、入力切換ボタンを繰り返し押して「IrSS」を選んでください。

写真表示中の操作について

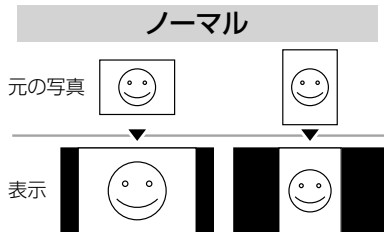
- 本機のリモコンで、受信した静止画を回転するなどの操作ができます。
- 画面の下部に、操作方法を示すガイダンス（操作案内）が表示されます。ガイダンスの表示に従って、ボタンを押して操作してください。

- ガイダンス（操作案内）の表示・非表示を切り換えます。
- ガイダンスを非表示にした場合、続けて受信・表示される写真データにもガイダンスは表示されません。

［例］ガイダンス（操作案内）

赤

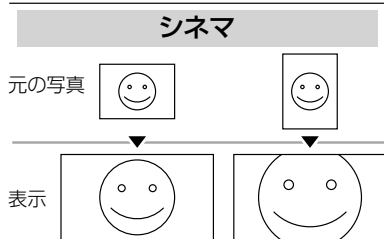
- 「表示モード切換」メニューが表示されます。
- 何回か押して表示モードを選びます。
- 上下カーソルボタンでも選べます。
- 選べる表示モードは下のとおりです。
- 写真の縦横比が 16:9 の横画像では、表示モード切換しても、表示が見かけ上変わらない場合があります。

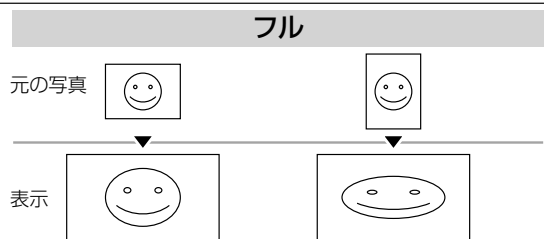
ノーマル

- 縦横比を変えずに画面内に最大で収めます。

Dot by Dot

元の写真の縦横いずれかの画素サイズが本機の解像度（1920×1080画素）より大きい（はみ出す）場合は「Dot by Dot」メニューは表示しません。また回転すると画面からはみ出す場合は回転できません。

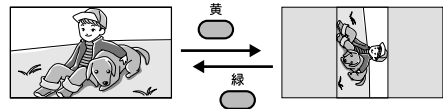
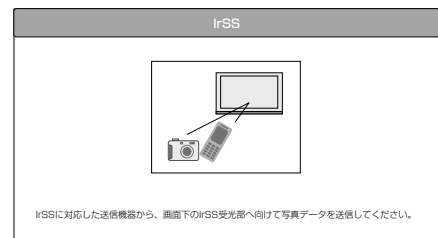
- 画素の数や縦横比を変えずに元のまま表示します。

シネマ

- 縦横比を変えずに、黒帯を無くすように画面内に最大で収めます。
- 拡大により、写真の一部がはみ出す場合があります。

フル

- 縦横比と写真の画素サイズを無視して、画面内いっぱいに表示します。

- 写真を右に 90 度回転します。

- 写真を左に 90 度回転します。
- 画像を回転させていても、続けて受信されるデータは回転しない状態（正位置）で表示されます。

戻る

- 表示している画像を消して、受信スタンバイ（待機）画面を表示します。

表示した写真を印刷する

- 表示した写真は、ホームネットワークの対応プリンタで印刷することができます。

◇**おしらせ**◇

- 対応プリンタにはホームネットワーク接続するための設定が必要です。詳しくはプリンタの取扱説明書またはサポートホームページなどをご覧ください。
- 本機対応プリンタの動作確認機種の最新情報については、SHARP web ページ内の AQUOS サポートステーションをご覧ください。

> **AQUOS サポートステーション**
> http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

- 印刷に使うプリンタを指定する場合や印刷に使うプリンタを変更する場合は、印刷設定画面で「プリンタ選択」を選んで決定します。プリンタ選択画面で、プリンタを選んで決定します。

対応プリンタ名が表示されないときは

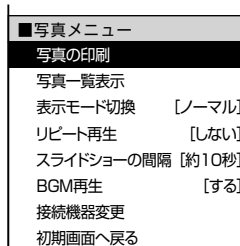
- 対応プリンタの電源が入っているか、対応プリンタにIP アドレスが設定されているかを確認してください。

◆ 印刷設定画面を表示する

1

ホームネットワークで写真を表示した場合

赤 を押す
で選び 決定 を押す

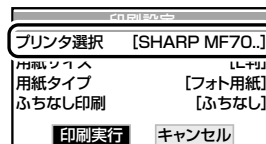
写真メニューを表示し、「写真の印刷」を選ぶ

- 印刷設定メニューが表示されます。手順 **2** へ進んでください。

IrSS™ で静止画を受信して表示した場合

決定 を押す

印刷設定メニューを表示する

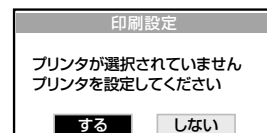
2

プリンタ名を確認する

- ホームネットワークに接続された対応プリンタ名が表示されていれば印刷することができます。
- 用紙の設定をするときは、次のページへ進みます。
- 印刷をするときは「印刷実行」を選びます。

プリンタが選択されていない場合は

- 「プリンタを設定してください。」と表示されます。「する」を選んで決定すると、プリンタ選択メニューが表示されます。

▼

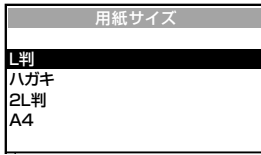
プリンタ選択
SHARP UX-MF70CL
SHARP UX-MF70CW
SHARP UX-MF80CL
SHARP UX-MF80CW

- 使用するプリンタを選んで決定すると、印刷設定画面に戻ります。

◆ 用紙の設定をする

3 「用紙サイズ」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 用紙サイズ画面が表示されます。

用紙サイズ
L判
ハガキ
2L判
A4

- 「L 判」「ハガキ」「2L 判」「A4」の中で、プリンタが対応しているものの中から選んで決定します。

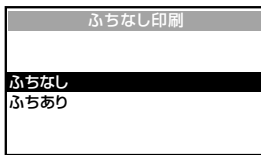
4 「用紙タイプ」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 用紙タイプ画面が表示されます。

- 「普通紙」「コート紙」「フォト用紙」の中で、プリンタが対応しているものの中から選んで決定します。

5 「ふちなし印刷」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- ふちなし印刷画面が表示されます。

- 「ふちなし」「ふちあり」のどちらかを選んで決定します。
- ふちなし印刷が不可能な場合は、「ふちなし」は選べません。

◇おしらせ◇

- 用紙タイプ、用紙サイズはプリンタにより呼び方が本機と異なる場合があります。
  「普通紙」はコピー用紙などに相当します。
  「コート紙」はつや消しのある写真用用紙に相当します。
  「フォト用紙」は写真印画紙のような光沢のある写真用用紙に相当します。
- プリンタにセットされた用紙と、印刷設定画面での用紙設定が一致していないと用紙の一部にのみ印刷されたり、写真の一部のみ印刷される場合があります。

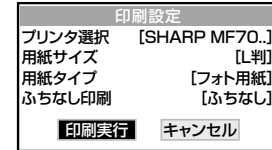
◆ 印刷する

6 「印刷実行」を選ぶ

で選び 決定 を押す

印刷設定

プリンタ選択	[SHARP MF70..]
用紙サイズ	[L判]
用紙タイプ	[フォト用紙]
ふちなし印刷	[ふちなし]

印刷実行　キャンセル

- 「この写真の印刷を受け付けました」という表示が出て、印刷が実行されます。
- 印刷中に選局や入力切換をすると印刷が完了しないことがありますので、「この写真の印刷を受け付けました」の表示が消えるまでお待ちください。

◇おしらせ◇

- 印刷に失敗したときは、画面にエラーメッセージが表示されます。（ホームネットワーク利用時に関するエラーメッセージ⇒ **306 ～ 307** ページ）

USB メモリーの写真や音楽を楽しむ

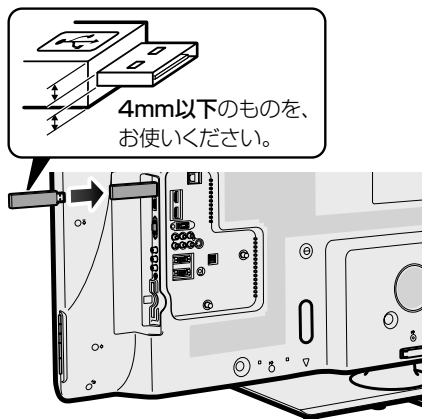
- USB メモリーに保存された写真や音楽を楽しむことができます。

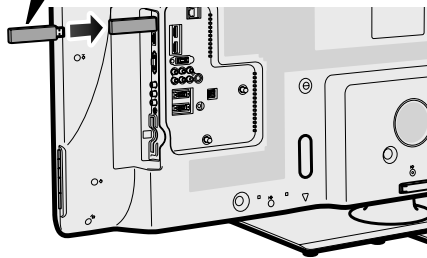
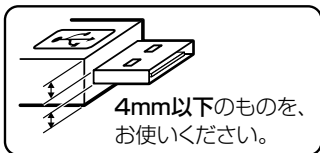
◇おしらせ◇
- USB メモリー機器によっては、記録されたデータを本機で認識できないことがあります。
- 80 文字を超えるファイル名は表示されないことがあります。
- ファイル転送中、スライドショー中、画面切り換え中、または入力切換メニューの「USB」を終了する前に、USB メモリーやメモリーカードを本機から取り外さないでください。
- USB メモリーの抜き差しを繰り返さないでください。
- カードリーダーを使う場合は、必ず先にメモリーカードをカードリーダーに挿入し、その後カードリーダーを本機に接続してください。
- USB メモリーを本機の USB メモリー端子に接続する場合、USB 延長ケーブルは使わないでください。USB 延長ケーブルを使うと、本機が正しく機能しないことがあります。
- USB メモリーは、本体の電源を切ってから取り外してください。

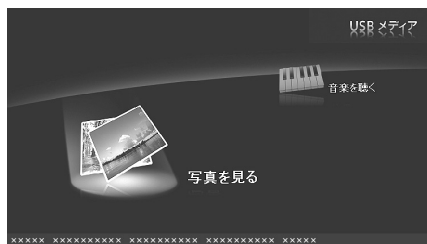
USB メモリーの互換性

USB メモリー機器	USB メモリー、USB カードリーダー（マスストレージクラス）
ファイルシステム	FAT、FAT32
写真ファイル形式	JPEG(.jpg)(DCF2.0 準拠)
音楽ファイル形式	MP3(.mp3) ビットレート： 32k ～ 320kbps サンプリング周波数： 32k, 44.1k, 48kHz

◇おしらせ◇
- プログレッシブ形式の jpeg ファイルはサポートされていません。
- USB1.1 の装置に入っている音楽ファイルは、正しく再生されないことがあります。
- USB ハブを使って接続した場合、操作は保証されません。
- 「選局効果」（⇒ **39** ページ）が「する」に設定されている場合、USB メディア画面から「写真を見る」「音楽を聴く」を選択したとき、USB メディア画面に戻るときに動きの効果が付きます。
- 録画予約実行中は、USB 機能は利用できません。
- USB 機能を利用中は、画面サイズの切り換えができません。

USB メモリーの寸法制限について

写真や音楽を楽しむ

1 写真や音楽が記録されたUSBメモリーを、本機のUSBメモリー端子に接続する

- USB メディア画面が表示されます。

USB メディア画面の例

2 USBメディア画面が表示されないときは、入力切換メニューを表示して、「USB」を選ぶ

入力切換 を押す

- 上下カーソルボタンでも選べます。
- 本機に USB メモリーをつないだ場合は、手順 **4** に進みます。
- カードリーダーなどを使って複数のメモリーカードをつないでいる場合は、使用するメモリーカードを選ぶ必要があります。手順 **3** に進みます。

3 再生したいデータが入っているメモリーカードを選ぶ

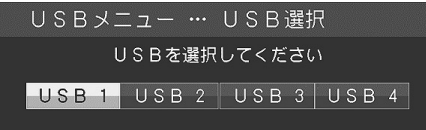
赤 を押す

で選び 決定 を押す

- 最大 16 個の USB が表示されます。
- 本機の電源を「切」にしたあとでもう一度電源を「入」にしたとき、カードリーダーに割り当てられた各メモリーカードのスロットの番号が変わることがあります。

ＵＳＢメニュー … ＵＳＢ選択

ＵＳＢを選択してください

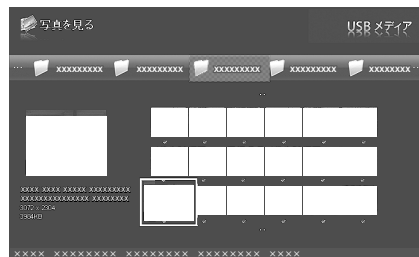
ＵＳＢ１ ＵＳＢ２ ＵＳＢ３ ＵＳＢ４

4 「写真を見る」または「音楽を聴く」を選ぶ

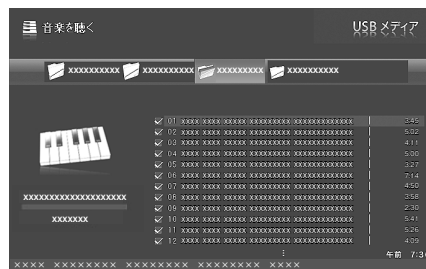
で選び 決定 を押す

5 再生したいデータが入っているフォルダを選ぶ

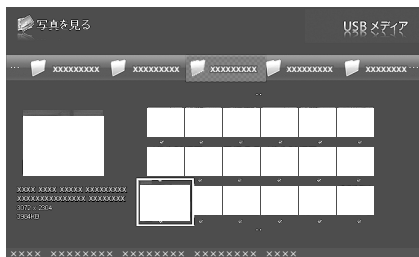
で選び 決定 を押す

6 再生したい写真や音楽を選ぶ

で選び 決定 を押す

写真一覧画面の例

音楽一覧画面の例

- 写真表示中の操作⇒ **232** ページ
- 音楽再生中の操作⇒ **235** ページ

写真表示中の操作について

写真一覧画面の例

サムネイル表示中の操作

ボタン	説明
決定	• 選んだ写真を表示します。
決定（上下左右）	• 写真や、希望の項目を選びます。
戻る	• 一つ前の手順に戻ります。
青	• スライドショーを開始します。
赤	• USB メニュー画面を表示します。
緑	• スライドショー再生時に再生する BGM 一覧画面を表示します。
黄	• スライドショー再生を行う画像の選択／選択解除を行います。現在選択されている画像に対してのみ有効です。

◇**おしらせ**◇

- 無効な写真ファイルがあると、そのファイルに対して×マークが表示されます。
- 画面の左下に、ファイル名、撮影データ※、ピクセルサイズ、ファイルサイズが表示されます。

※EXIF ファイル形式の写真のみ、撮影データを表示できます。

スライドショー表示中の操作

- サムネイル選択画面に表示される写真は、スライドショーとして表示されます。

ボタン	説明
戻る	• サムネイル選択画面に戻ります。
青	• ガイダンスの表示／非表示を切り換えます。
赤	• USB メニュー画面を表示します。

◇**おしらせ**◇

- スライドショー表示中は、選択された BGM が繰り返し再生されます。
- スライドショーは、戻るを押すまで続きます。

個別の写真を表示中の操作

- サムネイル選択画面で選ばれた写真が表示されます。

ボタン	説明
決定（上下左右）	• 同じフォルダ内の前の写真に戻ったり、次の写真に進んだりします。
戻る	• サムネイル選択画面に戻ります。
青	• ガイダンスの表示／非表示を切り換えます。
緑	• 写真を左に 90°回転します。
黄	• 写真を右に 90°回転します。

◇**おしらせ**◇

- 写真の回転は一時的に選択された項目に対して適用されるだけであり、設定内容は保存されません。

スライドショーの間隔を選ぶ

- スライドショーの速度は、USB メニュー画面から「スライドショー間隔」を選んで設定します。

1 サムネイル表示中に､USB メニュー画面を表示する

赤 を押す

2 「スライドショー間隔」を選ぶ

で選び 決定 を押す

USBメニュー	
スライドショー間隔	[約10秒]
スライドショー効果	[しない]
スライドショーBGM選択へ	
スライドショー全選択	
スライドショー全解除	
で選択 決定 で決定	赤 :終了

3 「約5秒」「約10秒」「約30秒」「約60秒」のいずれかを選ぶ

で選び 決定 を押す

◇**おしらせ**◇
- 写真によってはスライドショーの間隔が設定時間どおりにならない場合があります。

スライドショーの効果を選ぶ

- スライドショー表示中、画面が切り換わるときに動きの効果がつくよう設定できます。

1 サムネイル表示中に､USB メニュー画面を表示する

赤 を押す

2 「スライドショー効果」を選ぶ

で選び 決定 を押す

USBメニュー	
スライドショー間隔	[約10秒]
スライドショー効果	[しない]
スライドショーBGM選択へ	
スライドショー全選択	
スライドショー全解除	
で選択 決定 で決定	赤 :終了

3 「しない」「フェード」「ブラインド」「チェッカー」「ワイプ」のいずれかを選ぶ

で選び 決定 を押す

フォルダ内のすべてのスライドショー画像を設定／リセットする

- 表示される画像を設定またはリセットします。

1 サムネイル表示中に､USB メニュー画面を表示する

赤 を押す

2 「スライドショー全選択」または「スライドショー全解除」を選ぶ

で選び 決定 を押す

USBメニュー	
スライドショー間隔	[約10秒]
スライドショー効果	[しない]
スライドショーBGM選択へ	
スライドショー全選択	
スライドショー全解除	
で選択 決定 で決定	赤 :終了

- 「スライドショー全選択」を選ぶと、フォルダ内のすべての画像にチェックマークが付きます。
- 「スライドショー全解除」を選ぶと、フォルダ内のすべての画像からチェックマークが外れます。

3 スライドショーを開始する

青 を押す

次のページに続く

スライドショーの BGM を選ぶ

- スライドショー表示中に流れる音楽（BGM）を選べます。

1 サムネイル表示中に、USBメニュー画面を表示する

赤 を押す

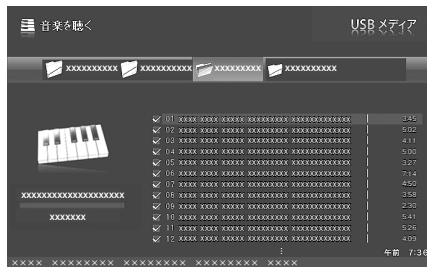
2「スライドショーBGM選択へ」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 音楽一覧画面が表示されます。
- 音楽一覧画面は、サムネイル選択画面で 緑 を押して表示することもできます。

3 音楽（BGM）を選ぶ

で選び 黄 を押す

- 選択された音楽にチェックマークが付きます。

ボタン	説明
決定（上下左右）	• 音楽を選びます。
戻る	• 一つ前の手順に戻ります。
青	• 音楽の再生を停止します。
赤	• USB メニュー画面を表示します。
緑	• 音楽を再生／一時停止します。
黄	• スライドショーの BGM にする音楽の選択／選択解除を行います。現在選択されている音楽に対してのみ有効です。

4 フォルダを選ぶ画面に戻る

戻る を押す

5 サムネイル画面に戻る

戻る を押す

6 サムネイル選択画面でスライドショーを開始する

青 を押す

- スライドショーのあいだ、BGM が流れます。

◇おしらせ◇

- 初期設定では、すべての音楽ファイルが選ばれています。

フォルダ内のすべての音楽をスライドショーの BGM に設定／解除する

1 サムネイル表示中に、USBメニュー画面を表示する

赤 を押す

2「スライドショーBGM選択へ」を選ぶ

で選び

決定 を押す

- 音楽一覧画面が表示されます。
- 音楽一覧画面は、サムネイル選択画面で 緑 を押して表示することもできます。

3 BGMにしたい音楽が入っているフォルダを選ぶ

で選び 決定 を押す

4 任意の音楽を選んでいる状態で赤ボタンを押す

赤を押す

5 「BGM全選択」または「BGM全解除」を選ぶ

で選び 決定を押す

音楽再生中の操作について

音楽一覧画面の例

ボタン	説明
決定	• 選んだ音楽を再生します。
方向ボタン	• 音楽を選びます。
戻る	• 一つ前の手順に戻ります。
青	• 音楽の再生を停止します。
赤	• USB メニュー画面を表示します。
緑	• 音楽を再生／一時停止します。
黄	• 自動再生をする音楽の選択／選択解除を行います。現在選択されている音楽に対してのみ有効です。チェックマークが付いていない音楽は、自動再生中にスキップされます。

◇**おしらせ**◇

- 無効な音楽ファイルがあると、そのファイルに対して×マークが表示されます。
- 可変ビットレートのファイルでは、表示される再生時間が実際の再生時間と異なることがあります。また、プログレスバーの表示が途中でも、再生が終わることがあります。

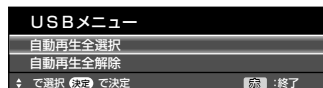
フォルダ内の音楽の自動再生を設定／解除する

- 音楽の自動再生を設定または解除します。

1 音楽一覧表示中に、USBメニュー画面を表示する

赤を押す

2 「自動再生全選択」または「自動再生全解除」を選ぶ

で選び 決定を押す

- 「自動再生全選択」を選ぶと、フォルダ内のすべての音楽ファイルにチェックマークが付きます。
- 「自動再生全解除」を選ぶと、フォルダ内のすべての音楽ファイルからチェックマークが外れます。

3 音楽を再生する

緑を押す

テレビの設置・接続・受信設定の進めかた

基本的な準備のながれ

・本機の設置・接続・受信設定などの基本的な進めかたのながれです。

1 本機を設置する場所を決める

⇒238ページ

・LC-52LX3、LC-46LX3、LC-40LX3 の場合は、付属品のスタンドを取り付けます。(⇒ **239** ページ)
・本機を仮置きします。

2 本機にB-CAS(ビーキャス)カードを入れる

⇒242ページ

3 アンテナをつなぐ

⇒244~247ページ

・壁のアンテナ端子のかたちが異なる場合は、「壁のアンテナ端子のかたちが異なる場合」(⇒**下記**)をご覧ください。

4 他の機器をつなぐ

・「他の機器をつなぐ場合は」(⇒**次**ページ)をご覧ください。

5 電源コードをつなぐ

⇒260ページ

6 本機を設置する

・本機を設置し、転倒の防止をします。(⇒ **262** ~ **263** ページ)
・壁に掛けて設置できます。(⇒ **336** ~ **343** ページ)

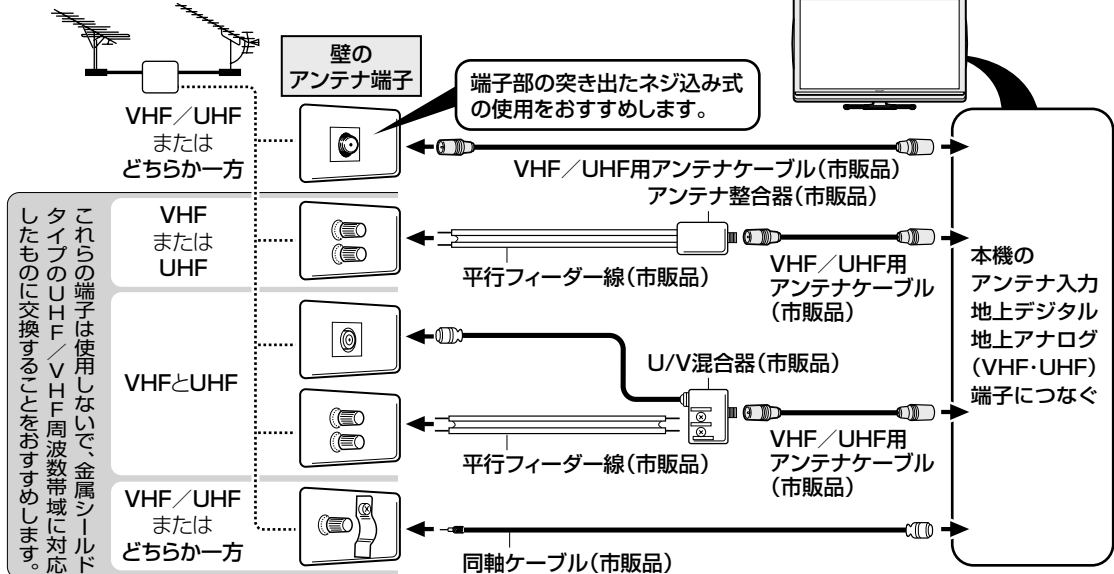
7 かんたん初期設定をする

⇒264~267ページ

・画面の指示に従って設定を進めます。
・受信の設定は、個別に行えます。(⇒ **269** ~ **285** ページ)

・操作に困ったときは、⇒ **290** ~ **312** ページをご覧ください。

壁のアンテナ端子のかたちが異なる場合

・壁のアンテナ端子のかたちが **244** ページの記載と異なる場合は、市販品のケーブルなどを使って、以下のように接続します。

他の機器をつなぐ場合は

- 本機に他の機器をつなぐ場合は、以下をご覧ください。

ファミリンク対応機器をつなぐ

⇒248〜249ページ

- ファミリンク機能を搭載しているAQUOSレコーダー・プレーヤー・オーディオなどのつなぎかたです。

本機とAQUOSレコーダーをつなぐ場合
- ⇒ **248** ページ

AQUOSオーディオを同時につなぐ場合
- ⇒ **249** ページ

レコーダーやプレーヤーをつなぐ

⇒250〜255ページ

- ファミリンク対応機器以外のレコーダーやプレーヤーなどのつなぎかたです。

よりきれいな映像で楽しむためには
- ⇒ **250** ページ

HDMI出力端子が付いた機器の場合
- ⇒ **252** ページ

D映像出力端子が付いた機器の場合
- ⇒ **253** ページ

S映像または映像出力端子が付いた機器の場合（再生するときの接続）
- ⇒ **254** ページ

映像入力端子が付いた機器の場合（録画するときの接続）
- ⇒ **255** ページ

ゲーム機をつなぐ

⇒256ページ

オーディオをつなぐ

⇒257ページ

デジタル音声（光）端子が付いたオーディオ機器の場合
- ⇒ **257** ページ

アナログ音声端子が付いたオーディオ機器の場合
- ⇒ **257** ページ

パソコンをつなぐ

⇒258〜259ページ

本機をHDMI出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（デジタル接続）
- ⇒ **258** ページ

本機をDVI出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（デジタル接続）
- ⇒ **258** ページ

本機をアナログRGB出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（アナログ接続）
- ⇒ **259** ページ

パソコンで本機を操作する場合（RS-232C通信）
- ⇒ **259** ページ

USBハードディスクをつなぐ

⇒135ページ

- 市販のUSBハードディスクを本機につなぐと、本機の内蔵チューナーを利用して番組を録画できるようになります。

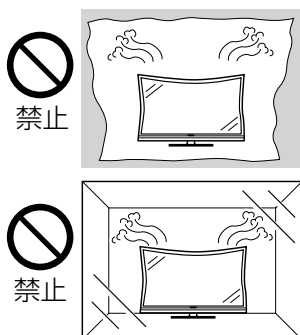
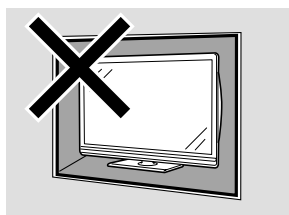
ネットワークにつなぐ

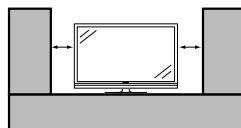
⇒168〜175ページ

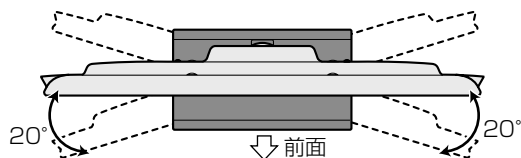
- インターネット（ブロードバンド）やLAN（家の中のネットワーク）のつなぎかたです。
- LANのつなぎかたには、有線方式と無線方式があります。
- IPTVの番組を見る場合には、インターネットへの接続が必要です。

本機を設置する

本機を置く場所を決める

- 本機は付属のスタンドを取り付けて設置します。（LC-60LX3 のスタンドは、出荷時に取り付け済みです。）
- 別売の壁掛け金具などを使って設置することもできます。（別売品について⇒**次**ページ）
- 以下のような設置のしかたをしないでください。
  - 風通しの悪いところに入れない
  - 密閉した箱に入れない
  - じゅうたんや布団の上に置かない
  - 布などをかけない
  - 極端に温度が高い場所や低い場所には設置しない（使用温度 0℃～ 40℃）
  - 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない。

- 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。壁に埋め込む設置や枠で囲むなどの設置はしないでください。

設置の際には以下の点をお守りください。

- 傾斜のない、平らな安定した場所に設置してください。すべりやすい面、カーペットなどの柔らかい面、不安定な場所を避けて設置してください。
- 持ち上げたり、運んだりする場合は、液晶パネルやスピーカーを持たないでください。
- 左右それぞれ 10cm 以上のスペースを空けてください。

- 左右のスペースが少ないとスピーカーからの音が聞こえにくくなる場合があります。また、設置している周囲の環境によっては、音声の聞こえ方が変化する場合があります。このような場合は、ホームメニューの「設定」－「（視聴準備）」－「視聴環境設定」－「視聴環境設定（音声）」や「設定」－「（音声調整）」で調整してください。
- 台の上に設置する場合は、本機の重量に耐えうる、十分な幅と奥行きのある、堅固で転倒しにくい台をお使いください。
- 転倒防止策を実施してください。（⇒ **262** ～ **263** ページ）
- キャスター付きのテレビ台をご使用の場合、移動するとき以外は必ずキャスター用受皿を使用してテレビ台を固定してください。

角度調整のしかた

スタンド下部（図の濃い色の部分）を片方の手でしっかりと押さえ、手をはさまないように注意しながら本体を回転させます。左右各 20°の範囲内で調整できます。

スタンドを取り付ける

電動ドライバーを使う場合、締め付けトルクは約 2.0N･m(20kgf･cm)に設定してください。

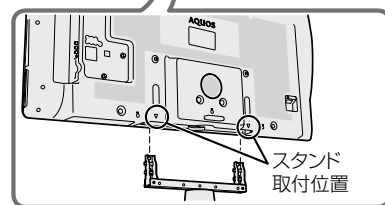
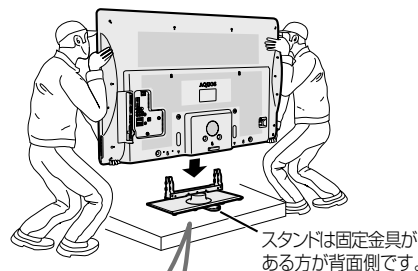
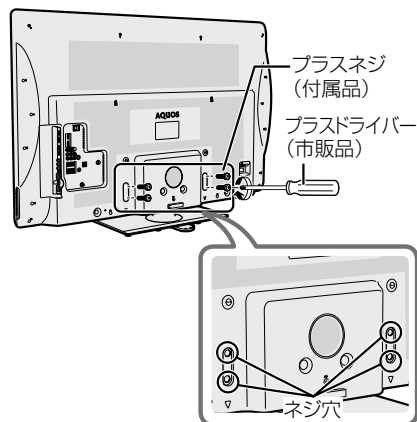
- LC-60LX3 のスタンドは、出荷時に取り付け済みです。
- スタンドのガラス外周部には、保護用のカバーが付いています。

◆ 重 要 ◆
- 必ず 2 人以上で、スタンドの取り付けを行ってください。

◇**おしらせ**◇
- 本機を設置する際は壁や柱またはテレビを設置する台に固定して転倒を防いでください。(⇒ **262** ～ **263** ページ)

スタンドの前後について

1 スタンドを立て､本機底面のスタンド取付位置を確かめてまっすぐゆっくりおろす

- 本体を持ち上げる際は、液晶パネルを持たないでください。片手で底面を持ち、もう一方の手で上部をささえて、本体に傷がつかないようにしてください。

2 プラスネジ(4本)で､本機とスタンドを固定する

- 固定後はぐらつきやゆるみなどがないか、確実にネジが締まっているか、確かめてください。

別売品について

- 液晶カラーテレビ専用の別売品をとりそろえております。お近くの販売店でお買い求めください。
- 本機に適合する別売品が新たに追加発売されることがあります。また、新たに適合となる別売品もあります。ご購入の際には、最新のカタログで適合性をご確認いただき、販売店にご相談の上、お買い求めください。 (2010 年 6 月現在)

No.	品 名	形 名	対応機種
1	**壁掛け金具**	**AN-52AG6**	LC-60LX3 LC-52LX3 LC-46LX3
2	**壁掛け金具**	**AN-37AG4**	LC-40LX3
3	**壁よせスタンド**	**AN-WS50**	LC-52LX3 LC-46LX3 LC-40LX3
4	**システムラック**	**AN-65SR3**	LC-60LX3 LC-52LX3 LC-46LX3 LC-40LX3

- 壁に掛けて設置する場合は **340** ～ **343** ページをご覧ください。この場合、付属のスタンドを取り付ける必要はありません。

受信できる放送の種類について

VHF アンテナ
地上アナログ放送のみ受信できます。
地上デジタル放送は、受信できません。

UHF アンテナ
地上デジタル放送と、UHF 帯の地上アナログ放送を受信できます。

地上アナログ放送

- 従来の放送です。

特長

- 地上アナログ放送は 2011 年 7 月に、BS アナログ放送は 2011 年までに終了することが、国の方針として決定されています。

受信に必要なアンテナ

- VHF 対応のアンテナや UHF 対応のアンテナが必要です。

地上デジタル放送

- 2003 年 12 月から東京・大阪・名古屋の 3 大都市圏の一部地域で開始され、2006 年 12 月に全国の都道府県庁所在地で開始された放送です。

特長

- 迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質
- 高音質とマルチチャンネルのサラウンド放送
- 天気予報やニュースなどの、番組に連動したデータ放送
- 視聴者参加型の双方向通信番組

受信に必要なアンテナ

- UHF 対応のアンテナが必要です。お使いのアンテナが UHF 対応であればそのまま使えます（取り替えや調整が必要になることもあります）。**VHF アンテナでは受信できません。**

地上デジタル放送の CATV 放送対応について

- 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は「パススルー方式」(UHF 帯、ミッドバンド [MID] 帯、スーパーハイバンド［SHB］帯、VHF 帯）です。トランスモジュレーション方式の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。

◆ 重 要 ◆

- データ放送の双方向通信などで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

デジタル放送のその他の特長

B-CAS カード

- **デジタル放送を受信するには、B-CAS カードが必要です。本機に B-CAS カードを入れてください。**（⇒ **242** ページ）

臨時放送（臨時編成サービス）

- スポーツ中継の延長などで、臨時に行うマルチチャンネル放送です。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。

イベントリレーサービス

- スポーツ中継の延長時などに、別チャンネルで続きを放送するサービスです。案内画面が表示されるので、決定ボタンで切り換えます。延長された番組を録画予約していた場合、自動的に追従します。
  ※ ファミリンク録画予約（⇒ **106** ～ **107** ページ）の場合、お使いの AQUOS レコーダーによっては追従されません。

マルチビューサービス

- 一つの番組の中で、カメラアングルを変えて最大 3 つの映像が放送されるサービスです。リモコンの映像切換ボタンで切り換えます。

緊急警報放送

- 地震などの際の緊急警報放送です。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。

ご案内チャンネルの表示

- 非契約の有料放送事業者の放送番組を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内に加え、代替番組の視聴案内が表示されます。

ブックマーク

- コンテンツ画面にブックマーク※アイコンが表示されているときは、その情報（ブックマーク記録コンテンツ）を登録しておき、後でブックマークを一覧表示・選択して、関連チャンネルを呼び出すことができます。
  ※「ブックマーク」とは、しおりのことです。画面によっては、特定のページを表示するための絵文字（ブックマークアイコン）が表示されます。インターネットのブックマークとは異なります。

◇おしらせ◇

- ARIB 放送規格の変更により、本機のホームメニューなどの仕様が変わる場合があります。
- ARIB（Association of Radio Industries and Businesses）とは、通信・放送分野の電波利用システムの標準化や、電波利用に関する調査、研究などを行う社団法人の名称です。

- BSデジタル放送
- 110度CSデジタル放送

BS・110 度 CS 共用アンテナ
BS デジタル放送も 110 度 CS デジタル放送も、このアンテナで受信できます。
(他の衛星放送は、衛星の向きが違うため受信できません。)

BS デジタル放送

- 放送衛星（Broadcasting Satellite）を使ったデジタル放送です。
- 地デジ難視対策衛星放送（BS291ch 〜 BS298ch）は一般の方は視聴できない放送のため、非視聴に設定されています。この放送を視聴される場合は、スキップ設定を「両方しない」に設定してください。（スキップ設定⇒ **275** ページ）
- 有料放送を視聴するときは、受信契約する必要があります。

特長

- 迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質
- 視聴者参加型の双方向通信番組
- 2 種類のデータ放送（独立データ放送・番組に連動したデータ放送）

受信に必要なアンテナ

- BS・110 度 CS デジタル放送共用のアンテナ（市販品）が必要です。

110 度 CS デジタル放送

- BS デジタル放送用人工衛星と同じ東経 110 度にある通信衛星（Communication Satellite）を使ったデジタル放送です。おもなサービスに「スカパー！ e2」があります。110 度 CS デジタル放送は一部を除き有料です。受信するには、見たいチャンネルを視聴契約する必要があります。

特長

- テーマ別に専門化した多数のチャンネル
- 画面をブックマーク登録し、簡単に再表示可能
- ボード（掲示板）機能でサービス情報の案内を閲覧可能

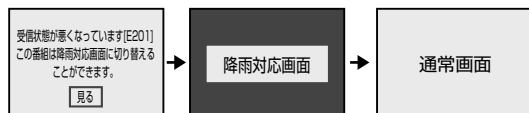
受信に必要なアンテナ

- BS・110 度 CS デジタル放送共用のアンテナ（市販品）が必要です。
- **従来の CS アンテナや BS アナログ用アンテナでは受信できません。また、ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110 度 CS 帯域（2150MHz）まで対応したものに交換する必要があります。**

BS デジタル放送のみの専用サービス

降雨対応放送

- 降雨・降雪による電波減衰時に画質や音質を落とした信号を放送するサービスです。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。リモコンの映像切換ボタンで元の映像に戻れます。

（画面例）

110 度 CS デジタル放送のみの専用サービス

ボード（掲示板）

- プラットホーム（スカパー！ e2）単位で、いろいろなサービス情報の案内がボード（掲示板）に表示されます。ホームメニューからボード画面を呼び出し、サービス情報を見ることができます。（⇒ **319** ページ）

（画面例）

B-CAS（ビーキャス）カードと有料放送の受信について

B-CAS カードを挿入する（B-CAS カードの役割について）

・デジタル放送（地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送）を楽しむために、**B-CAS（ビーキャス）カードを本機に必ず入れてください。** B-CAS カードを入れないと、デジタル放送が映りません。
・B-CAS カードには視聴情報などが記憶されます。
・B-CAS カードの取り扱いについて詳しくは、カードを貼ってある台紙の説明をご覧ください。

B-CAS カードの抜き差しについて

・B-CAS カードに関するメッセージが画面に表示されたとき以外は、カードを抜き差ししないでください。
・B-CAS カード挿入口には、本機に付属している B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
・万一、B-CAS カードを抜く場合は、本体の電源スイッチで電源を切り、電源コンセントを抜いた状態で、B-CAS カードを持ち、ゆっくりと抜いてください。

B-CAS カードは大切に保管してください。

・仮に他人があなたの B-CAS カードを使用して有料放送を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。

B-CAS カードの取り扱いについて

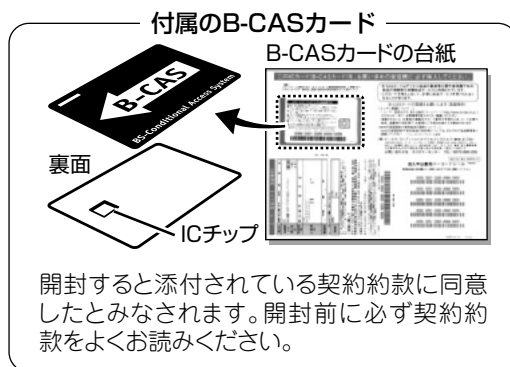
・折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしない
・重いものを載せたり、踏みつけたりしない
・IC チップには触れない
・分解、加工しない
・破損などにより B-CAS カードの再発行を依頼する場合は、費用が必要です。詳しくは、B-CASカスタマーセンターにご連絡ください。

B-CAS カードについてのお問い合わせ先

B-CAS カード　カスタマーセンター
電話　0570-000-250
（2010 年 6 月現在）

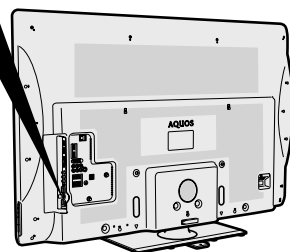
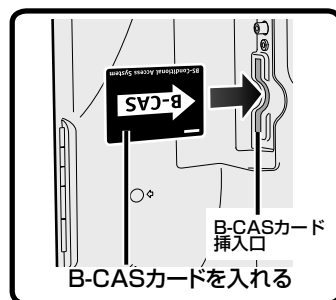
付属のB-CASカード

B-CASカードの台紙
裏面
ICチップ

開封すると添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

1 B-CASカードの台紙の内容を読む

・B-CAS カードは本体を覆っているシートに貼り付けられている B-CAS パンフレットの袋の中の台紙についています。

2 内容に同意の上でB-CASカードを台紙からはずす

3 B-CASカードを正しい向きで奥までしっかり差し込む

・すべての接続を終えて電源を入れた後、「システム動作テスト」（⇒ **313** ページ）を行うと、カード番号が表示され、B-CAS カードが正しく挿入されているか確認できます。

WOWOW や スカパー！e2 などの 有料放送を見るときは

- 有料放送を視聴するには、スカパー！ e2などの各プラットホーム（運営会社）や放送局との視聴契約が必要です。それぞれの契約申込書に必要事項を記入し、郵送するか、下記にお問い合わせください。

2010 年 6 月現在

有料BS・110度CSデジタル放送局

WOWOW

- **カスタマーセンター**
  電話番号：0120-580807
  受付　　：9：00 ～ 20：00（年中無休）
  ホームページ：http://www.wowow.co.jp/

スター・チャンネル

- **スター・チャンネル　カスタマーセンター**
  電話番号：0570-013-111
  PHS、IP 電話のお客様は 045-339-0399
  受付　　：10：00 ～ 18：00
  ホームページ：http://www.star-ch.jp/
- スター・チャンネル　ハイビジョンの加入申し込みは、下記のスカパー！e2　カスタマーセンターへお問い合わせください。

110度CSデジタル衛星サービス会社

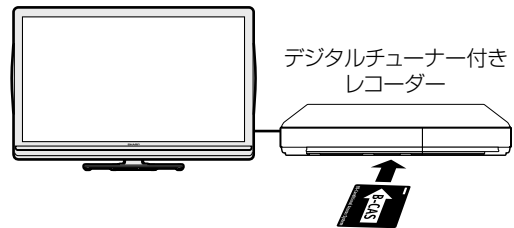
スカパー！e2　(CS1・CS2)

- **スカパー！e2　カスタマーセンター**
  電話番号：0570-08-1212
  PHS、IP 電話のお客様は 045-276-7777
  受付　　：10：00 ～ 20：00（年中無休）
  ホームページ：http://www.e2sptv.jp/

◇おしらせ◇

- 本機には、電話回線端子がありませんので、電話回線を使用した新規加入のお申し込みはできません。

デジタルチューナー付きレコーダーで有料放送の受信契約をしている場合について

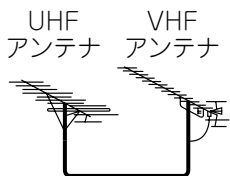
- お手持ちのデジタルチューナー付きレコーダーで有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録した B-CAS カードをレコーダーに挿入しておく必要があります。挿入していないと、有料放送が録画できません。

有料放送で登録したB-CASカードは、レコーダーに挿入します。

- レコーダーで受信している内容を本機で視聴したいときは、リモコンの入力切換ボタンでレコーダーが接続されている外部入力に切り換えてください。
- 有料放送を録画しながら別の有料放送を視聴したい場合は、複数の有料受信契約をする必要があります。

アンテナをつなぐ（テレビだけをつなぐ場合）

地上デジタル放送・地上アナログ放送用アンテナとつなぐ

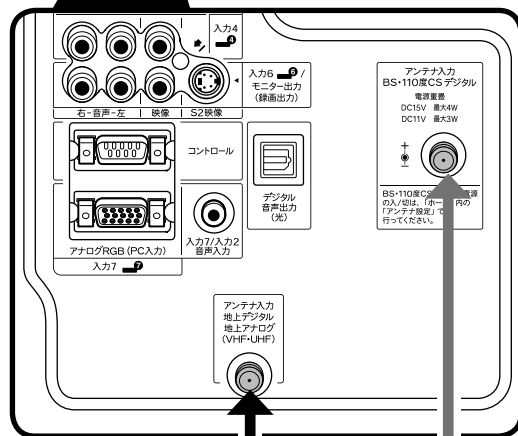
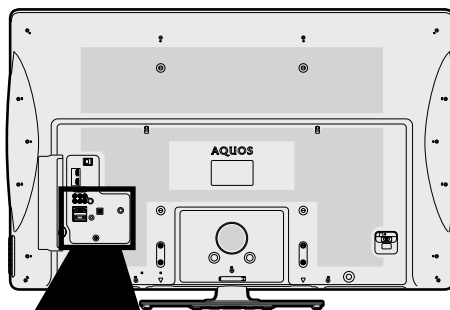
・地上デジタル放送と、地上アナログ放送（従来の放送）を見るための接続です。

地上デジタル放送の受信には、UHF対応のアンテナが必要です。
（一部取り替えや調整、ブースターの追加などが必要になることがあります。）

レコーダーもつなぐ場合は、⇒ **246** ～ **247** ページをご覧ください。

壁のアンテナ端子のかたちが異なる場合は、⇒ **236** ページをご覧ください。

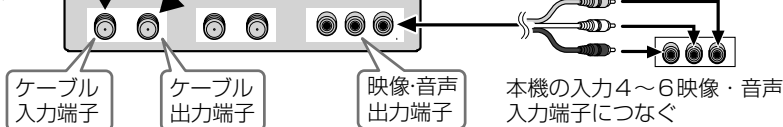
VHF ／ UHF 用
アンテナケーブル
（市販品）

▼本体背面

アンテナケーブルは、できるだけ太くて短いアンテナケーブルをお使いください。アンテナケーブルが長くなるほど受信した電波の強度が弱くなります。

ケーブルをつなぐときは、スパナなどの工具で強く締め付けないでください。

ケーブルテレビを見るときは

・接続については、CATV（ケーブルテレビ）会社にお問い合わせください。

VHF ／ UHF 用
アンテナケーブル
（市販品）

ケーブルテレビ専用受信機▶

ケーブル入力端子　ケーブル出力端子　映像·音声出力端子

本機の入力４～６映像・音声入力端子につなぐ

◇**おしらせ**◇

・**CATV（ケーブルテレビ）会社が地上デジタル放送をパススルー方式（⇒ 273 ページ）で再送信している場合は、地上デジタル放送が楽しめます。**
・本機で受信できるのは、「UHF 帯」、「VHF 帯」、「ミッドバンド（MID:C13 ～ C22）帯」、「スーパーハイバンド（SHB:C23 ～ C62）帯」です。トランスモジュレーション方式の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。

BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナとつなぐ

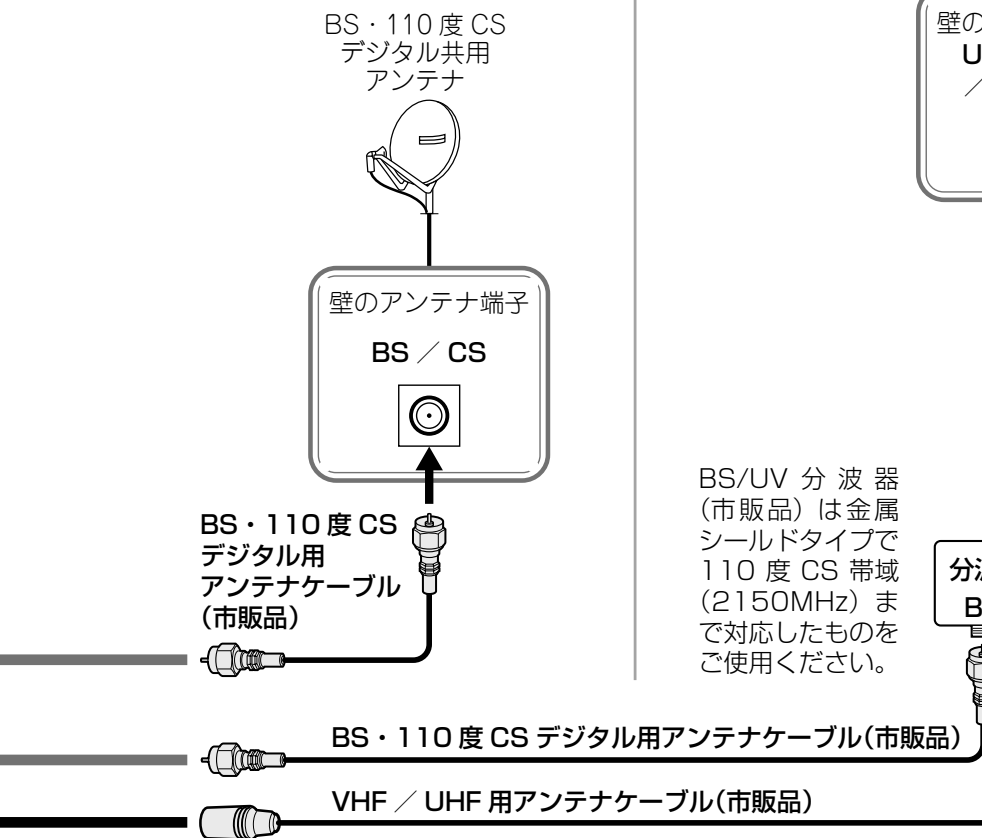
・ご使用の環境により、以下のどちらかの接続を行ってください。

個人でアンテナを設置しているとき

（BS・110 度 CS デジタルと UHF ／ VHF が別の端子のとき）

BS・110 度 CS
デジタル共用
アンテナ

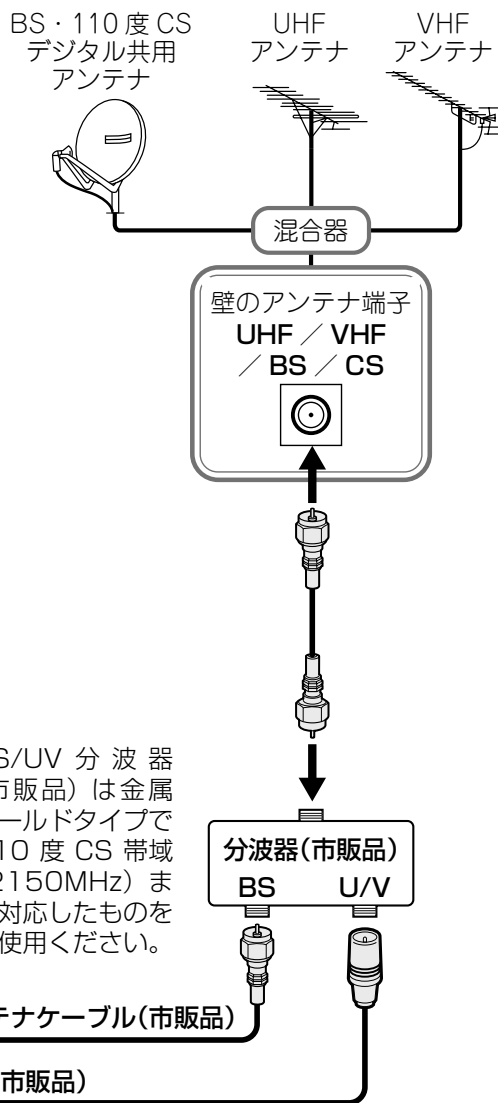
壁のアンテナ端子
BS ／ CS

BS・110 度 CS デジタル用アンテナケーブル（市販品）

マンションなどの共聴システムで受信しているとき

（BS・110 度 CS デジタルと UHF/VHF が混合されているとき）

BS/UV 分波器（市販品）は金属シールドタイプで 110 度 CS 帯域（2150MHz）まで対応したものをご使用ください。

BS・110 度 CS デジタル用アンテナケーブル（市販品）

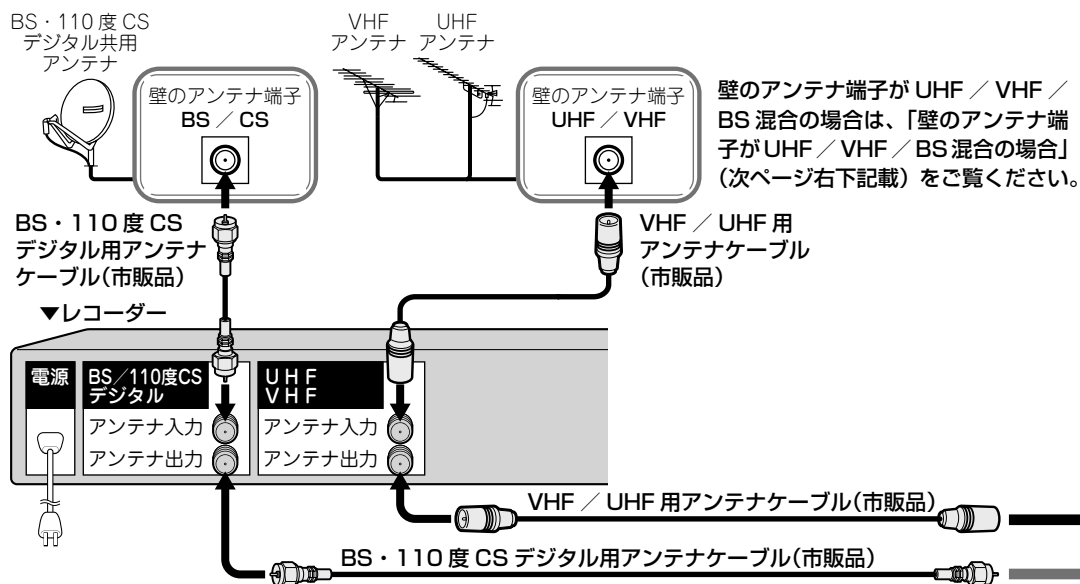
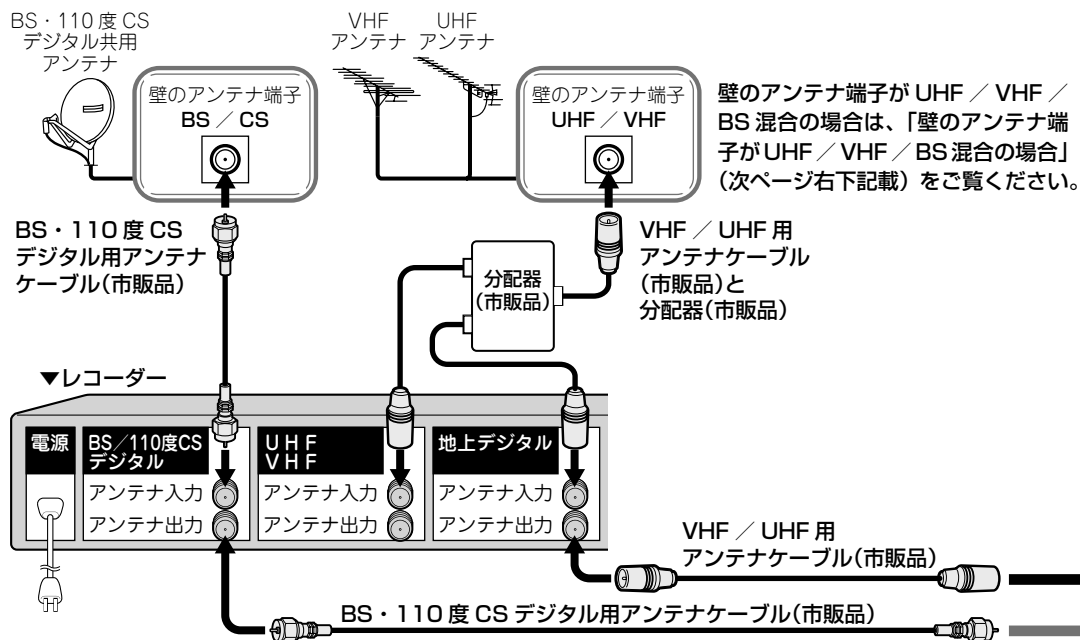
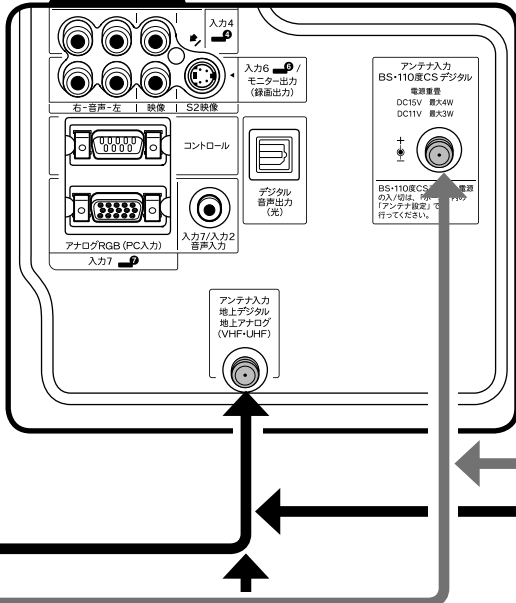
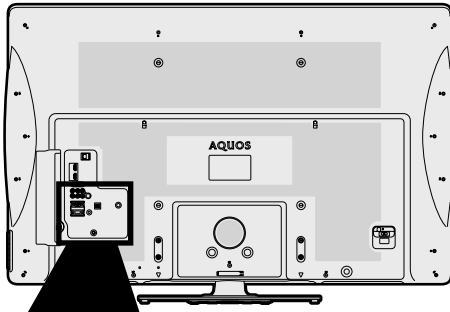
VHF ／ UHF 用アンテナケーブル（市販品）

◇**おしらせ**◇

・**接続をやり直すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**（⇒ **260** ページ）（BS・110 度 CS デジタルアンテナ入力端子は、BS・110 度 CS デジタルアンテナに取り付けられた BS・110 度 CS コンバーターに +15V ／ +11V の電源を供給する働きも持っています。この電源は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。本機とアンテナの間にブースターなどの機器を取り付けて使用される場合は、専用の電源が必要です。）
・市販のブースター、アンテナ線や分配器をご使用になる場合は、110 度 CS 帯域（2150MHz）まで対応しているものをご使用ください。（アンテナ線は S-5C-FB など。）詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。
・従来の BS アナログアンテナでは、110 度 CS デジタル放送は受信できません。また、BS デジタル放送も場合によっては映らないことがあります。

アンテナをつなぐ（レコーダーもつなぐ場合）

デジタルチューナー搭載のレコーダーの場合

地上デジタルと地上アナログの入力が同じ端子のレコーダーにつなぐとき

壁のアンテナ端子がUHF／VHF／BS混合の場合は、「壁のアンテナ端子がUHF／VHF／BS混合の場合」（次ページ右下記載）をご覧ください。

地上デジタルと地上アナログの入力が別々の端子のレコーダーにつなぐとき

壁のアンテナ端子がUHF／VHF／BS混合の場合は、「壁のアンテナ端子がUHF／VHF／BS混合の場合」（次ページ右下記載）をご覧ください。

入力4
入力6 / モニター出力（録画出力）
右-音声-左　映像　S2映像
コントロール
デジタル音声出力（光）
アナログRGB（PC入力）
入力7
入力7/入力2音声入力
アンテナ入力 BS・110度CSデジタル
電源重畳 DC15V 最大4W DC11V 最大3W
アンテナ入力 地上デジタル 地上アナログ（VHF・UHF）

デジタルチューナーを搭載していないレコーダーの場合

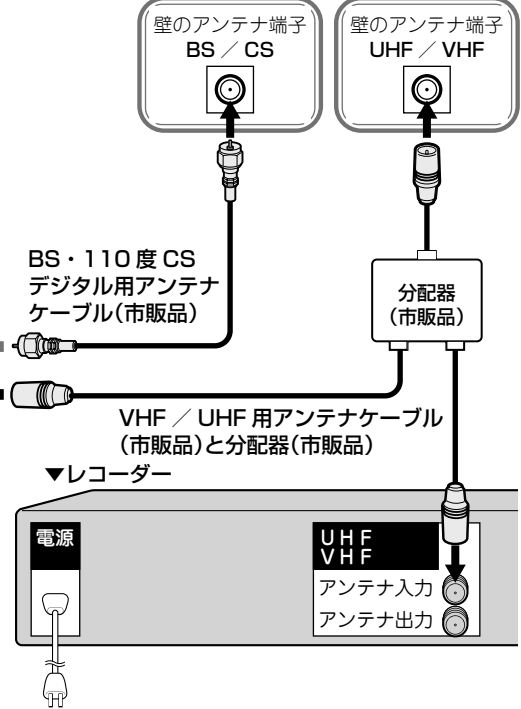
壁のアンテナ端子がUHF／VHF／BS混合の場合は、「壁のアンテナ端子がUHF／VHF／BS混合の場合」（下記）をご覧ください。

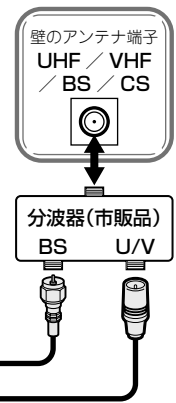
▼レコーダー

電源

UHF VHF
アンテナ入力
アンテナ出力

アンテナケーブルは、できるだけ太くて短いアンテナケーブルをお使いください。アンテナケーブルが長くなるほど受信した電波の強度が弱くなります。

ケーブルをつなぐときは、スパナなどの工具で強く締め付けないでください。

壁のアンテナ端子がUHF／VHF／BS混合の場合

- BS/UV分波器（市販品）を使って、VHF/UHF用とBS·110度CSデジタル用の信号を分けてから録画機器やテレビにつなぎます。
- BS/UV分波器（市販品）は金属シールドタイプで110度CS帯域（2150MHz）まで対応したものをご使用ください。

壁のアンテナ端子
UHF／VHF／BS／CS

分波器(市販品)
BS　U/V

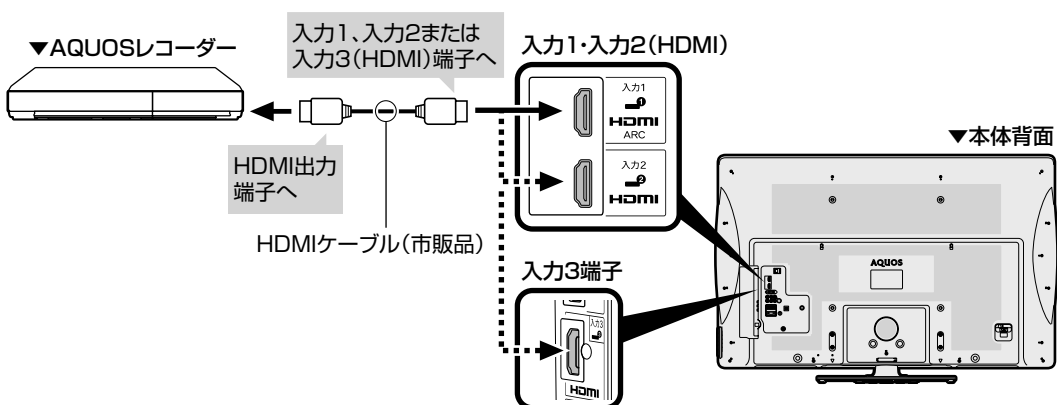
レコーダーやテレビにつなぐ

ファミリンク対応機器をつなぐ

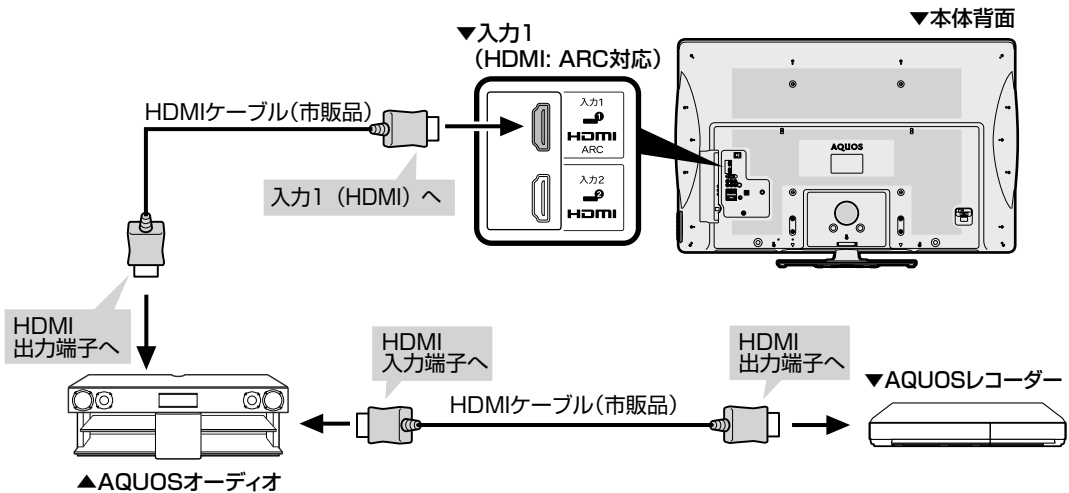
- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- ファミリンクで操作できる AQUOS レコーダーは 3 台までです。
- HDMI ケーブルは必ず市販の HDMI 規格認証品（カテゴリー 2 推奨）をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、映像にノイズが発生する、ファミリンクが動作しないなど、正常な動作ができません。
- 1080p の映像信号を入力するときは、HIGH SPEED（カテゴリー 2）に対応した HDMI ケーブルをお使いください。
- 下記に示した接続方法以外で接続した場合には、正しく動作しないことがあります。

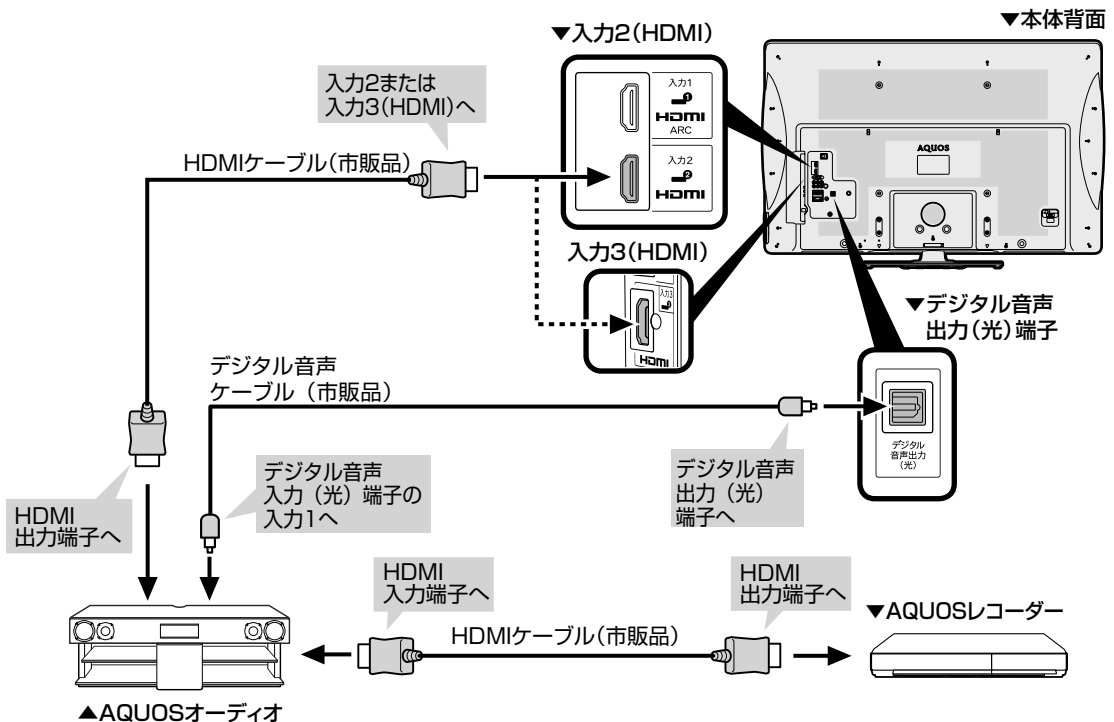
◆ 重 要 ◆

- HDMI ケーブルや電源コードを抜き差ししたり、機器との接続方法を変えた場合は、すべての周辺機器の電源を入れた状態で本機の電源を入れ直し、本機の入力を入力 1 ～ 3 に切り換えて映像と音声が正しいことを確認してください。

本機と AQUOS レコーダーをつなぐ

AQUOS オーディオを同時につなぐとき

本機の入力 1（HDMI）端子につなぐ場合

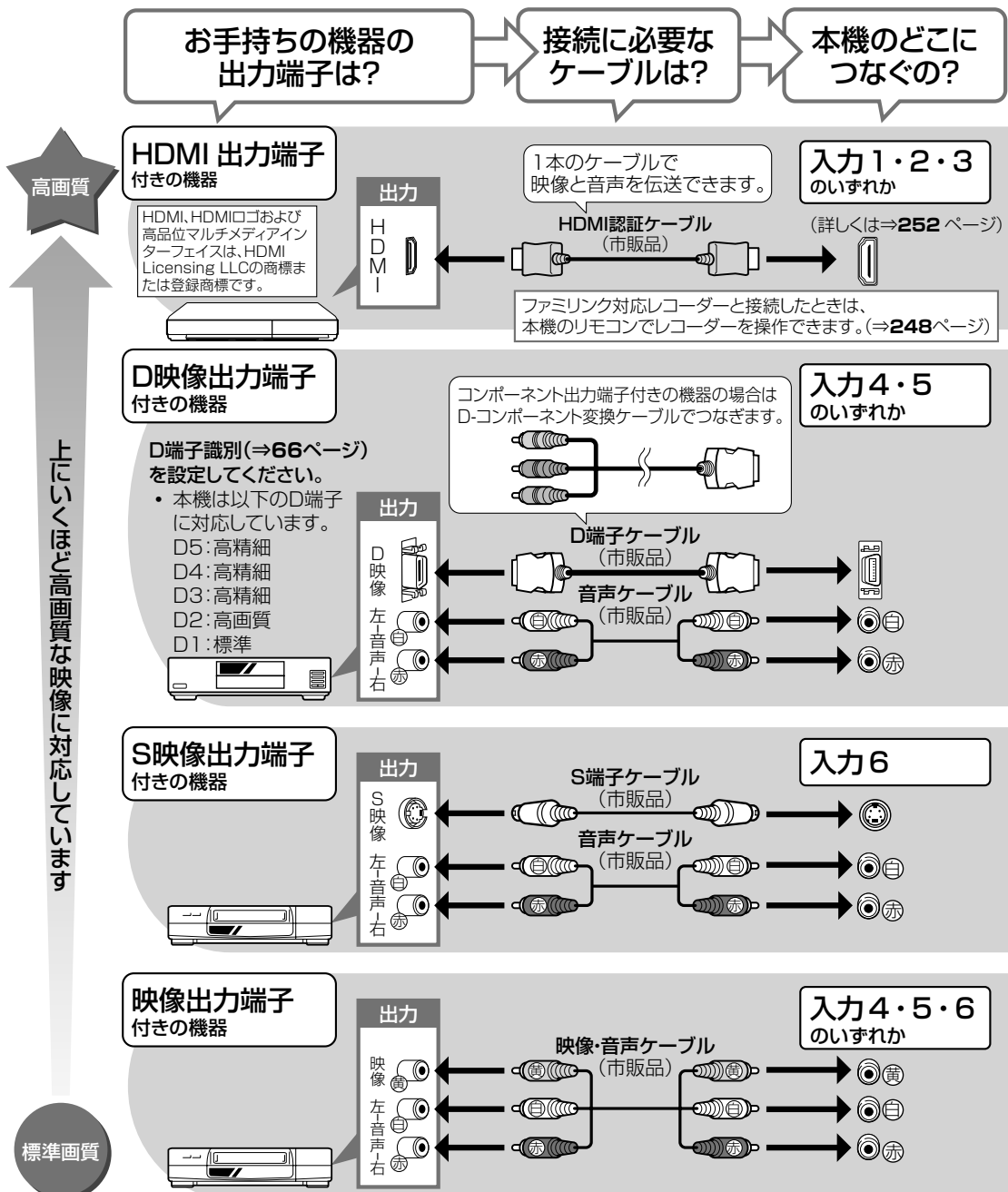
- 本機の入力 1（HDMI）端子は ARC（オーディオリターンチャンネル）に対応しています。本機の入力 1（HDMI）端子に ARC 対応の AQUOS オーディオをつなぐと、本機から AQUOS オーディオへの音声出力も HDMI ケーブル 1 本で可能なため、デジタル音声ケーブルをつなぐ必要がありません。
- ARC に対応した HDMI ケーブルをお使いください。ARC に対応していない HDMI ケーブルの場合、音が出ない、音が途切れる、ノイズが混ざるといった症状が発生することがあります。
- ARC に対応していない AQUOS オーディオを接続する場合は、デジタル音声ケーブルの接続も必要です。

本機の入力 2 または入力 3（HDMI）端子につなぐ場合

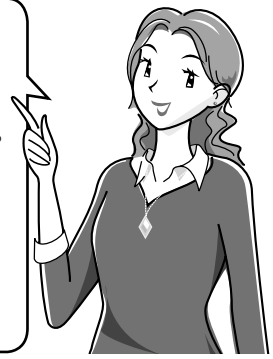
- 本機から AQUOS オーディオに音声信号を出力するために、本機と AQUOS オーディオをデジタル音声ケーブルで接続してください。

レコーダーやプレーヤーをつなぐ

よりきれいな映像を楽しむためには

- お手持ちの録画・再生機器の出力端子を確認し、高精細・高画質に対応した出力端子とつなぐと、よりきれいな映像が楽しめます。

◇おしらせ◇

- 映像・音声ケーブルは先端部と同じ色の端子（黄と黄、白と白、赤と赤）につなぎます。
- 映像の種類と画質について⇒ **115**・**344** ページ
- 高精細・高画質に対応した端子でも、標準画質で入力された映像は標準画質になります。

接続するときに気をつけること

- 接続の前に、接続する機器と、本機の電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥までしっかり差し込んでください。
  しっかり差し込めていないと、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源は切ってください。
- 接続した機器の再生映像や音声にノイズや雑音が出るときは、接続した機器と本機を十分に離してください。

◇**おしらせ**◇

- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により再生目的でもビデオデッキを通してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本機とビデオデッキを直接接続してお楽しみください。

レコーダーやプレーヤー側の接続端子について

- 詳しくは、レコーダーやプレーヤーの取扱説明書を併せてお読みください。

レコーダーをお持ちの場合

- プレーヤーなどの機器を接続するときは、本機に直接接続してください。レコーダーを通して本機で映像を見ると、コピーガード機能の働きにより、映像が正常に映らないことがあります。

入力６のS2映像は、入力専用の端子です。

入力１／入力２(HDMI)
(ARC)

入力４
(D5映像・映像・音声)

入力６
(S2映像)

入力６の音声（左･右）は、入力･出力兼用の端子です。

入力６／モニター出力（録画出力）

モニター出力として使用するときは

- 入力６端子設定で「モニター出力(可変１)」または「モニター出力（可変２)」に切り換えます。（⇒ **126** ページ）

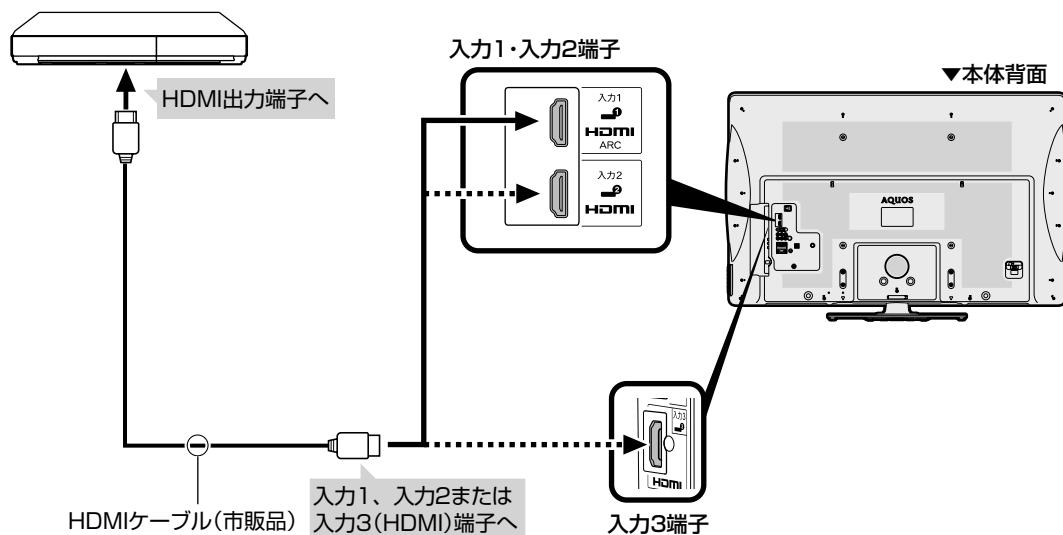
取り付け・取り外しをよく行う機器をつなぐときに便利な端子です。

入力３
(HDMI)

入力５
(D5映像・映像・音声)

▼本体背面

HDMI 出力端子が付いた機器の場合

- HDMI 端子は、映像と音声の信号を 1 本の HDMI 認証ケーブル（市販品）でつなぐことができる端子です。
- 本機の HDMI 入力端子は 1080p の信号入力に対応しています。1080p の映像信号を入力するときは、HIGH SPEED（カテゴリー 2）に対応した HDMI ケーブルをお使いください。

必ず市販のHDMI規格認証品（カテゴリー2推奨）をご使用ください。
規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、ファミリンクが動作しない、映像にノイズが発生するなど、正常に動作しない場合があります。

- HDMI 端子付きの機器がファミリンク対応 AQUOS レコーダーや AQUOS オーディオなどの場合は、本機のリモコンで操作できます。（⇒ **98** ページ）

対応している映像信号

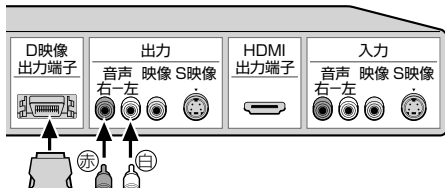
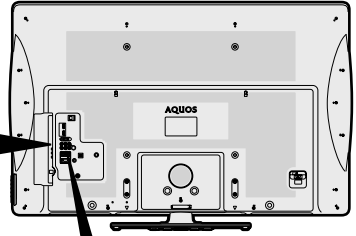
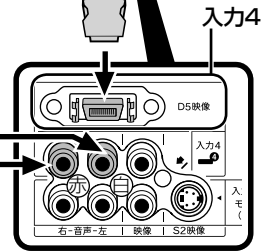
- 1080p（24Hz/60Hz）、720p、1080i、480p、480i、VGA

対応している音声信号

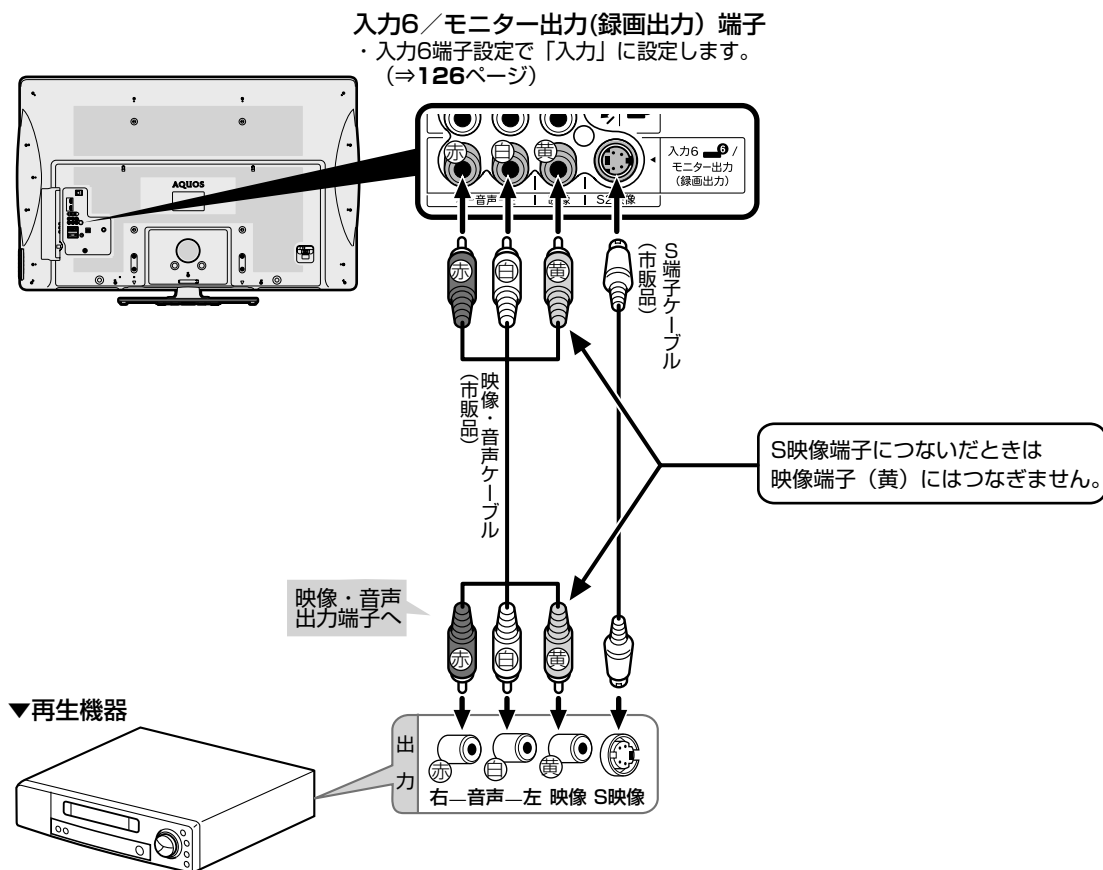
- 種類：リニア PCM
  サンプリング周波数：48kHz ／ 44.1kHz ／ 32kHz

◇**おしらせ**◇

- 入力 2 にレコーダーやオーディオを接続するときは、「入力音声選択」（⇒ **131** ページ）を「HDMI のみ」にしてください。（工場出荷時は、「HDMI のみ」に設定されています。）
- ファミリンクに対応していない機器をつないだとき、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが切り換わってしまう場合は、「ファミリンク制御（連動）」を「しない」に設定してください。（⇒ **101** ページ）

D 映像出力端子が付いた機器の場合

録画・再生機器に HDMI 端子も D 映像端子もない場合は、S 映像端子または映像端子につなぎます。
254 ページをご覧ください。

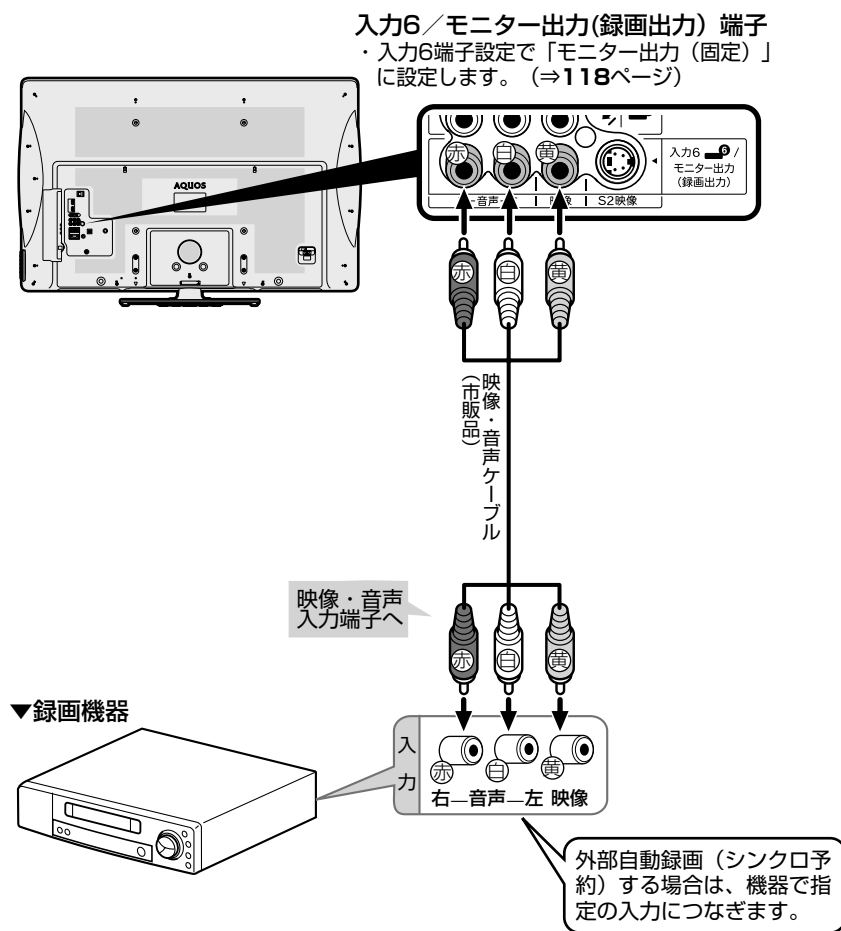
S 映像または映像出力端子が付いた機器の場合（再生するときの接続）

- 接続が終わるまで、本機と録画機器の電源を入れないでください。
- 再生機器に S 映像出力がなく、映像・音声出力だけの場合は、本機の入力４・５・６のいずれかの端子に接続してください。

◇**おしらせ**◇

入力６／モニター出力（録画出力）端子について

- 背面の入力６／モニター出力（録画出力）端子は、出力用と入力用に使い分けることができます。再生用として使うときは､必ず「入力６端子設定」で「入力」に設定してください。(⇒ **126** ページ)

映像入力端子が付いた機器の場合（録画するときの接続）

・ 接続が終わるまで、本機と録画機器の電源を入れないでください。

◇おしらせ◇

・ 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを通してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本機とビデオデッキを直接接続してお楽しみください。
・ デジタル放送をビデオデッキやデジタルチューナーが搭載されていない録画機器で録画する場合は、「VHS テープ予約」で録画することをおすすめします。

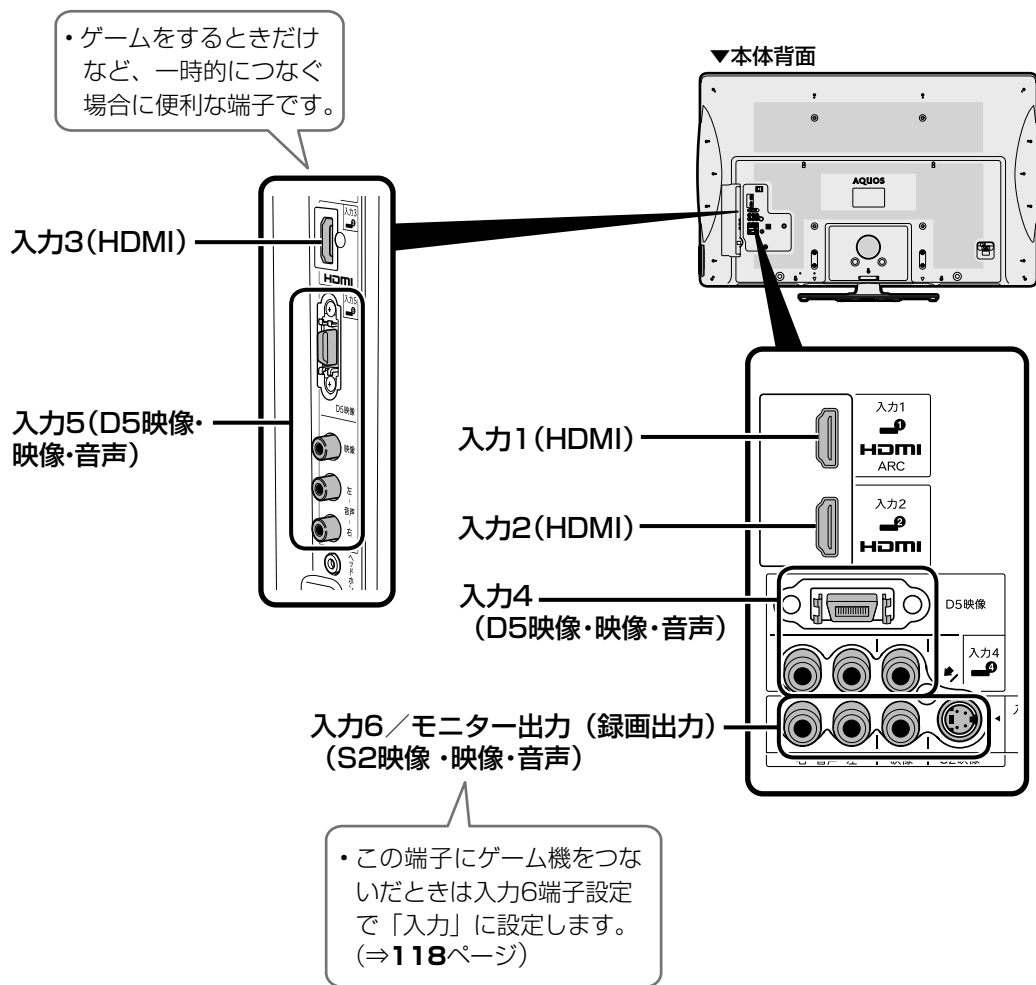
入力 6 ／モニター出力（録画出力）端子について

・ 背面の入力 6 ／モニター出力（録画出力）端子は、出力用と入力用に使い分けることができます。録画用として使うときは、必ず「モニター出力（固定）」に設定してください。
・ 設定のしかたは、⇒ **118** ページをご覧ください。

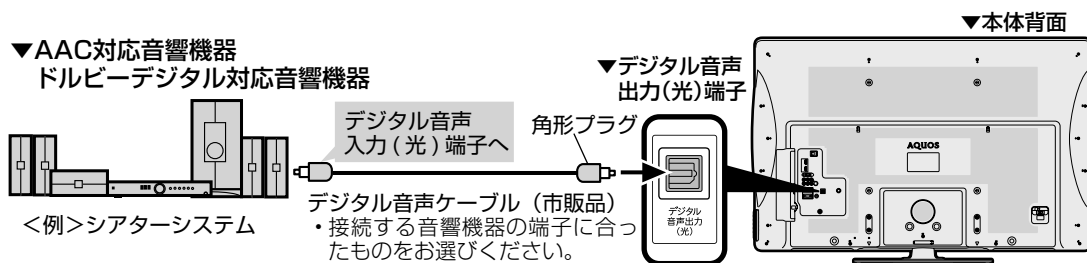
外部自動録画（シンクロ予約）とは

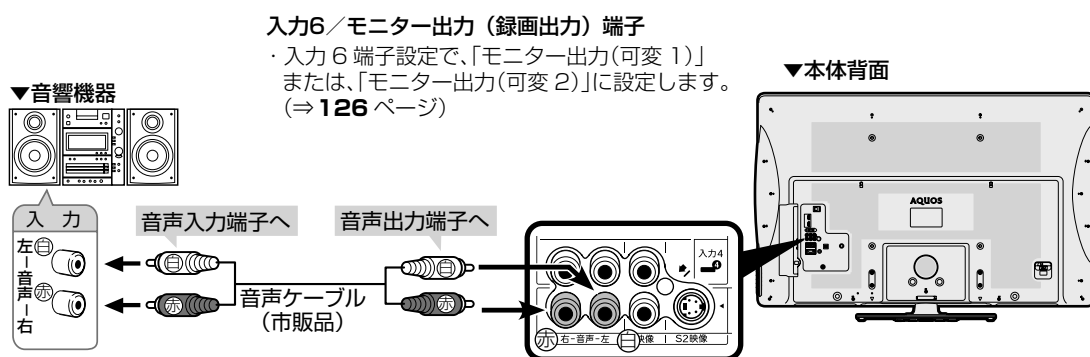
・ 外部自動録画（シンクロ予約）とは、録画機器側で録画出力信号を受信すると、これに連動して電源が入り、録画を開始する機能です。（詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧ください。）
・ お持ちの録画機器に外部自動録画機能（シンクロ予約機能）が付いている場合、録画機器で予約を設定しなくても録画予約できます。シンクロ予約機能が付いていない場合は、接続している録画機器側で同じ日、時、チャンネルなどの予約が必要です。（⇒ **120** ～ **121** ページ）

ゲーム機をつなぐ

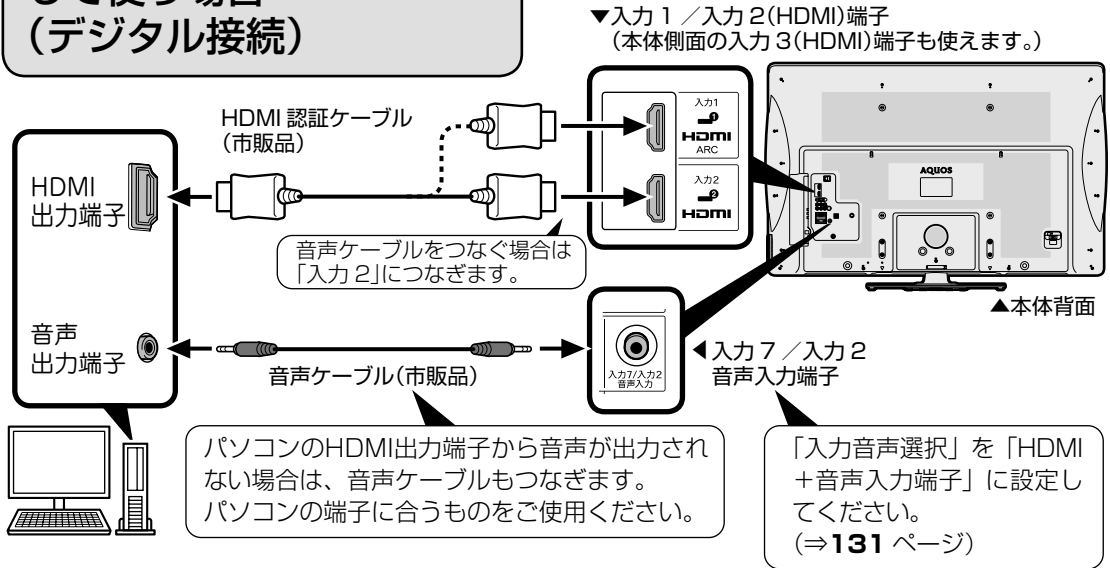
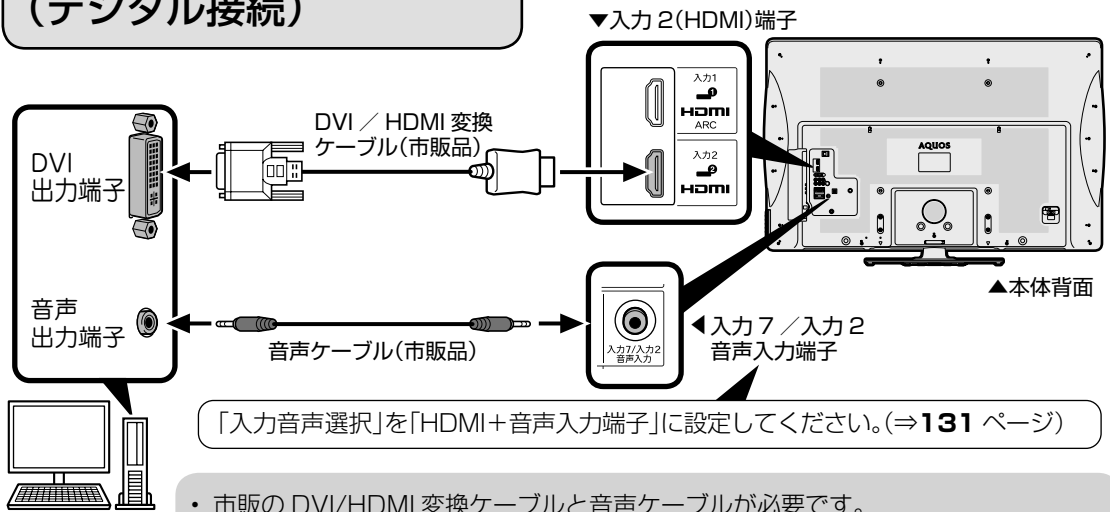
- 接続について詳しくは、ゲーム機の取扱説明書をご覧ください。ゲーム機の種類により、本機と接続する端子や接続するケーブルが異なります。
- 本機の HDMI 入力端子は 1080p の信号入力に対応しています。1080p の映像信号を入力するときは、HIGH SPEED（カテゴリー 2）に対応した HDMI ケーブルをお使いください。

オーディオをつなぐ

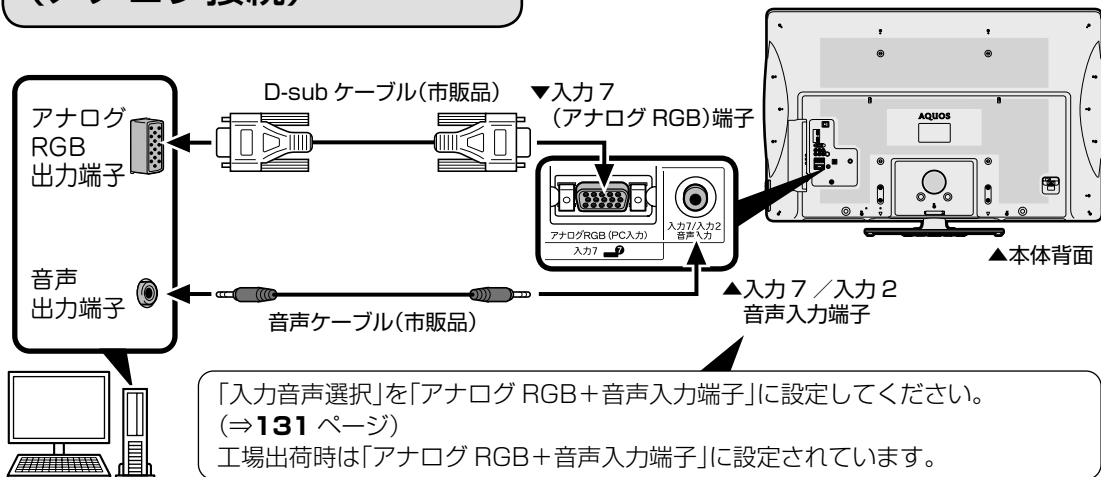
デジタル音声（光）端子が付いたオーディオ機器の場合

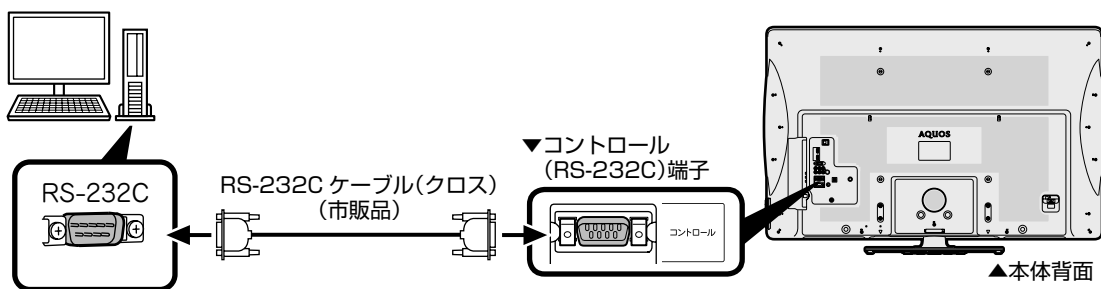
・本機のデジタル音声出力（光）端子は、MPEG2 AAC ／ドルビーデジタル音声フォーマットを出力できます。AAC ／ドルビーデジタル対応の音響機器を接続すると、迫力ある音声で楽しめます。

アナログ音声端子が付いたオーディオ機器の場合

・本機の入力６／モニター出力（録画出力）端子につなぐとアナログ音声を楽しめます。

パソコンをつなぐ

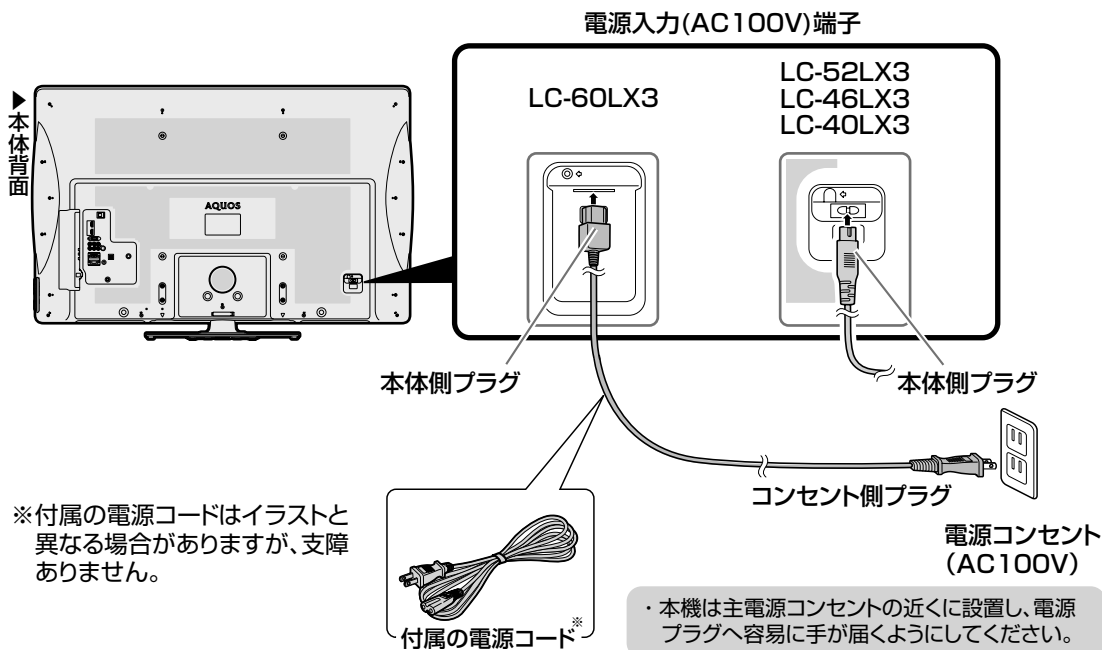
本機を HDMI 出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（デジタル接続）

• 市販の HDMI 認証ケーブルが必要です。

本機を DVI 出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（デジタル接続）

• 市販の DVI/HDMI 変換ケーブルと音声ケーブルが必要です。
• 音声ケーブルはパソコンの端子に合うものをご使用ください。
• 本機の HDMI 端子とパソコンの DVI 端子を変換ケーブルで接続しても、パソコンによっては HDMI 規格に対し十分サポートされていないものもあり、パソコンの画面が正しく表示されなかったり、まったく表示されない場合があります。
• 本機で対応していない信号が入力されたときには「この入力信号には対応しておりません」と表示されます。その場合はお使いのパソコンの取扱説明書にもとづき本機で対応している信号に設定してください。

- 市販の D-sub ケーブルと音声ケーブルが必要です。
- 音声ケーブルはパソコンの端子に合うものをご使用ください。

パソコンで本機を操作する場合（RS-232C 通信）

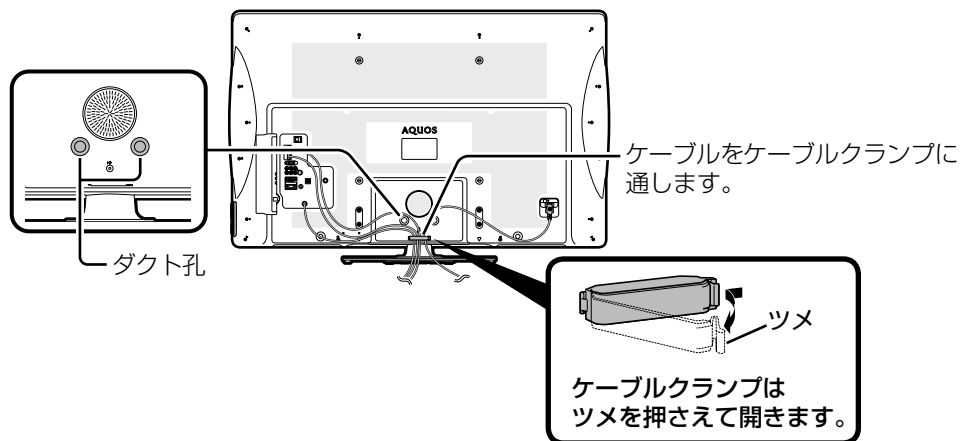
- ターミナルソフトなどを使って、チャンネル切換、音量調整、入力切換などの本機の操作をするための接続です。

電源コードをつなぐ

⚠注意 接続が終わるまでは、電源を入れないでください。

・付属の電源コードの本体側プラグを、本体背面右側の「電源入力（AC100V）端子」に接続し、コンセント側プラグをご家庭のコンセントに接続します。

◆ 重 要 ◆

・電源コードのプラグは抜けないように、確実に接続してください。
・電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「番組予約」などが消去されます。このような場合、必要に応じて再度、設定を行ってください。（再設定できないものもあります。）
・使用中にいきなり電源プラグを抜いたり、電源をしゃ断したりしないでください。故障の原因になります。

つないだケーブルやコードをケーブルクランプに通す

- 本機につないだケーブルが誤って強く引かれた場合、端子部が破損するおそれがあります。端子部の負荷を軽減して破損防止を図るために、ケーブル類は必ずケーブルクランプで固定してください。

◆ 重 要 ◆

- ケーブルをまとめるときにダクト孔をふさがないように注意してください。

本機を固定して転倒を防ぐ

⚠注意

- 地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策を行ってください。
- 転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。
  また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

・転倒防止を行う前にすべての接続を済ませておいてください。

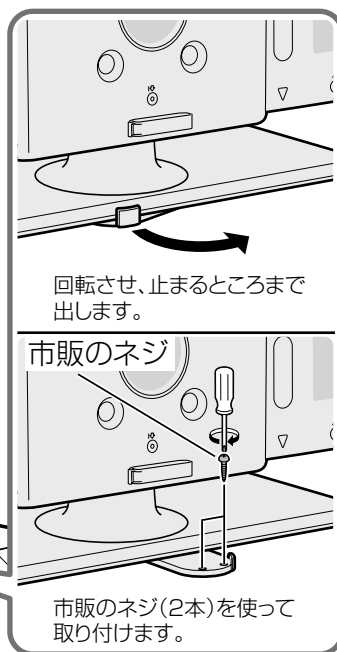
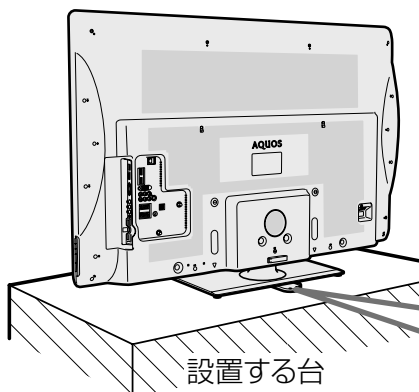
テレビ台などに固定する

◆ 重 要 ◆

・必ず 2 人以上で作業を行ってください。
・台の上に設置する場合は、本機の重量に耐えうる、十分な幅と奥行きのある、堅固で転倒しにくい台をお使いください。
・設置する台がガラスや金属など市販のネジで固定できない場合は、壁や柱に固定してください。(⇒**次**ページ)

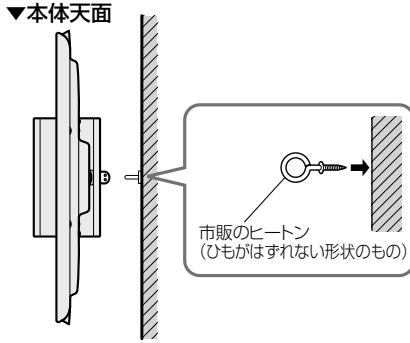
1 設置する台などの上に位置決めする

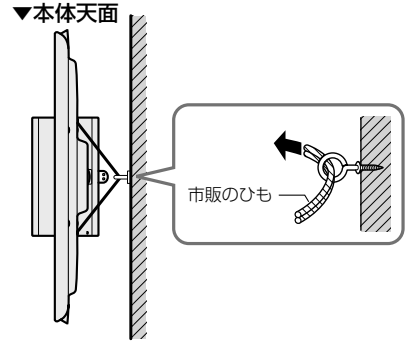
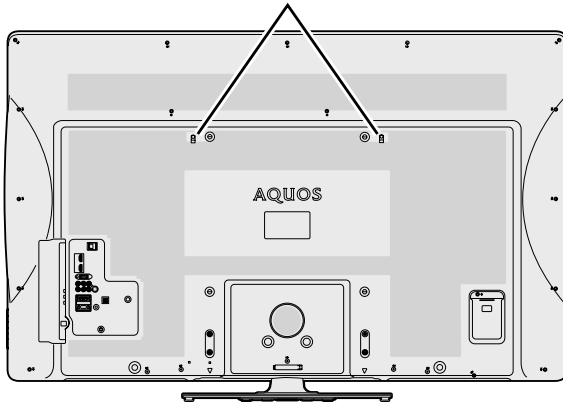
2 市販のネジを使い、固定金具の穴に上からネジを取り付けて固定する

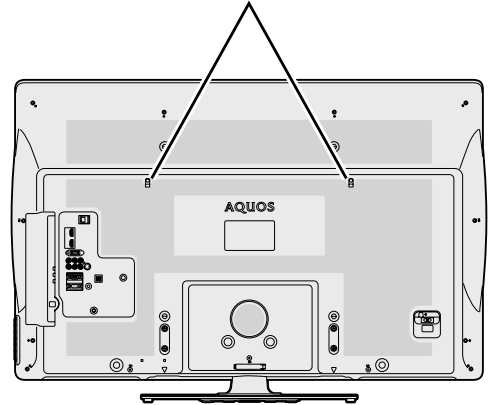
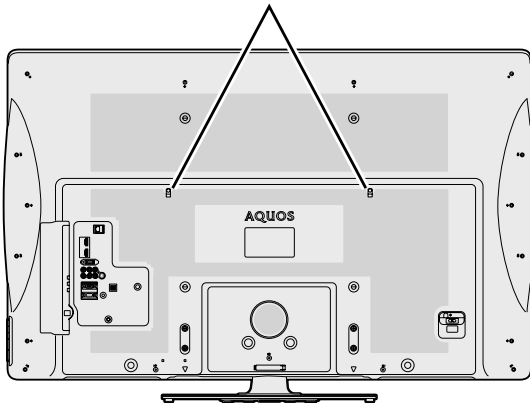
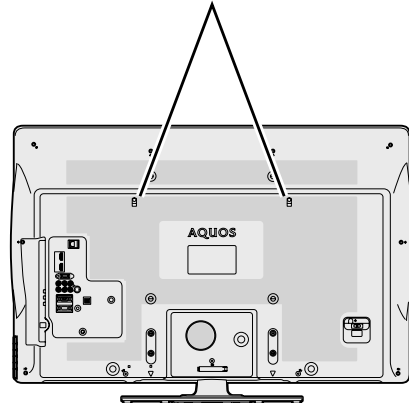
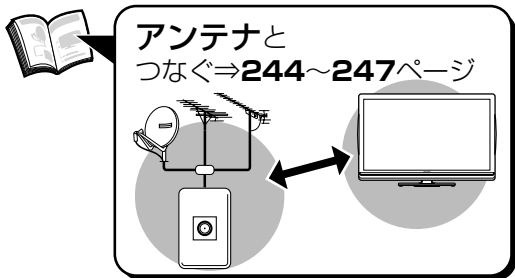
・市販のネジは、確実に固定できる形状のものを使用してください。

壁や柱に固定する

1 **壁または柱に、市販のヒートン(ひもがはずれない形状のもの)を取り付ける**

- 取り付けたヒートンが容易にはずれないことを、確認してください。

▼本体天面

2 **クランプと、壁または柱に取り付けたヒートンの穴に、市販の丈夫なひもを通して本機を固定する**

▼本体天面

▼ **LC-60LX3 のクランプ位置**

▼ **LC-46LX3 のクランプ位置**

▼ **LC-52LX3 のクランプ位置**

▼ **LC-40LX3 のクランプ位置**

放送を受信するために最初に必要な「かんたん初期設定」などの設定をする

ビーキャス
B-CASカード
⇒**242**ページ

- お買いあげ後、B-CAS カードを入れて、初めて電源を入れると「かんたん初期設定」の画面が表示されます。画面に従って操作・設定してください。地上デジタル・地上アナログ放送のチャンネルが設定されます。

ネットワーク機能（インターネットや IPTV など）をお使いになる場合は

- ブロードバンドルーターと LAN 端子を市販の LAN ケーブルで接続してください。

かんたん初期設定の画面が表示されないときは

- ホームメニューからかんたん初期設定を行ってください。（⇒ **267** ページ）

◇**おしらせ**◇

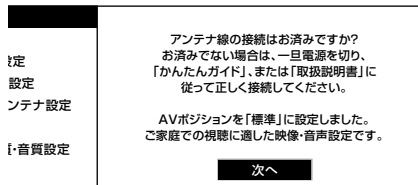
- 設定中に戻るボタンで一つ前の画面に戻れます。

1 メッセージを確認して決定する

を押す

アンテナ線の接続はお済みですか?
お済みでない場合は、一旦電源を切り、
「かんたんガイド」、または「取扱説明書」に
従って正しく接続してください。

AVポジションを「標準」に設定しました。
ご家庭での視聴に適した映像・音声設定です。

次へ

途中で設定を中止するときは

- 電源をお切りください。再度電源を入れると「かんたん初期設定」画面が表示されます。

B-CAS カードが正しく挿入されていないときは

- 「B-CAS カードを正しく挿入してください。」と表示されます。電源を切り、⇒ **242** ページの手順に従って B-CAS カードを挿入してください。

リモコンと本体のリモコン番号が異なるときは

- 「リモコンと本機のリモコン番号が違うため操作できません。」と表示されます。⇒ **320** ～ **321** ページの手順に従ってリモコン番号の設定を行ってください。

2 ①お住まいの地域を選ぶ

で選び

決定 を押す

お住まいの地域を設定してください。

北海道	東北
関東	甲信越／北陸
中部／東海	近畿
中国／四国	九州／沖縄

②お住まいの都道府県または地域を選ぶ

3 郵便番号を入力する

で入力し

決定 を押す

お住まいの郵便番号を入力してください。

1 6 2 - 8 4 0 8

次へ

- 「0」を入力するときは 10 を押します。

◆ チャンネルを設定する

4

で選び

決定

を押す

「する」を選ぶ

- チャンネル設定が終わるまでしばらくお待ちください。
- 自動的に地上デジタル放送・地上アナログ放送のチャンネルが登録されます。
- 手順 **5** の画面が表示されたらチャンネル設定は完了です。

◆ BS･CSアンテナを設定する

5

で選び

を押す

「する」または「しない」を選ぶ

- BS・CS アンテナを接続しない場合は「しない」を選び、**次**ページの手順 **7** に進みます。

- 「する」を選んだときは、「BS/CS アンテナ電源自動設定中」の画面が表示されます。次の画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

チャンネル設定の途中で、「地上デジタル放送のチャンネルが見つかりませんでした。」と表示されたときは

地上デジタル放送を受信できる地域の場合

- 本体の電源スイッチでいったん電源を切って UHF アンテナの接続を確認してください。電源を入れ直すとかんたん初期設定の画面が表示されます。

まだ地上デジタル放送を受信できない地域の場合

- 決定ボタンを押してください。アナログ放送のチャンネル設定が始まります。

チャンネル設定の途中で、「地上アナログ放送のチャンネルが見つかりませんでした。」と表示されたときは

地上アナログ放送を受信する場合

- 本体の電源スイッチでいったん電源を切って VHF/UHF アンテナの接続を確認してください。電源を入れ直すとかんたん初期設定の画面が表示されます。

地上アナログ放送を受信しない場合

- 決定ボタンを押して手順 **5** へ進みます。

次の画面が表示されたときは

BS・CS アンテナを接続していないとき

- 「次へ」を選び決定ボタンを押してください。

BS・CS アンテナを接続しているとき

- 本体の電源スイッチでいったん電源を切って、BS・110 度 CS デジタル用アンテナケーブルの接続を確認してください。(⇒ **244** ～ **247** ページ)
  電源を入れ直すとかんたん初期設定の画面が表示されます。

上記の画面で「手動で再設定」を選んだときは

接続確認 地域設定 郵便番号設定 チャンネル設定	受信強度が60以上になるように アンテナの向きを調整してください。 BS･CS アンテナ電源　オート　入　切

- 左右カーソルボタンで、BS・CS アンテナに電源を供給するかを選び、決定ボタンを押したあと、「次へ」で決定ボタンを押すと、**次**ページの手順 **7** の画面が表示されます。

アンテナ接続を変更したときや、移転などで BS･110 度 CS デジタル用アンテナの電源の設定を変えるときは

- ⇒ **269** ～ **270** ページ

次のページに続く

6 受信状態を確認して決定する

決定を押す

- 「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは下記の対処が必要です。

「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは

画面に表示されるメッセージ例	対処のしかた
受信強度が 60 以下です。【B】	受信強度が 60 以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。
アンテナ信号が強すぎます。【C】	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が不足しています。【C】	ブースターの調整や取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が良くありません。【D】	受信強度が 60 以上で表示される場合、アンテナ信号が劣化しています。アンテナの設定が合っているか確認しても改善しない場合は、販売店などにご相談ください。
受信できません。【E】	本体の電源スイッチでいったん電源を切り、アンテナの設置やアンテナ線を確認してください。（⇒ **244** ～ **247** ページ）

7 IPTV(ひかりTV)を見る場合は「する」を選ぶ

で選び

を押す

IPTV（ひかり TV）を見るには

- IPTV サービスの契約、光回線の契約、ブロードバンド環境が必要です。本機をブロードバンド環境につないでおいてください。

IPTVサービスの設定をしますか?
（IPTVサービスを提供する
光ファイバー回線の契約が必要です。）

する　しない

8 「次へ」で決定する

を押す

IPTVサービス設定が完了しました。

次へ

9 画質や音質を設定する場合は、「する」を選ぶ

で選び

を押す

- AV ポジション（⇒ **68** ページ）がぴったりセレクトに設定されます。
- 「お好み画質・音質設定」は AV ポジションが「ぴったりセレクト」のときに有効となる設定です。

10 ①画質を設定する場合は、「する」を選ぶ

②お好みの画像を選ぶ

③「次へ」を選ぶ

で選び 決定を押す

11 ①音質を設定する場合は、「する」を選ぶ

②お好みの音声を選ぶ

③「次へ」を選ぶ

で選び 決定を押す

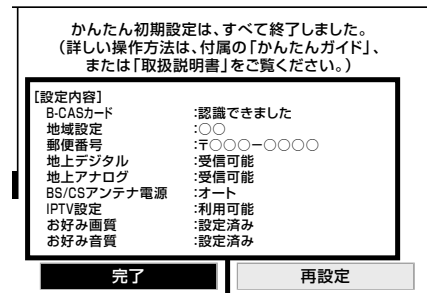
12 設定された内容を確認し、間違いがなければ「完了」を選ぶ

で選び 決定を押す

かんたん初期設定は、すべて終了しました。
（詳しい操作方法は、付属の「かんたんガイド」、
または「取扱説明書」をご覧ください。）

［設定内容］

B-CASカード	:認識できました
地域設定	:○○
郵便番号	:〒○○○−○○○○
地上デジタル	:受信可能
地上アナログ	:受信可能
BS/CSアンテナ電源	:オート
IPTV設定	:利用可能
お好み画質	:設定済み
お好み音質	:設定済み

完了　再設定

設定内容が表示されますので確認してください。

- これで設定は完了です。

映りかたを確かめましょう。
⇒ **32** ページ
放送が受信できないときは
⇒ **286** ～ **289** ページ

◇**おしらせ**◇

- B-CAS カードが正しく挿入されているかをテストできます。
（「システム動作テスト」⇒ **313** ページ）

引っ越しなどで「かんたん初期設定」をやり直す場合は

1 ホームメニューを表示して、「設定」を選ぶ

ホーム を押し 決定 で選ぶ

2 「(視聴準備)」を選ぶ

決定 で選ぶ

3 「かんたん初期設定」を選ぶ

決定 で選び 決定 を押す

- 「かんたん初期設定」が表示されますので、かんたん初期設定を行ってください。(⇒ **264** ページ)

「かんたん初期設定」を行っても受信できない放送があるときや設定の変更をしたい場合

- 次の設定を行ってください。

デジタル放送用アンテナの設定をする	• デジタル放送のアンテナの向きの調整や信号の強さのテスト、BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナへの電源供給の設定を行います。(⇒ **269** ページ)
お住まいの地域向けの地上デジタル放送を受信するために(地域選択/郵便番号設定)	• デジタル放送の地域情報を視聴するために、お住まいの地域を選んで郵便番号を入力します。(⇒ **271** ページ)
地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは	• 受信できる地上デジタル放送のチャンネルを探します。(⇒ **273** ページ)
デジタル放送のチャンネルの個別設定	• デジタル放送のチャンネルの設定を個別に変更することもできます。(⇒ **274** ページ)
地上アナログ放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは	• 地上アナログ放送(従来の VHF･UHF 放送)の受信設定です。工場出荷時は、東京地区で受信できる VHF チャンネルが設定されています。 • 受信できる地上アナログ放送のチャンネルを探します。(⇒ **276** ページ)
地上アナログ放送のチャンネルの個別設定	• 地上アナログ放送のチャンネルの受信状態や設定を個別に変更することもできます。(⇒ **284** ページ)
CATV(ケーブルテレビ)のチャンネルの設定	• CATV チャンネルのスキップを解除します。(⇒ **285** ページ)
地デジ難視対策衛星放送を視聴するための設定	• BS291ch ~ BS298ch は一般の方は視聴できない放送のため、非視聴に設定されています。この放送を視聴する場合は、スキップ設定(⇒ **275** ページ)で「BS デジタル」の「地デジ難視対策衛星放送」を「一括設定」で「両方しない」に設定してください。

110 度 CS デジタル放送を視聴するための準備

- 110 度 CS デジタル放送を初めて選局するときは、CS ネットワーク情報を取得する必要があります。次の手順で操作してください。

1 CS を押す

CSデジタル放送を選ぶ

2 1 を押す

100chを選んで、約5秒待つ

3 2 を押す

001chを選んで、約5秒待つ

- 2009 年 10 月現在 CS001ch は放送されていません。

4 番組表 を押す

選局したい放送局のチャンネル番号が表示されることを確認する

選局したい放送局のチャンネル番号が表示されない場合

- 数字ボタン（チャンネルボタン）1 または 2 を押し、目的のチャンネル番号が表示されるまで、約 5 秒待ちます。（1 または 2 を押したとき、「現在放送されていません。[E203]」と表示される場合がありますが、そのままの状態で約 5 秒待ってください。そのまま待つことで CS ネットワーク情報を取得することができます。）

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

デジタル放送用アンテナの設定をする

- デジタル放送用のアンテナの接続を変更したときなどは、再度アンテナ設定画面を見ながらアンテナ電源の設定やアンテナの向きを調整します。（初めて設置するときや引っ越したときなどは、「かんたん初期設定」（⇒ **264** ～ **267** ページ）を行ってください。）
- 地上デジタル放送にはアンテナ電源入／切の設定はありません。

アンテナ電源の設定

項目	内容
オート	• 個人でアンテナを設置している場合に選びます。 • 本機の電源が入っているとき、アンテナ電源の設定を自動的に制御してアンテナに電源を供給します。（リモコンで電源を切ったときは、アンテナ電源も切れた状態になります。）
入	• 「オート」を選んで BS デジタル放送が受信できたりできなかったりするときは、「入」を選びます。 • 本機の電源が入っているとき、アンテナに電源を供給します。リモコンで本機の電源を切ったときも、常にアンテナ電源は「入」になります。
切	• 共聴アンテナに接続しているときなど、電源を供給しないときに選びます。 • アンテナ電源が常に「切」になります。

アンテナ設定画面について

- 共聴アンテナなどに接続したときの「BS・CS アンテナ電源」の設定を誤って「入」にしたり、新しくアンテナの接続を変更したりした場合で、「アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。受信できない場合は、本体の電源を切ってから、アンテナの接続を確認してください。」などのお知らせが表示されたときは、電源を入れ直してください。
- アンテナ設定画面は無操作のまま 1 分経過しても消えません。消すときは、終了ボタンを押してください。

アンテナの電源の設定を変える／電波の強さ（受信強度）を確認する

- アンテナに電源を供給するかどうかの設定と、受信強度の確認・調整をします。

◆ **重　要** ◆

- アンテナ電源供給の設定は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。もし、本機とアンテナの間にブースターなどの機器を接続して使用される場合は、専用の電源が必要です。

1 BS を押す

BSデジタル放送を選ぶ

- 画面に「放送が受信できません」と表示されても、設定できます。

2 ホーム を押し

で選び

を押す

ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「テレビ放送設定」を選ぶ

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3

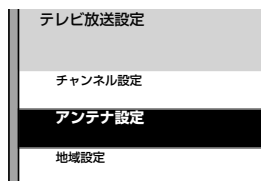
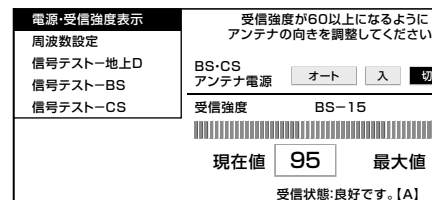
「アンテナ設定」を選ぶ

で選び　決定 を押す

4

「電源・受信強度表示」を選ぶ

で選び

を押す

次のページに続く

◆ アンテナに電源を供給するための設定

5 「オート」「入」「切」の いずれかを選ぶ

で選ぶ

強度表示
定
ー地上D
ーBS
ーCS
受信強度が60以上になるように
アンテナの向きを調整してください。
BS·CS
アンテナ電源 オート 入 切
受信強度 BS−15
現在値 95 最大値 95
受信状態:良好です。【A】

◆ 受信強度の調整

6 受信強度が最大になるように、アンテナの向きを調整する

- 受信強度が60以上になるように、アンテナの向きを調整してください。（アンテナの向きの調整が済んでいる場合は、この手順は必要ありません。）

7 調整が終わったら決定ボタンを押す

を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

- 手順**6**で「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは、「アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ」（⇒ **302** ページ）をご覧ください。
- 受信強度表示はアンテナの角度の最適値を確認するためのものです。表示される数値などは、具体的な受信強度などを示すものではありません。（表示される数値は、受信C/N※の換算値です。）
  ※ 受信C/Nとは放送に関する信号とノイズなどの不要な信号の割合です。

デジタル放送の受信強度の確認（信号テスト）をするときは

- 各デジタル放送の信号テストができます。

（例） BSデジタル放送の信号テストをする

1 **269ページの手順1～3を行い、「信号テストーBS」を選び、決定する**

2 **カーソルボタンで確認したい項目を選び、決定する**

- 現在、信号が送られているのは「BS-1」「BS-3」「BS-9」「BS-13」「BS-15」「BS-17」です。（2010年6月現在）

- 「受信状態：良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。
- 「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは、「アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ」（⇒ **302** ページ）をご覧になり、適切な処置を行ってください。

3 **カーソルボタンで「終了」を選び、決定する**

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

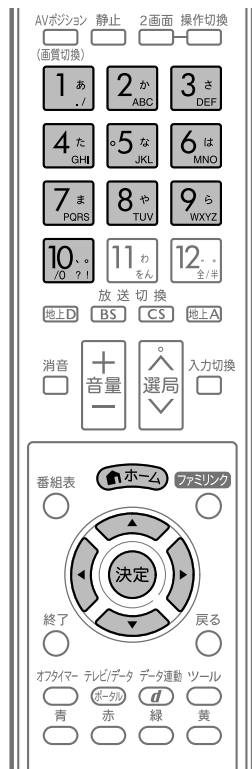
◇**おしらせ**◇

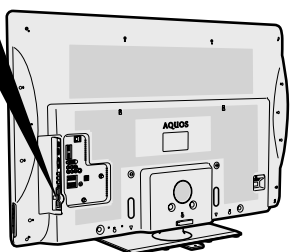
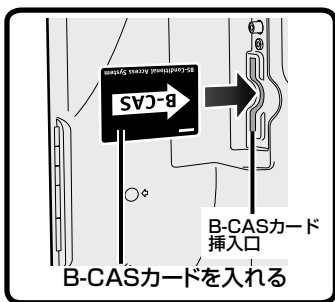
地上デジタル放送・110度CSデジタル放送の受信強度の確認（信号テスト）について

- 手順**1**（**269**ページの手順**4**）で「信号テストー地上D」または「信号テストーCS」を選び、決定ボタンを押します。あとは同じ要領で行ってください。

周波数設定について

- 手順**1**（**269**ページの手順**4**）で「周波数設定」を選ぶと、新しい衛星が追加されたり現在の衛星が故障したりした場合などに、新しい周波数を入力することで受信に必要な情報を取得できます。通常は、設定する必要はありません。
（例：BS15のアンテナ受信周波数11996を入力すると15chの受信強度が表示されます。）

お住まいの地域向けの地上デジタル放送を受信するために（地域選択／郵便番号設定）

◆ 重　要 ◆

- B-CAS カードは正しい向きに挿入してありますか。正しい向きに入っていないとデジタル放送が受信できません。（⇒ **242** ページ）

地域選択／郵便番号設定

- 地上デジタル放送の地域情報を受信するために、地域設定をお住まいの地域に設定します。
- チャンネル設定（⇒ **273** ページ）の前に、必ず地域設定をしてください。
- お客様がお住まいの地域に向けたデジタル放送の緊急ニュースなどの文字情報やデータ放送などの地域情報を受信するために必要です。

◆ 地域選択 ◆

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「テレビ放送設定」を選ぶ

ホーム を押し　で選び　決定 を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

ホーム
チャンネル　設定
視聴準備
かんたん初期設定
テレビ放送設定

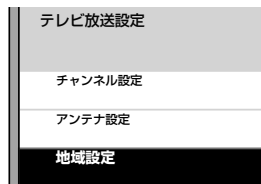
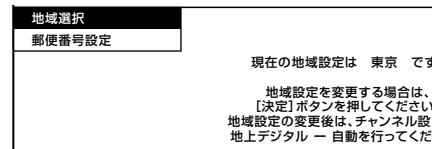
2 「地域設定」を選ぶ

で選び　決定 を押す

テレビ放送設定
チャンネル設定
アンテナ設定
地域設定

3 「地域選択」を選ぶ

で選び　決定 を押す

地域選択
郵便番号設定
現在の地域設定は　東京　です
地域設定を変更する場合は、
［決定］ボタンを押してください
地域設定の変更後は、チャンネル設
地上デジタル － 自動を行ってくだ

◇おしらせ◇

- 「地域選択」は、工場出荷時は「関東」－「東京」に設定されています。
- 地域選択を変更した場合は、「チャンネル設定」から「地上デジタル－自動」を行ってください。

次のページに続く

4 お住まいの地域を選ぶ

で選び 決定 を押す

5 お住まいの都道府県または地域を選ぶ

で選び 決定 を押す

◆ 郵便番号設定 ◆

6 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「テレビ放送設定」を選ぶ

を押し

で選び 決定 を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

7 「地域設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

8 「郵便番号設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

9 郵便番号を入力する

～

で入力し

を押す

お住まいの郵便番号を入力してください。

1 6 2 - 8 4 0 8

- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、数字ボタン（チャンネルボタン）で入力をやり直します。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

- 郵便番号で「0」を入力したい場合は、10 を押します。

地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは

- 地上デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合の手順です。**チャンネル設定の前に、必ず「地域設定」(⇒ 271 ページ)をしてください。**

◆ **重　要** ◆

新しく放送が開始されたチャンネルを追加するときは

- 「地上デジタルー自動」を行った後で、新しく開始された放送チャンネルを追加する場合、手順 **4** －②で「地上デジタルー追加」を選びます。すでに登録されているチャンネルはそのまま残り、新しく確認されたチャンネルが追加されます。追加が終わったら、「終了」で決定ボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

地上デジタル放送の CATV（ケーブルテレビ）放送対応について

- CATV による地上デジタル放送の視聴については、お客様が契約されている CATV 会社にお問い合わせください。
- 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は、「パススルー方式」（UHF 帯、ミッドバンド［MID］帯、スーパーハイバンド［SHB］帯、VHF 帯）です。トランスモジュレーション方式の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。
- CATV パススルー方式とは、CATV 配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままで CATV 網に流す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っている UHF 帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。

1 地上デジタル放送を選ぶ

地上D を押す

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「(視聴準備)」－「テレビ放送設定」を選ぶ

ホーム を押し

で選び

を押す

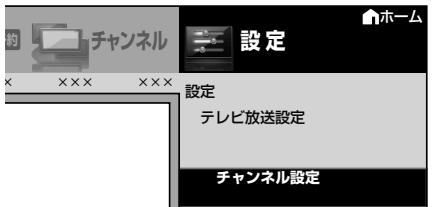
選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 「チャンネル設定」を選ぶ

で選び

を押す

ホーム
チャンネル
設 定
設定
テレビ放送設定
チャンネル設定

4 ①「地上デジタル」を選ぶ ②「地上デジタルー自動」を選ぶ

で選び

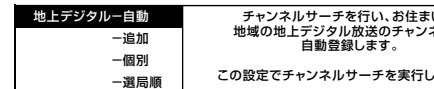
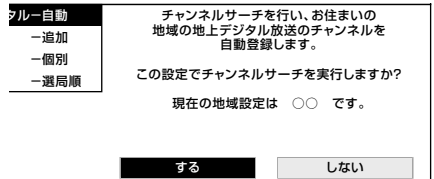
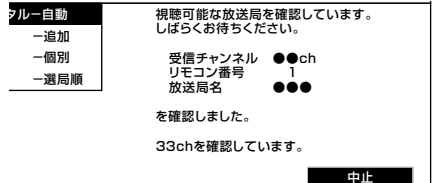
を押す

地上デジタルー自動
ー追加
ー個別
ー選局順
チャンネルサーチを行い、お住ま
地域の地上デジタル放送のチャン
自動登録します。
この設定でチャンネルサーチを実行し

5 「する」を選ぶ

で選び

を押す

タルー自動
ー追加
ー個別
ー選局順
チャンネルサーチを行い、お住まいの地域の地上デジタル放送のチャンネルを自動登録します。
この設定でチャンネルサーチを実行しますか?
現在の地域設定は　○○　です。
する　しない

- 自動登録が始まります。

- 自動登録が終了すると、登録終了の画面が表示され、しばらくすると手順 **3** の画面に戻ります。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

デジタル放送のチャンネルの個別設定

• 登録したデジタル放送のチャンネルは、次の設定内容を変更できます。

項目	内容
数字ボタン	• リモコンの数字ボタン（チャンネルボタン）を押したときに受信するチャンネルを設定します。
枝番	• 受信した放送局の３桁チャンネル番号が重複している場合は、４桁め（枝番）を変更して区別できます。 （地上デジタル放送の場合のみ）
スキップ	• 選局（∧順／∨逆）ボタン（緑）で選局をしたときに、視聴しないチャンネルを飛ばせます。 「する」でスキップが設定され、「しない」で解除されます。

◇**おしらせ**◇

地上デジタル放送の受信チャンネル番号と枝番について

• 地上デジタル放送では、１～１２の数字ボタン（チャンネルボタン）の番号のほかに、３桁のチャンネル番号が付けられています。１つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、３桁のチャンネル番号で区別することになります。
• ３桁のチャンネル番号は、放送地域内（都府県、北海道は７地域）ではそれぞれ別番号になっています。従って、通常は３桁で放送番組を特定できます。ただし、お住まいの地域により、隣接する他地域の放送も受信できることがあります。この場合は、３桁チャンネル番号が重複することがあります。このときは、さらにもう１桁（これを「枝番」といいます）を入力して選局することになります。

（例）地上デジタル放送の数字ボタンを変更する

1 デジタル放送を選ぶ

地上D BS CS のいずれかを押す

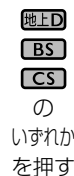
2 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「テレビ放送設定」を選ぶ

ホームを押し
で選び 決定を押す

選びかたは、**26**～**31**ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 「チャンネル設定」を選ぶ

で選び 決定を押す

4 「地上デジタル」「BSデジタル」「CSデジタル」のいずれかを選ぶ

で選び 決定を押す

• 「BS デジタル」または「CS デジタル」を選んだ場合は、手順 **6** に進みます。

5 「地上デジタルー個別」を選ぶ

で選び 決定を押す

チャンネル	3桁
テレビ 1 ●●●●●	051
テレビ 2 ●●●●●	061
テレビ 3 ●●●●●	121
テレビ 4 ●●●●●	041
テレビ 5 ●●●●●	021

6 変更したいチャンネルを選ぶ

で選び
を押す

7 「数字ボタン」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 枝番を入力する場合は、「枝番」を選び、1～9を押します。
- チャンネルをスキップする場合は、「スキップ」を選び、左右カーソルボタンで「する」を選びます。このメニューで行ったスキップ設定は、**右記**のチャンネルスキップ設定と連動します。

8 入力欄に数字を入力して決定する

～
で入力し 決定 を押す

- 数字ボタンが重複している場合は、「数字ボタンが重複しています。置き換えますか？」と表示されます。（枝番の場合は、「枝番が重複しています。置き換えますか？」と表示されます。）

数字ボタンを置き換える場合

- 手順 **9** に進みます。

置き換えずに別の数字にする場合

- 画面の「戻る」を選び、別の数字を入力して決定ボタンを押してください。

9 「確認」を選ぶ

で選び
を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

チャンネルスキップ設定

1 「地上D」「BS」「CS」ボタンのいずれかを押して、デジタル放送を選ぶ

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「番組表設定」を選ぶ

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

番組表設定

3 上下カーソルボタンで「スキップ設定」を選び、決定する

4 上下カーソルボタンで「地上デジタル」「BSデジタル」「CSデジタル」のいずれかを選び、決定する

5 上下カーソルボタンで「放送事業者」を選び、決定する

- 「スキップ設定を一括で行うか個別に行うかを選択してください」と表示されます。
- CS デジタルの場合、「放送事業者」でのスキップ設定は選べません。

6 カーソルボタンで「一括設定」または「個別設定」を選び、決定する

- 「この放送事業者内の全てのチャンネルを番組一覧表と、選局順逆時にスキップしますか？」と表示されます。
- CS デジタルの場合、「一括設定」は選べません。

7 カーソルボタンで「両方する」「番組表のみ」「選局のみ」「両方しない」のいずれかを選び、決定する

両方する	・選局時と番組表のどちらもスキップします。 ・この設定をしたチャンネルは、選局時と、番組表のどちらにも、表示されなくなります。
番組表のみ	・番組表のみ表示されなくなります。 ・選局時は表示されます。
選局のみ	・選局時のみ表示されなくなります。 ・番組表には表示されます。
両方しない	・選局時と番組表のどちらもスキップされません。 ・この設定をしたチャンネルは、選局時と番組表のどちらにも表示されます。

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

- 地デジ難視対策衛星放送（BS291ch ～ BS298ch）は一般の方は視聴できないため、工場出荷時の設定は、「両方する」になっています。この放送を視聴する場合は、BS デジタルの「地デジ難視対策衛星放送」を一括設定で「両方しない」に設定してください。

地上アナログ放送の受信の設定を個別に行うときは

地上アナログ放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは

- お住まいの地域で受信できる VHF と UHF のチャンネルを自動的に登録できます。
- 登録できるチャンネルは最大 12 局です。

◆ 重 要 ◆

- 登録完了まで電源を切らないでください。
- この操作を行うと、現在登録されているチャンネルが消去され、新たにチャンネルが登録されます。

1 地上A を押す

地上アナログ放送を選ぶ

2 ホーム を押し で選び 決定 を押す

ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「テレビ放送設定」を選ぶ

選びかたは、**26**～**31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 で選び 決定 を押す

「チャンネル設定」を選ぶ

4 で選び 決定 を押す

「地上アナログ」を選ぶ

5 で選び 決定 を押す

「地上アナログー自動」を選ぶ

6 「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 画面左上に「サーチ中」が表示されます。

- 見つかったチャンネルが表示されます。
- 放送チャンネルがまったく見つからない場合は、設定前のチャンネルが表示されます。
- チャンネル設定が完了すると「登録しました」と表示され、しばらくすると手順 **3** の画面に戻ります。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

「地上アナログー自動」を行っても受信できないチャンネルがあるときは

- 地域番号一覧表（⇒ **280** ～ **283** ページ）に掲載されている都市の近郊にお住まいの場合、掲載されているチャンネルと放送局名が正しい場合は、その都市の地域番号で設定してください。
- お住まいの都市の地域番号で設定しても受信できない場合があります。このときは、「地上アナログー追加」（⇒**前**ページの手順 **5**）または「地上アナログー個別」（⇒ **284** ページ）を行ってください。
- 地域番号を設定したときに、地域番号一覧表に放送局名が記載されていないチャンネルは、自動的にチャンネルスキップされます。（地域番号「000」は除く）
- 地域番号設定をした後、「地上アナログー追加」を実行すると、受信できる放送局が増える場合があります。（UHF 放送が受信できる地域など）

「地上アナログー地域番号」について

- 左記の手順でチャンネルが受信できない場合、「地域番号早見表」（⇒ **278** ～ **279** ページ）、「地域番号一覧表」（⇒ **280** ～ **283** ページ）で都市名・放送局名・受信チャンネルを確認し、手順 **5** で「地上アナログー地域番号」を選びます。お住まいの地域に最も近い都市名の地域番号を数字ボタン（チャンネルボタン）または左右カーソルボタンで入力し、「開始」で決定ボタンを押します。
- 工場出荷時は、地域番号「000」に設定されています。

「地上アナログー追加」について

- 空きチャンネルに追加できる放送局がないかどうかを自動で探したい場合、手順 **5** で「地上アナログー追加」を選び、左右カーソルボタンで「する」を選んで決定します。見つかったチャンネルが右側に表示されていきます。

地域番号早見表／地域番号一覧表
⇒ **278** ～ **283** ページ

次のページに続く

地域番号早見表

五十音	都市名	地域番号
あ	会津若松市	021
	青森市	010
	明石市	063
	昭島市	030
	秋田市	015
	阿久根市	095
	上尾市	027
	朝霞市	027
	旭川市	002
	足利市	027
	厚木市	033
	網走市	001
	我孫子市	029
	尼崎市	061
	安城市	054
い	飯田市	045
	池田市	061
	生駒市	061
	石巻市	014
	和泉市	061
	伊勢崎市	025
	伊丹市	061
	市川市	029
	一宮市	054
	市原市	029
	茨木市	061
	今治市	081
	入間市	027
	いわき市	020
	岩国市	077
う	宇治市	060
	宇都宮市	101
	宇部市	076

五十音	都市名	地域番号
う	浦安市	029
え	海老名市	033
	江別市	001
お	青梅市	030
	大分市	091
	大垣市	047
	大阪市	061
	大館市	016
	大津市	058
	大牟田市	086
	岡崎市	054
	岡山市	070
	沖縄市	096
	小樽市	007
	小田原市	035
	帯広市	005
	小山市	027
か	各務原市	106
	加古川市	063
	鹿児島市	094
	橿原市	065
	柏市	029
	春日井市	054
	春日部市	027
	門真市	061
	金沢市	041
	鎌倉市	033
	刈谷市	054
	川口市	027
	川越市	027
	川崎市	033
	河内長野市	061
	川西市	064

五十音	都市名	地域番号
き	木更津市	029
	岸和田市	061
	北九州市	084
	北見市	009
	岐阜市	047
	京都市1	060
	京都市2	098
	桐生市	102
く	釧路市	004
	熊谷市	103
	熊本市	090
	倉敷市	070
	久留米市	085
	呉市	073
こ	高知市	082
	甲府市	043
	神戸市	061
	郡山市	019
	小金井市	030
	越谷市	027
	小平市	030
	小牧市	054
	小松市	041
さ	さいたま市	027
	堺市	061
	佐賀市	087
	酒田市	018
	相模原市	033
	佐倉市	029
	佐世保市	089
	札幌市	001
	座間市	033
	狭山市	027

五十音	都市名	地域番号
し	静岡市	049
	下関市	075
	周南市	074
	上越市	038
す	吹田市	061
	鈴鹿市	057
せ	瀬戸市	054
	仙台市	013
そ	草加市	027
た	大東市	061
	高岡市	040
	高崎市	025
	高槻市	061
	高松市	078
	宝塚市	061
	立川市	030
	多摩市	105
ち	茅ケ崎市	034
	千葉市	029
	調布市	030
つ	津市	057
	つくば市	029
	土浦市	029
	鶴岡市	018
と	東京23区	030
	徳島市	097
	所沢市	027
	鳥取市	067
	苫小牧市	006
	富山市	039
	豊川市	055
	豊田市	056
	豊中市	061
	豊橋市	055
	富田林市	061
な	長岡市	037
	長崎市	088
	長野市	044
	流山市	029
	名古屋市	054
	那覇市	096

五十音	都市名	地域番号
な	奈良市	065
	習志野市	029
に	新潟市	037
	新座市	027
	新居浜市	080
	西宮市	061
ぬ	沼津市	052
ね	寝屋川市	061
の	野田市	029
	延岡市	093
は	函館市	003
	秦野市	036
	八王子市	104
	八戸市	011
	羽曳野市	061
	浜田市	069
	浜松市	050
	半田市	054
ひ	東大阪市	061
	東久留米市	030
	東村山市	030
	彦根市	059
	日立市	023
	ひたちなか市	022
	日野市	030
	姫路市	062
	枚方市	061
	平塚市	034
	弘前市	010
	広島市	071
ふ	福井市	042
	福岡市	083
	福島市	019
	福山市	072
	藤枝市	053
	藤沢市	033
	富士市	051
	富士宮市	051
	府中市（東京）	030
	船橋市	029
へ	別府市	091

五十音	都市名	地域番号
ほ	防府市	074
ま	前橋市	025
	町田市	033
	松江市	068
	松阪市	057
	松戸市	029
	松原市	061
	松本市	046
	松山市	079
み	三郷市	027
	三島市	052
	三鷹市	030
	水戸市	022
	都城市	092
	宮崎市	092
む	武蔵野市	030
	室蘭市	008
も	盛岡市	012
	守口市	061
や	矢板市	100
	焼津市	049
	八尾市	061
	八千代市	029
	八代市	090
	山形市	017
	山口市	074
	大和市	033
よ	横須賀市	033
	横浜市	033
	四日市市	057
	米子市	068
わ	和歌山市1	107
	和歌山市2	099

次のページに続く

地域番号一覧表

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		リモコン番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名											
工場出荷時設定		000	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌	001	1	2	3	17	5	6	27	8	35	10	11	12
			北海道放送		NHK 総合	テレビ北海道	札幌テレビ		北海道文化放送		北海道テレビ			NHK 教育
	旭川	002	1	2	33	37	39	6	7	8	9	10	11	12
				NHK 教育	テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ		札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
	函館	003	21	27	35	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ	NHK 総合		北海道放送				NHK 教育		札幌テレビ
	釧路	004	1	2	39	41	5	6	7	8	9	10	11	12
				NHK 教育	北海道テレビ	北海道文化放送			札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
	帯広	005	32	2	34	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			北海道文化放送		北海道テレビ	NHK 総合		北海道放送				札幌テレビ		NHK 教育
	苫小牧	006	47	49	51	53	55	57	61	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	NHK 教育	NHK 総合	北海道文化放送	北海道放送	札幌テレビ	北海道テレビ					
	小樽	007	24	2	26	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	NHK 教育	北海道文化放送	北海道テレビ			札幌テレビ		北海道放送		NHK 総合	
	室蘭	008	1	2	29	37	39	6	7	8	9	10	11	12
				NHK 教育	テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ		札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
	北見	009	1	2	3	4	59	61	7	8	9	10	53	12
				NHK 教育			北海道文化放送	北海道テレビ	札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
青森	青森	010	1	2	3	4	5	6	38	8	34	10	11	12
			青森放送テレビ		NHK 総合		NHK 教育		青森テレビ		青森朝日放送			
	八戸	011	1	2	33	4	31	6	7	8	9	10	11	12
					青森テレビ		青森朝日放送		NHK 教育		NHK 総合		青森放送テレビ	
岩手	盛岡	012	1	2	3	4	5	6	7	8	31	35	11	33
						NHK 総合		IBC テレビ		NHK 教育	岩手朝日テレビ	テレビ岩手		めんこいテレビ
宮城	仙台	013	1	2	3	4	5	6	32	8	34	10	11	12
			東北放送		NHK 総合		NHK 教育		東日本放送		宮城テレビ			仙台放送
	石巻	014	59	2	51	4	49	6	61	8	55	10	11	57
			東北放送		NHK 総合		NHK 教育		東日本放送		宮城テレビ			仙台放送
秋田	秋田	015	1	2	3	4	5	6	7	8	9	31	11	37
				NHK 教育							NHK 総合	秋田朝日放送	秋田放送テレビ	秋田テレビ
	大館	016	1	2	3	4	5	6	7	8	9	59	11	57
				(NHK 教育)		NHK 総合		秋田放送テレビ		NHK 教育	(NHK 総合)	秋田朝日放送	(秋田放送テレビ)	秋田テレビ
山形	山形	017	1	2	3	4	5	36	30	8	9	10	11	38
						NHK 教育		テレビユー山形	さくらんぼテレビ	NHK 総合		山形放送		山形テレビ
	鶴岡	018	1	2	3	4	5	6	7	39	9	22	11	24
			山形放送		NHK 総合			NHK 教育		山形テレビ		テレビユー山形		さくらんぼテレビ
福島	福島	019	1	2	31	4	33	6	35	8	9	10	11	12
				NHK 教育	テレビユー福島		福島中央テレビ		福島放送		NHK 総合		福島テレビ	
	いわき	020	1	62	3	4	5	58	7	8	9	10	11	60
				テレビユー福島		NHK 総合		福島中央テレビ		福島テレビ		NHK 教育		福島放送
	会津若松	021	1	2	3	4	5	6	7	47	9	37	11	41
			NHK 総合		NHK 教育			福島テレビ		テレビユー福島		福島中央テレビ		福島放送
茨城	水戸	022	44	2	46	42	5	40	7	38	9	36	11	32
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
	日立	023	52	2	50	54	5	56	7	58	9	60	11	62
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
栃木	矢板	100	40	2	30	36	33	42	7	45	9	59	11	61
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	とちぎテレビ	TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
	宇都宮	101	51	2	49	53	5	55	7	57	31	41	11	44
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ	とちぎテレビ	テレビ朝日		テレビ東京
群馬	前橋	025	52	2	50	54	40	56	7	58	9	60	48	62
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	放送大学	TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日	群馬テレビ	テレビ東京
	桐生	102	51	2	57	53	40	55	7	35	9	59	41	61
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	放送大学	TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日	群馬テレビ	テレビ東京
埼玉	さいたま	027	1	2	3	4	16	6	7	8	38	10	11	12
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	放送大学	TBS テレビ		フジテレビ	テレビ埼玉	テレビ朝日		テレビ東京
	熊谷	103	51	2	35	53	5	55	16	57	30	59	11	61
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ	放送大学	フジテレビ	テレビ埼玉	テレビ朝日		テレビ東京
千葉	千葉	029	1	2	3	4	16	6	7	8	42	10	46	12
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	放送大学	TBS テレビ		フジテレビ	テレビ神奈川	テレビ朝日	千葉テレビ	テレビ東京

都道府県	都市名	地域番号 ＼ リモコン番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			受信チャンネル 放送局名											
東京	23 区	030	1 NHK 総合	2	3 NHK 教育	4 日本テレビ	14 東京メトロポリタン	6 TBS テレビ	38 テレビ埼玉	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	46 千葉テレビ	12 テレビ東京
	八王子	104	33 NHK 総合	2	29 NHK 教育	35 日本テレビ	40 東京メトロポリタン	37 TBS テレビ	7	31 フジテレビ	9	45 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
	多摩	105	49 NHK 総合	2	47 NHK 教育	51 日本テレビ	61 東京メトロポリタン	53 TBS テレビ	7	55 フジテレビ	9	57 テレビ朝日	11	59 テレビ東京
神奈川	横浜	033	1 NHK 総合	2	3 NHK 教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBS テレビ	7	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	11	12 テレビ東京
	茅ヶ崎	034	33 NHK 総合	2	29 NHK 教育	35 日本テレビ	5	37 TBS テレビ	7	39 フジテレビ	31 テレビ神奈川	41 テレビ朝日	11	43 テレビ東京
	小田原	035	52 NHK 総合	2	50 NHK 教育	54 日本テレビ	5	56 TBS テレビ	7	58 フジテレビ	46 テレビ神奈川	60 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
	秦野	036	47 NHK 総合	2	49 NHK 教育	51 日本テレビ	5	53 TBS テレビ	7	55 フジテレビ	61 テレビ神奈川	57 テレビ朝日	11	59 テレビ東京
新潟	新潟	037	21 新潟テレビ 21	2	29 テレビ新潟	4	5 新潟放送	6	7	8 NHK 総合	9	35 新潟総合テレビ	11	12 NHK 教育
	上越	038	1 NHK 教育	2	3 NHK 総合	4	5	37 新潟テレビ 21	7	27 テレビ新潟	9	10 新潟放送	11	33 新潟総合テレビ
富山	富山	039	1 北日本テレビ	2	3 NHK 総合	4	5	6	7	8	9	10 NHK 教育	32 チューリップ	34 富山テレビ
	高岡	040	50 北日本テレビ	2	48 NHK 総合	4	5	6	7	8	9	46 NHK 教育	42 チューリップ	44 富山テレビ
石川	金沢	041	1	2	3	4 NHK 総合	5	6 MRO テレビ	25 北陸朝日放送	8 NHK 教育	9	33 テレビ金沢	11	37 石川テレビ
福井	福井	042	39 福井テレビ	2	3 NHK 教育	4	5	6 MRO テレビ	7	8	9 NHK 総合	10	11 FBC テレビ	12
山梨	甲府	043	1 NHK 総合	2	3 NHK 教育	4	5 山梨放送	6	37 テレビ山梨	8	9	10	11	12
長野	長野	044	1	44 NHK 総合	50 長野朝日放送	4	40 テレビ信州	6	42 長野放送	8	46 NHK 教育	10	48 信越放送	12
	飯田	045	44 長野朝日放送	2	3 NHK 教育	4 NHK 総合	5	6 信越放送	7	42 テレビ信州	9	40 長野放送	11	12
	松本	046	1	44 NHK 総合	50 長野朝日放送	4	48 テレビ信州	6	42 長野放送	8	46 NHK 教育	10	40 信越放送	12
岐阜	岐阜	047	1 東海テレビ	2	39 NHK 総合	4	5 CBC テレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK 教育	10	11 メ～テレ	37 ぎふチャン
	各務原	106	1 東海テレビ	2	3 NHK 総合	4	5 CBC テレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK 教育	10	11 メ～テレ	41 ぎふチャン
静岡	静岡	049	1	2 NHK 教育	31 静岡第一テレビ	4	33 静岡朝日テレビ	6	35 テレビ静岡	8	9 NHK 総合	10	11 静岡放送	12
	浜松	050	1	30 静岡第一テレビ	3	4 NHK 総合	5	6 静岡放送	7	8 NHK 教育	9	28 静岡朝日テレビ	11	34 テレビ静岡
	富士	051	1	54 NHK 教育	27 静岡第一テレビ	4	29 静岡朝日テレビ	6	39 テレビ静岡	8	52 NHK 総合	10	41 静岡放送	12
	沼津	052	1	51 NHK 教育	61 静岡第一テレビ	4	57 静岡朝日テレビ	6	59 テレビ静岡	8	53 NHK 総合	10	55 静岡放送	12
	藤枝	053	1	44 NHK 教育	24 静岡第一テレビ	4	26 静岡朝日テレビ	6	38 テレビ静岡	8	42 NHK 総合	10	40 静岡放送	12
愛知	名古屋	054	1 東海テレビ	2	3 NHK 総合	4	5 CBC テレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK 教育	10	11 メ～テレ	25 テレビ愛知
	豊橋	055	56 東海テレビ	2	54 NHK 総合	4	62 CBC テレビ	6	58 中京テレビ	8	50 NHK 教育	10	60 メ～テレ	52 テレビ愛知
	豊田	056	57 東海テレビ	2	53 NHK 総合	4	55 CBC テレビ	6	59 中京テレビ	8	51 NHK 教育	10	61 メ～テレ	49 テレビ愛知
三重	津	057	1 東海テレビ	2	3 NHK 総合	4	5 CBC テレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK 教育	33 三重テレビ	11 メ～テレ	25 テレビ愛知
滋賀	大津	058	1	28 NHK 総合	3	36 毎日テレビ	5	38 ABC テレビ	7	40 関西テレビ	9	42 読売テレビ	30 びわ湖放送	46 NHK 教育
	彦根	059	1	52 NHK 総合	3	54 毎日テレビ	56 びわ湖放送	58 ABC テレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	11	50 NHK 教育

次のページに続く

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			受信チャンネル 放送局名											
京都	京都 1	060	1	2 NHK 総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABC テレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	26 奈良テレビ	10 読売テレビ	11	12 NHK 教育
	京都 2	098	32 NHK 京都	2 NHK 総合	34 京都テレビ	4 毎日テレビ	21 テレビ大阪	6 ABC テレビ	7	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	11	12 NHK 教育
大阪	大阪	061	1	2 NHK 総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABC テレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	30 テレビ和歌山	12 NHK 教育
兵庫	神戸	061	1	2 NHK 総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABC テレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	30 テレビ和歌山	12 NHK 教育
	姫路	062	1	50 NHK 総合	56 サンテレビ	54 毎日テレビ	5	58 ABC テレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	11	52 NHK 教育
	明石	063	1	51 NHK 総合	55 サンテレビ	53 毎日テレビ	19 テレビ大阪	57 ABC テレビ	7	59 関西テレビ	9	61 読売テレビ	30 テレビ和歌山	49 NHK 教育
	川西	064	1	29 NHK 総合	33 サンテレビ	35 毎日テレビ	5	37 ABC テレビ	7	39 関西テレビ	9	41 読売テレビ	11	31 NHK 教育
奈良	奈良	065	51 (NHK 総合)	2 NHK 総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABC テレビ	62 奈良テレビ	8 関西テレビ	55 (奈良テレビ)	10 読売テレビ	11	12 NHK 教育
和歌山	和歌山 1	107	1	32 NHK 総合	3	42 毎日テレビ	5	44 ABC テレビ	7	46 関西テレビ	9	48 読売テレビ	30 テレビ和歌山	25 NHK 教育
	和歌山 2	099	1	50 NHK 総合	3	54 毎日テレビ	5	58 ABC テレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	56 テレビ和歌山	52 NHK 教育
鳥取	鳥取	067	1 日本海テレビ	2	3 NHK 総合	4 NHK 教育	5	6	7	24 山陰中央テレビ	9	22 BSS テレビ	11	12
島根	松江	068	30 日本海テレビ	2	34 山陰中央テレビ	4	5	6 NHK 総合	7	8	9	10 BSS テレビ	11	12 NHK 教育
	浜田	069	1	2 NHK 総合	54 日本海テレビ	4	5 BSS テレビ	6	7	58 山陰中央テレビ	9 NHK 教育	10	11	12
岡山	岡山	070	23 テレビせとうち	2	3 NHK 教育	4	5 NHK 総合	25 瀬戸内海テレビ	35 OHK テレビ	8	9 西日本放送	10	11 山陽放送	12
広島	広島	071	31 テレビ新広島	2	3 NHK 総合	4 RCC テレビ	5	6	7 NHK 教育	8	9	35 広島ホームテレビ	11	12 広島テレビ
	福山	072	5 NHK 総合	2	57 広島ホームテレビ	4	54 テレビ新広島	6	3 NHK 教育	8	9	7 RCC テレビ	11	11 広島テレビ
	呉	073	1 NHK 教育	2	24 広島ホームテレビ	4	5 広島テレビ	6	26 テレビ新広島	8	9 RCC テレビ	10	11 NHK 総合	12
山口	山口	074	1 NHK 教育	2	3	4	28 山口朝日放送	6	38 テレビ山口	8	9 NHK 総合	10	11 山口放送	12
	下関	075	41 NHK 教育	2 九州朝日放送	23 TVQ 九州放送	4 山口放送	21 山口朝日放送	6 (NHK 総合)	33 テレビ山口	8 RKB 毎日放送	39 NHK 総合	10 テレビ西日本	35 福岡放送	12 (NHK 教育)
	宇部	076	55 NHK 教育	2 九州朝日放送	3	4	24 山口朝日放送	6 (NHK 総合)	44 テレビ山口	8 RKB 毎日放送	58 NHK 総合	10 テレビ西日本	61 山口放送	12
	岩国	077	1 NHK 教育	2	3	4 RCC テレビ	62 テレビ山口	6	28 山口朝日放送	8	9 NHK 総合	10 南海テレビ	11 山口放送	12 広島テレビ
徳島	徳島	097	1 四国テレビ	2	3 NHK 総合	4 毎日テレビ	5	6 ABC テレビ	7	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	11	38 NHK 教育
香川	高松	078	33 瀬戸内海テレビ	2	39 NHK 教育	4	37 NHK 総合	6	31 OHK テレビ	8	41 西日本放送	10	29 山陽放送	19 テレビせとうち
愛媛	松山	079	1	2 NHK 教育	3	29 あいテレビ	25 愛媛朝日テレビ	6 NHK 総合	7	37 テレビ愛媛	9	10 南海テレビ	11	35 広島ホームテレビ
	新居浜	080	1	2 NHK 総合	3	4 NHK 教育	14 愛媛朝日テレビ	6 南海テレビ	7	36 テレビ愛媛	9	10	27 あいテレビ	12
	今治	081	1	30 NHK 教育	3	27 あいテレビ	14 愛媛朝日テレビ	32 NHK 総合	7	36 テレビ愛媛	9	34 南海テレビ	11	38 広島ホームテレビ
高知	高知	082	1	2	3	4 NHK 総合	5	6 NHK 教育	7	8 高知放送	9	38 テレビ高知	11	40 高知さんさんテレビ
福岡	福岡	083	1 九州朝日放送	2	3 NHK 総合	4 RKB 毎日放送	5	6 NHK 教育	7	8	9 テレビ西日本	10	19 TVQ 九州放送	37 福岡放送
	北九州	084	1	2 九州朝日放送	23 TVQ 九州放送	35 福岡放送	5	6 NHK 総合	7	8 RKB 毎日放送	9	10 テレビ西日本	11	12 NHK 教育
	久留米	085	57 九州朝日放送	2	46 NHK 総合	48 RKB 毎日放送	5	54 NHK 教育	7	8	60 テレビ西日本	10	14 TVQ 九州放送	52 福岡放送
	大牟田	086	58 九州朝日放送	19 TVQ 九州放送	53 NHK 総合	61 RKB 毎日放送	5	50 NHK 教育	7	8	55 テレビ西日本	10	43 福岡放送	12

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名											
佐賀	佐賀	087	19 TVQ 九州放送	36 サガテレビ	40 NHK 教育	38 NHK 総合	48 RKB 毎日放送	52 福岡放送	57 九州朝日放送	60 テレビ西日本	9 (NHK 総合)	10	11 熊本放送	12
長崎	長崎	088	1 NHK 教育	2	3 NHK 総合	4	5 長崎放送	6	37 テレビ長崎	8	27 長崎文化放送	10	25 長崎国際テレビ	12
長崎	佐世保	089	1	2 NHK 教育	3	17 長崎国際テレビ	5	31 長崎文化放送	7	8 NHK 総合	9	10 長崎放送	11	35 テレビ長崎
熊本	熊本	090	1	2 NHK 教育	16 熊本朝日放送	4	22 熊本県民テレビ	6	34 テレビ熊本	8	9 NHK 総合	10	11 熊本放送	12
大分	大分	091	1 (NHK 教育)	2	3 NHK 総合	34 あいテレビ	5 大分テレビ	6 (NHK 総合)	36 テレビ大分	32 テレビ愛媛	24 大分朝日放送	10 南海テレビ	11	12 NHK 教育
宮崎	宮崎	092	1	2	3	4	5	35 テレビ宮崎	7	8 NHK 総合	9	10 宮崎放送	11	12 NHK 教育
宮崎	延岡	093	1	2 NHK 教育	3	4 NHK 総合	5	6 宮崎放送	7	39 テレビ宮崎	9	10	11	12
鹿児島	鹿児島	094	1 南日本放送	2	3 NHK 総合	4	5 NHK 教育	6	32 鹿児島放送	8	38 鹿児島テレビ	10	30 鹿児島読売テレビ	12
鹿児島	阿久根	095	1	17 鹿児島読売テレビ	3	23 鹿児島放送	5	35 鹿児島テレビ	7	8 NHK 総合	9	10 南日本放送	11	12 NHK 教育
沖縄	那覇	096	1	2 NHK 総合	3	4	5	6	7	8 沖縄テレビ	28 琉球朝日放送	10 琉球放送テレビ	11	12 NHK 教育

◇**おしらせ**◇

- 地域番号別に設定されたリモコン番号と受信チャンネル・放送局名は、当社が 2007 年 2 月に調査した結果によるものです。

その他の地域番号 （＊印のチャンネルはスキップされません。）

- 地域番号は「000」から「107」までありますが、次の番号に該当する地域はありません。

リモコン番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
地域番号	受信チャンネル											
024	＊29	2	＊27	＊25	5	＊23	7	＊21	＊31	＊19	11	＊17
026	＊43	2	＊45	＊39	＊40	＊37	7	＊35	9	＊33	＊41	＊31
028	＊33	2	＊35	＊25	5	＊23	＊16	＊21	＊28	＊19	11	＊17
031	＊51	2	＊49	＊53	＊47	＊55	7	＊57	9	＊59	11	＊61
032	＊30	2	＊32	＊26	＊28	＊24	7	＊22	9	＊20	11	＊18
048	＊1	2	＊3	4	＊5	6	＊35	8	＊9	10	＊11	＊28
066	1	＊32	3	＊42	5	＊44	7	＊46	9	＊48	＊30	＊26

地上アナログ放送のチャンネルの個別設定

- 登録したチャンネルは、個別に以下の項目を変更できます。

項目	内容
受信チャンネル	• リモコンの数字ボタン（チャンネルボタン）を押したときに選局するチャンネルを設定します。地域番号一覧表に当てはまらない地域や、地域番号によるチャンネル設定後に他の放送チャンネルを追加したいときは、この操作で一局ずつ設定してください。 • 新聞の番組表などのチャンネルの順番に合わせておくと便利です。
チャンネル表示	• 画面に表示されるチャンネル番号を設定します。お住まいの地域で使い慣れたチャンネル表示に変更できます。
受信微調整	• 受信中の映像（設定画面の背景で表示されている映像）が最も鮮明に見えるように、受信状態を調整します。－64～0～+63の範囲で調整できます。
スキップ	• 選局（∧順／∨逆）ボタン（緑）で選局をしたときに、視聴しないチャンネルを飛ばせます。「する」でスキップの設定をし、「しない」で解除されます。

1 地上アナログ放送を選ぶ

を押す

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「テレビ放送設定」を選ぶ

を押し
で選び 決定 を押す

選びかたは、**26**～**31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 「チャンネル設定」を選ぶ

で選び
を押す

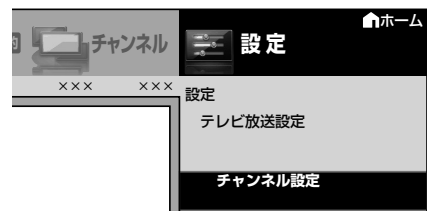
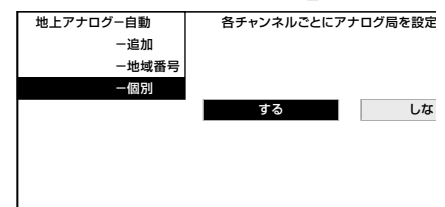
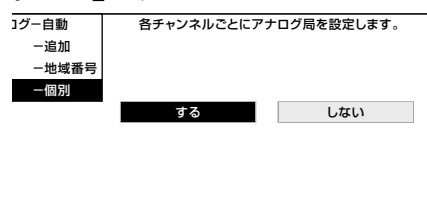
4 「地上アナログ」で決定する

を押す

5 「地上アナログ－個別」を選ぶ

で選び
を押す

6 「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

7 変更したい「リモコン番号」（放送チャンネル）を選ぶ

で選ぶ

リモコン番号	5
受信チャンネル	5
チャンネル表示	5

- 地上アナログチャンネルは、「1」～「20」です。
- CATV チャンネルは「C13」～「C63」です。
- リモコン番号「1」～「12」を変更するときは、リモコンの数字ボタン（チャンネルボタン）を押しても選べます。

8 変更したい項目を選ぶ

で選ぶ

（例）受信チャンネルを変更する場合

リモコン番号	5
受信チャンネル	5
チャンネル表示	5
受信微調整	0 −64 +63
スキップ	する しない

9 画面の指示に従い、数値や項目を設定する

で選ぶ

- 詳しくは、**前**ページの表を参照してください。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

選局ボタン（緑）でCATV チャンネルを選局したいときは（CATV スキップ解除）

- CATV チャンネル（C13 ～ C63）は、工場出荷時にスキップ「する」の状態になっています。選局ボタン（緑）で選局したいときは、次の操作を行ってください。

1 前ページの手順**1**～**6**を行う

2 「リモコン番号」を選ぶ

で選ぶ

リモコン番号	5
受信チャンネル	5
チャンネル表示	5

3 スキップを解除したいCATVチャンネルを選ぶ

で選ぶ

（例）C13 チャンネルを選んだ場合

リモコン番号	C13

4 「スキップ」を選ぶ

で選ぶ

5 「しない」を選ぶ

で選ぶ

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

CATV（ケーブルテレビ）放送について

- CATV のサービスが行われている地域のみ受信できます。
- CATV を受信するときは、使用する機器ごとに CATV 会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはホームターミナル（アダプター）が必要になります。詳しくは CATV 会社にご相談ください。
- 本機の CATV チャンネルは、C13 ～ C63 チャンネルの範囲で選局できます。（「ケーブルテレビのチャンネルを選ぶ」⇒ **34** ページ）
- 「受信チャンネル」の設定で、CATV チャンネルを設定すると、リモコンの数字ボタン（チャンネルボタン）で CATV チャンネルを選局できます。
- 手順 **8** で「受信チャンネル」を選び、手順 **9** で右カーソルボタンまたは左カーソルボタンを押し続けると、放送を探して受信します。

放送が受信できないときに確かめること

放送が受信できないときは

- 受信状態が悪い場合、右のような画面が表示されます。
- 右のような画面が表示されているときに（決定）を押すと、受信状態の一覧が表示されます。
- 受信状態の一覧（下の画面）では、デジタル放送の各チャンネルの受信強度や地上デジタル放送で受信できるチャンネルなどが確認できます。

受信状態一覧で、最新の状態を表示するには

- （決定）を押します。（表示が切り換わるまで時間がかかる場合があります。）

受信状態一覧の画面を消すときは

- （終了）を押します。

（画面は一例です。）

> BS 103chが受信できません。【E202】
> リモコンで放送切換や選局を確認ください。または
> アンテナの調整・接続を確認ください。雨や雪など
> の影響で一時的に受信できない場合もあります。
> （決定）で受信状態一覧へ

> 現在放送されていません。【E203】
> 番組表などで放送時間を確認してください。
> 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できな
> い場合もあります。（決定）で受信状態一覧へ

現在の受信状態の説明（画面は一例です。）　　**解決方法**

テレビ　受信状態一覧　　11/ 3［火］午前11:00

各チャンネルのアンテナ受信状態の一覧表示です。
（決定）キーを押すと受信状態を再確認することができます。

<BS・CS>
一部の放送の受信状態が悪くなっています。
◇設置されているBS･CSアンテナが、BSデジタル･110度CSデジタル放送受信に対応していない
◇アンテナケーブルや分配器などがデジタル対応でない
※アンテナ機器の交換は販売店などにご相談ください。

【ここをお確かめください】
◇BS･CSアンテナがBSデジタル･110度CSデジタルに対応しているかご確認ください。
◇アンテナケーブル、ブースターや分配器などは衛星デジタル放送の受信に対応したものをご使用ください。

<地上デジタル>

放送局	3桁	受信強度 2009/2/19	受信強度 現在	状態
NHK総合･東京	011 1	87	64	A
NHK教育･東京	021 2	87	65	A
日本テレビ	041 4	90	66	A
TBS	061 6	82	41	C
フジテレビジョン	081 8	77	35	C
テレビ朝日	051 5	85	53	B
テレビ東京	071 7	80	39	C
放送大学	121 12	80	43	C
tvk	−	32	0	☆E

☆が示されているチャンネルは隣接地域向け放送であるため、この地域では受信強度が十分確保できない可能性があります。

<BS･CSアンテナ>

BS 衛星信号	受信強度 現在	状態
BS−1	94	A
BS−3	94	A
BS−5	−	−
BS−7	−	−
BS−9	94	A
BS−11	−	−
BS−13	94	A
BS−15	94	A
BS−17	94	A

CS 衛星信号	受信強度 現在	状態
CS−2	90	A
CS−4	86	A
CS−6	67	A
CS−8	69	A
CS−10	46	B
CS−12	45	B
CS−14	43	B
CS−16	56	D
CS−18	42	B
CS−20	31	B
CS−22	41	C
CS−24	1	C

［受信状態］

A	アンテナ信号は良好です
B	受信強度が60以下です
C	アンテナ信号が不足しています または、アンテナ信号が強すぎます
D	受信状態が良くありません
E	受信できません

※良好な受信には、受信強度が60以上必要です。

［設定内容］
地域設定　:○○
郵便番号　:〒000-0000
B−CASカード　:OK
BS･CSアンテナ電源　:オート（切）
バージョン情報　:00000000 0000000

（決定）を押す　（戻る）で前の画面に戻る

地上デジタル放送の受信状態一覧

BSデジタル放送と110度CSデジタル放送の受信状態一覧

現在の地域設定
お住まいの地域に設定されていない場合、地上デジタル放送を正しく受信できません。

受信状態の一覧は、直前に視聴していた放送（「地上デジタル」または「BSデジタル」「110度CSデジタル」のいずれか一方）が表示されます。

受信できないチャンネルがあるときは

受信状態一覧の、【ここをお確かめください】の表示内容を確認してください。

【ここをお確かめください】

テレビ　受信状態一覧　11/ 3［火］午前11:00

各チャンネルのアンテナ受信状態の一覧表示です。
（決定）キーを押すと受信状態を再確認することができます。

<BS・CS>
一部の放送の受信状態が悪くなっています。
◇設置されているBS･CSアンテナが、BSデジタル･110度CSデジタル放送受信に対応していない
◇アンテナケーブルや分配器などがデジタル対応でない
※アンテナ機器の交換は販売店などにご相談ください。

【ここをお確かめください】
◇BS･CSアンテナがBSデジタル･110度CSデジタルに対応しているかご確認ください。
◇アンテナケーブル、ブースターや分配器などは衛星デジタル放送の受信に対応したものをご使用ください。

- 地上デジタル放送用アンテナとの接続について⇒ **244 ～ 247** ページをご覧ください。
- BS・110 度放送用アンテナとの接続について⇒ **244 ～ 247** ページをご覧ください。
- 「アンテナ接続のワンポイントアドバイス」⇒ **289** ページもご覧ください。
- かんたん初期設定をやり直すとき⇒ **267** ページをご覧ください。
- 受信している放送局をリモコンの数字ボタンに割り当てることができます。
  数字ボタンが割り当てられていない場合は、3 桁入力で選局できます。

▼地上デジタル放送の受信状態一覧

<地上デジタル>

放送局	3桁		受信強度 2009/2/19	受信強度 現在	状態
NHK総合･東京	011	1	87	64	A
NHK教育･東京	021	2	87	65	A
日本テレビ	041	4	90	66	A
TBS	061	6	82	41	C
フジテレビジョン	081	8	77	35	C
テレビ朝日	051	5	85	53	B
テレビ東京	071	7	80	39	C
放送大学	121	12	80	43	C
tvk	–		32	0	☆E

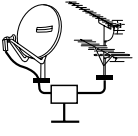
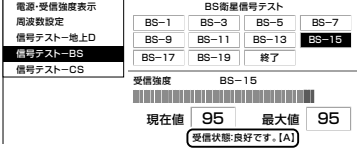
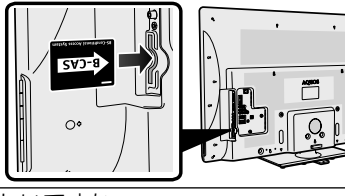
- リモコンの数字ボタンを割り当てるには
  ⇒ **274** ページをご覧ください。

◇**おしらせ**◇

BS デジタル放送の受信状態について

- 現在、信号が送られているのは「BS-1」「BS-3」「BS-9」「BS-13」「BS-15」「BS-17」です。
  このため、「BS-5」「BS-7」「BS-11」「BS-19」の受信状態は表示されません。
  (2010 年 6 月現在)

BS・110 度 CS デジタル放送について

- デジタル放送には有料放送があります。視聴するには、視聴契約する必要があります。
  BS・110 度 CS デジタル放送が受信できない場合は、視聴契約がお済みかどうかご確認ください。

テレビが正しく映らないときや画質が悪いときは
（[E202] と表示される）

故障ではないことがあります。
お電話をする前に、
ここをお確かめください。

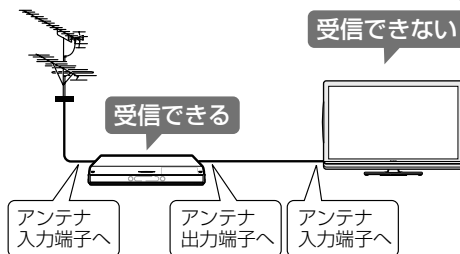
	こんな症状が出るときは	▶ここをお確かめください	▶参照ページ
地上アナログ放送	色じま模様が出る	• アンテナケーブルが古くなっていませんか。	−
	雪が降っているような画面になる	• アンテナ線が切れていませんか。	−
		• アンテナの向きは正しいですか。	−
		• 平行フィーダー線の場合、本機から線をできるだけ離してください。	236
デジタル放送	映像も音声も出ない	• アンテナケーブルは接続されていますか。	244~247・289
		• 端子を間違えて接続していませんか。	−
		• アンテナケーブルが切れていませんか。	−
		• BS･CS アンテナ電源設定を「オート」にしてみてください。「オート」に設定している場合は「入」にしてみてください。	269~270
		• B-CAS カードは正しく挿入されていますか。 ▼本体背面	242
	映像にノイズ(モザイク状／ブロック状)や線が入ったり、ちらついたりする。 音声が途切れる。 映像が映らない／映らなくなる。	• アンテナの向きは正しいですか。	−
		•「受信状態：良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。表示が異なる場合は、「アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ」(⇒ **302** ページ)をご覧になり必要な処置をしてください。	269~270
		• 110 度 CS デジタル放送の場合は、アンテナケーブルや分配器は 110 度 CS 帯域対応のものを使用していますか。	−
	BSデジタル放送の一部のチャンネルが視聴できない	• WOWOW やスターチャンネルは有料です。視聴するためには契約をしてください。	243
		• 地デジ難視対策衛星放送については、地デジ難視対策衛星放送受付センターへお問い合わせください。(0570-08-2200)	275
	110 度 CS デジタル放送が視聴できない	• アンテナやアンテナケーブル、分波器は 110 度 CS 帯域 (2150MHz) まで対応のものを使用していますか。	244~247
	画面にノイズが出る	• ノイズが出るときはケーブル同士を離すと軽減されることがあります。	−
		• アンテナケーブルは正しく接続されていますか。	244~247・289
	特定のチャンネルだけ映らない	• 有料放送は視聴契約が必要です。	243
		• アンテナの受信強度を確認してください。	269~270

• アンテナの接続については、**244 〜 247**、**289** ページをご覧ください。

アンテナ接続のワンポイントアドバイス

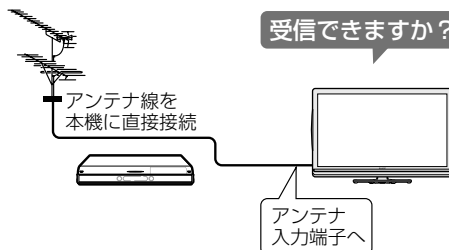
• お住まいの地域やチャンネルによっては電波が弱く、アンテナの接続方法やレコーダーなどの機器との接続により、映らない場合が考えられます。このような場合、アンテナの接続状況を変えていただくと映る場合がありますので、本ページを参考にご確認をお願いします。

こんなときは

アンテナ線を、レコーダーを経由して本機に接続している場合に、レコーダーは放送を受信できるのに本機は受信できない。

アドバイス

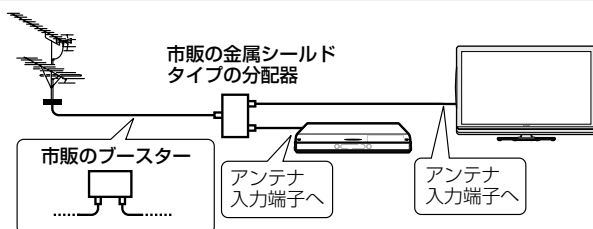
レコーダーに接続しているアンテナ線を本機の入力に直接接続してみてください。

本機が受信できる場合は、本機の故障ではありません。

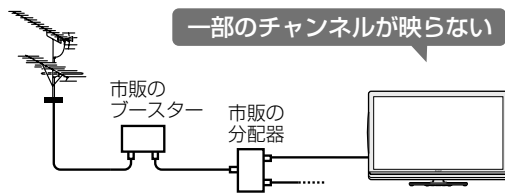
• レコーダーに内蔵されているアンテナ分配機能の性能により、本機が受信できないことがあります。レコーダーの出力端子から本機の入力端子に接続するのは止めましょう。

解決方法

アンテナ線を市販の金属シールドタイプの分配器で分配して、レコーダーと本機のそれぞれに接続してください。

それでも受信できない場合は…

• アンテナ線を市販のブースターに接続してください。

こんなときは

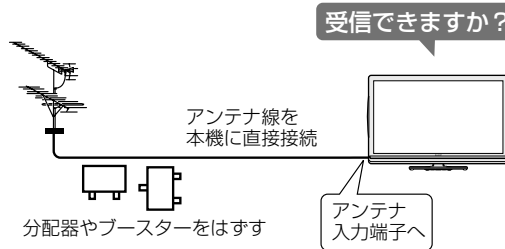
分配器やブースターを使用している場合に一部のチャンネルだけ映らない。

一部のチャンネルが映らない
市販のブースター
市販の分配器

アドバイス

使用している分配器やブースターをはずして、アンテナ線を本機に直接接続してみてください。
（レコーダーやパソコンなどの使用を止めて確認してください。これらの機器から発生する電波などによる障害も考えられます。）

正しく受信できる場合は、本機の故障ではありません。

• 分配器やブースターの性能により、正しく受信できないことがあります。

受信できますか？
アンテナ線を本機に直接接続
分配器やブースターをはずす
アンテナ入力端子へ

解決方法

市販の、地上デジタル放送やＢＳデジタル放送に対応している分配器やブースターと交換してください。

それでも受信できない場合は…

• ご購入のご販売店などにご相談ください。

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、修理を依頼される前にもう一度お調べください。なお、アフターサービスについては「保証とアフターサービス」（⇒ **332** ページ）をご覧ください。

まず確認してください

電源が入らない

電源コードのプラグを奥まで確実に差し込んでください（⇒ 260 ページ）

電源入力(AC100V)端子

LC-60LX3

LC-52LX3
LC-46LX3
LC-40LX3

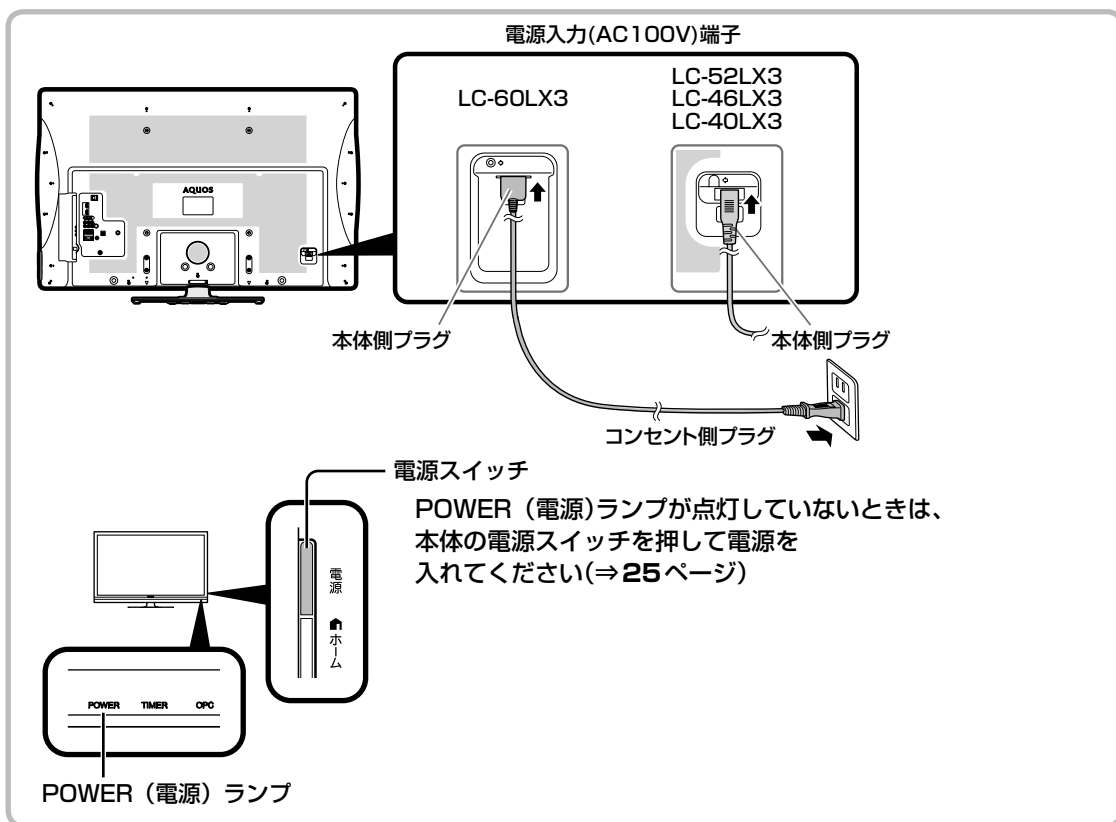
本体側プラグ

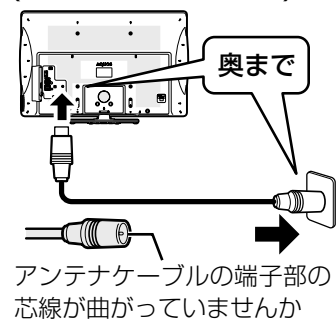
本体側プラグ

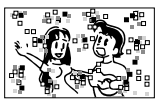
コンセント側プラグ

電源スイッチ

POWER（電源）ランプが点灯していないときは、本体の電源スイッチを押して電源を入れてください(⇒**25**ページ)

POWER（電源）ランプ

TV 放送が見られない

アンテナケーブルの端子を奥まで確実に差し込んでください（⇒ **244** ～ **247** ページ）

ビデオ・DVD が見られない

リモコンの入力切換ボタンを繰り返し押して、見たい機器の入力を選んでください（⇒ **114** ページ）

全般についての故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
？ 映像も音声も出ない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ・POWER（電源）ランプが緑色に点灯していますか。 ・テレビ（地上アナログ放送、CATV）やデジタル放送を見たいのに、ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 ・外部機器の映像が出ないとき、正しく入力切換ができていますか。 ・接続ケーブルが抜けていませんか。	260 25 114 114 –
リモコンが動作しない	・POWER（電源）ランプが緑色に点灯していますか。 ・乾電池の極性（⊕、⊖）が逆になっていませんか。 ・リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ・リモコンはリモコン受光部に向けてお使いですか。 ・リモコン番号が本体と一致していますか。画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されているときは、リモコン番号の設定が必要です。 以下の場合は、リモコンで動作しにくくなります。 ・リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。 ・リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっていませんか。 ・照明の向きを変えるなどしてみてください。 ・蛍光灯などが近くにありませんか。 ・受信設備の消耗減衰のために（映り等に影響する場合もあります）操作切換が遅くなることがあります。（天候等の環境で受信強度の数値が変動するとノイズの影響を受けます。） ・電池の端子が酸化（薄黒く）していませんか。室温が極端に低下していませんか。	25 24 24 24 320~321 –
映像は出るが音声が出ない	・音量調整が最小になっていませんか。 ・「消音」状態になっていませんか。 ・ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか。 ・入力６端子設定が「モニター出力（可変 1）」に設定されていませんか。 ・D 映像・S 映像端子を使用する場合、音声端子も接続していますか。 ・入力２の場合「入力音声選択」が「HDMI ＋音声入力端子」になっていませんか。 ・入力７の場合「入力音声選択」が「アナログ RGB のみ」になっていませんか。	32 32 21 126 250 131 131
ビデオが映らない、ビデオが映らなくなった	・ビデオ機器の電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ・ビデオ機器の電源は入っていますか。 ・ビデオ機器を接続している入力を選んでいますか。 ・ビデオ機器からアンテナケーブルがはずれていませんか。	– – 114 –
音声は出るが映像が出ない	・映像オフが「する」になっていませんか。 ・映像ケーブルが抜けていませんか。	39 250
色が薄い色あいが悪い	・「色の濃さ」、「色あい」は正しく調整されていますか。	73～74

次のページに続く

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
画面が暗い 黒色が潰れる	•「AV ポジション」をご確認ください。「標準」でも暗いと感じる場合は、「AV メモリー」を試してください。	**68～69**
画面が大きくなったり、小さくなったりする	• オートワイド機能が「する」になっていませんか。設定を「しない」に変更してください。	**66～67**
テレビの上部が熱い	• 内部の回路から発生する熱で温まった空気が自然な対流により、上部を通って抜ける構造になっているため、上部が温かくなります。本体の温度が異常に上昇したときは画面右下に「温度」または「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れます。	**—**
画面右下に「温度」または「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れる	• 本機の温度が上昇したためです。温度が上昇した原因を取り除いてください。 • 本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本機背面の通風孔がふさがらないように設置してください。 • 本機の内部や通風孔にたまっているホコリで、外部から取り除けるものはこまめに取り除いてください。内部のホコリの除去については、お買いあげの販売店にご相談ください。	**—** **—** **—**
リモコンや本体のボタンの操作ができない	• 外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。本体の電源スイッチで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて約 1 分放置した後、再度差し込んで電源を入れてみてください。 • チャイルドロックが設定されていませんか。 • 本体とリモコンのリモコン番号を同じ番号に設定していますか。画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されているときは、リモコン番号の設定が必要です。	**—** **93** **320～321**
ときどき「ピシッ」と音がする	• 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	**—**
リモコンで電源を切った後に、ときどき「カチ」と音がする（数回鳴る場合があります。）	• 本機の電源が待機状態のときでも、次の場合は動作している音が鳴ることがあります。 •デジタル放送の録画予約を実行している場合 •ダウンロードをしている場合 •有料放送の契約情報を取得している場合 •地上デジタル放送の番組表の情報を取得している場合	**106～107・148～149・154～155** **314～315** **—** **42・48**
時刻表示が画面に出ない	•「時刻表示」の設定は「する」になっていますか。	**37**
時刻表示が消えない	• リモコンの画面表示ボタンを繰り返し押してみてください。	**37**
チャンネル表示が画面に出ない	• チャンネル表示は、ホームメニューで「時刻表示」の設定を「する」にしているときに表示できます。	**36・37**
字幕表示が画面に出ない	•「字幕表示」の設定は「常時表示」になっていますか。 •「字幕表示」の設定は字幕アウトスクリーンになっていますか。 •「字幕表示」の設定が「リモコン切換」の場合、字幕表示をする設定にしていますか。	**55** **55** **55**
入力切換をしても選べない	• 入力スキップが「しない」に設定されています。	**115**

デジタル放送関係についての故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
? 映像も音声も出ない	• 個人でBS･110度CSデジタル放送用アンテナを設置しているのに、アンテナ電源が「切」になっていませんか。 個人で BS･110 度 CS デジタル放送用アンテナを設置し、そのアンテナに複数の機器を接続している場合で、本機以外の機器の中にも必要に応じてアンテナへ電源を供給する設定がある場合、電源供給のタイミングによってはどちらからも電源供給されない状態になり、映像も音声も出なくなる場合があります。このときは、本機のアンテナ電源を「入」にしてください。 • その局が放送していない時間帯ではありませんか。 • ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 • B-CASカードは正しく挿入されていますか。	269 269 – 114 242
• 映像にノイズ（モザイク状／ブロック状）や線が入ったり、ちらついたりする • 音声が途切れる • 映像が映らない／映らなくなる	• アンテナの向きがずれていませんか。 • 受信強度を確認してください。 • 受信状態を確認してください。 • アンテナの前方に障害物はありませんか。 • アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。	– 269~270•286 269~270•286 – 244~247
BS デジタル放送の一部が視聴できない	• B-CASカードは正しく挿入されていますか。 • 有料放送を視聴するための契約はしていますか。 • 地デジ難視対策衛星放送（BS291ch～BS298ch）については、地デジ難視対策衛星放送受付センターへお問い合わせください。（0570—08—2200）	242 243 275
110 度 CS デジタル放送が受信できない	• アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。 • ブースターや分配器などをご使用になっている場合、110度CS帯域（2150MHz）まで対応した機器をお使いですか。	244～247 244～247
BS デジタル・110 度 CS デジタル放送に雑音が出たり、まったく受信できなくなる	• 強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着していませんか。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。 • 春分や秋分の前後 20 日程度は人工衛星が地球の陰（食）になるため、深夜一時的に電波が止まる場合があります。これは故障ではありません。	– –
地上デジタル放送が受信できない	• お住まいの地域で地上デジタル放送は開始されていますか。 • 地上デジタル放送の受信に必要なUHFアンテナが正しく設置されていますか。 • アンテナ線は正しく接続されていますか。 • お住まいの地域を地域選択で正しく設定していますか。 • チャンネル設定は正しくされていますか。	– – 244~247 271~272 273~275

次のページに続く

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
画面にノイズが出る	• VHF/UHFのアンテナケーブルがBS･110度CSデジタルアンテナケーブルと接近していませんか。	**–**
特定のチャンネルだけ映らない	• 契約していない有料放送ではありませんか。 • 受信強度を確認してください。 • 地デジ難視対策衛星放送(BS291ch～BS298ch)については、地デジ難視対策衛星放送受付センターへお問い合わせください。(0570ー08ー2200)	**243** **269~270** **275**
番組表が表示されない **番組表に表示されない番組がある**	• 地上デジタル放送の場合、視聴していないチャンネルは、番組表に情報が表示されません。番組表取得を「する」に設定すると、リモコンで電源を切った（待機状態）ときに各放送チャンネルの番組表情報を取得します。 • デジタル放送を選局していますか？ • 電源を入れた後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。 • スキップを「する」に設定していませんか。	**48** **–** **–** **274～275**
番組の予約をしても受信できない	• 契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組などを予約していませんか。	–
デジタル放送が受信できない	• 外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。本体の電源スイッチで電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いて約1分放置した後、再度差し込んで電源を入れてみてください。 • BSデジタル放送および110度CSデジタル放送を視聴するとき、BS･110度CS共用アンテナ(市販品)およびBS･110度CSデジタル用アンテナケーブル(市販品)を接続していますか。	– –

地上アナログ放送についての故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
映像が出ず雑音のみ出る	・アンテナ線がはずれたり、ショートしたりしていませんか。 ・アンテナ線は正しく接続されていますか。	244～247
画像にはん点が出る	・自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていませんか。アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離れた場所に立ててください。	18
映像が二重になる（ゴースト）	・近くに山や大きな建物・樹木がありませんか。それらの反射電波の影響も考えられます。 ・アンテナの向きや高さを変えてみてください。	–
色じま模様が出る	・近所のテレビからの妨害電波を受けていませんか。アンテナの向きや高さを調整すれば、妨害をある程度少なくすることができます。 ・古いアンテナケーブルは使わないでください。	– 244～247
雪が降っているような画面になる	・アンテナ線は正しく接続されていますか。 ・屋外アンテナ線が切れたり、はずれたりしていませんか。 ・アンテナの向きが変わったり、アンテナが壊れたりしていませんか。 ・平行フィーダー線の場合、本機から線をできるだけ離してみてください。	244～247 – – 236
特定のチャンネルだけ映らない	・チャンネルの「受信微調整」がずれていませんか。	284

IrSS™ についての故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
IrSS™ 通信に反応しない	・送信機器の赤外線発光部の位置を取扱説明書で再確認してください。 ・送信機器を IrSS™ の受光部に近づけて再度送信してください。 ・送信機器の赤外線通信が IrSS™ 通信に対応しているかどうか確認してください。	– 191・225 –

インターネット関係についての故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
AQUOS.jpのページが表示されなくなった	・ブロードバンドルーターや信号変換機器の電源が切れていませんか。 ・LANケーブルがはずれていませんか。 ・「ネットサービス制限設定」–「インターネット接続制限」を「禁止しない」に設定してください。 ・ブロードバンド回線やプロバイダーのメンテナンスなどにより、接続できない期間ではありませんか。しばらく、時間をおいてからもう一度接続してください。	– 171 184 –
文字が読めない文字になった	・ブラウザメニューの文字コードを変更してください。	193
カーソルボタンでページの続きを表示できない	・ページの読み込みが終わるまでお待ちください。	–
インターネットに接続できない	・「双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする)」をご覧いただき、接続・設定状況をご確認ください。 【パソコンをお持ちの場合】 ・本機に差し込まれている LAN ケーブル (CAT5 以上) をパソコンに差し込み、パソコンでインターネットに接続できるかどうか試してください。 ・できる場合は、ブロードバンドルーターから LAN 側（本機側）の接続・設定を確認してください。できない場合は、ブロードバンドルーターから WAN 側（プロバイダー側）の接続・設定を確認してください。 【停電などにより、モデムやケーブルモデム、ブロードバンドルーターの電源をいったん切った場合など】 ・電源が再投入されてから数分程度インターネットが復旧するまで時間がかかる場合があります。 ・外部からのノイズなどにより、通信機能に障害が発生した可能性があります。本体の電源スイッチで電源を切り、1 分間放置した後、再度電源を入れてください。	168～180 – – –
ホームページの音声が聞こえない ホームページの動画が再生できない	・本機では、一部の形式の音声ファイル (WAV や AAC 形式の一部) については再生可能ですが、一般の Web ページで配信されている動画や音声はパソコン向けに作られており、特に本機の機種名が対応機種としてその Web ページに明記されていない限りは、基本的に再生できないとお考えください。	–
パソコンのインターネット機能でできることが、本機ではできない	・本機でインターネットを活用するときは、パソコンの一般的なブラウザと比べて以下のような点などが異なりますので、ご了承ください。 ・ファイルのダウンロードはできません。 ・PDF（電子文書）を読み込む機能はついておりません。 ・メールの送受信機能はありません。	–
フォトリモ ™ 通信に反応しない	・携帯電話の赤外線発光部の位置を携帯電話の取扱説明書で再度ご確認ください。 ・携帯電話を IrSS™ の受光部に近づけて再度送信してみてください。	– 191

無線LAN関係についての故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
無線LANで接続できない	•「ブロードバンド環境とLAN環境の用意のしかた」をご覧いただき、ブロードバンド環境をご確認ください。 •「無線LAN環境を用意する」をご覧いただき、接続、設定状態をご確認ください。 • 無線LANの接続設定を実施されましたか。「アクセスポイントに接続する」をご覧いただき、接続、設定状態をご確認ください。 • ブロードバンドルータやアクセスポイントの設定は正しく設定されていますか。機器の取扱説明書をご確認ください。 • 無線設定が有効になっているとき、USB無線LANアダプター本体上部にあるLEDランプは緑色に点灯していますか。点灯していない場合は、USB無線LANアダプターもしくは本機の故障が考えられます。当社アフターサービスまでお問合せください。	**169** **174** **177** **–** **–**
映像や音声がときどき停止する、または繋がらなくなった	• 無線LANアクセスポイントの設置場所は、本機から遠い場所に設置されていませんか。設置環境によっては、電波が小さくなり通信が途切れたり届かなくなります。「無線接続の設定を確認する」をご覧いただき、受信レベルが良好になるように設置位置を変えてみてください。 • ご使用の無線LANアクセスポイントが高速無線通信（802.11n/5GHz/40MHz）に対応していない場合、通信速度が足りず視聴ができない場合があります。無線LANアクセスポイントの対応方式と設定を確認してみてください。 • 無線LANアクセスポイントは、本機以外に、パソコン／ゲーム機などを無線LANで接続していますか。無線LANアクセスポイントに複数のネットワーク機器を同時使用する場合、通信速度が落ちて視聴に影響を与える場合があります。他の機器の接続を停止して本機だけ接続してみてください。 • 電子レンジ／他の通信機器などを使用していますか。同じ周波数を利用する無線通信機器との干渉、電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害の影響で、通信速度が落ち視聴に問題を与える場合があります。他の通信機器の電源を落として確認してみてください。またはアクセスポイントの設定で通信周波数を変更してみてください。 • 無線LANアクセスポイントに、本機および他の機器から無線設定を行うと、アクセスポイントの無線設定が変更される場合があります。アクセスポイントの設定を確認してみてください。	**183** **174・183** **183** **183** **177・183**
IPTV動画サービスだけが受信できない	• お使いのブロードバンドルータおよび無線LANアクセスポイントは、IPv6方式に対応していますか。IPv6に対応していない場合は接続できない場合があります。ご使用の機器の取扱説明書でご確認ください。	**–**
無線接続設定ができない(WPS、アクセスポイント選択、アクセスポイント登録、の方法で設定ができない)	• 無線LANアクセスポイントの設置場所は、本機から遠い場所に設置されていませんか。設置環境によっては、電波が弱くなり接続できない場合があります。本機の近くに設定して確認してみてください。	**174**

次のページに続く

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
WPS プッシュボタン方式で接続できない	• 無線 LAN アクセスポイントは WPS プッシュボタン方式に対応していますか。機器の取扱説明書をご確認ください。 • 無線 LAN アクセスポイントによっては、WPS ボタンを長く押し続ける（約 5 秒以上など) 必要があります。機器の取扱説明書をご確認ください。 • アクセスポイントの設置場所が本機から遠い場所にあるなどにより、メニューで「アクセスポイントの WPS ボタンを 5 秒以上押してください」が表示されてから、アクセスポイントの WPS ボタンが押されるまでに時間がかかると、接続に失敗する場合があります。アクセスポイントの設置場所を本機の近くに置いて、短時間で WPS ボタンが押される様にしてから設定してみてください。	ー ー 176・177

USB ハードディスク関係についての故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
USB 端子に接続した USB ハードディスクが録画機器選択画面に出ない	• USB ハードディスクの電源が入っていますか。 • 録画機器選択画面に USB ハードディスクを表示するには、事前に「機器の初期化」をする必要があります。 • USB ハードディスクが正しく接続・設定されていますか。	ー 138 ー
USB ハードディスクに正しく録画できない	• 録画先に指定した USB ハードディスクが録画機器選択画面に表示されていますか。 表示されない場合は上の“USB 端子に接続した USB ハードディスクが録画機器選択画面に出ない”の内容をお確かめ下さい。 • USB ハードディスクに十分な残量がありますか。残量が少ない場合は、不要な番組を削除するか、残量のある別の USB ハードディスクを接続してください。	ー ー
USB ハードディスクに録画したコンテンツが表示されない／再生できない	• 本機に接続している USB ハードディスクは本機で録画したものですか。 本機以外の TV 受信機で録画された USB ハードディスクを本機でコンテンツリスト表示／再生することはできません。	ー
USB ハードディスクが使用できない	• 使用したい機器が録画機器選択画面に表示されていますか。 表示されない場合は、上の“USB 端子に接続した USB ハードディスクが録画機器選択画面に出ない”の内容をお確かめ下さい。 • それでも使用できない場合は以下の操作をしてください。 ①テレビ本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグを抜く ② USB ハードディスクの電源を入れ直す ③本機の電源プラグを差し込んで電源を入れる	ー ー
USB ハードディスクに録画した番組が消えた	• USB ハードディスク使用中に停電や雷などによる瞬間的な停電、USB ハードディスクの電源プラグを抜く、ブレーカーを落とすなどで電源が切れませんでしたか。 （上記の場合、録画した番組が消える場合があります。） （録画した番組がすべて消えた場合や、USB ハードディスクが動作しない場合は、機器の初期化を行ってください。）	ー

アクトビラ関係についての故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
映像や音声がときどき停止する	• お使いのブロードバンド回線は光回線（FTTH）ですか。アクトビラ ビデオやアクトビラ ビデオ･フルをお楽しみになる場合は、光回線（FTTH）が必要です。	170
	• ご家庭のブロードバンド環境に接続しているパソコンで、大容量のファイルをダウンロードしたり、動画をストリーミング再生したり、別のテレビでもアクトビラ ビデオの再生をしたりしていませんか。回線の使用状況によっては、映像や音声が停止します。他の機器の使用を中断したあと、もう一度アクトビラ ビデオ･フルを再生してみてください。	−
	• 本機とブロードバンドルーターをLANケーブルで接続していますか。無線LANなどLANケーブル以外の通信機器を使用している場合は、通信機器の性能により一時的に停止する場合があります。本機とブロードバンドルーターをLANケーブルで接続してください。	171
	• ブロードバンドルーターなどの機器の性能によっては、通信速度が足りない場合があります。回線事業者やプロバイダーから機器をレンタルしている場合は、ご加入の回線事業者やプロバイダーに確認してみてください。	−
	• 光回線（FTTH）をご利用の場合でも、ご加入のプランによってはアクトビラ ビデオを再生するために十分な通信速度でない場合があります。ご加入の回線事業者やプロバイダーに確認してみてください。	−
アクトビラの画質が悪い	• デジタル放送とは異なる方式で映像を配信しているため、デジタル放送のハイビジョン放送と画質が異なります。	−
	• 映像の圧縮率が高いコンテンツの場合は、低画質になります。	−

IPTV 関係についての故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
ポータル情報が取得できない	• お使いのブロードバンドルーターはIPv6に対応していますか。	−
	• 本機とブロードバンドルーター間に、無線LANを使っていませんか。無線LANを使用していると、IPv6での接続が出来ない場合があります。LANケーブルで接続してください。	−
チャンネル登録で失敗する	• IPTVのマルチキャスト開通処理が完了していない可能性があります。ポータル画面で回線番号の登録をしてください。	−
テレビ放送やVODの映像が乱れる	• 使用している光回線をIPv4のインターネット接続と共用している場合は、家庭内の別の機器がインターネットに接続しているとテレビ放送やVODの映像が乱れることがあります。	−
ライセンスが無いと表示される	• 追加契約が必要なチャンネルです。契約状況についてポータルで確認するか、サービス事業者にご確認ください。	−

エラーメッセージが出たら

B-CAS カードや放送の受信・視聴に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
B-CAS カードを正しく挿入してください。 **B-CAS カードを挿入していてもこのメッセージが表示される場合は、カードを差し直してください。**	＊＊＊＊	• B-CAS カードを正しく挿入してください。挿入してある場合は、挿入やり直してください。	**242**
この B-CAS カードは使用できません。 **ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。**	＊＊＊＊	• B-CAS カスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**242**
このカードは使用できません。 **正しい B-CAS カードを装着してください。**	＊＊＊＊	• 本機に付属の B-CAS カードを挿入してください。	**242**
このチャンネルは契約されていません。 **ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。**	＊＊＊＊	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	－
この B-CAS カードには必要な情報が有りません。 **ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。**	＊＊＊＊	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	－
放送チャンネルではないため、視聴できません。	E200	• このチャンネル（番組）は視聴できません。	－
受信状態が悪くなっています。 **この番組は降雨対応画面に切り換えることができます。**	E201	• 降雨対応画面に切り換えて視聴していただくか、天気の回復をお待ちください。	**241**
アンテナ信号レベルが強すぎて放送が受信できません。信号レベルを調整してください。	＊＊＊＊	• アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。	－
○○ ○○○ ch が受信できません。リモコンで放送切換や選局を確認ください。またはアンテナの調整・接続を確認ください。雨や雪などの影響で一時的に受信できない場合もあります。	E202	• アンテナ線を確認してください。 • 受信強度を確認してください。 • アンテナの設定が合っているか確かめてください。 • 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	**244～247** **269～270・286** **269～270** －

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	E203	・番組表などで放送時間を確かめてください。 ・受信強度を確認してください。 ・雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	ー 269~270・286 ー
○○○チャンネルが見つかりません。 番組表などでチャンネルを確認してください。	E204	・番組表などでチャンネルを確かめてください。	ー
アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。 受信できない場合は、本体の電源を切ってから、アンテナとの接続を確認してください。	****	・電源を入れ直してください。 ・BS デジタル放送や 110 度 CS デジタル放送が受信できない場合は、本体の電源を切り、アンテナとの接続を確認してから電源を入れ直してください。	ー 244～247・269～270
○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	E210	・選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。	ー
契約期限が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	・ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	ー
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	・ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	ー
受け付け時間を過ぎていますので購入できません。	****	・番組の冒頭の限られた時間しか購入できない番組もあります。	ー
データが受信できません。	E400	・現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	ー
対象地域外のため、データを表示できません。	E401	・現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	ー
この受信機では、データを表示できません。	E401	・現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	ー
データの表示に失敗しました。	E402	・現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	ー

アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた	ページ
受信強度が 60 以下です。【B】	・受信強度が 60 以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。	**269～270**
アンテナ信号が強すぎます。【C】	・アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の取り付けが必要です。 販売店などにご相談ください。	**ー**
アンテナ信号が不足しています。【C】	・ブースターの調整や取り付けが必要です。 販売店などにご相談ください。	**ー**
アンテナ信号が良くありません。【D】	・受信強度が 60 以上で表示される場合、アンテナ信号が劣化しています。アンテナの設定が合っているか確認しても改善しない場合は、販売店などにご相談ください。	**ー**
受信できません。【E】	・アンテナが正しく設置されているか確認してください。 ・アンテナ線を確認してください。 ・アンテナの設定が合っているか確かめてください。	**ー** **244～247** **269～270**

双方向通信に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
アクセスできませんでした。[C204]	C204	・ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	−
サーバー証明書※1が不正のため、アクセスを中断します。[C208]	C208	・ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	−
サーバー証明書※1に問題があり、アクセスを中断します。[C209]	C209	・ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	−
双方向サービスを利用するには、デジタル放送接続制限を「禁止しない」に設定してください。	＊＊＊＊	・「ネットサービス制限設定」−「デジタル放送接続制限」で「しない」を選択してください。	**184**
まだルート証明書※2を受信していません。 **セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？**	＊＊＊＊	・アクセスしないことをお勧めします。	−
サーバー証明書※1の信頼性が確認できません。 **セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？**	＊＊＊＊	・アクセスしないことをお勧めします。	−
まだ新しいルート証明※2を受信していません。 **セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？**	＊＊＊＊	・アクセスしないことをお勧めします。	−

※１　サーバー証明書･･･ 暗号化通信に使われる暗号鍵。Webサーバーに保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。
※２　ルート証明書･････ 暗号化通信に使われる復号鍵。放送波で伝送され、受信機に保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。

ファミリンク録画時に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S05	• 録画ができない「コンテンツ（放送や番組）」、または録画ができない「記録メディア（HDD・BD・DVD などの録画媒体）」です。「コンテンツ（放送や番組）」または「記録メディア（HDD・BD・DVD などの録画媒体）」を確認してください。
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。 録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S06 S07	• このネットワークは録画することができません。 • ファミリンク録画機能を使用せず、録画機器の録画機能をご利用ください。
録画に失敗しました。 録画に失敗しました。 録画に失敗しました。 録画に失敗しました。	S09 S10 S11 S12	• ファミリンク録画機能を使用せず、録画機器の録画機能をご利用ください。
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。 録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S13 S14	• この「コンテンツ（放送や番組）」は録画することができません。 •「コンテンツ（放送や番組）」を確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S16	•「記録メディア（HDD・BD・DVD などの録画媒体）」を確認してください。
録画に失敗しました。 現在、再生中のため録画できません。	S17	• 再生を停止した後、再度録画を設定してください。
録画に失敗しました。 別の録画を実行中のため、録画できません。	S18	• 現在録画中のため、新たに録画できません。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S19	•「記録メディア（HDD・BD・DVD などの録画媒体）」が書き込み禁止です。 •「記録メディア（HDD・BD・DVD などの録画媒体）」を確認してください。
録画に失敗しました。 放送を受信できないため、録画できません。	S20	• 放送が受信できません。設定が正しく行われているか、確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S21	•「記録メディア（HDD・BD・DVD などの録画媒体）」に録画できません。 •「記録メディア（HDD・BD・DVD などの録画媒体）」を確かめてください。
録画に失敗しました。 記録可能な容量がありません。	S22	•「記録メディア（HDD・BD・DVD などの録画媒体）」の容量を確認してください。
録画に失敗しました。 視聴制限がかかっています。	S23	• 視聴制限を解除して再度録画を設定してください。
録画に失敗しました。 レコーダーが録画できない状態になっています。	S31	• 録画機器を確認してください。

IrSS™ に関する エラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
この形式の写真データは表示できません。	• 規格外の写真は表示できません。
データの容量が大きすぎます。	• データの容量が約 3MB 以下のデータを送信してください。
写真のサイズが大きすぎます。	• 画素サイズ 4096 × 2160 以下のデータを送信してください。
このデータは表示できません。	• JPEG 以外のデータや、壊れたデータは表示できません。なお、パソコンでは表示可能な場合があります。
送信機器を本機の受光部に近づけて、再度送信してください。（他の機器からは離してご使用ください）	• 送信機器を本機右下の IrSS™ 受光部の正面から上下左右 15 度以内、1m 以内に近づけて、再度送信してみてください。また、データ容量の大きな画像の送信には数秒かかる場合がありますので、送信が完了するまで送信機器を IrSS™ 受光部から離さないようにご注意ください。
ホームネットワークモードのときは IrSS 受信できません。 **IPTV のときは IrSS 受信できません。** **このデータは処理できません。**	• ホームネットワークモードやインターネット、IPTV 視聴中は IrSS™ 自動切換機能が働きません。IrSS™ モードに切り換えてから IrSS™ 送信してください。また、IrSS™ モードが入力スキップ設定されている場合、録画予約実行中も IrSS™ 自動切換機能が働きません。これらを解除してから IrSS™ 送信してください。 • 「設定」－「（機能切換）」の「IrSS 自動切換」を「しない」に設定している場合は、IrSS™ モードに切り換えてから IrSS™ 送信してください。
IrSS 受信準備中です。しばらく待ってから、再度 IrSS 送信してください	• 電源を入れてすぐに IrSS™ 送信した場合に表示されます。数秒待ってから再度 IrSS™ 送信してください。

無線 LAN 接続に関する エラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
現在、無線設定できません。 **無線を利用する場合は、USB 無線 LAN アダプタを USB 端子に接続してください。**	• 無線 LAN アダプタの接続を確認してください。 • ご使用の無線 LAN アダプタの機種名が、（株）バッファロー製 WLI-UV-AG300S であることをご確認ください。

ホームネットワーク利用時に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
この形式の写真データは表示できません。	• 規格外の写真は表示できません。 なお、パソコンで写真を編集すると、本機で表示できない規格のデータ形式に変更される場合があります。
データの容量が大きすぎます。	• データの容量が 6MB 以下のデータとしてください。 • デジタルカメラや携帯電話の撮影時の設定で画素サイズを小さくすると、6MB 以下のデータで撮影できる場合があります。 例）4300 × 3225 ⇒ 2048 × 1536 また撮影済みのデータではデジタルカメラや携帯電話のリサイズ機能を使うと変更できる場合があります。
写真のサイズが大きすぎます。	• 画素サイズ 4096 × 4096 以下の写真にしてください。 • デジタルカメラや携帯電話の撮影時の設定で画素サイズは変更できる場合があります。 例)4300 × 3225 ⇒ 2048 × 1536 また撮影済みの写真ではデジタルカメラや携帯電話のリサイズ機能を使うと変更できる場合があります。
このデータは表示できません。	• 本機で表示可能な仕様の JPEG 以外のデータや、壊れたデータは表示できません。
次の写真を取得できません。 **接続機器の接続や設定を確認してください。**	• 写真取得時サーバー機器に接続できなくなっています。ホームネットワーク機器の接続設定を確認してください。また SD カードを持つサーバー機器では SD カード挿入後ホームネットワークに公開するまで時間がかかる場合がありますので、しばらくお待ちください。
接続できません。 **接続機器の接続や設定を確認してください。**	• サーバー機器の電源が入っているか、ホームネットワーク機器の接続設定を確認してください。また SD カードを持つサーバー機器では SD カード挿入後 SD カードの内容をホームネットワークに公開するまで時間がかかる場合がありますので、しばらくお待ちください。
印刷設定 **機器が見つかりません。** **対応プリンタの電源、接続を確認ください。**	• プリンタの電源が入っていないか、プリンタがホームネットワークに接続されていないか、ホームネットワーク接続設定が正しくされていない可能性があります。プリンタの電源、接続、設定を確認してください。
写真の印刷 **印刷の準備をしています。**	• プリンタに印刷指示を行っていますので、しばらくお待ちください。
写真の印刷 **この写真の印刷を受け付けました。**	• プリンタへの印刷指示を完了しました。 写真を表示することができます。
写真を表示できません。 **フォルダが削除されたか、機器が再起動された可能性があります。**	• サーバー機器によっては、サーバー起動直後やデータの追加削除を行うと本メッセージが表示される場合があります。故障ではありません。
印刷できません。 **プリンタが使用中の可能性があります。**	• プリンタが印刷実行中か使用中の場合にさらに印刷しようとすると、このメッセージが表示される場合があります。印刷完了または使用できるようになるまでお待ちください。

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
印刷を中断しました。 **プリンタとの接続を確認してください。**	• プリンタが何らかの原因で印刷を中断しました。プリンタの状態または正常に接続できているか確認してください。
印刷できません。 **プリンタを確認してください。**	• プリンタが何らかの原因で印刷できなくなりました。プリンタのインクや用紙が無くなっていないか、用紙が詰まっていないか、カバーが開いていないか、などを確認してください。
機器に接続できません。 **接続機器選択へ移動します。**	• 前回接続したサーバー機器の電源が入っているか、ホームネットワーク機器の接続設定を確認してください。
フォルダにアクセスできません。 **トップフォルダへ移動します。**	• サーバー機器によっては、サーバー起動直後やデータの追加削除を行うと本メッセージが表示される場合があります。故障ではありません。
接続できません。 **接続機器から映像データを取得できません。**	• サーバーの設定を確認してください。サーバーによっては設定画面にしていると取得できない場合や、インターネットを利用中は取得できない場合があります。
再生できません。 **この形式の映像データは再生できません。**	• 規格外の映像データは再生できません。 • 本機で再生できる映像データの形式か確認してください。
再生できません。 **この形式の音楽データは再生できません。**	• 規格外の音楽データは再生できません。 • 本機で再生できる音楽データの形式か確認してください。
データを取得できません。 **フォルダが削除されたか再起動された可能性があります。** **初期画面に戻ります。**	• メモリーモードを実行する際、前回再生したファイルが削除されたり、サーバーが再起動されたなどにより、データを取得できない場合に表示されます。初期画面よりご利用ください。
接続できません。 **接続機器の接続や設定を確認してください。** **初期画面に戻ります。**	• メモリーモードを実行する際、前回接続したサーバーが起動されていないなどにより、接続できない場合に表示されます。初期画面よりご利用ください。
再生できません。 **無線 LAN のセキュリティを設定してください。**	• 手動で無線 LAN を設定する場合は、無線 LAN のセキュリティを WPA2 ／ WPA ／ WEP のいずれかに設定してください。ただし、WEP は WPA2 ／ WPA に比べ通信速度が低下します。

フォトリモ ™ に関する
エラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
期限切れのデータは処理できません。	• フォトリモ ™ データが期限切れになっています。 • サービスが提供中にもかかわらずこのメッセージが表示される場合にはフォトリモ ™ データを再度入手していただくか、サービス事業者に確認してください。
期限前のデータは処理できません。	• フォトリモ ™ データがまだ有効になっていません。 • サービスが提供中にもかかわらずこのメッセージが表示される場合には、サービス事業者に確認してください。
このデータは無効化されました。	• フォトリモ ™ データのセキュリティが保証できなくなったため、データが使えなくなりました。 • フォトリモ ™ データを再度入手していただくか、サービス事業者に確認してください。
このデータは処理できません。	• フォトリモ ™ データではない画像データは処理できません。 • フォトリモ ™ データが壊れている場合にもこのメッセージが表示されます。この場合にはフォトリモ ™ データを再度入手してください。
IrSS 受信できません。IrSS 自動切換えで「する」を設定してください。	• 「設定」－「(機能切換)」－「IrSS 自動切換」で「する」を設定し、再度送信してください。
IrSS 受信できません。ブラウザ制限で「しない」を設定してください。	• 「設定」－「(視聴準備)」－「通信(インターネット)設定」－「ネットサービス制限設定」－「ブラウザ制限」で「しない」を設定し、再度送信してください。

USB ハードディスク利用時に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
ハードディスクが接続されていない。もしくは電源が切れているため録画できません。	• USB ハードディスクを本機に接続してください。また、USB ハードディスクの電源を入れてください。
ハードディスクが認識できないため、録画できません。ハードディスクを接続し直してください。	• USB ハードディスクが認識できるまで接続し直してください。
タイトルが一杯です。これ以上録画できません。	• 本機で録画できる USB ハードディスクのタイトル数は最大 999 タイトルです。不要なタイトルを消去してから録画してください。
ハードディスク準備中のため録画できません。	• USB ハードディスクの準備が終わるまでお待ちください。
ハードディスクに異常があり録画を中断しました。	• USB ハードディスクの故障の可能性があります。USB ハードディスクの状態をお確かめください。
ハードディスクの空き容量がなくなったため録画を中断しました。	• 不要なタイトルを消去してください。
初期化中のため録画できません。	• USB ハードディスクの初期化が終わるまでお待ちください。
まもなく録画予約の開始時間です。録画可能なハードディスクが接続されていません。	• 録画可能な USB ハードディスクを本機に接続してください。
録画できる最大タイトル数を超えています。	• 本機で録画できる USB ハードディスクのタイトル数は最大 999 タイトルです。不要なタイトルを消去してから録画してください。
予約可能時間を過ぎたので、リモコンの録画ボタンで直接録画してください。	• リモコンの録画ボタンで、直接録画してください。
予約方法を選択してください。 （録画可能なハードディスクが見つかりません。）	• 録画可能な USB ハードディスクを接続してください。もしくは、視聴予約／ VHS テープ予約／ファミリンク録画予約から予約したい方法を選択してください。
ハードディスクの容量が不足しています。	• 不要なタイトルを消去してください。
予約できる番組数を超えているため、予約できません。	• 予約できる番組は、最大 32 番組です。新しい予約を設定する場合は、どれか他の予約を消去してください。
ハードディスクが接続されていない。もしくは電源が切れていました。録画前にはハードディスクを接続し、電源を入れておいてください。	• 録画する前に USB ハードディスクを本機に接続してください。また､USB ハードディスクの電源を入れてください。
ハードディスクが認識できないため、録画できませんでした。ハードディスクを接続し直してください。	• USB ハードディスクが本機で認識できるまで接続し直してください。

次のページに続く

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
タイトル数の制限を超えたので録画できませんでした。別の録画用ハードディスクを使用してください。このハードディスクに録画を行う場合は、不要なタイトルを消去してください。	• 本機で録画できる USB ハードディスクのタイトル数は最大 999 タイトルです。別の USB ハードディスクを本機に接続してください。もし、接続中の USB ハードディスクをご使用される場合、不要なタイトルを消去してから録画してください。
ハードディスクに空き容量がないため、録画できませんでした。別の録画用ハードディスクを使用してください。このハードディスクに録画を行う場合は、不要なタイトルを消去してください。	• 録画する前に USB ハードディスクの空き容量をご確認ください。空き容量がない場合は別の USB ハードディスクを本機に接続してください。もし、接続中の USB ハードディスクをご使用される場合、不要なタイトルを消去してから録画してください。
ハードディスク初期化中のため、録画できませんでした。	• USB ハードディスクの初期化が終わるまでお待ちください。
ハードディスクに異常があり、録画できませんでした。	• USB ハードディスクの故障の可能性があります。USB ハードディスクの状態をお確かめください。
ハードディスクに空き容量がなくなったため、録画を停止しました。別の録画用ハードディスクを使用してください。このハードディスクに録画を行う場合には、不要なタイトルを消去してください。	• 本機で録画できる USB ハードディスクのタイトル数は最大 999 タイトルです。別の USB ハードディスクを本機に接続してください。もし、接続中の USB ハードディスクをご使用される場合、不要なタイトルを消去してから録画してください。
ハードディスクに異常があり、録画を停止しました。	• USB ハードディスクの故障の可能性があります。USB ハードディスクの状態をお確かめください。
1 タイトルの録画時間が 6 時間を超えたため、録画を停止しました。1 タイトルが 6 時間以上の連続録画はできません。	• 1 タイトルの録画時間は最長 6 時間なので、6 時間単位で録画してください。
ハードディスクが接続されていない。もしくは電源が切れているため再生できません。	• 本機に USB ハードディスクを接続してください。また、USB ハードディスクの電源を入れてください。
ハードディスクが認識できないため、再生できません。ハードディスクを接続し直してください。	• USB ハードディスクが認識できるまで接続し直してください。
このタイトルは再生できません。	• 再生できないタイトルである可能性があります。
再生できるタイトルがありません。	• 本機に接続されている USB ハードディスクの中に再生できるタイトルがありません。再生できるタイトルが入っている別の USB ハードディスクを本機に接続してください。
記録長が短いため、再生できません。	• 記録時間が 3 秒未満のタイトルは再生できません。
ハードディスク準備中のため、再生できません。	• USB ハードディスクの準備が終わるまでお待ちください。
日付・時刻が設定されていません。 **日付・時刻を設定してください。**	• 時計合わせを行ってください。
選局・再生に失敗しました。 **チャンネルを切り換えてください。**	• 本体の電源スイッチを押して、電源を入れ直してください。状況が改善されない場合は、販売店またはシャープお客様相談センターにご相談ください。

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
この番組は録画できません。	• 独立データ放送は録画できません。 • USB-HDD はアナログ放送や IPTV は録画できません。
録画禁止の番組です。 録画できません。	•「録画禁止」の番組は録画できません。
番組の時間が未定のため、録画予約ができません。	• 終了時刻が未定の番組、長さが 1 分未満の番組、長さが 48 時間超の番組は録画予約ができません。

USB 利用時に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
接続しているUSB機器の電源容量が大きすぎます。 本体の電源を切ってから、必要なUSB機器のみを接続し直してください。	• USB過電流が発生しました。USB機器を多く接続すると、発生する場合があります。 • 本体の電源を切ってから、使用しないUSB機器を取り外してください。

こんなときは

本機の操作ができなくなったときは

- 強い外来ノイズ（過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けた場合や誤った操作をした場合などに、本機が操作できないなどの異常が発生することがあります。
- このときは、本体の電源スイッチを押して、一旦電源を切ったあと、再度電源を入れてから、操作をやり直してください。
- 電源を入れ直してもまだ操作できないときは、本体の電源スイッチを5秒以上押し続けてください。本機の電源がいったん切れますので、約1分待ってから電源スイッチを押して電源を入れたあと、再び操作をやりなおしてください。この操作をしてもチャンネル設定やメニュー、予約などの設定項目は保持されます。

◇おしらせ◇

- 再度電源を入れた直後はデータ取り込みのため、画面表示には多少時間がかかります。

停電になったときは

停電時に設定が保持されている項目と設定が解除される項目があります。

- テレビにおける設定内容（ホームメニュー内設定項目、音量など）は保持されます。
- 番組予約（視聴予約／録画予約）が、予約動作開始時刻を経過しているときは消去されます。
- 時刻設定は消去されます。時刻の自動設定がされないときは、ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「各種設定」－「時計設定」－「時刻設定」で設定してください。（時計を合わせる（時刻設定）⇒ **60** ページ）
- 停電前が下記の状態のものは解除されます。
  - 静止画
  - オフタイマー
  - 消音（消音ボタンによる）
  - 映像オフ
  - 2画面

システム動作テスト

- 本機は、B-CAS カードが正しく挿入できているかをテストできます。

◇**おしらせ**◇

システム動作テストに失敗したときは
- B-CAS カードが正しく挿入されているか確認してください。

ビーキャス
B-CASカード
⇒**242**ページ

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「✉(お知らせ)」－「システム動作テスト」を選ぶ

ホーム を押し
で選び
決定 を押す

選びかたは、**26**～**31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

ホーム
チャンネル
設定
×××　×××
お知らせ
受信機レポート
放送局メッセージ
ボード(CSデジタル)　[CS1]
B-CASカード
システム動作テスト

2 「テスト実行」で決定する

を押す

バージョン番号 : 00000000　0000000
システム状態 :
B-CASカード :
DRM番号 :
テスト実行

- 表示が「テスト実行中」に変わります。テストが終了すると「テスト終了」になります。

3 結果を確認し、「テスト終了」で決定する

決定 を押す

バージョン番号 : 00000000　0000000
システム状態 : 0000－0000－0000－0000－0
B-CASカード : 0000－0000－0000－0000－0
DRM番号 : 0000－0000－0000－000
テスト終了

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

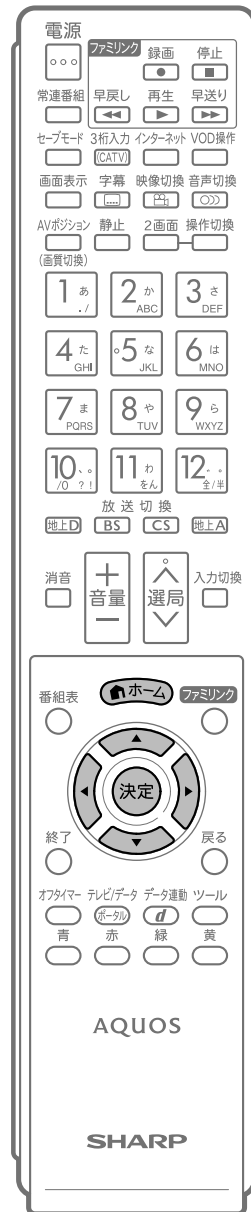
本機のソフトウェアを更新する

- ソフトウェアの更新とは、本機内のソフトウェアを書き換えて、機能アップや機能改善などを行うためのものです。
- 本機のソフトウェア更新はダウンロードで行います。自動的に行う方法とお客様が必要に応じ、手動で行う方法があります。お買いあげ時は利便性を考えて「する」(自動)に設定されています。

ダウンロードの可能な環境について

- ダウンロードは BS デジタル放送および地上デジタル放送で実施されます。ケーブルテレビのセットトップボックスを利用してデジタル放送を受信している場合など、デジタル放送を直接受信できない環境ではダウンロードできません。

ダウンロードについてのご注意

- ソフトウェアの受信(ダウンロード)には、数分程度の時間がかかります。その間は、リセットの操作、電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
- ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ったり、予約設定がなくなる場合があります。その場合は、設定をやり直してください。
- ダウンロードは、本機の電源が待機状態(POWER(電源)ランプが赤色点灯)のときに実行されます。リモコンの電源ボタンで、待機状態にしてください。
- 本体の電源スイッチで電源を切っている場合や電源コードをコンセントから抜いている場合、ダウンロードは実行されません。

自動ダウンロードを「しない」に設定する

• 自動的にダウンロードを行いたくない場合は、「しない」に設定します。

1 ホームメニューを表示して、「設定」−「(視聴準備)」−「各種設定」を選ぶ

を押し

で選び

決定 を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

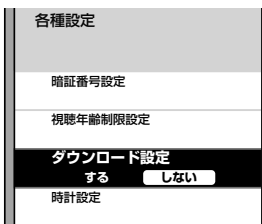
2 「ダウンロード設定」を選ぶ

で選ぶ

3 「しない」を選ぶ

で選び

決定 を押す

各種設定
暗証番号設定
視聴年齢制限設定
ダウンロード設定
する　しない
時計設定

• 操作を終了するに場合には、ホームボタンを押します。

手動でダウンロードを行う

• 自動ダウンロードを「しない」に設定した場合、放送局メッセージに「ダウンロードのお知らせ」が届いているときに、手動でダウンロードできます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」−「(お知らせ)」−「放送局メッセージ」を選ぶ

ホーム を押し

で選び

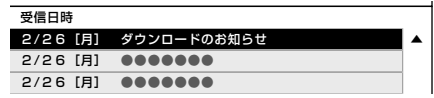
決定 を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「ダウンロードのお知らせ」を選ぶ

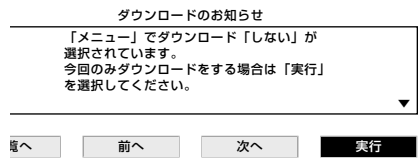
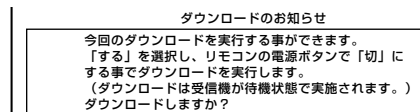
で選び

決定 を押す

3 ①画面の表示内容を確認し、「実行」を選ぶ

で選び

を押す

ダウンロードのお知らせ
「メニュー」でダウンロード「しない」が選択されています。
今回のみダウンロードをする場合は「実行」を選択してください。

覧へ　前へ　次へ　実行

②画面の表示内容を確認し、「する」を選ぶ

する　しない

• ダウンロードが成功すると、「お知らせ」の「放送局メッセージ」の中に、ダウンロードが成功した旨のメッセージが書き込まれます。(画面右上の「お知らせ」の内容やB-CASカードの番号を確認する⇒**319**ページ)

USB メモリーを使用してソフトウェアを更新する

- USB メモリーを使用してソフトウェアの更新ができます。
- ソフトウェアの更新をするときは、パソコンを使用して、あらかじめ更新用ソフトウェアを USB メモリーに書き込んでおく必要があります。更新用ソフトウェアをパソコンから書き込むときは、USB メモリーが空の状態で書き込んでください。

ソフトウェアの更新情報について

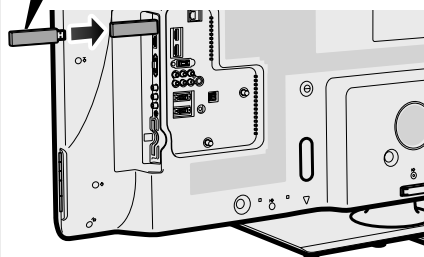
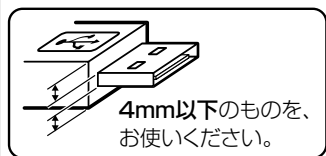
- ソフトウェアの更新情報は、パソコンを使用してシャープホームページ内のサポートステーションでご確認ください。

> **AQUOS サポートステーション**
> http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

- 更新用ソフトウェアが公開されているときは、パソコンにダウンロードした後、USB メモリーにコピーしてください。

◆ 重　要 ◆

- ソフトウェアの更新中は、USB メモリーを取り外さないでください。
- ソフトウェアの更新中は、電源プラグを抜かないでください。

1 本機のUSBメモリー端子に、更新用ソフトウェアを書き込んだUSBメモリーを取り付ける

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「✉(お知らせ)」－「ソフトウェアの更新」を選ぶ

ホーム を押し

で選び

決定 を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

ホーム
チャンネル
設 定
お知らせ
受信機レポート
放送局メッセージ
ボード(CSデジタル) [CS1]
B－CASカード
システム動作テスト
ソフトウェアの更新

3 暗証番号を設定しているときは暗証番号(⇒**92**ページ)を入力する

4 画面に従って操作する

5 「はい」で決定する

- ソフトウェアの更新に失敗した場合は、USB メモリーのデータを確認し、もう一度ソフトウェアの更新を行ってください。
- ソフトウェアの更新が終了すると画面が数秒間消え、ソフトウェアの更新完了メッセージが表示されます。

ソフトウェアの更新が正しくできないときは

- USB メモリーが正しく取り付けられていないときや、正しい更新データが USB メモリーの中に見つからないときは、エラーメッセージが表示されます。
- 更新用ソフトウェアのデータが書き込まれている USB メモリーを取り付けてから、ソフトウェアの更新を行ってください。

6 アップデートが完了するまで待つ

7 USBメモリーを本機から取り外す

本機から個人情報をすべて消すには（本機を廃棄するときなど）

・本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力した個人情報と操作情報が記録されています。本機を譲渡したり廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行いこれらの情報を消去してください。

◆ 重 要 ◆

・お客様が設定した情報内容（チャンネル設定、予約、各調整値、LAN 設定、暗証番号、IPTV の基本登録情報やアクトビラの購入情報、インターネット関連のデータなど）がすべて初期化されます。
・**この操作は元に戻せません。必要のない場合は、操作を行わないでください。**
データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

◇おしらせ◇

初期化すると

・本体のリモコン番号は 1 になります。リモコン番号を変更してお使いになっていた場合は、リモコンのリモコン番号を「1」にしてください。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「個人情報初期化」を選ぶ

ホーム を押し　で選び　決定 を押す

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

チャンネル　設定　ホーム
×××　×××
視聴準備
かんたん初期設定
各種設定
Language（言語）［日本語］
個人情報初期化

2 「する」を選ぶ

で選び を押す

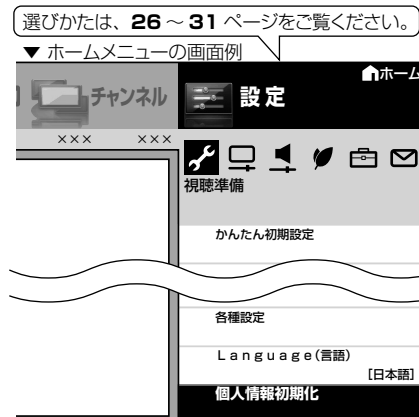
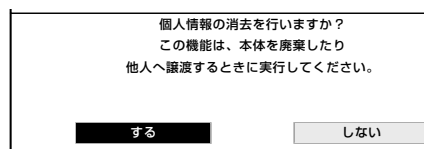
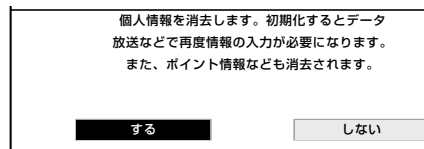
個人情報の消去を行いますか？
この機能は、本体を廃棄したり
他人へ譲渡するときに実行してください。

する　しない

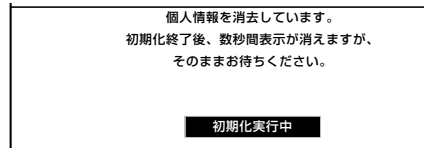
3 「する」を選ぶ

で選び　決定 を押す

個人情報を消去します。初期化するとデータ
放送などで再度情報の入力が必要になります。
また、ポイント情報なども消去されます。

する　しない

・表示が「初期化実行中」（点滅）に変わります。初期化には、しばらく時間がかかります。

個人情報を消去しています。
初期化終了後、数秒間表示が消えますが、
そのままお待ちください。

初期化実行中

・初期化が終了すると、画面が数秒間消え、かんたん初期設定画面が表示されます。電源を切るときは、本体の電源スイッチを押してください。

画面右上の「お知らせ」の内容や B-CAS カードの番号を確認する

- 予約の失敗・変更が生じたときや、放送局から視聴者に向けてメッセージが発信されたときなどは、画面右上に「お知らせ」が表示されます。
- 「お知らせ」の内容のほかに、B-CAS カードの番号なども確認できます。

項目	内容
受信機レポート	• 予約の失敗や変更に関するレポートや B-CAS カードに関する情報など、受信機に関係したレポートを表示します。
放送局メッセージ	• 受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。
ボード（CS デジタル）	• 送られている、CS 各ネットワークの掲示板（ボード情報）のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。 • ボード情報は、そのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。 • 地上アナログ放送視聴中、録画予約実行中は選べません。
B-CAS カード	• 受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客様の契約確認のため B-CAS カードの番号を表示するものです。 • カード識別…メーカー識別用のアルファベット 1 文字と 3 桁の数字からなります。 • カード ID……カード固有の番号です。

◇**おしらせ**◇

- ホームメニューから「ツール」－「お知らせ（受信機レポート）」を選んでも、受信機レポートを見ることができます。
- 未読の放送局メッセージがある場合は、画面右上のチャンネルサインに「お知らせ」と表示されます。未読の放送局メッセージをすべて表示すると、「お知らせ」の表示が消えます。
- 受信機レポートの表示中、左右カーソルボタンで「消す」を選んで決定ボタンを押すと、その受信機レポートが消去されます。

1 ホームを押し 決定 で選ぶ

ホームメニューを表示して、「設定」－「✉（お知らせ）」を選ぶ

選びかたは、**26** ～ **31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 で選び 決定 を押す

見たい項目を選ぶ

- 項目によっては、このあとネットワーク（放送の種類）を選ぶ手順になります。

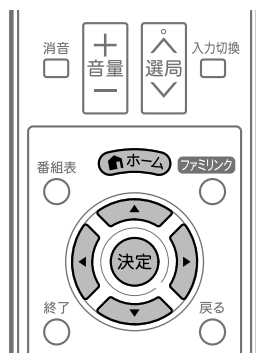
3 で選び 決定 を押す

見たい情報を選ぶ

（例）「ダウンロード成功のお知らせ」を見る

4 で選び 決定 を押す

情報の内容を確認する

- ページを切り換えるときは「一覧へ」「前へ」「次へ」などを選び、決定ボタンを押します。
- 画面に従って操作してください。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

2台のAQUOSを それぞれのリモコンで 操作するには

- 2台のAQUOSを近くに設置している場合に、リモコンの操作でAQUOSが2台とも動作してしまうことがあります。このとき、リモコン番号の設定を変えると他のAQUOSの動作を防ぐことができます。

リモコン番号について

- リモコン番号には「1」「2」があります。リモコン側と本体側の番号を合わせてください。
- 2台のAQUOSを近くに設置している場合は、本機のリモコン番号を他のAQUOSと異なる番号に設定してお使いください。例えば、他のAQUOSが「1」なら本機は「2」にします。
- 設定されている番号が本体とリモコンとで異なっていると、リモコンのボタンを続けて押したときに、画面左下に「リモコン番号の設定が異なります」と表示されます。
- 個人情報を初期化すると本体のリモコン番号は「1」に戻ります。

本体側とリモコン側の リモコン番号を設定する

◆ 重　要 ◆

- 先にリモコン側の番号を変更すると、リモコンで本体側の設定が行えません。

本体側のリモコン番号を切り換える

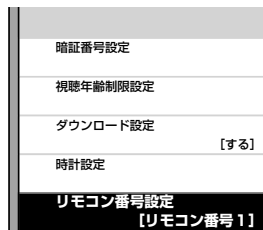
1 ホームメニューを表示して、「設定」−「(視聴準備)」−「各種設定」を選ぶ

ホーム を押し で選び 決定 を押す

選びかたは、**26～31** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「リモコン番号設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 「リモコン番号1」または「リモコン番号2」を選ぶ

で選び 決定 を押す

本機のリモコン番号を切換えます。
本機：リモコン番号1

4 「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

本機のリモコン番号を2に変更します。
リモコン番号を変更しますか？

する　しない

本機のリモコン番号を変更した後は、
リモコン側のリモコン番号も合わせてください。
（詳しい設定方法は、付属の「取扱説明書」をご覧ください。）

◇おしらせ◇

- 工場出荷時の設定は、本体側・リモコン側ともリモコン番号「1」です。

リモコン側のリモコン番号を切り換える

5 リモコンの「1」または「2」を押した状態で電源ボタンを5秒以上押す

- **前**ページの手順 **3** で選んだリモコン番号と同じ番号にしてください。

上記の手順 5 で使うボタン
[1] [2] のどちらか一方を押しながら[電源]を 5 秒以上押します。

リモコン側と本体側でリモコン番号が異なるときは

- 本体側の番号をリモコン側の番号に合わせます。

1 リモコン番号が異なるときに、5秒以上押し続ける

画面表示を5秒以上押し続ける

- 本体側のリモコン番号変更画面が表示されます。

2 メッセージを確認し、「する」を選ぶ

で選び 決定を押す

▼本体側のリモコン番号変更画面

リモコンと本機のリモコン番号が違います。
本機のリモコン番号を変更しますか？

本機　：リモコン番号1
リモコン　：リモコン番号2

する　しない

- リモコン番号切換メニューが表示され、番号切換ができます。
- 設定されているリモコン番号が本体側とリモコン側とで異なっている場合、リモコンのボタンを続けて押すと、画面左下に「リモコン番号の設定が異なります」と表示されます。

◇**おしらせ**◇

- 本体側のリモコン番号変更画面が表示されてから、約 20 秒以内に操作を行ってください。約 20 秒を経過すると、画面が消えます。
- 乾電池が消耗したり、乾電池を交換したときに、リモコン側のリモコン番号が「1」に戻ることがあります。

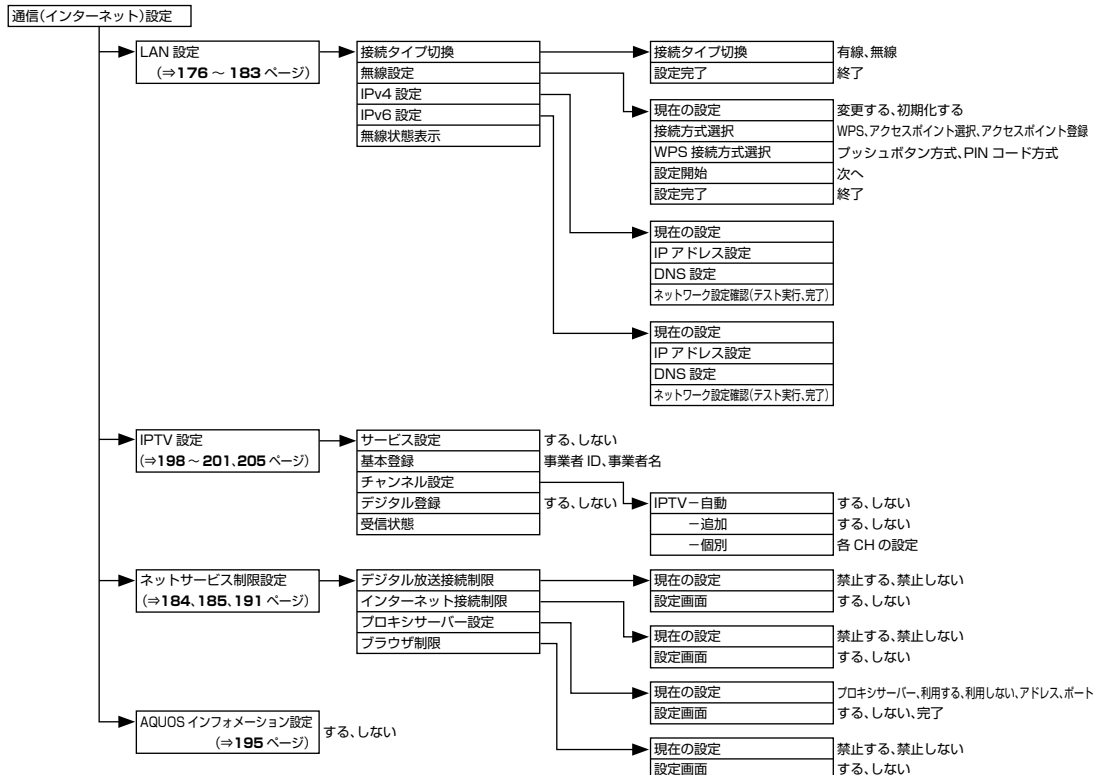
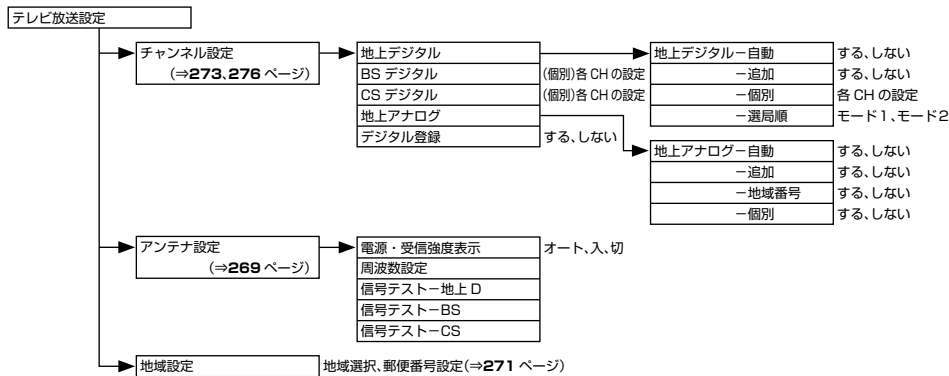
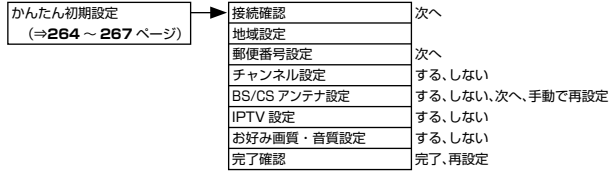
本体のボタンで、本体側のリモコン番号を設定するには

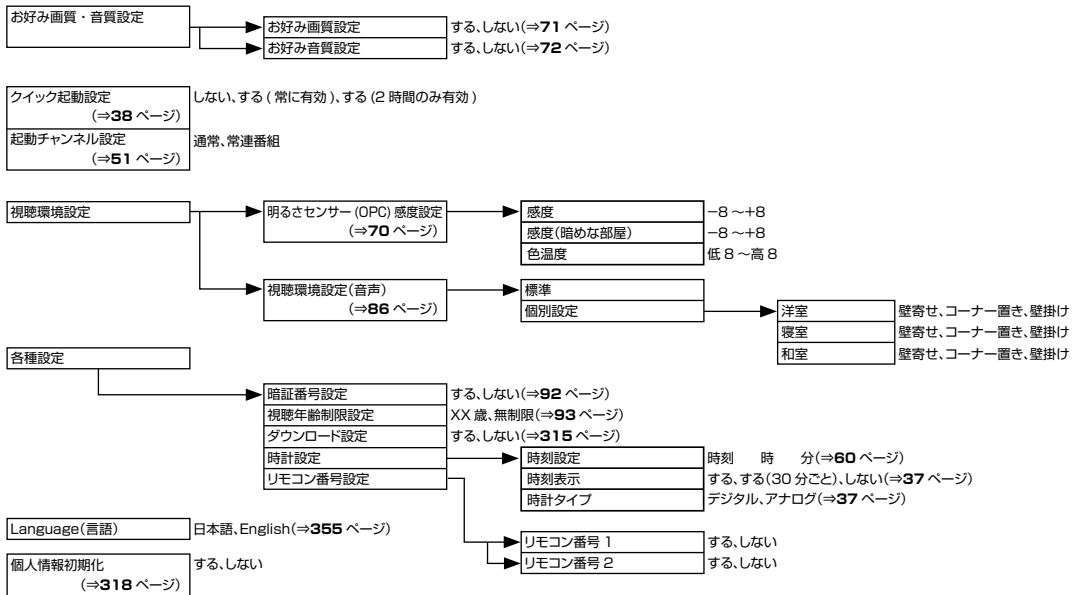
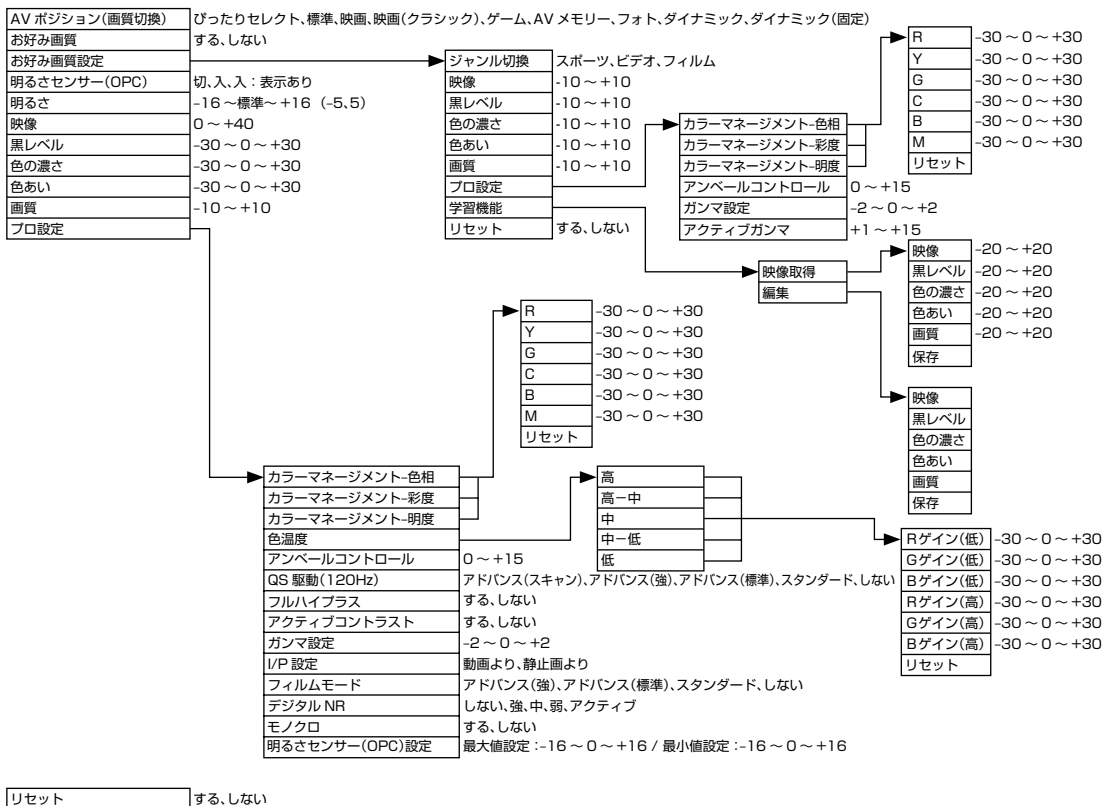
1. 本体の入力／放送切換(決定)ボタンを5秒間押し続けて、リモコン番号切換メニューを表示する
2. 本体の音量(＋／−)ボタンで「リモコン番号1」または「リモコン番号2」を選択する
3. 本体の入力／放送切換（決定）ボタンを押して決定する

ホームメニュー項目の一覧

テレビ／入力４～６／インターネット／ホームネットワーク／IrSS ／USB選択時

・入力１～３・入力７選択時については、⇒ **326** ～ **329** ページをご覧ください。
・表示内容は、入力や設定の条件によって異なる場合があります。

設定

視聴準備

視聴準備（つづき）

映像調整（⇒ 69、73 ～ 81 ページ）

リセット	する、しない

音声調整（⇒ 82 ～ 85 ページ）

オートボリューム	強、中、弱、切
高音	-15 ～ 0 ～ +15
低音	-15 ～ 0 ～ +15
バランス	左 30 ～中央～右 30
サラウンド	自動、切、入
音質補正	標準、映画、ダイナミック、ニュース
リセット	する、しない
声の聞きやすさ	標準、マイルド、くっきり、しない

次のページに続く

・入力１～３・入力７選択時については、⇒ **326** ～ **329** ページをご覧ください。
・表示内容は、入力や設定の条件によって異なる場合があります。

安心・省エネ

機能切換

- 視聴操作：番組情報、画面サイズ、テレビ / データ / ポータル、VOD、静止、3 桁入力、CATV(⇒**34**、**36**、**38**、**65**、**207**、**211**、**221** ページ)
- ファミリンク設定 (⇒**99** ～ **101**、**111**、**136** ～ **140**、**143**、**155** ページ)
  - ファミリンク制御(連動)：する、しない
  - 連動起動設定：する、しない
  - 録画機器選択：USB-HDD、入力1、入力2、入力3
  - ファミリンク予約機器選択：入力1、入力2、入力3
  - ジャンル連動：する、しない
  - 選局キー
    - 入力 1：自動、する、しない
    - 入力 2：自動、する、しない
    - 入力 3：自動、する、しない
  - ARC 設定：自動、切
  - USB－HDD 設定
    - 機器の初期化
      - する
        - 常連録画時間設定：なし、10 時間、20 時間、40 時間
        - 機器の初期化：する、しない
      - しない
    - 機器の登録解除
    - 機器の取りはずし：する、しない
    - 常連録画設定
      - 常連録画機能：有効、無効
      - 録画時間帯
      - 録画放送設定(地上デジタル)：録画する、録画しない
      - 録画放送設定(BS)：録画する、録画しない
      - 録画放送設定(CS)：録画する、録画しない
      - 常連録画時間設定：なし、10 時間、20 時間、40 時間
    - 省エネ設定：通常、省エネ
    - オートチャプター設定：しない、10 分、15 分、30 分
- 外部端子設定
  - ヘッドホン：モード 1、モード 2、モード 3(⇒**87** ページ)
  - 入力 6 端子設定 (⇒**118**、**126** ページ)
    - モニター出力(固定)：する、しない
    - モニター出力(可変 1)：する、しない
    - モニター出力(可変 2)：する、しない
    - 入力
  - デジタル音声設定：PCM、ビットストリーム(⇒**127** ページ)
  - 入力スキップ(⇒**115** ページ)
    - 入力 1(HDMI)：する、しない
    - 入力 2(HDMI)：する、しない
    - 入力 3(HDMI)：する、しない
    - 入力 7(PC)：する、しない
    - IrSS：する、しない
    - ホームネットワーク：する、しない
    - 地上デジタル(本体)：する、しない
    - BS デジタル(本体)：する、しない
    - CS デジタル(本体)：する、しない
    - 地上アナログ(本体)：する、しない
  - 入力選択 (⇒**115** ページ)：(選択入力で内容変化)自動、D 端子、ビデオ映像、S 端子
  - 入力表示 (⇒**116** ページ)：(選択入力で内容変化)ユーザー設定：編集
- デジタル固定：する、しない(⇒**119** ページ)
- IrSS 自動切換：する、しない(⇒**226** ページ)
- 番組表設定
  - 番組表取得：する、しない(⇒**48** ページ)
  - 表示方式：モード 1、モード 2(⇒**49** ページ)
  - 表示順：モード 1、モード 2(⇒**49** ページ)
  - スキップ設定：地上デジタル、BS デジタル、CS デジタル(⇒**275** ページ)
  - ジャンルアイコン設定：(各ジャンル)カラー(ジャンル別)、グレー(濃く)、グレー(薄く)(⇒**48** ページ)
  - ジャンルおすすめ設定：する、しない(⇒**33** ページ)
  - 視聴履歴リセット：する、しない(⇒**33**、**51** ページ)
  - 検索設定：する、しない(⇒**47** ページ)
- 画面表示設定
  - 文字サイズ：標準、大きな文字(⇒**59** ページ)
  - 表示色：グレー系、ブルー系、レッド系、グリーン系(⇒**59** ページ)
  - 選局効果：する、しない(⇒**39** ページ)
  - 字幕表示：リモコン切換、常時表示、字幕下、字幕上、字幕下(自動切換)、字幕上(自動切換)(⇒**55** ページ)
  - 番組名表示：する、しない(⇒**39** ページ)
  - 映像反転：しない、左右反転(⇒**39** ページ)
  - 画面位置：水平位置、垂直位置、リセット(⇒**65** ページ)
  - オートワイド (⇒**66** ～ **67** ページ)
    - 映像判別：する、しない
    - S2 対応：する、しない
    - D 端子識別：する、しない

お知らせ（⇒ 319 ページ）

受信機レポート	
放送局メッセージ	
ボード(CS デジタル)	CS1、CS2(⇒**241**、**319** ページ)
B-CAS カード	実行
システム動作テスト	テスト実行(⇒**313** ページ)
ソフトウェアの更新	(⇒**316** ページ)

ツール

リンク操作（⇒ 99 ～ 105、107 ～ 113、157 ページ）

リンク予約（⇒ 107 ページ）

レコーダーの番組表を表示

番組表（予約）（⇒ 43 ～ 45、52、205 ページ）

チャンネル（⇒ 33 ページ）

次のページに続く

入力１～３／入力７選択時

・記載以外の参照ページについては、⇒ **322** ～ **325** ページをご覧ください。
・表示内容は、入力や設定の条件によって異なる場合があります。

設定

視聴準備

映像調整（⇒ 69、73 ～ 81 ページ）

- AV ポジション(画質切換)：ぴったりセレクト、標準、映画、映画(クラシック)、ゲーム、PC、AV メモリー、フォト、ダイナミック、ダイナミック(固定)
- お好み画質：する、しない
- お好み画質設定
  - ジャンル切替：スポーツ、ビデオ、フィルム
  - 映像：-10 ～ +10
  - 黒レベル：-10 ～ +10
  - 色の濃さ：-10 ～ +10
  - 色あい：-10 ～ +10
  - 画質：-10 ～ +10
  - プロ設定
    - カラーマネージメント-色相
    - カラーマネージメント-彩度
    - カラーマネージメント-明度
      - R：-30 ～ 0 ～ +30
      - Y：-30 ～ 0 ～ +30
      - G：-30 ～ 0 ～ +30
      - C：-30 ～ 0 ～ +30
      - B：-30 ～ 0 ～ +30
      - M：-30 ～ 0 ～ +30
      - リセット
    - アンベールコントロール：0 ～ +15
    - ガンマ設定：-2 ～ 0 ～ +2
    - アクティブガンマ：+1 ～ +15
  - 学習機能
    - 映像取得
      - 映像：-20 ～ +20
      - 黒レベル：-20 ～ +20
      - 色の濃さ：-20 ～ +20
      - 色あい：-20 ～ +20
      - 画質：-20 ～ +20
      - 保存
    - 編集
      - 映像
      - 黒レベル
      - 色の濃さ
      - 色あい
      - 画質
      - 保存
  - リセット：する、しない
- 明るさセンサー(OPC)：切、入、入：表示あり
- 明るさ：-16 ～標準～ +16 (-5、5)
- 映像：0 ～ +40
- 黒レベル：-30 ～ 0 ～ +30
- 色の濃さ：-30 ～ 0 ～ +30
- 色あい：-30 ～ 0 ～ +30
- 画質：-10 ～ +10
- プロ設定
  - カラーマネージメント-色相
  - カラーマネージメント-彩度
  - カラーマネージメント-明度
    - R：-30 ～ 0 ～ +30
    - Y：-30 ～ 0 ～ +30
    - G：-30 ～ 0 ～ +30
    - C：-30 ～ 0 ～ +30
    - B：-30 ～ 0 ～ +30
    - M：-30 ～ 0 ～ +30
    - リセット
  - 色温度
    - 高
    - 高－中
    - 中
    - 中－低
    - 低
      - Rゲイン(低)：-30 ～ 0 ～ +30
      - Gゲイン(低)：-30 ～ 0 ～ +30
      - Bゲイン(低)：-30 ～ 0 ～ +30
      - Rゲイン(高)：-30 ～ 0 ～ +30
      - Gゲイン(高)：-30 ～ 0 ～ +30
      - Bゲイン(高)：-30 ～ 0 ～ +30
      - リセット
  - アンベールコントロール：0 ～ +15
  - QS 駆動(120Hz)：アドバンス(スキャン)、アドバンス(強)、アドバンス(標準)、スタンダード、しない
  - フルハイプラス：する、しない
  - アクティブコントラスト：する、しない
  - ガンマ設定：-2 ～ 0 ～ +2
  - I/P 設定：動画より、静止画より
  - フィルムモード：アドバンス(強)、アドバンス(標準)、スタンダード、しない
  - デジタル NR：しない、強、中、弱、アクティブ
  - モノクロ：する、しない
  - 明るさセンサー(OPC)設定：最大値設定：-16 ～ 0 ～ +16 / 最小値設定：-16 ～ 0 ～ +16
- リセット：する、しない

音声調整　⇒ 323 ページと同じ

安心・省エネ

次のページに続く

・記載以外の参照ページについては、⇒ **322** ～ **325** ページをご覧ください。
・表示内容は、入力や設定の条件によって異なる場合があります。

機能切換

お知らせ　⇒ **325** ページと同じ

ツール

リンク操作　⇒ 325 ページと同じ

リンク予約（⇒ 107 ページ）

レコーダーの番組表を表示

番組表（予約）　⇒ 325 ページと同じ

おもな仕様について

品名		液晶カラーテレビ			
形名		LC-60LX3	LC-52LX3	LC-46LX3	LC-40LX3
液晶パネル	表示サイズ	60V型 （横1329mm× 縦748mm／ 対角1525mm）	52V型 （横1152mm× 縦648mm／ 対角1322mm）	46V型 （横1018mm× 縦573mm／ 対角1168mm）	40V型 （横886mm× 縦498mm／ 対角1016mm）
	駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式			
	画素数	1,920（水平）×1,080（垂直） 画素			
アンテナ入力		VHF/UHF 75Ω不平衡型（地上デジタル入力共用）、BS-IF 75Ω不平衡型			
スピーカー		2.0cm 丸型2個 4×10cm トラック型2個 1.5×2.5cm トラック型2個 5.5cm 丸型2個			2.0cm 丸型2個 4×10cm トラック型2個 1.5×2.5cm トラック型2個 6.5cm 丸型1個
音声実用最大出力（JEITA）		30W （7.5W+7.5W+15W）			
使用電源		AC100V・50/60Hz			
消費電力		222W （待機時： 0.1W、 クイック起動「する」 時：37W）	170W （待機時： 0.1W、 クイック起動「する」 時：37W）	155W （待機時： 0.1W、 クイック起動「する」 時：37W）	137W （待機時： 0.1W、 クイック起動「す る」時：37W）
年間消費電力量		• 区分名：DG1 （FHD、液晶倍速、 付加機能1） • 受信機型サイズ： 60V • 年間消費電力量： 178kWh／年 （標準時※）	• 区分名：DG1 （FHD、液晶倍速、 付加機能1） • 受信機型サイズ： 52V • 年間消費電力量： 150kWh／年 （標準時※）	• 区分名：DG1 （FHD、液晶倍速、 付加機能1） • 受信機型サイズ： 46V • 年間消費電力量： 135kWh／年 （標準時※）	• 区分名：DG1 （FHD、液晶倍速、 付加機能1） • 受信機型サイズ： 40V • 年間消費電力量： 117kWh／年 （標準時※）
接続端子		HDMI入力3系統3端子、D5映像入力2系統2端子、S2映像入力1系統1端子、 ビデオ入力3系統3端子（入力6はモニター出力／録画出力兼用）、 モニター出力1系統1端子（入力6兼用）、アナログRGB（PC入力）端子、 音声入力端子（入力2／入力7用）、デジタル音声出力（光）1系統1端子、 アンテナ入力地上デジタル／地上アナログ（VHF・UHF）端子、 アンテナ入力BS・110度CS端子、ヘッドホン接続端子、AC入力端子、 コントロール（RS-232C）端子、LAN1系統1端子（10BASE-T/100BASE-TX）、 USB端子			
受信チャンネル		地上アナログVHF1〜12ch・UHF13〜62ch、CATV13〜63ch、 BSデジタル001〜999ch、110度CSデジタル000〜999ch、 地上デジタル（ワンセグを除く）011〜528ch （CATVパススルー対応）			
BS・110度CSチャンネル受信仕様	変調	時分割多重mPSK			
	トランスポート	MPEG2 システム			
	映像	MPEG2 （MP@HL）			
	音声	MPEG2 AAC			
	限定受信システム	ARIB CASシステム			
	受信周波数帯域	11.71GHz〜12.75GHz			
	IRD受信周波数帯域	1032MHz〜2071MHz			

品名		液晶カラーテレビ			
形名		LC-60LX3	LC-52LX3	LC-46LX3	LC-40LX3
地上デジタルチャンネル受信仕様	変調	直交周波数分割多重（OFDM）			
	トランスポート	MPEG2 システム			
	映像	MPEG2（MP@HL）			
	音声	MPEG2 AAC			
	限定受信システム	ARIB CASシステム			
	受信周波数帯域	93MHz～767MHz			
	CATVパススルー対応	UHF帯、ミッドバンド（MID）帯、スーパーハイバンド（SHB）帯、VHF帯			
外形寸法	ディスプレイ部のみ	幅1457× 奥行143× 高さ898（mm）	幅1257× 奥行140× 高さ779（mm）	幅1121× 奥行140× 高さ703（mm）	幅985× 奥行131× 高さ628（mm）
	スタンド装着時	幅1457× 奥行346× 高さ955（mm）	幅1257× 奥行288× 高さ832（mm）	幅1121× 奥行260× 高さ756（mm）	幅985× 奥行240× 高さ679（mm）
本体質量	ディスプレイ部のみ	約37.5kg	約25.0kg	約21.0kg	約15.0kg
	スタンド装着時	約47.0kg	約30.5kg	約25.5kg	約18.5kg
使用温度		0℃～40℃			

■ 製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。
■ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。
■ JIS C 61000-3-2適合品
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値（１相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
■ 年間消費電力量とは：省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（4.5時間）を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
■ 年間消費電力量の区分名とは：「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」では、テレビの画素数、表示素子、動画表示、及び付加機能の有無等に基づいた区分を行なっています。その区分名称を言います。
※ 一般的にご家庭で使用する際のメーカー推奨の映像モード。（本機では、AVポジション「標準」の場合です）

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書(別添)

■ 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

■ **保証期間**
お買いあげの日から 1 年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
※ 本機を分解すると、保証が無効になります。

使い方や修理のご相談など

■ 修理・使い方・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。

【お客様相談センター】

0120 - 001 - 251
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

※詳細は、取扱説明書の裏表紙をご確認ください。

補修用性能部品の保有期間

■ 当社は、液晶カラーテレビの補修用性能部品を、製品の製造打切後、8 年保有しています。
■ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

■ 「故障かな？と思ったら」「エラーメッセージが出たら」(⇒ **290** ～ **311** ページ) を調べてください。
それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　　名　:液晶カラーテレビ
- 形　　　名　:LC-60LX3／LC-52LX3
　　　　　　　LC-46LX3／LC-40LX3
- お買いあげ日(年月日)
- 故障の状況(できるだけくわしく)
- ご　住　所
(付近の目印もあわせてお知らせください)
- お　名　前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話（　　）　—

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！
（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

▶ **ご使用中止**

故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

本機で使用している特許など

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェア構成

本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア

本機のソフトウェアコンポーネントのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律によって保護されています。
また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License（以下、GPL）、GNU Lesser General Public License（以下、LGPL）、またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアコンポーネントが含まれています。

ソースコードの入手方法

フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのコンポーネントのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。GPL および LGPL も、同様の条件を定めています。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびに GPL、LGPL およびその他のライセンス契約の確認方法については、以下の WEB サイトをご覧ください。
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/source/download/index.html（シャープ GPL 情報公開サイト）
なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問合わせはご遠慮ください。
また当社が所有権を持つソフトウェアコンポーネントについては、ソースコードの提供対象ではありません。

謝辞

本機には以下のフリーソフトウェアコンポーネントが組み込まれています。

- linux kernel
- module-init-tools
- glibc
- DirectFB
- OpenSSL
- zlib
- AGG(ver.2.3)
- NTP
- XMLRPC-EPI
- Expat
- DHCPv6
- Simple IPv4 Link-Local address
- dlmalloc
- util-linux
- coreutils
- jpeg
- libpng
- SQLite
- LVM2
- bash
- libncurses
- device-mapper
- xfsprogs
- parted

本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

ライセンス表示の義務

本機に組み込まれているソフトウェアコンポーネントには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そうしたソフトウェアコンポーネントのライセンス表示を、以下に掲示します。

BSD License

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
この製品にはカリフォルニア大学バークレイ校と、その寄与者によって開発されたソフトウェアが含まれています。

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1.Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2.Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3.All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"

4.The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5.Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6.Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR

次のページに続く

CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence
[including the GNU Public Licence.]

XMLRPC-EPI

Copyright: (C) 2000 Epinions, Inc.
Subject to the following 3 conditions, Epinions, Inc. permits you, free of charge, to (a) use, copy, distribute, modify, perform and display this software and associated documentation files (the "Software"), and (b) permit others to whom the Software is furnished to do so as well.

1) The above copyright notice and this permission notice shall be included without modification in all copies or substantial portions of the Software.

2) THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY WARRANTY OR CONDITION OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY, INCLUDING WITHOUT LIMITATION ANY IMPLIED WARRANTIES OF ACCURACY, MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR NONINFRINGEMENT.

3) IN NO EVENT SHALL EPINIONS, INC. BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR LOST PROFITS ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE (HOWEVER ARISING, INCLUDING NEGLIGENCE), EVEN IF EPINIONS, INC. IS AWARE OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Expat

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper
Copyright (c) 2001, 2002, 2003 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.
IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

NTP

Copyright (c) David L. Mills 1992-2009
Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both the copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name University of Delaware not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. The University of Delaware makes no representations about the suitability this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
この製品に搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

MP3 は Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスされた MPEG Layer-3 音声コーディング技術です。

Portions Copyright© 2004 Intel Corporation
この製品には Intel Corporation のソフトウェアを一部利用しております。

Ubiquitous SAFE DTCP-IP
Copyright© 2001-2010 Ubiquitous Corp
この製品には株式会社ユビキタスが開発した DTCP-IP 対応ソフトウェアを使用しております。

本機は、MPEG2 AAC に関する下記番号の特許を使用しています。

特許番号

5,848,391 5,291,557 5,451,954 5,400,433 5,222,189
5,357,594 5,752,225 5,394,473 5,583,962 5,274,740
5,633,981 5,297,236 4,914,701 5,235,671 07/640,550
5,579,430 08/678,666 98/03037 97/02875 97/02874
98/03036 5,227,788 5,285,498 5,481,614 5,592,584
5,781,888 08/039,478 08/211,547 5,703,999 08/557,046
08/894,844 5,299,238 5,299,239 5,299,240 5,197,087
5,490,170 5,264,846 5,268,685 5,375,189 5,581,654
5,548,574 5,717,821

この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、ロヴィ社の許可が必要です。また、その使用は、ロヴィ社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

この製品では、シャープ株式会社が表示画面で見やすく、読みやすくなるように設計した LC フォント（複製禁止）が搭載されております。LC フォント、LCFONT、エルシーフォント及び LC ロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。なお、一部 LC フォントでないものも使用しています。

IrSS™ または IrSimpleShot™ は、Infrared Data Association® の商標です。

商標・登録商標など

- 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビーおよびダブルD（DD）記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- 本機は、THX※社が定めるホームシアター用のディスプレイ規格（THX Certified Display Standard）に準拠した映像品位を実現しました。（本機の映画（THX）モード使用時）
  ※ THX および THX ロゴはいくつかの法域で登録可能な THX Ltd. の登録商標です。無断複写・転載を禁じます。
- DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.

寸法図／壁掛け金具取り付け時の寸法

壁掛け金具AN-52AG6の壁用金具Bには、
画面の中心を示す表示「a」があります。

（単位：mm）

LC-52LX3

正面

1257
1152（表示サイズ）
832
779
648（表示サイズ）
465
507
1239

側面

140
59（最薄部）
98
159（ケーブルクランプ含む）
284
328（転倒防止金具含む）
（取付時）
288
（収納時）

壁掛け金具取り付け時の寸法

428.5　400　428.5
400
207
193
434
電源コード接続部

本機の金具取付ピッチは400mmです。

・ご使用になる機能の入出力をあらかじめ、接続してからアングルの取り付けを行ってください。

壁掛け金具AN-52AG6使用時

壁掛け金具AN-52AG6の壁用金具Bには、画面の中心を示す表示「b」があります。

※取付位置を変更することで50mm変動します

次のページに続く

（単位：mm）

LC-46LX3

正面

1121

1018
（表示サイズ）

756

703

573
（表示サイズ）

427

468

1103

側面

140

58
（最薄部）

83

159
（ケーブルクランプ含む）

255

313
（取付時）

（転倒防止金具含む）

260
（収納時）

壁掛け金具取り付け時の寸法

360.5　400　360.5

400

174

226

AQUOS

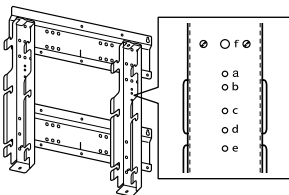
電源コード接続部

420.5

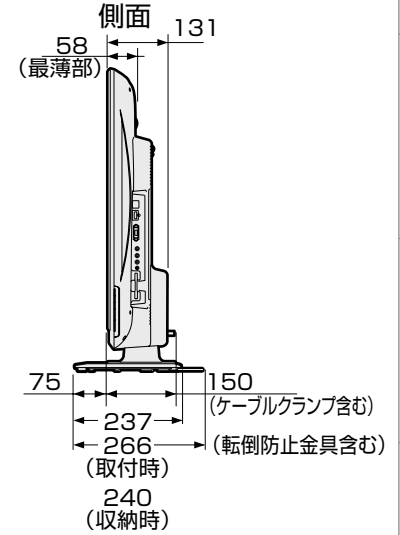
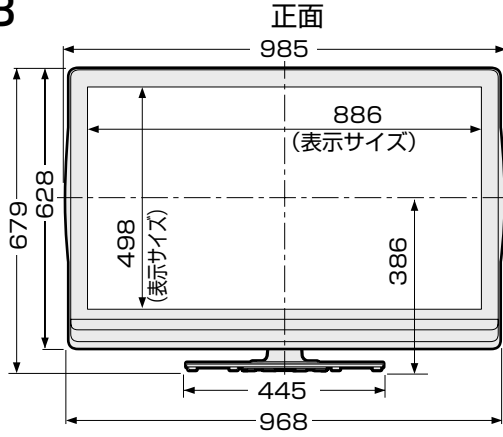
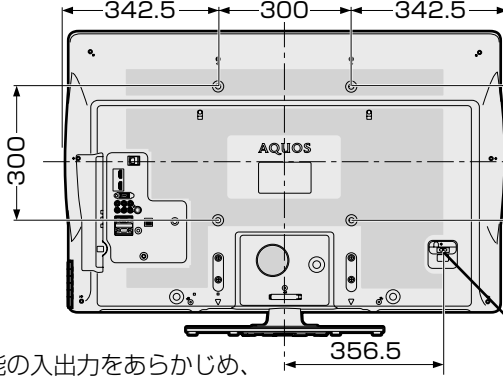
本機の金具取付ピッチは400mmです。

・ご使用になる機能の入出力をあらかじめ、接続してからアングルの取り付けを行ってください。

壁掛け金具AN-52AG6使用時

※ 取付位置を変更することで50mm変動します

壁掛け金具AN-52AG6の壁用金具Bには、画面の中心を示す表示「b」があります。

（単位：mm）

LC-40LX3

壁掛け金具取り付け時の寸法

本機の金具取付ピッチは300mmです。

・ご使用になる機能の入出力をあらかじめ、接続してからアングルの取り付けを行ってください。

壁掛け金具AN-37AG4使用時

壁掛け金具AN-37AG4の壁用金具Bには、画面の中心を示す表示「B」があります。画面の中心を示す「B」より29mm下がディスプレイの中心です。

※取付位置を変更することで50mm変動します

壁に掛けて設置する場合は

- 背面のねじ孔（4 ヶ所）を使用して別売オプションを取り付ける場合は、必ず背面の転倒防止用クランプ（⇒ **263** ページ）を取りはずしてください。

スタンドをはずす

- 別売の壁掛け金具※で壁掛け設置する場合などは、付属のスタンドをはずして使用します。スタンドをはずす前に、壁掛け設置に必要な準備を行ってください。（壁掛け設置のしかた(例)⇒ **342 ～ 343** ページ）

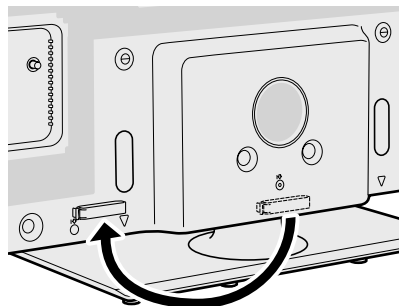
※ LC-60LX3、LC-52LX3、LC-46LX3 は、AN-52AG6 に対応しています。LC-40LX3 は、AN-37AG4 に対応しています。

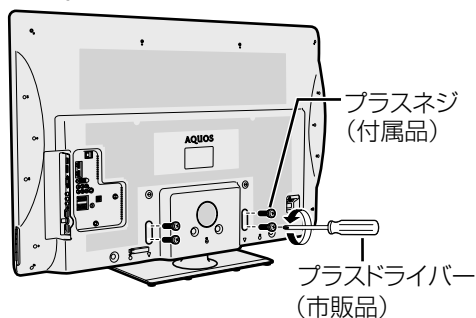
◆ 重 要 ◆
- **取付方法など詳しくは、壁掛け金具に付属の取扱説明書をご覧ください。**
- **液晶カラーテレビの設置には、特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者にご依頼ください。お客さまご自身による工事は一切行わないでください。配線工事についても、壁の厚さや強度を事前に確認ください。当社製の専用壁掛け金具以外をご使用された場合や、取付不備、取扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。**
- はずしたスタンドは本機以外に使用しないでください。
- 必ず 2 人以上で作業してください。

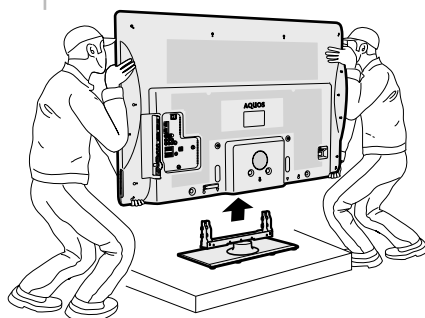
取り付け角度について
- 0°,5°,10°です。

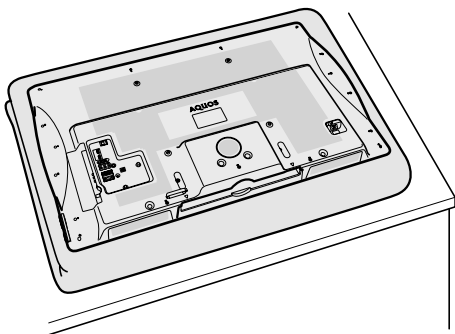
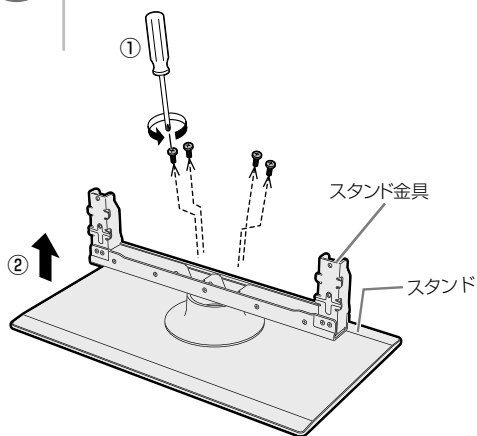
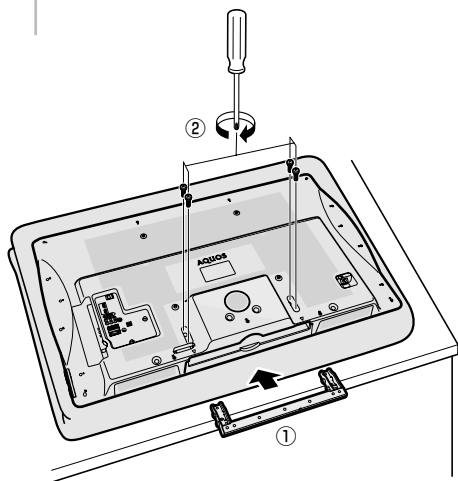
準備する

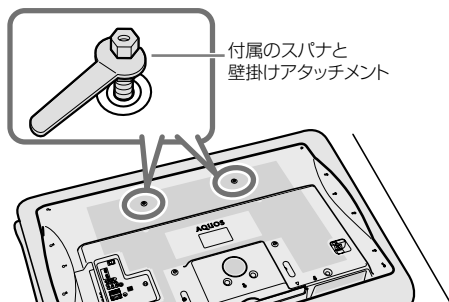
- 本機に接続するケーブルやコードは、確実に取り付けてください。
- 電源プラグは、コンセントから抜いておいてください。また、録画機器などと接続するためのケーブルは、録画機器側をはずしておいてください。これらのコードやケーブルは、壁に掛けたあとにつなぎます。
- 本体背面のキャップ（4 箇所）を取りはずしておきます。

1 ケーブルクランプの位置を変える

2 本体取付け用ネジ(4箇所)を取りはずす

- 市販のプラスドライバーを使います。

3 本機を持ち上げて スタンドから取りはずす

- スタンドを押さえ、液晶テレビを少し後ろに傾けながらはずしてください。
- スピーカーネット部を強く押さないでください。
- 液晶パネルに強い力がかからないように持ち上げてください。
- 本機はかなりの重量があります。硬い床などに落とさないよう、また足の上に落とさないようご注意ください。

4 本体を寝かせる

• テーブルなどの台の上に毛布などの柔らかい布を敷き、その上に本体を寝かせてください。

5 スタンド金具を、スタンドから取りはずす

6 本体にスタンド金具を取り付ける

7 壁掛け金具取り付け穴(2箇所)に壁掛けアタッチメント(付属品)を取り付ける

(LC-40LX3、LC-46LX3、LC-52LX3 のみ)

8 本体を寝かせた状態で壁掛け金具ユニットを取り付ける

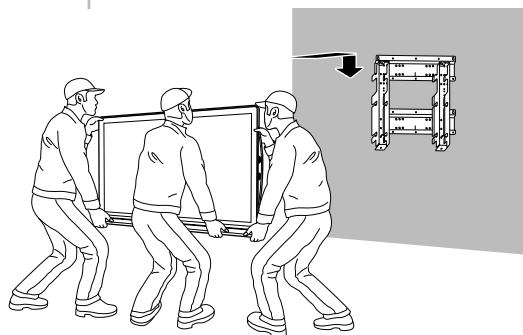
• 角度設定していない状態（0° 設定）で取り付けます。

◇**おしらせ**◇

• 本機に、壁掛け金具 AN-52AG6 を取り付ける場合は、AN-52AG6 に付属のテレビ取付用ねじⒷ（M6、長さ 12mm）をご使用ください。
• 本機に、壁掛け金具 AN-37AG4 を取り付ける場合は、AN-37AG4 に付属のテレビ取付用ねじⒷ（M6、長さ 12mm）をご使用ください。

9 壁掛け金具の取扱説明書に従って、壁掛け金具のユニットの角度を調整する

10 壁掛け金具の取扱説明書に従って、壁掛け設置する

• 本機はかなりの重量があります。硬い床などに落とさないよう、また足の上に落とさないようご注意ください。
• 壁掛け設置については、次ページをご覧ください。

壁掛け設置のしかた（例）

- 本機を別売の壁掛け金具を使って壁掛け設置して使用することができます。付属のスタンドを取り付けている場合は、必ずスタンドをはずしてください。（スタンドをはずす⇒ **340** ～ **341** ページ）

◇**おしらせ**◇

- 本機に、壁掛け金具 AN-52AG6 ／ AN-37AG4 を取り付ける場合は、AN-52AG6 ／ AN-37AG4 に付属のテレビ取付用ねじⒷ（M6、長さ 12mm）をご使用ください。
- 壁に、壁掛け金具 AN-52AG6 ／ AN-37AG4 の壁用金具を取り付ける場合は、市販のねじ（径6mm）をご使用ください。

1 液晶テレビを設置する壁面のテレビの四隅となる位置にテープなどを貼り、テレビの外形寸法の目印をつける

- 水平・垂直の角度や寸法は正確に測ってください。
- テープ類は跡が残らないものをご使用ください。

2 4箇所の目印から対角線を引き、その交点（テレビの中心となる位置）に目印を付ける

- 糸を対角線に張り、交点に目印を付けるなど跡が残らないようにします。

3 この目印と壁用金具のディスプレイ中心を示す刻印を合わせ、壁用金具を壁に取り付ける

- 次ページの寸法の数値は目安です。作業状態などにより異なってきます。

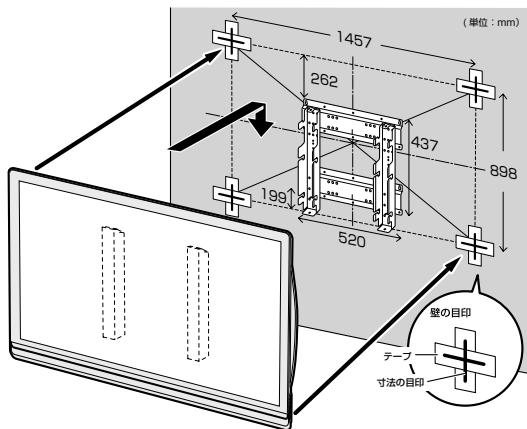
4 液晶テレビ側の準備作業をする（⇒**340**～**341**ページ）

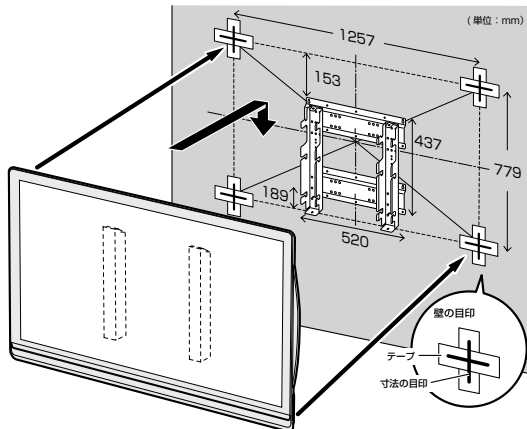
5 壁に掛ける

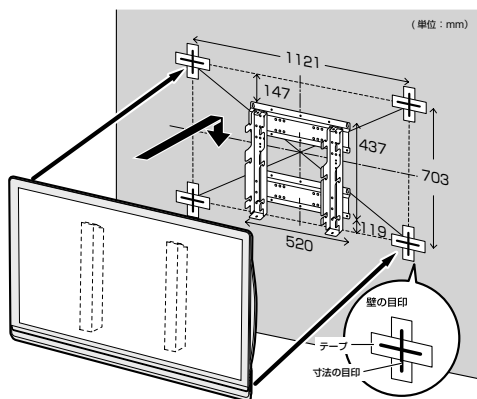
- 壁面の寸法の目印（テレビの四隅）を目安にして取り付けます。
- 取付け角度を変更するときは、必ず液晶テレビを壁から取り外してください。

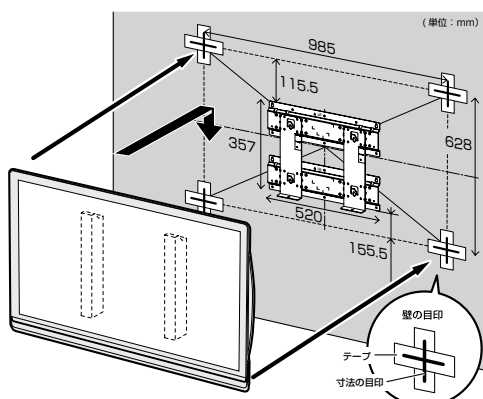
6 目印のテープ類を取り除く

LC-60LX3

壁掛け金具 AN-52AG6 使用時

LC-52LX3

壁掛け金具 AN-52AG6 使用時

LC-46LX3

壁掛け金具 AN-52AG6 使用時

LC-40LX3

壁掛け金具 AN-37AG4 使用時

用語の解説

1080p、720p、1080i、480p、480i

映像の種類	画質（放送の種類）
1080p	走査線 1125 本（有効走査線 1080 本）、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。
720p	走査線 750 本(有効走査線 720 本)、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。
1080i	走査線 1125 本（有効走査線 1080 本）、インターレース方式。デジタルハイビジョンの高画質です。
480p	走査線 525 本(有効走査線 480 本)、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンに近い画質です。
480i	走査線 525 本(有効走査線 480 本)、インターレース方式。地上アナログ放送（VHF/UHF）やBS アナログ放送と同等の画質です。

1080p(24Hz)

映像信号の方式の１つであり、フィルム映画などは、この方式により毎秒24コマ(24p信号)で撮影されています。

110度CSデジタル放送

BSデジタル放送の放送衛星(BS)と同じ東経110度に打ち上げられた通信衛星(CS)を利用したデジタル放送です。細かいジャンルに特化した多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルを購入して視聴するしくみになっています。一部、無料放送もあります。

16:9

デジタルハイビジョン放送の画面縦横比です。従来の4:3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

AAC(Advanced Audio Coding)

デジタル放送は、限られた電波を有効利用するため、映像や音声などを圧縮してから送信されます。

AACはデジタル放送で利用されている音声圧縮方式で、圧縮率が高いにもかかわらず、高音質で多チャンネル音声(5.1チャンネルサラウンドなど)にも対応できる方式です。

ADSL回線

ブロードバンド回線のひとつで、アナログ固定電話回線の音声通話に使用しない帯域を使った回線です。

AQUOS.jp

AQUOSのお客様のためのメンバーズサイトです。AQUOSに関する情報を公開しています。

AV

Audio Visual（またはAudio Video)の略で、音響と映像に関する技術や製品の総称です。

テレビやレコーダー、オーディオプレイヤーなどをAV機器と呼びます。

AV-HDDレコーダー

テレビ放送を内蔵のAV-HDD（エーブイ-ハードディスクドライブ)に録画する機器です。

テレビ放送を放送画質のまま、長時間(数十時間)録画することができます。

B-CASカード(ビーキャスカード)

各ユーザー独自の番号などが記載されている、BS ／ 110度CS ／地上デジタル放送視聴用ICカードのことです。B-CASカードを受信機に挿入すると、接続されたデジタル放送の視聴が可能となります。また、有料放送の視聴を希望される場合は、放送局への申し込みが必要です。詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

BSデジタル放送

2000年12月から本格サービスが開始された衛星放送で、BS（アナログ)放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。さらに、BSデジタル放送では、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

CATV(ケーブルテレビ)

ケーブル(有線)テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えています。本機は「パススルー方式」のCATVに対応しています。

CATV回線

ブロードバンド回線のひとつで、ケーブルテレビ網を使った回線です。

Cookie

Webサイトから、ブラウザに対して一時的に書き込まれる情報です。

例えば、買い物ができるWebサイトでは、購入したい商品を選んだときに情報が書き込まれ、選んだ商品を確認するときや、商品の代金を計算するときに利用されます。

DLNA(Digital Living Network Alliance)

デジタル機器の相互接続を実現させるための標準化活動を推進している団体です。

デジタルAV機器やPCなどがホームネットワーク内で画像や音楽などのデータをやり取りするためのガイドラインを定めています。

DVI(Digital Visual Interface)

コンピュータとディスプレイを接続するための規格のひとつです。デジタル信号で映像データをやりとりするため、画質の劣化が少なく、高画質な表示ができます。DVI-Iは、デジタル信号に加え、アナログ信号での映像データのやりとりもできます。

D端子

高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号(Y)と色差信号(CB/PB、CR/PR)を3本のケーブルで接続(コンポーネント接続)していたのを1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度·色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1 ~ D5の規格があり(本機はD5に対応)、数字が大きいほど、より高画質な映像に対応できます。

EPG(Electronic Program Guide)

デジタル放送で送られてくる番組情報のデータを使って画面で見られるようにした電子番組表のことです。

本機では、電子番組表から番組を選んで選局や録画予約をすることができます。

HDMI(High Definition Multimedia Interface)

ハイビジョン映像信号、マルチチャンネルオーディオ信号、双方向伝送対応のコントロール信号を1本のケーブルで接続できるAVインターフェースです。

高精細な映像入力に対応しています。

HTML

インターネットのページを作るための記述ルールです。この記述ルールをブラウザが読み取って、ページが表示されます。

IP(Internet Protocol)

インターネットでの通信に関する規約のことです。ネットワークに接続された機器はIPを利用して通信していて、機器ごとにIPアドレス(住所のようなもの)が割り振られています。

LAN

Local Area Network (ローカル·エリア·ネットワーク)の略で、コンピューター·ネットワークの形式のひとつです。一般家庭や企業のオフィスなど、小さな規模で用いられています。

MPEG(Moving Picture Experts Group)

デジタル放送の信号は大容量のため、圧縮技術が必要です。MPEGは、デジタル動画圧縮技術の符号化方式の1つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、だいたい40分の1に圧縮することができます。

NTSC(National Television System Committee)

日本のアナログ放送のカラーテレビ放送方式の標準規格です。この規格は、毎秒30フレーム(フィールド周波数60Hz)、有効走査線数480本のインターレース方式です。

PCM(Pulse Code Modulation)

音楽CDやDVDビデオなどは、音声がデジタルデータで記録されています。音楽CDで利用されているPCMは、音声などを数値に変換してデジタルデータにする方式のひとつです。圧縮を行わないので、原音に近い高品質な音を再現できます。本機とオーディオ機器をデジタル音声(光)端子で接続すると、音声をPCMとAACのどちらで出力するか設定できます。

次のページに続く

S1/S2映像

セパレート(S)映像信号に、画面比率4:3で上下に黒帯のあるワイド映像(レターボックス)や、もと16:9の映像を横方向に圧縮して4:3にした映像(スクイーズ)を自動判別する信号を加えた映像信号のことです。映画サイズの番組やビデオソフトを見るときは、自動的にレターボックスは「シネマ」に、スクイーズは「フル」になります。

セパレート(S)映像信号は、輝度信号と色信号を分離して伝送することで映像の劣化を抑えています。

WAN

Wide Area Network (ワイド･エリア･ネットワーク)の略で、コンピューター･ネットワークの形式のひとつです。広域通信網とも呼ばれ、大きな規模で用いられています。

Webサイト

サーバーに保存されている、関連したページの集まりのことです。AQUOS.jpもひとつのWebサイトです。

インターネット

世界中にある小さなコンピューター･ネットワークがお互いにつながりを持つようになってできた、世界規模のネットワークです。

インターネットサービスプロバイダー

ご家庭のパソコンなどをインターネットに接続するためのサービスを提供している事業者のことです。プロバイダーと呼ばれたり、ISPと表記されることもあります。

インターレース(飛び越し走査)

テレビやビデオの画像表示では、有効走査線のうち、まず奇数番めの有効走査線を描きます(この1画面を1フィールドといいます)。次に偶数番めの有効走査線を描きます。これで、1枚の完全な画像(フレーム)を作っていく方式です。「480i」「1080i」の「i」はインターレース(interlaced)を表します。

液晶パネル

液晶を封入したパネルの電極間に電気を流すと、映像として見えるように開発された表示素子です。環境に配慮した低消費電力で動作する利点があります。

お知らせ

BS ／ 110度CS ／地上デジタル放送局から視聴者へメッセージを送るサービスです。

キャッシュ

ブラウザが、表示したページのデータを一時的に保管しておくところです。

ページのデータは、インターネットを通じて取り込まれています。いつもインターネットからデータを取り込んで表示させると、常にデータを取り込むための時間がかかってしまいます。このため、保管したデータを再利用し、データを取り込むための時間を節約しています。

コンポーネント接続

映像信号を輝度信号(Y)と色差信号(C_B/P_B、C_R/P_R)の3つのコンポーネント(構成部分)に分離して伝送する接続方法です。コンポーネント映像端子は3つの端子に分かれているので、接続には3つのプラグに分かれた専用コード(コンポーネントケーブル)を用います。通常の映像端子による接続に比べ、色のキレが良く、チラツキのない画質が得られます。

コンポジット接続

通常の映像端子(ビデオ端子)を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は1つのみで、ふつう黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。コンポジット接続による映像･音声端子の接続では、黄･白･赤の3色に分かれたAVケーブルを使うのが一般的です。

サーバー

コンピューター･ネットワークでサービスや情報を提供するコンピューターのことです。

インターネットの世界では、Webページのデータを保存しているWWWサーバー、指定したURLがどこにあるかを探すDNSサーバー、企業などの内部ネットワークとインターネットの間で効率よくWebページを表示したり、内部ネットワークを保護したりするプロキシサーバーなど、いろいろなサーバーが無数にあります。

スプリッター

ADSL回線でインターネットに接続する際に、インターネット用のデータ信号と電話用の音声信号を分離する機器です。

地上デジタル放送

2003年12月から東京･大阪･名古屋の3大都市圏の一部地域で開始され、2006年12月に全国の都道府県庁所在地で開始されている放送です。ゴーストのない高品質映像、デジタルハイビジョン放送、データ放送や双方向サービス、多チャンネルといった、これまでの地上アナログ放送にはなかった特長をもっています。

ハイビジョン放送
デジタルハイビジョンの高画質放送のことです。従来の地上アナログテレビ放送が480本の有効走査線で表示しているのに対し、デジタルハイビジョン放送は720本や1080本の有効走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。BSデジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

ハブ
LANなどのネットワークのケーブルを分けたり、中継したりする機器です。

光回線
ブロードバンド回線のひとつで、光ファイバー網を使った回線です。

ADSL回線やCATV回線に比べてデータの転送スピードの速さが特長です。

ブックマーク
ページのURLを記憶する機能です。

ブックマークに登録することで、URLを入力したり、何度もリンクをたどったりする必要がなくなります。

「お気に入り」と呼ばれることもあります。

ブラウザ
インターネットのページを見るためのソフトウェアです。Webブラウザ、インターネットブラウザなどと呼ばれることもあります。

フルデジタル1ビットアンプ
シャープ独自の1ビットアンプは音声信号を直接1ビットのデジタル信号に変換し、そのまま高品質の電力増幅を行うアンプです。

これをフルデジタル化することによりさらに高効率・高性能アンプとして進化させました。

この「フルデジタル1ビットアンプ」は、デジタル放送などの音声信号を、アナログ処理することなく直接1ビット変換することにより、効率の良い増幅を行います。

1秒間に12,288,000回(12.288MHz…CDの約278倍)という超高速サンプリングから得られる高い分解能によって、「音の立ち上がりの速さ」や「音のつながりの滑らかさ」に卓越した再現能力をもつと同時に、「伝送経路においてノイズの影響を受けない」というフルデジタル化の特長と融合して高精細で原音に忠実な音の再生を実現しています。

ブロードバンド回線
一度に大量のデータをやりとりすることができるインターネットに接続するための回線のことです。

光回線、CATV回線、ADSL回線などがあります。

プログレッシブ(順次走査)
飛び越し走査(「インターレース」の項を参照)をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。480pの場合、480本の有効走査線を順番どおりに描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「480p」「720p」の「p」はプログレッシブ(progressive)を表します。

文字コード
コンピューターの内部は、すべて0と1の組み合わせで成り立っています。画面に表示される文字も0と1の組み合わせになります。この0と1の組み合わせをどの文字にするかを取り決めたものが文字コードです。

世界中にはさまざまな文字があり、その文字に合わせて各地域で標準となっている文字コードがあります。このため、インターネットのページを作成するために使われた文字コードとブラウザの文字コードが異なる場合もあり、この場合、文字が正しく表示されなくなることがあります。

リンク
複数のものをつなぐことで、シャープ製の液晶テレビやレコーダー、AVアンプをつなぐ「ファミリンク」や、インターネット上で他のWebページをつなぐリンク機能などがあります。

索引

• 本体およびリモコンの「各部のなまえ」については、⇒ **20** ～ **23** ページをご覧ください。
• 用語については、⇒ **344** ～ **347** ページをご覧ください。

英数字・記号

あ行

か行

さ行

次のページに続く

た行

な行

は行

ま行

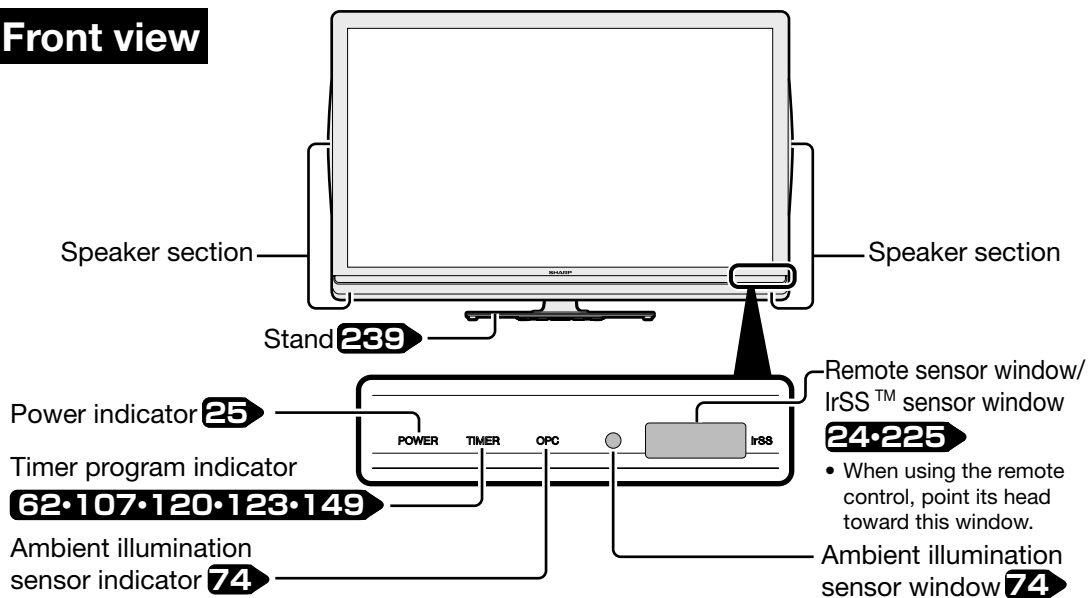
や行

ら行

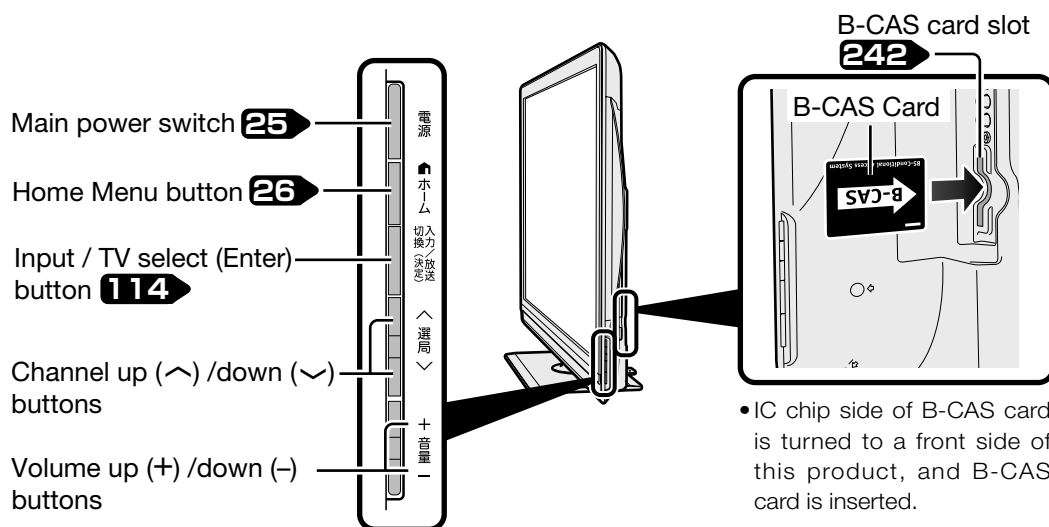
わ行

English Guide
Part Names

- The number shown in each ▶ is the page number where the part's function and/or use are explained in Japanese.

Front view

Adjusting the LCD panel angle
- The LCD panel can be rotated horizontally up to 20° clockwise and counter-clockwise.
- Hold the stand firmly when you adjust the monitor's angle.

Right side view

- IC chip side of B-CAS card is turned to a front side of this product, and B-CAS card is inserted.

The illustrations below are those of LC-52LX3.
LC-60LX3/LC-46LX3/LC-40LX3 has the same layout of jacks and terminals as LC-52LX3.

LAN jack
171•197

Connect a Blu-ray Disc player, AV amplifier, etc.

AV in 1 and 2 (HDMI)
112•248•249•251•252•256•258

AV in 4 (D5)
251•253•256

RS-232C
259

AV in 7 (PC)
259

PC input (audio)
131•258•259

AV in 6
251•254•256

Connect a recorder

AV in 6 /Monitor out (REC OUT)
251•255•256•257

BS·CS 110 antenna input terminal
244～247

Digital audio output jack (optical)
249•257

VHF·UHF antenna input terminal
244～247

Connect the AC cord

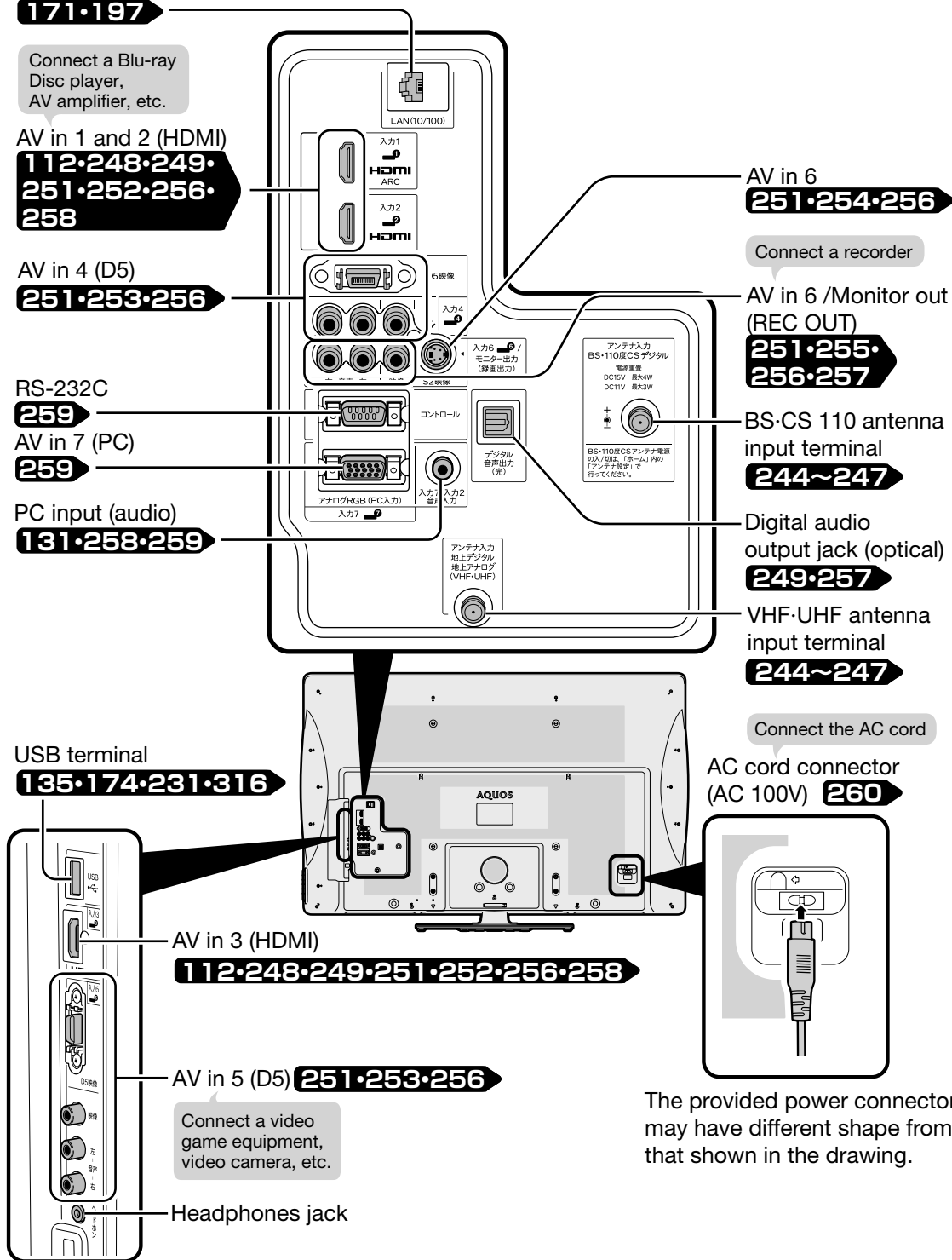
AC cord connector (AC 100V) 260

USB terminal
135•174•231•316

AV in 3 (HDMI)
112•248•249•251•252•256•258

AV in 5 (D5) 251•253•256

Connect a video game equipment, video camera, etc.

Headphones jack

The provided power connector may have different shape from that shown in the drawing.

Remote Control Unit

See Page **32** for how to select a program.

Switching the Display Language to English
ホームメニューなどの言語を英語にする

- Using the Home menu screen, you can switch the on-screen display language to English.
  ホームメニューなどの画面表示を英語にすることができます。

◇**おしらせ**◇

誤ってホームメニューを英語にしてしまったときは

- ホームメニューから「Setup」－「(View Setting)」－「言語 (Language)」を選んで決定し、「日本語」を選んで決定すると日本語になります。

1

Press ホーム and select with

Select "設定" (Setup) on the Home menu.
ホームメニューから「設定」を選ぶ

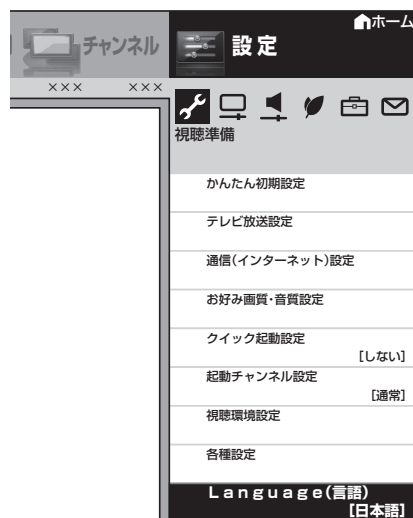
2

Select with

Select "(視聴準備)" (View Setting).
「(視聴準備)」を選ぶ

3

Select with
Press 決定

Select "Language(言語)".
「Language(言語)」を選ぶ

4

Select with
Press 決定

Select "English".
「English」を選ぶ

Enter.
決定する

- The menu screen is now displayed in English.
- 画面表示が英語になります。

5

Press ホーム

Finish this operation.
終了する

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

液晶カラーテレビ LC-60LX3／LC-52LX3／LC-46LX3／LC-40LX3

この製品は、こんなところがエコロジークラス。

省エネ 「明るさセンサー」を活用

周囲の明るさに応じて液晶画面の明るさを自動的に調整する「明るさセンサー」機能がついています。この機能を「入」にすると周囲が暗いときには、自動的に画面を暗くするので、省エネになります。

上手に使って、もっともっとエコロジークラス。

◎外出やおやすみのときは電源を切って

リモコンで液晶テレビの電源を切っても、少量の電力を消費しています。こまめに本体の電源を切ることにより、更に効果的な省エネになります。

※ただし、録画予約、衛星ダウンロードを行う場合は、リモコンで電源を切ってください。

■ **廃棄時のご注意**

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

■ よくあるご質問などは
パソコンから検索できます ▶▶▶

パソコン

http://www.sharp.co.jp/support/

シャープ　お問い合わせ

使い方や修理のご相談など

【お客様相談センター】

0120 - 001 - 251

携帯・PHS OK

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話：043 - 331 - 1626　FAX：043 - 297 - 2696

〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2

受付時間　●月曜～土曜:**9:00～20:00**　●日曜・祝日:**9:00～17:00**（年末年始を除く）

●電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。

●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2010.6）

シャープ株式会社

本　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号

AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地

アメリカ大豆協会認定の大豆油インキを使用しています。
この取扱説明書は再生紙を使用しています。

TINS-E649WJZZ ③
10P06-JA-KK